

第 1 0 期小金井市

介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画／
認知症施策推進計画策定に関する調査報告書
(案)

令和8年3月

小金井市

目次

序 章 調査の概要	1
1. 調査の概要について	1
2. 高齢者等実態調査設問一覧	3
3. 調査結果の表示方法・留意点	9
4. 標本誤差について	10
第1章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	11
○ 要介護リスクの判定方法	11
※ 調査の回答者について	13
※ あなた（あて名ご本人）について	14
問1 あなたのご家族や生活状況について	16
問2 からだを動かすことについて	19
問3 食べることについて	22
問4 毎日の生活について	25
問5 地域での活動について	30
問6 たすけあいについて	35
問7 健康について	39
問8 認知症について	46
問9 住まいについて	51
問10 地域包括支援センターについて	54
問11 高齢者保健福祉サービス（介護保険外）等について	55
問12 地域生活について	58
問13 就労意向について	68
問14 災害対応について	72
問15 その他・市への要望について	73
第2章 在宅介護実態調査	80
○ 用語の定義等	80
※ 回答者の認定情報	82
1. 調査の回答者について	83
2. あなた（あて名ご本人）について	84
3. 本人の介護の状況について	85
4. 主な介護者の状況について【家族・親族介の護がある方】	98
第3章 介護保険サービス利用意向調査	104
1. 調査の回答者について	104
2. あなた（あて名ご本人）について	105
3. 健康の状態等について	107
4. 介護保険について	111
5. 地域生活について	113
6. 住まいについて	121
7. 地域包括支援センターについて	123
8. 高齢者保健福祉サービスについて	124
9. 災害対応について	126

10. その他・市への要望について	127
第4章 介護施設等サービス利用者調査	133
1. 調査の回答者について	133
2. あなた（あて名ご本人）について	134
3. 医療の状況について	135
4. 入所されるまでのことについて	136
5. 施設等での生活やサービスについて	137
6. 介護保険について	139
7. 高齢者の権利について	141
8. その他・市への要望について	142
第5章 介護保険サービス提供事業者調査	145
1. 事業所について	145
2. 介護保険外サービスについて	147
3. サービス向上に向けた取組について	149
4. 事業運営について	150
5. 医療と介護の連携について	155
6. 認知症の介護支援について	157
7. 災害時の対応について	161
8. その他・市への要望について	161
第6章 ケアマネジャー調査	164
1. 調査の回答者について	164
2. 勤務形態について	165
3. ケアマネジメントについて	166
4. ケアアセスメントの実施状況について	168
5. 市内のサービス提供体制について	169
6. 施設入所について	173
7. 在宅医療について	173
8. 医療・介護連携について	178
9. 認知症の介護について	180
10. ケアマネジメントの質の向上について	183
11. 高齢者の虐待について	185
12. 今後の介護サービス、高齢者福祉について	187
資料編 アンケート調査票	190
I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	190
II. 在宅介護実態調査	198
III. 介護保険サービス利用意向調査	202
IV. 介護施設等サービス利用者調査	208
V. 介護保険サービス提供事業者調査	212
VI. ケアマネジャー調査	218

序章 調査の概要

1. 調査の概要について

小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画策定のための基礎資料として活用するため、無作為に抽出した対象者に調査票を郵送し、6種類のアンケートを実施した。

【調査実施期間】 令和7年10月31日～11月21日

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（国指針準拠）

生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合い体制づくり、介護予防の推進等のために必要な社会資源の把握を行い、介護予防の推進・充実に向けた方策の検討資料とする。

調査対象者	・自立（要介護・要支援認定者を除く第1号被保険者） ・要支援認定者（未利用者含む）
回答方法	郵送・Web
人数	1,800人
有効回収数	1,231人（うち郵送1,007人、Web224人）
回収率	68.4%（前回64.3%）

2 在宅介護実態調査（国指針準拠）

要介護者の在宅生活の継続や介護の就労継続に有効な介護サービスのあり方の検討資料とする。

調査対象者	要支援・要介護認定の更新・区分変更申請者
回答方法	郵送・Web・聞き取り調査
人数	1,109人（うち聞き取り調査109人）
有効回収数	695人（うち郵送517人、Web69人、聞き取り調査109人）
回収率	58.6%（前回52.3%）郵送・Web分のみ

3 介護保険サービス利用意向調査

介護保険サービスの利用者に対して、サービスの利用状況と利用意向を探り、介護保険サービスの整備等に関する検討資料とする。

調査対象者	要介護認定者（未利用者含む）
回答方法	郵送・Web
人数	1,000人
有効回収数	476人（うち郵送387人、Web89人）
回収率	47.6%（前回39.6%）

4 介護施設等サービス利用者調査

介護保険施設サービス等の利用者の状況を把握し、今後の施設サービスのあり方に関する検討資料とする。

調査対象者	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）・介護老人保健施設・介護医療院・特定施設（有料老人ホーム等）・認知症高齢者グループホームを利用する要介護認定者 ※特定施設及び認知症高齢者グループホームは今回調査より追加
回答方法	郵送・Web
人数	300人
有効回収数	133人（うち郵送 105人、Web 28人）
回収率	44.3%（前回 41.5%）

5 介護保険サービス提供事業者調査

居宅サービス事業者、施設サービス事業者等の活動状況、事業の展開意向、事業の展開上の課題、介護人材の実態を把握し、事業者に対する支援等に関する検討資料とする。

調査対象者	・居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所・居宅介護・介護予防事業所・施設サービス事業所
回答方法	郵送・Web
人数	160人
有効回収数	116人（うち郵送 48人、Web 68人）
回収率	72.5%（前回 52.5%）

6 ケアマネジャー調査

市内在住の高齢者の居宅介護計画（ケアプラン）を作成しているケアマネジャーの業務の状況や、業務全般の考え、医療と介護の連携の状況等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策等に関する検討資料とする。

調査対象者	居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所に在籍するケアマネジャー
回答方法	郵送・Web
人数	100人
有効回収数	77人（うち郵送 51人、Web 26人）
回収率	77.0%（前回 66.0%）

※ 有効回答数には事情によりアンケートに回答できない等の連絡があった者は含んでいない。

2. 高齢者等実態調査設問一覧

市民調査

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（高齢一般）
2. 在宅介護実態調査（介護実態）
3. 介護保険サービス利用意向調査（在宅意向）
4. 介護施設等サービス利用者調査（施設利用）

分類	市民4調査の設問	高齢一般	介護実態	在宅意向	施設利用	備考
回答者	現在の生活場所	◆	◆	◆	◆	
	入所施設の種類の	—	—	—	◆	
	調査票の記入者	◆	◆	◆	◆	国必須設問
対象者属性	性別	F1	F1	F1	F1	
	年齢階層	F2	F2	F2	F2	
	居住地域	F3	—	—	—	
	要介護度	—	—	4	10	
	認定を受けてからの期間、施設入所期間	—	—	5	F3	
家族や生活状況	家族構成	1(1)	1	F3	F4	国必須設問
	誰かの介護・介助を受けているか	1(2)	—	—	—	国必須設問
	暮らしの経済状況	1(3)	—	—	—	国必須設問
	身内の介護頻度	—	2	—	—	国必須設問
	主な介護者	—	3	F4	—	国 OP 設問
	主な介護者の性別	—	4	—	—	国 OP 設問
	主な介護者の年代	—	5	—	—	国必須設問
	介護内容	—	6	—	—	国 OP 設問
	親族の介護理由の勤務変更の状況	—	7	—	—	国必須設問
	利用している在宅サービス以外のサービス	—	8	—	—	国 OP 設問
	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	—	9	—	—	国 OP 設問
	施設への入所・入居の検討状況	—	10	—	—	国必須設問
	現在抱えている疾病	—	11	—	—	国 OP 設問
	訪診療利用の有無	—	12	—	—	国 OP 設問
介護保険サービス	介護保険サービス利用の有無	—	13	6	—	国 OP 設問
	利用していない人⇒利用していない理由	—	14	6-1	—	国 OP 設問
	施設サービス入所申請の有無	—	—	7	—	
	地域密着型サービスの認知状況・利用意向	—	—	8	—	
	施設利用料等の負担感	—	—	—	11	
主な介護者の状況	主な介護者の勤務形態	—	17	—	—	国必須設問
	働いている人⇒働き方の調整状況	—	18	—	—	国必須設問
	働いている人⇒今後の介護継続の可能性	—	19	—	—	国必須設問
	主な介護者に必要な支援	—	20	—	—	
	介護生活で不安なこと	—	21	—	—	国必須設問
からだを動かすこと	主な介護者の介護に関する相談先の有無	—	22	—	—	
	階段を手すりや壁をつたわず昇るか	2(1)	—	—	—	国必須設問
	椅子から何もつかまらず立ち上がるか	2(2)	—	—	—	国必須設問
	15分位続けて歩いているか	2(3)	—	—	—	国必須設問
	過去1年間転んだ経験があるか	2(4)	—	—	—	国必須設問
転倒に対する不安は大きい	2(5)	—	—	—	国必須設問	

分類	市民4調査の設問	高齢一般	介護実態	在宅意向	施設利用	備考
	週1回以上外出しているか	2(6)	—	—	—	国必須設問
	昨年と比べて外出頻度が減っているか	2(7)	—	—	—	国必須設問
食 べ る こ と	身長・体重	3(1)	—	—	—	国必須設問
	半年前より固いものが食べにくい	3(2)	—	—	—	国必須設問
	歯の数と入れ歯の状況	3(3)	—	—	—	国必須設問
	だれかと食事をともにする機会があるか	3(4)	—	—	—	国必須設問
	物忘れが多いと感じるか	4(1)	—	—	—	国必須設問
毎 日 の 生 活	バスや電車で一人で外出しているか	4(2)	—	—	—	国必須設問
	自分で日用品等の買物をしているか	4(3)	—	—	—	国必須設問
	自分で食事の用意をしているか	4(4)	—	—	—	国必須設問
	自分で請求書の支払いをしているか	4(5)	—	—	—	国必須設問
	自分で預貯金の出し入れをしているか	4(6)	—	—	—	国必須設問
	友人の家を訪ねているか	4(7)	—	—	—	国 OP 設問
	家族や友人の相談のっているか	4(8)	—	—	—	国 OP 設問
	趣味はあるか	4(9)	—	—	—	国 OP
	生きがいはあるか	4(10)	—	—	—	国 OP
	スマホ等を用いたインターネット利用状況	4(11)	—	—	—	
	地 域 で の 活 動	グループ等への参加頻度	5(1)	—	—	—
住民有志のグループ活動への参加意向		5(2)	—	—	—	国必須設問
住民有志のグループ活動への企画運営意向		5(3)	—	—	—	国必須設問
た す け あ い	心配事や悩み事を聞いてくれる人	6(1)	—	—	—	国必須設問
	心配事や悩み事を聞いてあげる人	6(2)	—	—	—	国必須設問
	看病や世話をしてくれる人	6(3)	—	—	—	国必須設問
	看病や世話をしてあげる人	6(4)	—	—	—	国必須設問
健 康	現在の健康状態	7(1)	—	—	—	国必須設問
	現在の幸福度	7(2)	—	2	9	国必須設問
	この1か月、気分が沈んだりしたこと	7(3)	—	—	—	国必須設問
	この1か月、物事に興味がわからないこと	7(4)	—	—	—	国必須設問
	喫煙頻度	7(5)	—	—	—	国必須設問
	治療中や後遺症のある病気	7(6)	—	1	1	国必須設問
	日頃、孤独や不安を感じるか	7(7)	—	3	—	
	かかりつけ医等の有無	7(8)	—	—	—	
認 知 症	認知症の関心度	8(1)	—	—	—	
	本人・家族の認知症の症状の有無	8(2)	—	—	—	国必須設問
	身近に認知症の症状の人がいて困ったこと	8(3)	—	—	—	
	認知症に関する相談窓口の認知度	8(4)	—	—	—	国必須設問
	認知症の対策として必要なこと	8(5)	—	—	—	
	新しい認知症感の認知度	8(6)	15	—	—	
	認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて実現状況	8(7)	16	—	—	
住 ま い	今後暮らす場所の希望状況	9(1)	—	19	—	
	在宅生活を続けるための高齢者福祉サービスの充実度	9(2)	—	20	—	
	在宅生活を続けるための条件	9(3)	—	21	—	
介 護 保 険 外 サ ー ビ ス	地域包括支援センターの認知状況	10(1)	—	22	—	
	高齢者保健福祉サービスの利用意向	11(1)	—	23	—	
	配食サービスに望むもの	11(2)	—	24	—	
	小金井市が実施すべき理美容サービス	11(3)	—	25	—	

分類	市民4調査の設問	高齢一般	介護実態	在宅意向	施設利用	備考	
地域生活	近所付き合い	12(1)	—	9	—		
	地域における自宅以外の居場所の有無	12(2)	—	10	—		
	どのような居場所があれば利用したいか	12(3)	—	11	—		
	一人暮らしの場合の見守り支援利用意向	12(4)	—	15	—		
	見守り支援の利用と負担の関係	12(5)	—	16	—		
	最期を迎えたい場所	12(6)	—	—	—		
	ACPの認知度	12(7)	—	12	—		
	受けたい終活サポート	12(8)	—	13	—		
権利擁護	成年後見制度の認知度	12(9)	—	14	14		
	世帯における困りごと	12(10)	—	17	—		
	暮らしや福祉についての困りごとの相談先	12(11)	—	18	13		
就労意向	収入のある就労の有無	13(1)	—	—	—		
	就労意欲あり⇒どのような形で働きたいか	13(2)	—	—	—		
	仕事をする1番の理由	13(3)	—	—	—		
	就労につながるために受けたいサポート	13(4)	—	—	—		
対応	災害	災害発生時の不安や心配事	14(1)	—	26	—	
所前	施設入	入所施設が希望のものか	—	—	—	2	
		入所までの期間	—	—	—	3	
		入所前の住まい・施設	—	—	—	4	
活	施設での生	現在の部屋の種類	—	—	—	5	
		今後生活したい部屋と経済的負担	—	—	—	6	
		サービスについての説明の有無	—	—	—	7	
		サービスの提案の有無	—	—	—	8	
市への要望		市が優先して取り組む保健福祉サービス	15(1)	—	27	—	
		介護保険制度をよくするために必要なこと	—	—	28	12	
		誰もがいきいきと暮らすことのできるまちへの考え	15(2)	—	29	15	
		小金井市に住み続けたいかの意向	15(3)	—	30	16	
	意見・要望等<自由回答>	15(4)	—	31	17		

5. 介護保険サービス提供事業者調査

分類	事業所調査の設問	問番
所属事業	活動状況（組織形態）	1
	活動状況（主な事業の種類）	2
	活動状況（併設する事業の種類）	2
介護保険外サービス	介護保険以外のサービス提供の有無	3
	介護保険以外のサービス提供の有無	3
	提供している場合、具体的なサービス内容	3-1
	今後の介護保険以外のサービス提供	4
	提供する予定の場合、具体的なサービス内容	4-1
質の向上	質の向上に対する取組み	5
	第三者評価の実施なし⇒今後の実施予定	5-1
	第三者評価の実施予定がない⇒ない理由	5-2
事業運営	直近決算年度の採算状況	6
	今後3年間の事業規模	7
	重要だと思う労働環境整備	8
	事務作業負担感の程度	9
	生産性向上の取組	10
	運営上に必要な人材の確保状況	11
	人材対策の方向性	12
	人材確保のために必要な取組み	13
	事業所内での講習会・研修の実施状況	14
	研修会、勉強会等に積極的に参加できるような支援の有無	15
	運営上の課題	16
医療と介護の連携	在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくり	17
	医療・介護の連携状況	18
	医療・介護連携していない⇒不十分の理由	18-1
	利用者の医学的情報の把握状況	19
	かかりつけ医との連携がとりにくい理由	20
認知症の介護支援	認知症の症状で実際に大変だったこと	21
	認知症支援に必要なこと	22
	認知症支援におけるかかりつけ医との連携状況	23
	認知症ケアの地域拠点としての機能	24
	認知症の理解を促進するための普及・啓発活動の内容	24-1
	「新しい認知症観」の認知度	25
「新しい認知症観」を広めるために必要な取組	26	
市への要望その他	災害時に備えた地域との連携	27
	事業者として市に望むこと	28
	意見・要望等<自由回答>	29

6. ケアマネジャー調査

分類	ケアマネジャー調査の設問	問番
属性	性別	1
	年代	2
形態 勤務	45 時間以上の人⇒1 カ月の超過勤務時間	3
	負担のある業務	4
	ケアマネジャーの継続に必要な改善事項	5
トの状況 ケアマネジメン	ケアプランの作成にかかわる人	6
	ケアプラン作成が困難だったケースの頻度	7
	ケアプラン作成困難ケースあり⇒ケースの内容	7-1
	ケアプラン作成困難ケースあり⇒ケースの相談先	7-2
	アセスメント実施で難しいと感じること	8
	1 回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間	9
市内のサービ ス提供体制	量的に不足していると感じるサービス	10
	介護保険以外のサービス等を組み入れたケアプランの作成	11
	ケアプランを作成する際に検討したことがあるサービス	11-1
	在宅生活を支えるために充実が必要と感じる生活支援	12
	充実が必要と思う高齢者保健福祉サービス	13
	配食サービスに望むもの	14
入所	施設等を勧めた居宅介護の件数	15
	施設等を勧めた世帯構成	15-1
在宅医療の支 援	往診が必要な利用者の有無及び人数	16
	往診いる⇒訪問診療の提供充足度	16-1
	十分な往診なし⇒訪問診療が提供できていない理由	16-2
	訪問診療が必要な利用者の有無	17
	訪問診療いる⇒訪問診療の提供充足度	17-1
	十分な訪問診療なし⇒訪問診療が提供できていない理由	17-2
	訪問看護や訪問歯科診療等が必要な利用者の有無	18
	在宅療養高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行	19
	医療と在宅ケアの関係で苦労していること	20
	在宅医療を進めていくうえで不足している機能	21
	在宅介護の限界、施設入所を意識する要因	22
医療・介 護の連携	医療と介護の連携のための情報の共有化	23
	市の担当者との連携	24
	在宅療養者への医療・介護は連携していると思うか	25
	在宅医療と介護の円滑な連携に必要なこと	26
認知症の介 護支援	担当する認知症の方の状況で、実際に大変だった事例	27
	認知症の人の支援のための、かかりつけ医との連携状況	28
	認知症の早期受診が進まない原因	29
	認知症の人の支援に必要なこと	30
	「新しい認知症観」の認知度	31
	「新しい認知症観」を広めるために必要な取組	32
ケアマネジ メントの質	サービスの質の向上に向けた研修への参加	33
	事業所内での定例的な研修・勉強会の有無	34
	地域包括支援センターとのつながり	35
	地域包括支援センターに期待すること	36
	中立性・独立性を確保するために必要な支援	37

分類	ケアマネジャー調査の設問	問番
虐待	虐待の場面に遭遇したり相談を受けた経験	38
	虐待を未然に防ぐために必要なこと	39
市への 要望	介護保険制度をよりよくするために必要なこと	40
	人材育成等に関して市に支援して欲しいこと	41
	意見・要望等<自由回答>	42

3. 調査結果の表示方法・留意点

- 図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数を表している。
- 回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがある。また、複数の選択肢の回答率を合計した場合、小数点第2位を四捨五入しているため一致しないことがある。
- 回答者が2つ以上回答することができる質問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがある。
- 複数回答の図表においては、傾向をよりわかりやすくするために、「その他」「無回答」などを除き、選択肢を回答率（%）の高いものから低いものへと並び替えて表示している場合がある。
- 無回答のもの、単一回答の設問において複数回答したもの、選択の判別がつかないものについてはいずれも「無回答」として集計している。
- クロス集計については、分析の柱となる項目（属性）の「無回答」は掲載を省略しているため、全体合計と一致しないことがある。ただし、「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しない。
- クロス集計において、分析の柱となる項目（属性）ごとに選択率の最も高い選択肢を濃いグレー、次いで高い選択肢を薄いグレーに網掛けしている。
- 本文や図表中の選択肢の表記は、紙面の制約や読み易さの観点から語句を短縮・簡略化している場合がある。
- 前回調査があり比較可能な設問・選択肢については、傾向分析のため表示している。図表において、前回調査に相当する選択肢がない場合には「-」で表記している。
- 選択肢「その他」の回答割合が10%を超えるものについては、代表的な意見や内容を記している。ただし、調査票で記入欄を設けていない場合や、回答者数が少数のため分類が困難な場合は記載していない。

4. 標本誤差について

○各調査は、対象となる母集団の中から、無作為に選ばれた一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」である。調査結果の比率から母集団（各調査属性を備えた対象者全体）の傾向を推測する際には、統計上の誤差（標本誤差）を考慮する必要がある。各回答比率での標本誤差は次の早見表の通りとなる。

○例えば有効回答数が 1,231 人である一般高齢者調査の場合、ある質問の回答が 50%となったとき、小金井市内の一般高齢者調査のこの質問に対する回答は、47.3%~52.7%の間にあると考えてよいことになる（信頼度 95%）。また、有効回答数が 695 人である介護実態調査の場合、ある質問の回答が 50%となったとき、市内の介護実態調査のこの質問に対する回答は 46.5%~53.5%の間にあると考えてよいことになり、対象となる有効回答数が少なくなるほど標本誤差が大きくなる。

■標本誤差の算出式（ただし、信頼度を 95%とする。）

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$\left(\begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{有効回答数} \\ P = \text{回答比率} \end{array} \right)$

■各調査における標本誤差早見表

	母集団概数	回答数	標本誤差				
			10%選択	20%選択	30%選択	40%選択	50%選択
①一般高齢	24,000	1,231	1.6%	2.2%	2.5%	2.7%	2.7%
②介護実態	5,300	695	2.1%	2.8%	3.2%	3.4%	3.5%
③在宅意向	3,300	476	2.5%	3.3%	3.8%	4.1%	4.2%
④施設利用	600	133	4.5%	6.0%	6.9%	7.4%	7.5%
⑤事業者	160	116	2.9%	3.8%	4.4%	4.7%	4.8%
⑥ケアマネジャー	120	77	4.0%	5.4%	6.2%	6.6%	6.7%

第1章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

○ 要介護リスクの判定方法

この報告書においては、以下の判定方法により要介護リスク該当とした。

①運動器機能リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」	左記設問・選択肢で3つ以上が該当
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」	
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「3. できない」	
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 or「2. 1度ある」	
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」or 「2. やや不安である」	

②低栄養リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問3(1)	身長・体重	BMI (体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}) < 18.5	左記設問・選択肢が該当

③咀嚼機能リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢が該当

④うつリスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「1. はい」	左記設問・選択肢でいずれか1つ以上が該当
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「1. はい」	

⑤認知症リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」	左記設問・選択肢が該当

⑥閉じこもりリスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 or「2. 週1回」	左記設問・選択肢が該当

⑦IADL（手段的日常生活動作）低下リスク

設問	調査項目	選択肢	判定方法
問4(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	左記設問・選択肢で3つ以下が該当
問4(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	
問4(4)	自分で食事の用意をしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	
問4(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	
問4(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」	

◆各圏域の構成地区

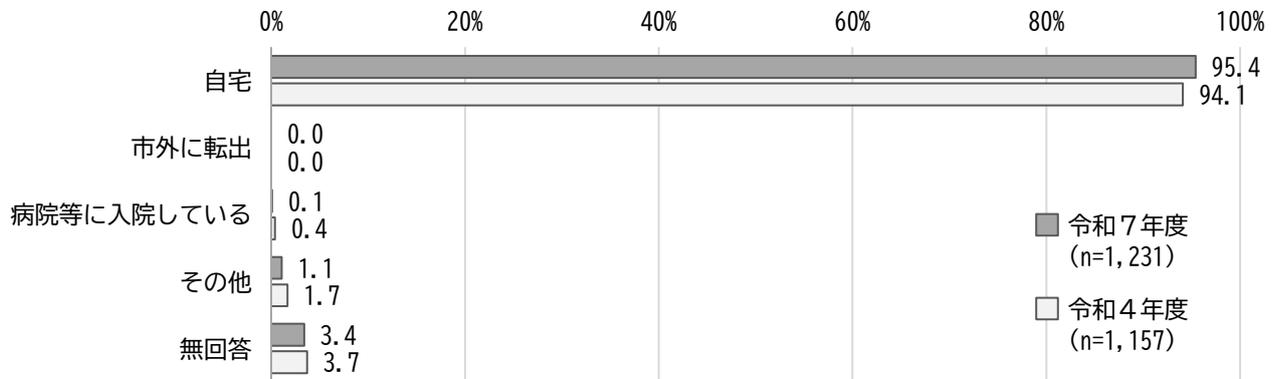
圏域	地域名	担当地域
北東圏域	きた圏域	梶野町、関野町、緑町、本町2～3丁目、桜町1・3丁目
南西圏域	みなみ圏域	前原町、本町6丁目、貫井南町
南東圏域	ひがし圏域	東町、中町、本町1丁目
北西圏域	にし圏域	本町4～5丁目、桜町2丁目、貫井北町



※ 調査の回答者について

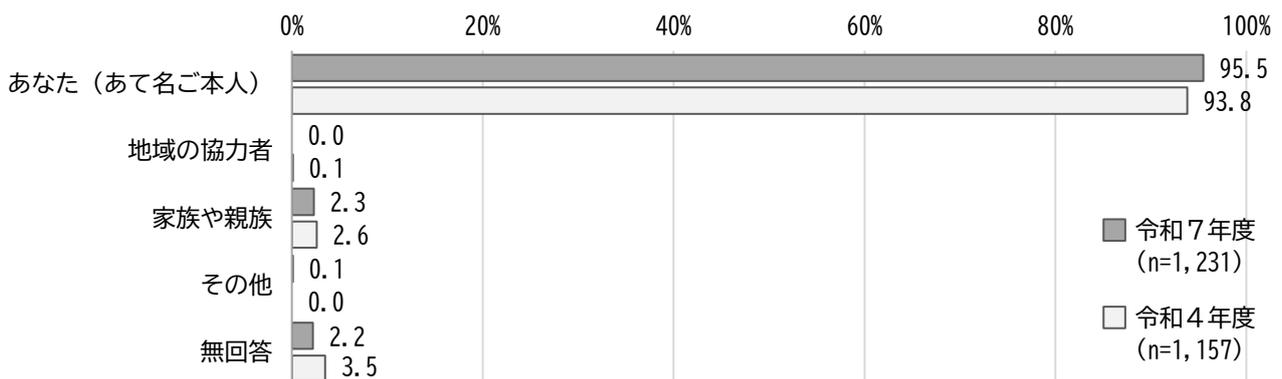
◆あなた（あて名ご本人）は現在どちらにいらっしゃいますか。（単数回答）

「自宅」が95.4%で最も高く、次いで、「その他」が1.1%、「病院等に入院している」が0.1%となっている。



◆この調査票はどなたがご記入されますか。（単数回答）

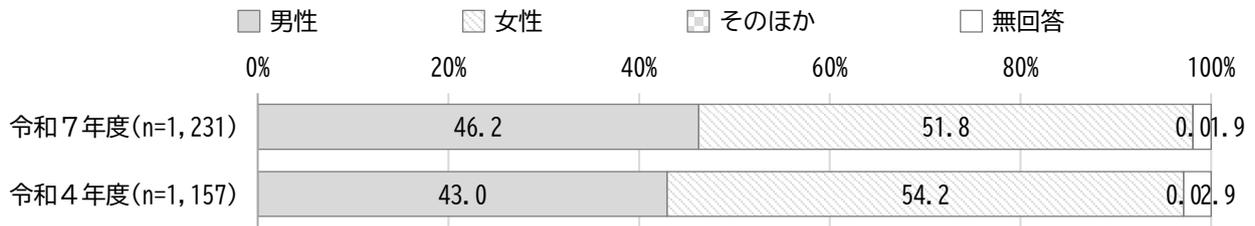
「あなた（あて名ご本人）」が95.5%で最も高く、次いで、「家族や親族」が2.3%、「その他」が0.1%となっている。



※ あなた（あて名ご本人）について

F 1 あなたの性別はどちらですか。（単数回答）

「男性」が46.2%、「女性」が51.8%であった。

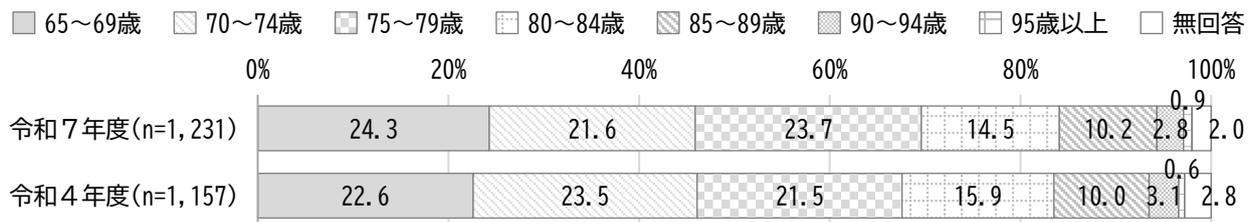


単位：%

	人数	男性 (%)	女性 (%)	そのほか (%)	無回答 (%)
全体	1,231	46.2	51.8	0.0	1.9
一人暮らし	246	38.6	61.0	0.0	0.4
夫婦二人暮らし	578	54.5	45.5	0.0	0.0
息子・娘との二世帯	157	39.5	60.5	0.0	0.0
その他	181	46.4	53.6	0.0	0.0

F 2 あなたの年齢は次のどれですか。（単数回答）

「65～69歳」が24.3%で最も高く、次いで、「75～79歳」が23.7%、「70～74歳」が21.6%となっている。



単位：%

	人数	65～69歳 (%)	70～74歳 (%)	75～79歳 (%)	80～84歳 (%)	85～89歳 (%)	90～94歳 (%)	95歳以上 (%)	無回答 (%)
全体	1,231	24.3	21.6	23.7	14.5	10.2	2.8	0.9	2.0
一人暮らし	246	23.2	17.1	22.4	17.5	12.6	5.3	1.6	0.4
夫婦二人暮らし	578	27.5	24.9	26.3	12.1	8.0	1.0	0.0	0.2
息子・娘との二世帯	157	16.6	17.2	21.7	20.4	17.8	3.8	2.5	0.0
その他	181	28.7	22.7	21.5	13.8	9.9	2.8	0.6	0.0
北東圏域	286	19.2	22.7	27.3	17.8	10.1	2.1	0.7	0.0
南西圏域	306	26.1	21.6	25.2	14.7	8.5	3.3	0.7	0.0
南東圏域	300	27.3	20.3	25.7	14.0	9.3	2.0	1.0	0.3
北西圏域	299	26.8	24.1	18.1	13.0	13.4	3.3	1.3	0.0

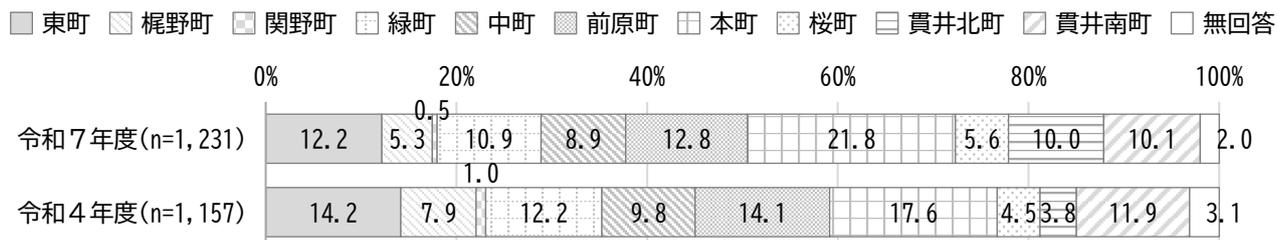
■年齢階層別の要介護リスク該当率

単位：%

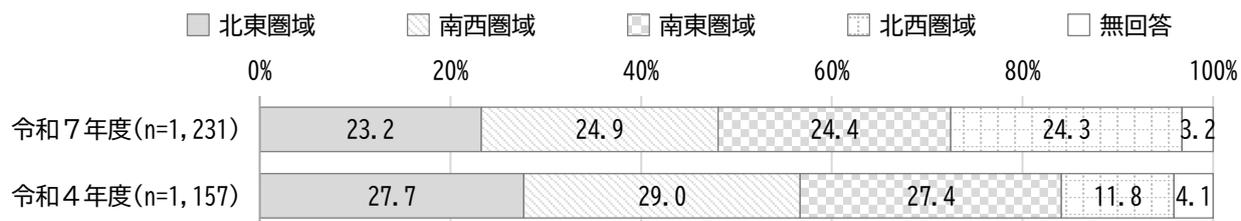
	人数	運動器機能 (%)	低栄養 (%)	咀嚼機能 (%)	うつ (%)	認知症 (%)	閉じこもり (%)	IADL 低下 (%)
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
65～69歳	299	4.0	6.4	15.7	41.5	33.4	5.7	0.7
70～74歳	266	6.8	6.8	17.7	42.5	35.7	10.2	1.5
75～79歳	292	7.9	12.0	24.3	44.2	37.3	11.3	0.7
80～84歳	179	11.7	10.6	27.4	38.5	42.5	15.1	2.8
85～89歳	125	28.8	12.8	36.8	50.4	54.4	20.8	6.4
90歳以上	45	40.0	11.1	53.3	53.3	55.6	40.0	17.7

F3 お住まいの町名はどこですか。(単数回答)

「本町」が21.8%で最も高く、次いで、「前原町」が12.8%、「東町」が12.2%となっている。



■日常生活圏域



単位：%

	人数	北東圏域	南西圏域	南東圏域	北西圏域	無回答
全体	1,231	23.2	24.9	24.4	24.3	3.2
男性 65～74 歳	284	19.7	23.9	26.8	28.9	0.7
男性 75～84 歳	222	25.7	26.1	26.1	21.2	0.9
男性 85 歳以上	63	19.0	20.6	22.2	33.3	4.8
女性 65～74 歳	281	22.8	27.8	23.8	24.9	0.7
女性 75～84 歳	249	28.9	25.7	24.5	18.5	2.4
女性 85 歳以上	107	23.4	23.4	21.5	30.8	0.9
一人暮らし	246	24.4	21.5	25.2	27.2	1.6
夫婦二人暮らし	578	23.4	27.5	25.4	22.3	1.4
息子・娘との二世帯	157	25.5	21.0	26.8	26.8	-
その他	181	22.7	26.5	22.7	26.0	2.2

■日常生活圏域別の要介護リスク該当率

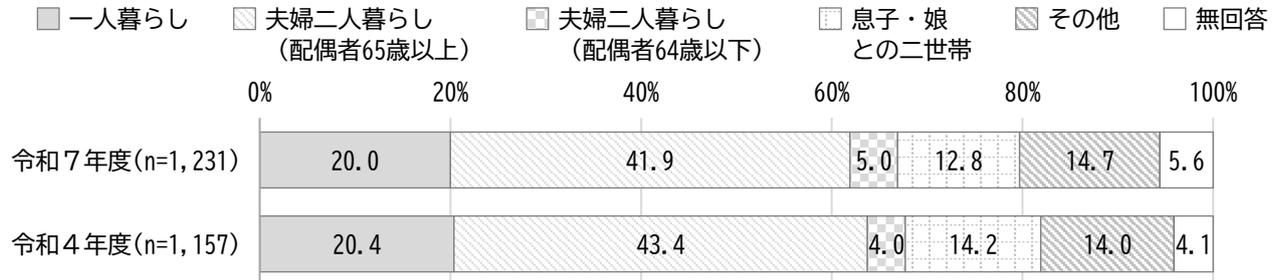
単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
北東圏域	286	8.7	10.1	23.8	44.4	38.1	12.9	1.4
南西圏域	306	9.5	8.2	20.9	46.1	35.9	11.4	1.6
南東圏域	300	10.7	10.7	20.7	36.3	40.3	12.0	2.7
北西圏域	299	13.4	8.4	26.8	46.2	41.5	12.7	4.0

問1 あなたのご家族や生活状況について

問1 (1) あなたの家族構成をお教えてください。(単数回答)

「夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)」が41.9%で最も高く、次いで、「一人暮らし」が20.0%、「その他」が14.7%となっている。



単位：%

	人数	一人暮らし	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との二世帯	その他	無回答
全体	1,231	20.0	41.9	5.0	12.8	14.7	5.6
男性 65～74歳	284	18.0	35.9	18.3	6.7	19.0	2.1
男性 75～84歳	222	14.9	58.1	0.5	13.1	10.8	2.7
男性 85歳以上	63	17.5	49.2	0.0	22.2	9.5	1.6
女性 65～74歳	281	17.1	49.8	3.2	12.1	13.9	3.9
女性 75～84歳	249	26.1	36.9	0.0	14.9	16.1	6.0
女性 85歳以上	107	34.6	19.6	0.0	22.4	16.8	6.5
北東圏域	286	21.0	42.7	4.5	14.0	14.3	3.5
南西圏域	306	17.3	47.4	4.6	10.8	15.7	4.2
南東圏域	300	20.7	42.7	6.3	14.0	13.7	2.7
北西圏域	299	22.4	37.8	5.4	14.0	15.7	4.7

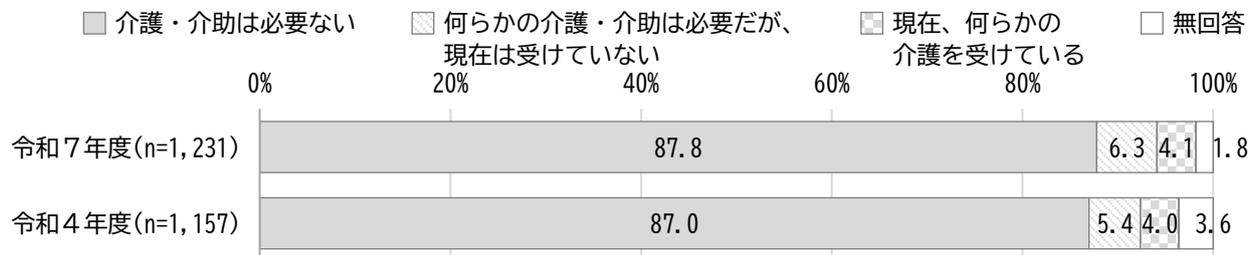
■家族構成別の要介護リスク該当率

単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
一人暮らし	246	16.3	10.2	28.0	48.8	40.7	13.4	2.4
夫婦二人暮らし	578	7.6	9.9	20.1	41.5	39.4	11.4	0.9
息子・娘との二世帯	157	15.9	6.4	28.0	45.2	42.0	14.0	7.0
その他	181	7.7	7.2	23.8	42.0	35.9	8.3	3.3

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(単数回答)

「介護・介助は必要ない」が87.8%で最も高く、次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が4.1%となっている。



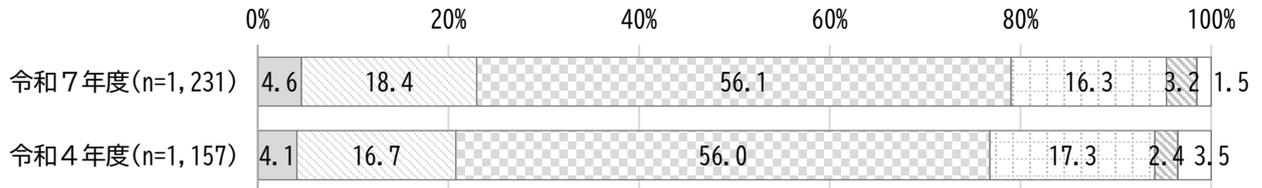
単位：%

	人数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体	1,231	87.8	6.3	4.1	1.8
男性 65～74 歳	284	94.7	2.5	2.5	0.4
男性 75～84 歳	222	94.6	0.5	4.1	0.9
男性 85 歳以上	63	68.3	14.3	12.7	4.8
女性 65～74 歳	281	94.3	3.2	1.1	1.4
女性 75～84 歳	249	86.7	7.6	2.8	2.8
女性 85 歳以上	107	56.1	24.3	15.9	3.7
一人暮らし	246	84.6	7.3	6.9	1.2
夫婦二人暮らし	578	91.5	4.5	2.9	1.0
息子・娘との二世帯	157	86.0	6.4	5.1	2.5
その他	181	86.7	5.5	3.9	3.9

問1（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（単数回答）

「ふつう」が56.1%で最も高く、次いで、「やや苦しい」が18.4%、「ややゆとりがある」が16.3%となっている。

■ 大変苦しい □ やや苦しい ■ ふつう □ ややゆとりがある ■ 大変ゆとりがある □ 無回答



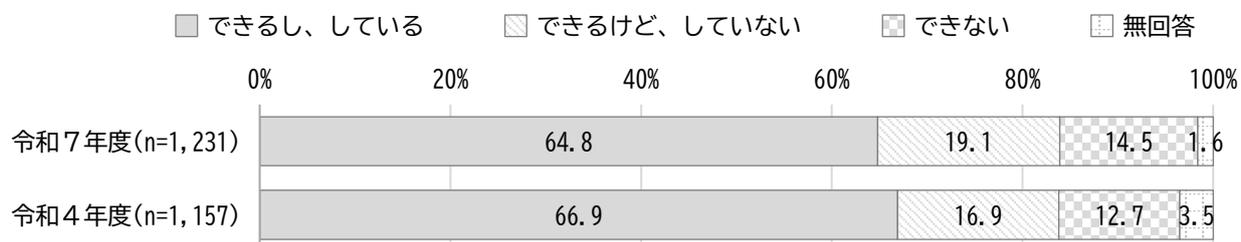
単位：%

	人数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	1,231	4.6	18.4	56.1	16.3	3.2	1.5
男性 65～74 歳	284	7.0	20.1	50.0	18.7	3.9	0.4
男性 75～84 歳	222	4.5	14.9	58.1	17.6	4.1	0.9
男性 85 歳以上	63	1.6	17.5	65.1	12.7	1.6	1.6
女性 65～74 歳	281	2.8	19.6	57.7	16.0	2.8	1.1
女性 75～84 歳	249	4.4	17.7	56.2	15.7	3.6	2.4
女性 85 歳以上	107	4.7	15.9	61.7	15.0	0.0	2.8
一人暮らし	246	7.3	19.1	57.7	11.8	3.3	0.8
夫婦二人暮らし	578	3.3	15.2	55.4	21.3	4.2	0.7
息子・娘との二世帯	157	5.1	17.8	59.2	14.0	1.9	1.9
その他	181	4.4	22.7	55.8	13.3	1.1	2.8
北東圏域	286	4.2	17.1	57.7	18.5	1.0	1.4
南西圏域	306	6.2	18.6	54.9	15.0	3.6	1.6
南東圏域	300	4.3	17.7	54.0	17.3	5.0	1.7
北西圏域	299	3.3	18.4	58.5	16.4	2.7	0.7

問2 からだを動かすことについて

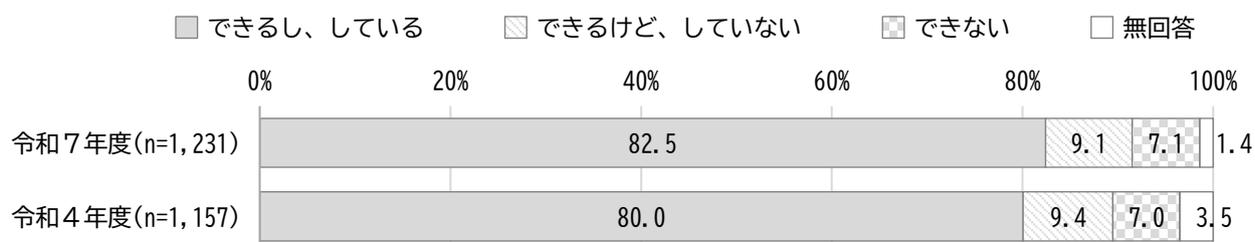
問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（単数回答）

「できるし、している」が64.8%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が19.1%、「できない」が14.5%となっている。



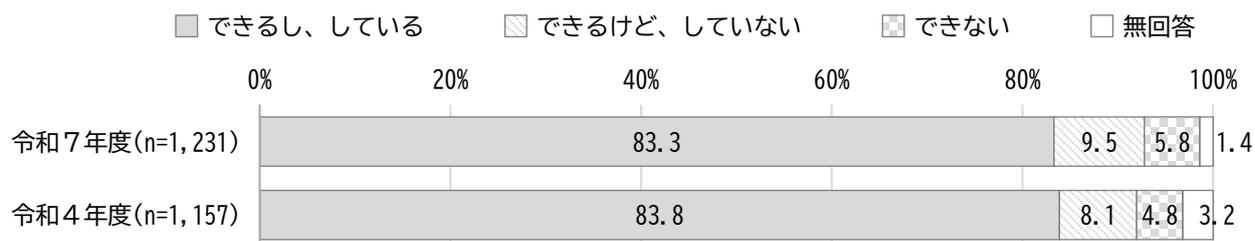
問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（単数回答）

「できるし、している」が82.5%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が9.1%、「できない」が7.1%となっている。



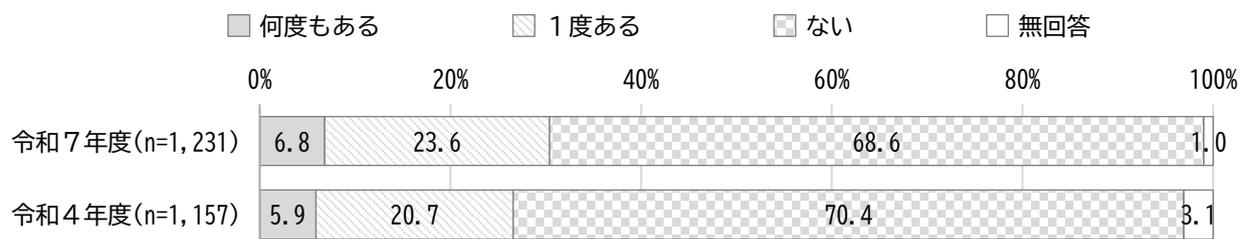
問2（3）15分位続けて歩いていますか。（単数回答）

「できるし、している」が83.3%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が9.5%、「できない」が5.8%となっている。



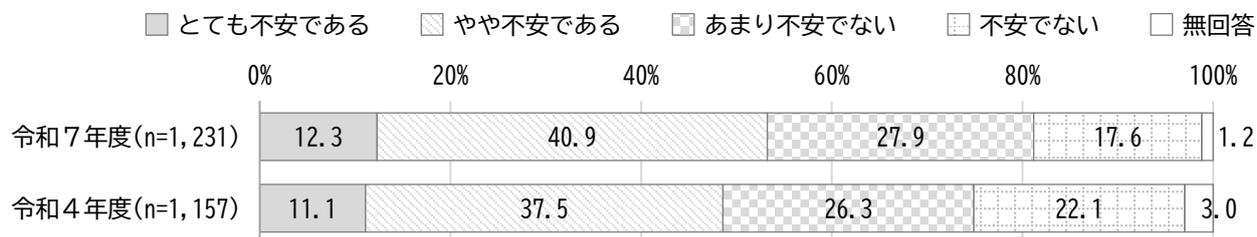
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。（単数回答）

「ない」が68.6%で最も高く、次いで、「1度ある」が23.6%、「何度もある」が6.8%となっている。



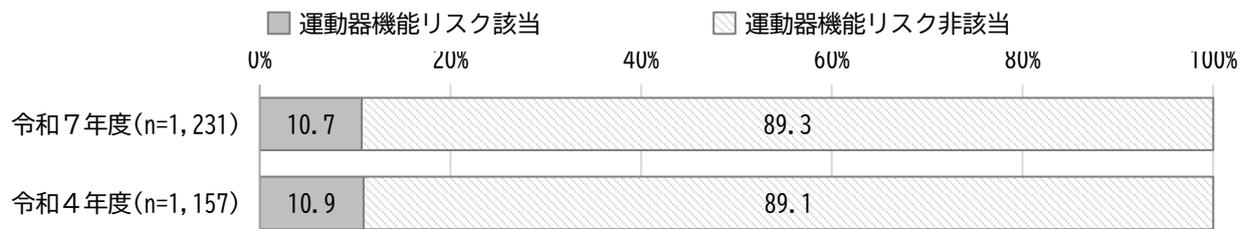
問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

「やや不安である」が40.9%で最も高く、次いで、「あまり不安でない」が27.9%、「不安でない」が17.6%となっている。



■運動器機能リスク

「階段を手すりや壁をつたわずに昇れない」「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない」「15分位続けて歩けない」「過去1年間に転んだ経験が1度以上ある」「転倒に対してとても/やや不安である」のうち3つ以上該当する運動器機能リスク該当は、10.7%であった。



単位：%

	人数	運動器機能リスク	階段を手すりや壁をつたわずに昇れない	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれない	15分位続けて歩けない	過去1年間に転んだ経験が1度以上ある	転倒に対してとても/やや不安である
全体	1,231	10.7	14.5	7.1	5.8	30.4	53.2
男性 65~74歳	284	4.9	7.0	1.4	3.2	26.1	41.6
男性 75~84歳	222	5.7	9.9	5.9	5.4	24.8	49.5
男性 85歳以上	63	9.0	39.7	20.6	23.8	41.3	66.7
女性 65~74歳	281	9.6	7.1	3.9	3.2	27.7	50.9
女性 75~84歳	249	34.9	17.3	7.2	4.4	32.1	56.6
女性 85歳以上	107	29.9	43.0	22.4	14.0	46.7	78.5
1人暮らし	246	16.3	21.5	11.0	7.7	37.0	62.6
夫婦2人暮らし	578	7.6	11.2	4.2	4.3	28.1	50.0
息子・娘との2世帯	157	15.9	19.7	12.7	10.8	29.3	52.9
その他	181	7.7	11.0	5.5	3.3	28.2	48.7

問2（6）週に1回以上は外出していますか。（単数回答）

「週5回以上」が44.3%で最も高く、次いで、「週2～4回」が42.2%、「週1回」が8.9%となっている。「ほとんど外出しない」「週1回」の閉じこもりリスク該当は、12.3%であった。

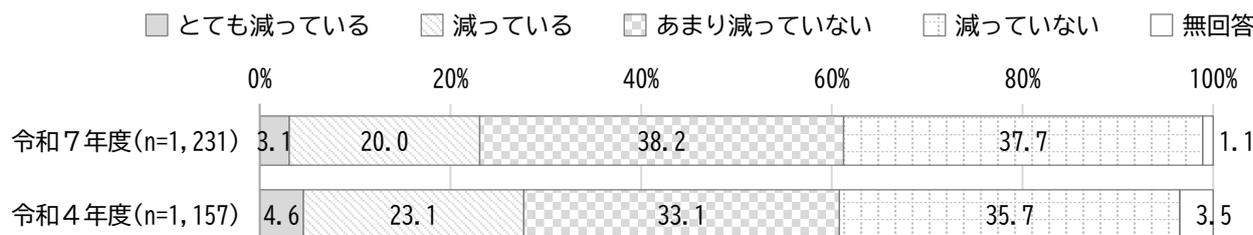


単位：%

	人数	閉じこもり リスク	ほとんど外 出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	1,231	12.3	3.4	8.9	42.2	44.3	1.1
男性 65～74 歳	284	10.2	3.2	7.0	29.6	59.9	0.4
男性 75～84 歳	222	11.7	1.8	9.9	46.8	41.0	0.5
男性 85 歳以上	63	25.4	14.3	11.1	41.3	31.7	1.6
女性 65～74 歳	281	5.3	0.7	4.6	39.5	54.1	1.1
女性 75～84 歳	249	13.6	3.6	10.0	49.0	35.3	2.0
女性 85 歳以上	107	26.2	8.4	17.8	55.1	16.8	1.9
一人暮らし	246	13.4	2.8	10.6	45.1	41.1	0.4
夫婦二人暮らし	578	11.4	3.1	8.3	40.5	47.1	1.0
息子・娘との二世帯	157	14.0	5.1	8.9	43.3	41.4	1.3
その他	181	8.3	3.9	4.4	43.6	46.4	1.7

問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（単数回答）

「あまり減っていない」が38.2%で最も高く、次いで、「減っていない」が37.7%、「減っている」が20.0%となっている。



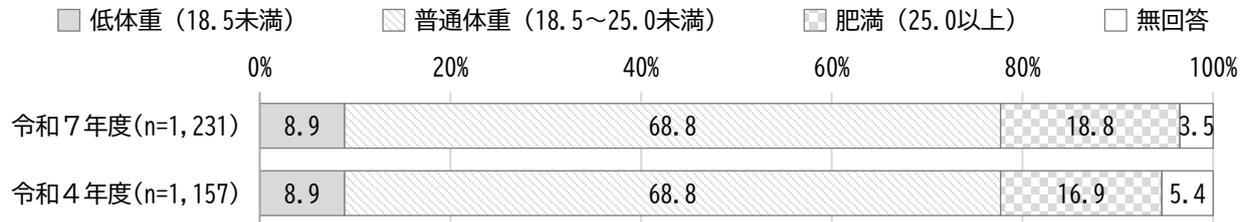
単位：%

	人数	とても減って いる	減っている	あまり減って いない	減っていない	無回答
全体	1,231	3.1	20.0	38.2	37.7	1.1
男性 65～74 歳	284	4.2	11.6	29.9	53.9	0.4
男性 75～84 歳	222	1.4	17.1	46.4	34.7	0.5
男性 85 歳以上	63	14.3	23.8	38.1	22.2	1.6
女性 65～74 歳	281	1.8	13.2	39.5	44.5	1.1
女性 75～84 歳	249	1.6	28.9	38.2	29.7	1.6
女性 85 歳以上	107	4.7	42.1	38.3	13.1	1.9
一人暮らし	246	5.7	22.8	38.2	32.9	0.4
夫婦二人暮らし	578	2.6	18.9	35.6	41.9	1.0
息子・娘との二世帯	157	2.5	24.8	39.5	31.8	1.3
その他	181	2.2	14.4	40.9	41.4	1.1

問3 食べることについて

問3 (1) BMI (数量回答)

「普通体重 (18.5~25.0未満)」が68.8%で最も高く、次いで、「肥満 (25.0以上)」が18.8%、「低体重 (18.5未満)」(低栄養リスク該当)が8.9%となっている。



単位：%

	人数	低体重 (18.5未満)	普通体重 (18.5~25.0未満)	肥満 (25.0以上)	無回答
全体	1,231	8.9	68.8	18.8	3.5
男性 65~74歳	284	1.8	67.3	29.9	1.1
男性 75~84歳	222	5.4	70.7	21.6	2.3
男性 85歳以上	63	9.5	71.4	12.7	6.3
女性 65~74歳	281	11.0	70.8	15.3	2.8
女性 75~84歳	249	15.7	65.5	13.7	5.2
女性 85歳以上	107	14.0	69.2	9.3	7.5
一人暮らし	246	9.8	65.9	20.3	4.1
夫婦二人暮らし	578	9.7	71.1	17.5	1.7
息子・娘との二世帯	157	6.4	67.5	20.4	5.7
その他	181	7.2	66.3	21.5	5.0
北東圏域	286	9.8	69.2	17.5	3.5
南西圏域	306	7.8	72.5	16.7	2.9
南東圏域	300	10.3	67.0	20.0	2.7
北西圏域	299	8.0	66.6	21.4	4.0

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(単数回答)

「はい」(咀嚼機能リスク該当)が23.6%、「いいえ」が74.2%であった。

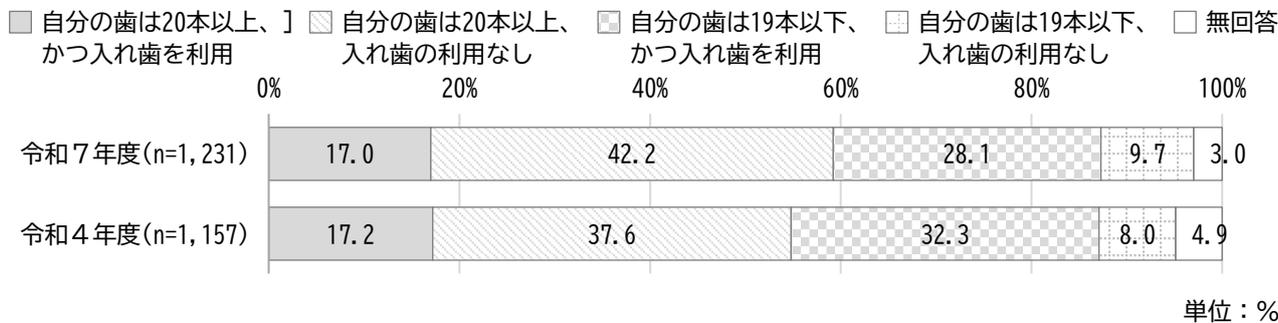


単位：%

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	1,231	23.6	74.2	2.2
男性 65~74歳	284	16.2	83.1	0.7
男性 75~84歳	222	23.9	75.2	0.9
男性 85歳以上	63	38.1	58.7	3.2
女性 65~74歳	281	17.1	81.5	1.4
女性 75~84歳	249	26.9	67.9	5.2
女性 85歳以上	107	43.0	55.1	1.9
一人暮らし	246	28.0	69.1	2.8
夫婦二人暮らし	578	20.1	78.5	1.4
息子・娘との二世帯	157	28.0	68.8	3.2
その他	181	23.8	73.5	2.8

問3 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(単数回答)

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 42.2%で最も高く、次いで、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 28.1%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 17.0%となっている。



	人数	自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし	無回答
全体	1,231	17.0	42.2	28.1	9.7	3.0
男性 65～74 歳	284	18.0	47.9	21.8	11.3	1.1
男性 75～84 歳	222	22.5	36.9	30.2	9.0	1.4
男性 85 歳以上	63	14.3	22.2	52.4	3.2	7.9
女性 65～74 歳	281	11.7	58.4	18.1	10.0	1.8
女性 75～84 歳	249	19.7	39.8	27.7	9.2	3.6
女性 85 歳以上	107	15.0	19.6	49.5	8.4	7.5
一人暮らし	246	15.4	40.2	28.9	12.6	2.8
夫婦二人暮らし	578	19.7	46.0	24.0	8.3	1.9
息子・娘との二世帯	157	15.9	35.0	33.8	9.6	5.7
その他	181	14.4	43.1	31.5	8.8	2.2

問3 (4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(単数回答)

「毎日ある」が60.4%で最も高く、次いで、「年に何度かある」が10.8%、「月に何度かある」が10.4%となっている。

■ 毎日ある □ 週に何度かある □ 月に何度かある □ 年に何度かある □ ほとんどない □ 無回答



単位：%

	人数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	1,231	60.4	9.8	10.4	10.8	6.8	1.8
男性 65～74 歳	284	61.6	12.3	5.6	8.8	10.9	0.7
男性 75～84 歳	222	64.9	7.7	9.5	9.9	8.1	0.0
男性 85 歳以上	63	50.8	1.6	9.5	15.9	17.5	4.8
女性 65～74 歳	281	69.4	11.0	7.8	7.1	2.5	2.1
女性 75～84 歳	249	57.8	9.6	14.9	10.8	3.6	3.2
女性 85 歳以上	107	38.3	11.2	21.5	23.4	4.7	0.9
一人暮らし	246	4.1	19.5	29.7	25.2	21.5	0.0
夫婦二人暮らし	578	77.7	6.1	5.7	5.7	3.3	1.6
息子・娘との二世帯	157	65.6	13.4	7.0	9.6	1.9	2.5
その他	181	75.1	6.1	5.0	7.7	3.3	2.8

■ 共食の頻度別の要介護リスク該当率

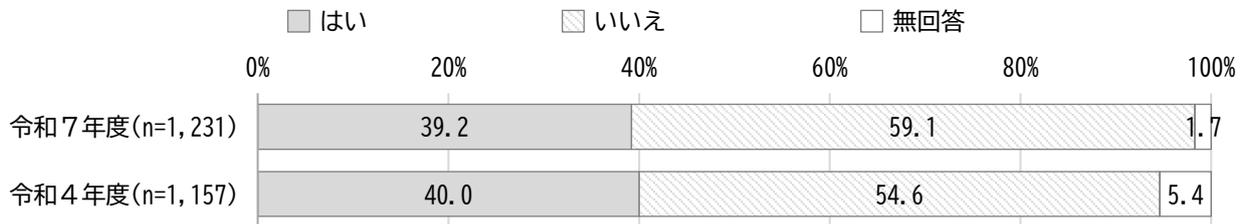
単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
毎日ある	743	7.3	8.7	20.6	41.2	38.1	10.5	2.2
週に何度かある	121	13.2	8.3	24.8	43.8	46.3	7.4	3.3
月に何度かある	128	15.6	10.2	22.7	35.9	39.8	10.9	3.1
年に何度かある	133	17.3	9.8	32.3	51.9	40.6	21.1	2.3
ほとんどない	84	20.2	13.1	39.3	58.3	39.3	25.0	3.6

問4 毎日の生活について

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

「はい」(認知機能リスク該当)が39.2%、「いいえ」が59.1%であった。



単位：%

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	1,231	39.2	59.1	1.7
男性 65～74 歳	284	32.4	67.3	0.4
男性 75～84 歳	222	41.0	58.6	0.5
男性 85 歳以上	63	50.8	47.6	1.6
女性 65～74 歳	281	36.7	61.9	1.4
女性 75～84 歳	249	37.8	59.4	2.8
女性 85 歳以上	107	57.0	39.3	3.7
一人暮らし	246	40.7	57.3	2.0
夫婦二人暮らし	578	39.4	59.5	1.0
息子・娘との二世帯	157	42.0	56.1	1.9
その他	181	35.9	61.9	2.2

問4 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(単数回答)

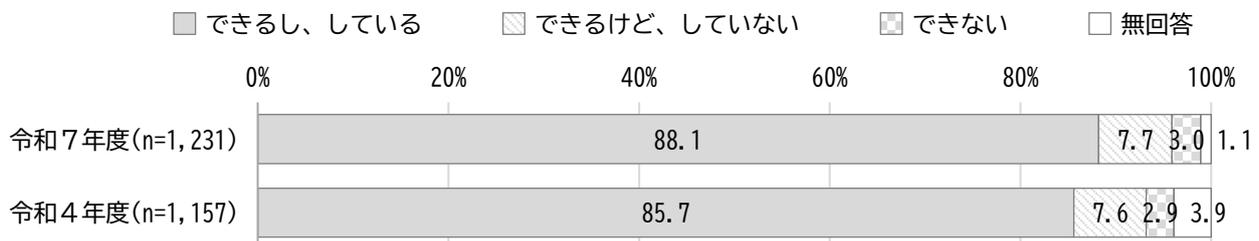
問4 (3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(単数回答)

問4 (4) 自分で食事の用意をしていますか。(単数回答)

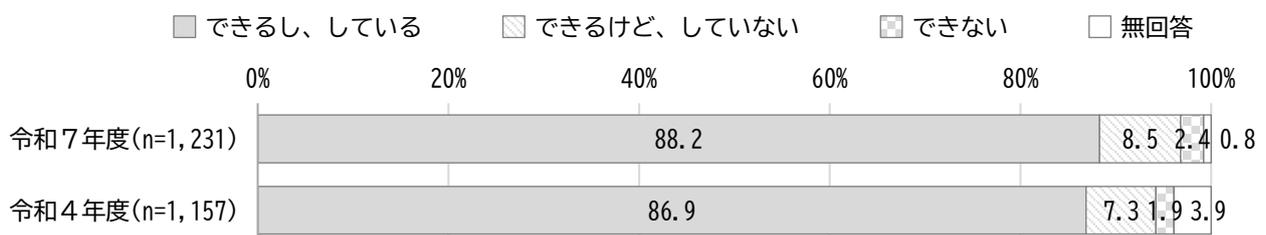
問4 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(単数回答)

問4 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(単数回答)

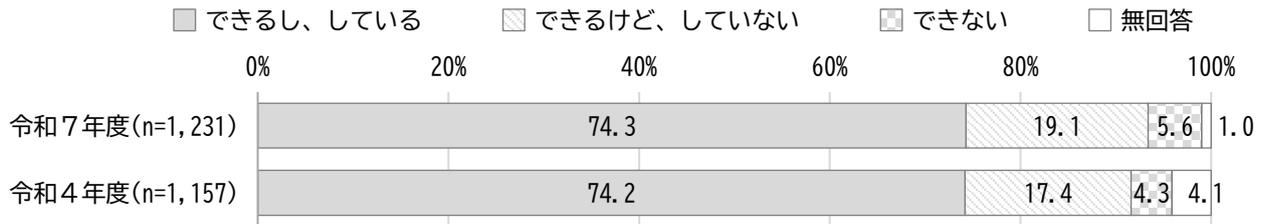
バスや電車を使った1人で外出を「できるし、している」が88.1%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が7.7%、「できない」が3.0%となっている。



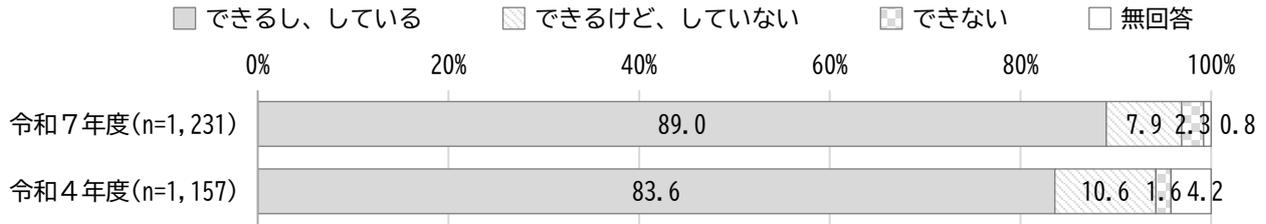
自分で食品・日用品の買物を「できるし、している」が88.2%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が8.5%、「できない」が2.4%となっている。



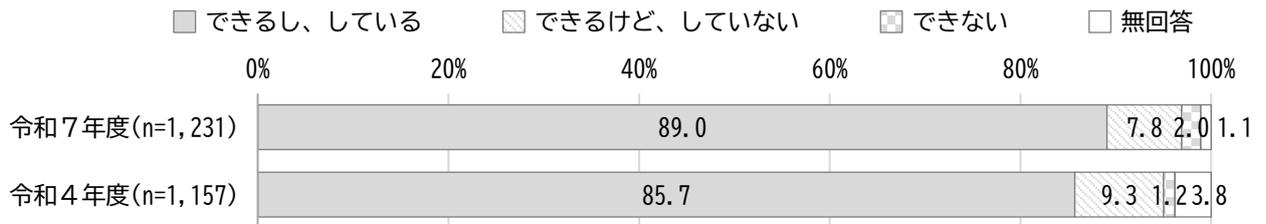
自分で食事の用意を「できるし、している」が74.3%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が19.1%、「できない」が5.6%となっている。



自分で請求書の支払いを「できるし、している」が89.0%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が7.9%、「できない」が2.3%となっている。

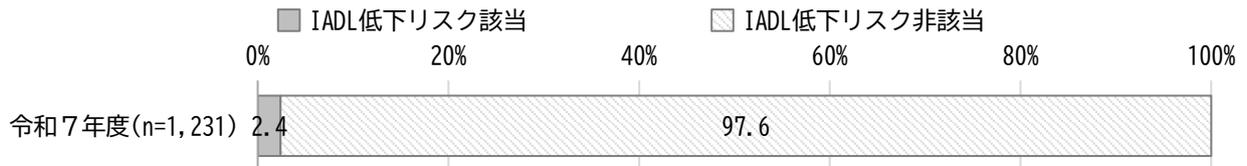


自分で預貯金の出し入れを「できるし、している」が89.0%で最も高く、次いで、「できるけど、していない」が7.8%、「できない」が2.0%となっている。



■ IADL（手段的日常生活動作能力）低下リスク

「1人で外出」「買物」「食事の用意」「請求書の支払」「預貯金の出納」について「できるし、している」か「できるけどしていない」が3つ以下の IADL リスク該当は、2.4%となっている。

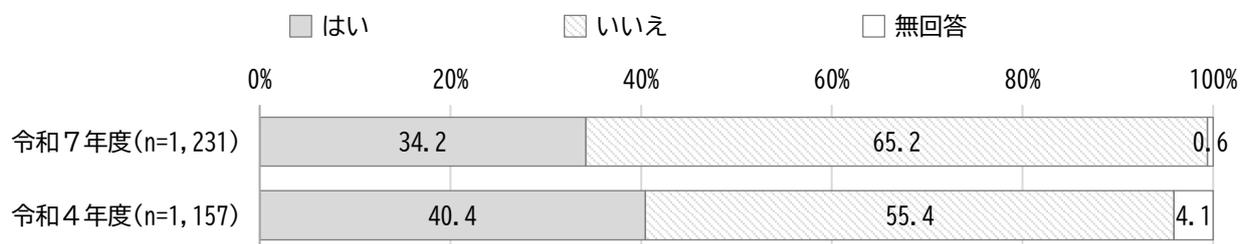


単位：%

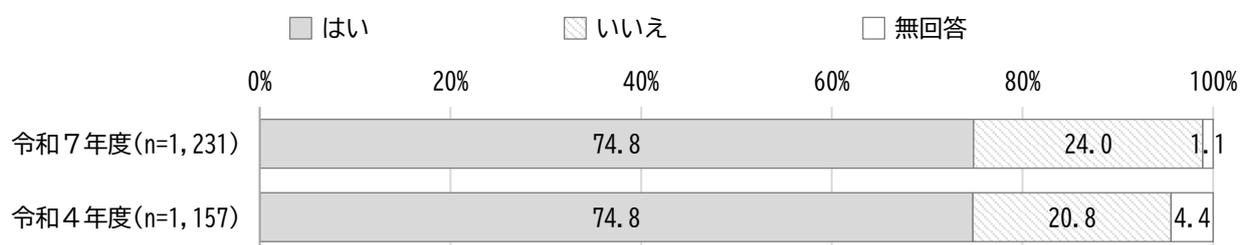
	人数	IADL 低下	1人で外出 できない	買物 できない	食事の用意 できない	請求書の支 払できない	預貯金出納 できない
全体	1,231	2.4	3.0	2.4	5.6	2.3	2.0
男性 65～74 歳	284	1.4	1.4	1.4	6.0	1.8	1.4
男性 75～84 歳	222	0.7	1.4	0.9	11.7	1.4	2.3
男性 85 歳以上	63	2.3	11.1	9.5	27.0	7.9	6.3
女性 65～74 歳	281	0.8	1.1	0.7	0.4	0.7	0.7
女性 75～84 歳	249	6.3	1.2	1.6	0.8	0.8	0.4
女性 85 歳以上	107	11.2	15.9	11.2	5.6	9.3	7.5
一人暮らし	246	2.4	2.0	2.4	2.4	0.8	1.2
夫婦二人暮らし	578	0.9	1.7	1.0	5.9	1.4	1.6
息子・娘との二世帯	157	7.0	7.6	5.7	10.8	6.4	4.5
その他	181	3.3	5.0	3.9	6.1	3.9	2.8

問4（7）友人の家を訪ねていますか。（単数回答）
 問4（8）家族や友人の相談にのっていますか。（単数回答）

友人の家を訪ねているかは「はい」が34.2%、「いいえ」が65.2%であった。



家族や友人の相談にのっているかは「はい」が74.8%、「いいえ」が24.0%であった。



単位：%

	人数	友人の家を訪ねている	いない	無回答	相談にのっている	いない	無回答
全体	1,231	34.2	65.2	0.6	74.8	24.0	1.1
男性 65～74 歳	284	25.7	73.6	0.7	74.3	25.4	0.4
男性 75～84 歳	222	26.6	73.4	0.0	71.6	27.5	0.9
男性 85 歳以上	63	12.7	87.3	0.0	66.7	33.3	0.0
女性 65～74 歳	281	46.3	53.0	0.7	83.6	15.3	1.1
女性 75～84 歳	249	45.8	53.8	0.4	81.1	17.7	1.2
女性 85 歳以上	107	28.0	70.1	1.9	55.1	42.1	2.8
一人暮らし	246	26.8	72.8	0.4	58.9	39.8	1.2
夫婦二人暮らし	578	36.5	63.0	0.5	81.1	18.0	0.9
息子・娘との二世帯	157	36.9	61.8	1.3	73.2	25.5	1.3
その他	181	34.3	65.2	0.6	79.0	19.9	1.1

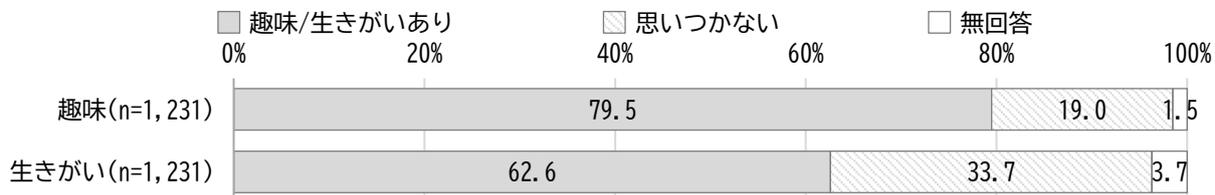
■友人の家を訪ねている、家族や友人の相談にのっている有無別の要介護リスク該当率 単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
友人の家を訪ねている	421	5.5	8.6	19.0	38.2	35.2	4.0	-
いない	802	13.5	9.6	26.2	45.8	41.4	16.8	3.7
相談にのっている	921	8.9	9.0	20.6	39.5	36.2	9.6	1.4
いない	296	16.2	9.8	32.8	55.1	48.3	21.6	5.7

問4 (9) 趣味はありますか。(単数回答)

問4 (10) 生きがいがありますか。(単数回答)

「趣味あり」が79.5%、「思いつかない」が19.0%であった。「生きがいあり」が62.6%、「思いつかない」が33.7%であった。



単位：%

	人数	趣味あり	思いつかない	無回答	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体	1,231	79.5	19.0	1.5	62.6	33.7	3.7
男性 65～74 歳	284	78.2	21.1	0.7	60.9	37.7	1.4
男性 75～84 歳	222	77.5	22.1	0.5	56.3	40.5	3.2
男性 85 歳以上	63	77.8	22.2	0.0	60.3	38.1	1.6
女性 65～74 歳	281	82.6	16.0	1.4	71.9	26.3	1.8
女性 75～84 歳	249	81.1	17.3	1.6	63.1	29.3	7.6
女性 85 歳以上	107	79.4	16.8	3.7	59.8	32.7	7.5
一人暮らし	246	77.2	22.4	0.4	55.7	40.2	4.1
夫婦二人暮らし	578	82.5	16.1	1.4	66.8	29.8	3.5
息子・娘との二世帯	157	79.6	19.1	1.3	61.8	33.8	4.5
その他	181	75.1	23.8	1.1	60.2	37.6	2.2

■趣味・生きがい有無別の要介護リスク該当率

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
趣味あり	979	9.5	9.3	20.8	39.9	37.8	10.3	1.7
思いつかない	234	16.2	7.7	34.2	56.8	44.9	21.4	5.6
生きがいあり	770	9.2	8.8	20.6	38.4	36.1	8.6	1.6
思いつかない	415	13.0	9.2	28.4	52.0	44.8	18.1	4.3

■趣味がある場合の具体的なことから

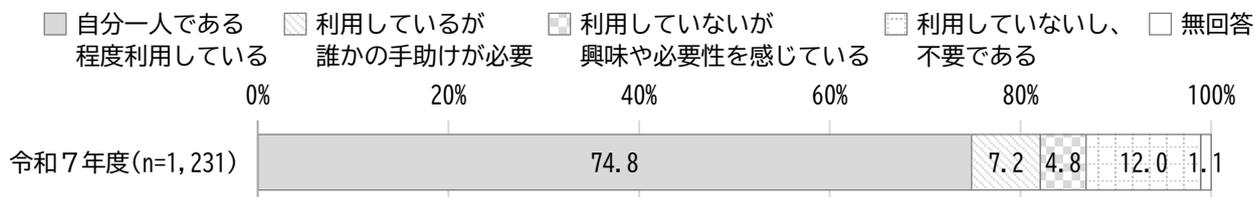
趣味	件数
スポーツ・レジャー	262
音楽	103
読書・勉強	100
ものづくり・手芸	79
芸術	73
園芸	64
ゲーム	51
アニメ・映画・ドラマなど	36
外出・旅行	22
ダンス	14
食	11
乗り物	9
ペット	6
ボランティア・イベント活動	4
推し活	3
その他	31

■生きがいがある場合の具体的なことから

生きがい	件数
家族・こども・孫	168
仕事	82
趣味	74
生活・生き方	53
スポーツ・レジャー	52
外出・旅行	35
健康	31
音楽	30
勉強・読書	23
ボランティア・社会貢献	22
人との交流	21
動物・ペット	13
創作	10
食	10
推し活	5
その他	11

問4 (11) スマートフォン (スマホ)、タブレット、パソコンを用いてインターネットを利用していますか。(単数回答)

「自分一人である程度利用している」が 74.8%、「利用しているが誰かの手助けが必要」が 7.2%、「利用していないが興味や必要性を感じている」が 4.8%、「利用していないし、不要である」が 12.0%であった。



単位：%

	人数	自分一人である程度利用している	利用しているが誰かの手助けが必要	利用していないが興味や必要性を感じている	利用していないし、不要である	無回答
全体	1,231	74.8	7.2	4.8	12.0	1.1
男性 65～74 歳	284	91.5	1.8	1.4	5.3	0.0
男性 75～84 歳	222	77.5	7.2	6.3	8.1	0.9
男性 85 歳以上	63	49.2	7.9	15.9	27.0	0.0
女性 65～74 歳	281	86.1	7.8	1.8	3.6	0.7
女性 75～84 歳	249	65.9	11.2	4.4	16.1	2.4
女性 85 歳以上	107	36.4	11.2	10.3	40.2	1.9
一人暮らし	246	70.3	4.9	7.7	17.1	0.0
夫婦二人暮らし	578	82.0	6.6	3.5	6.9	1.0
息子・娘との二世帯	157	66.9	11.5	3.2	16.6	1.9
その他	181	71.8	8.8	6.1	13.3	0.0

■インターネット利用状況別の要介護リスク該当率

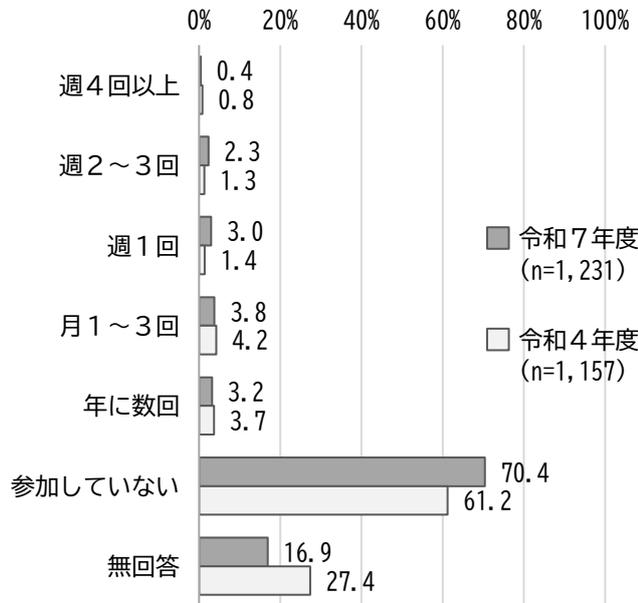
	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
自分一人である程度利用している	921	6.0	8.6	18.8	40.6	35.8	8.6	0.9
利用しているが誰かの手助けが必要	89	22.5	12.4	37.1	52.8	53.9	11.2	4.5
利用していないが興味や必要性を感じている	59	15.3	11.9	42.4	57.6	57.6	20.3	3.4
利用していないし、不要である	148	29.7	10.8	37.2	47.3	42.6	32.4	10.8

問5 地域での活動について

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(単数回答)

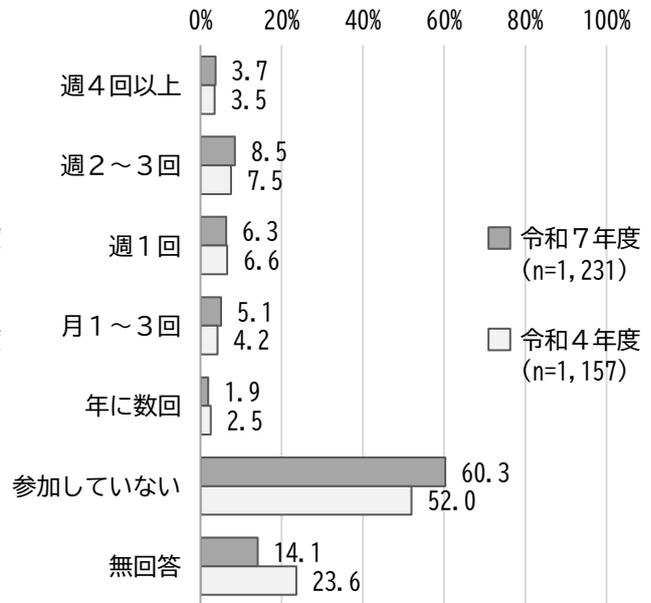
①ボランティアのグループ

「参加していない」が70.4%で最も高く、次いで、「月1～3回」が3.8%、「年に数回」が3.2%となっている。



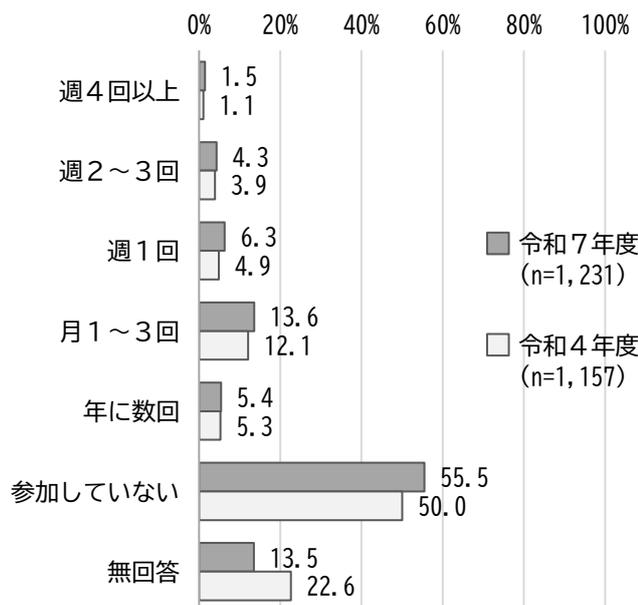
②スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」が60.3%で最も高く、次いで、「週2～3回」が8.5%、「週1回」が6.3%となっている。



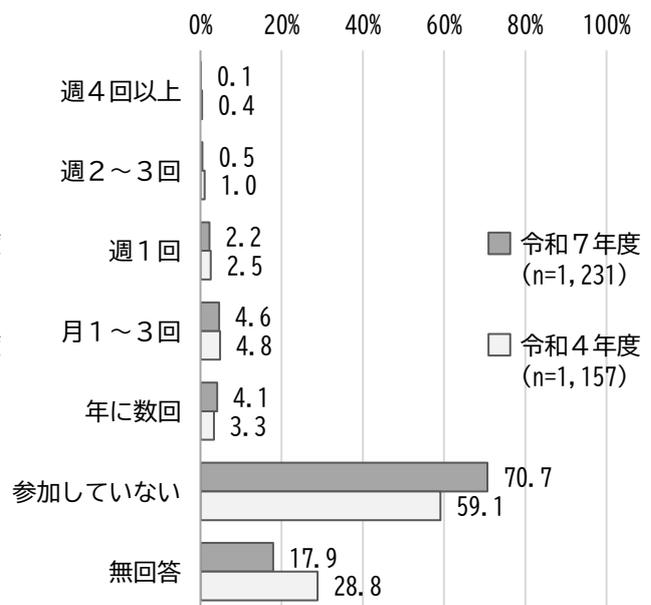
③趣味関係のグループ

「参加していない」が55.5%で最も高く、次いで、「月1～3回」が13.6%、「週1回」が6.3%となっている。



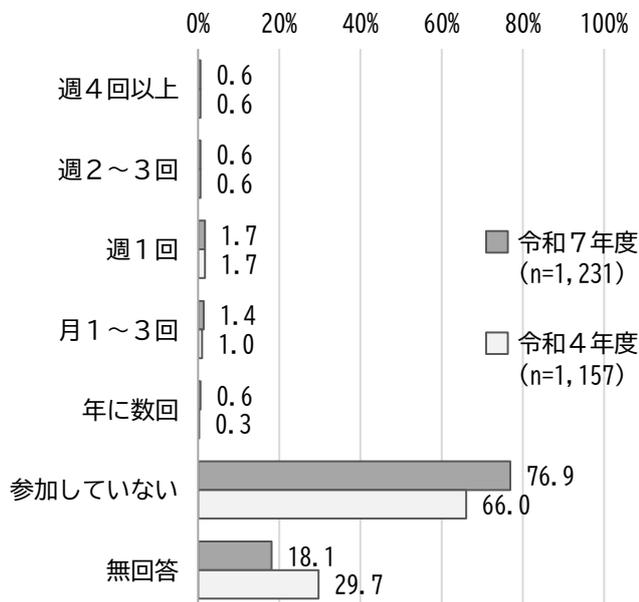
④学習・教養サークル

「参加していない」が70.7%で最も高く、次いで、「月1～3回」が4.6%、「年に数回」が4.1%となっている。



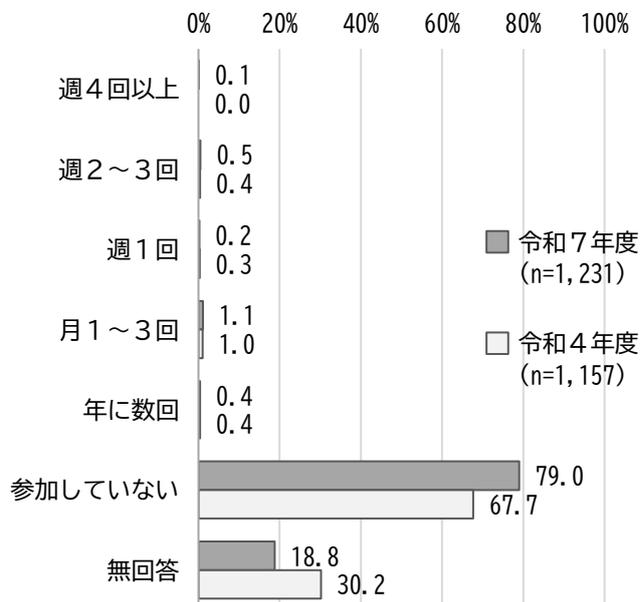
⑤さくら体操やサロン等の通いの場

「参加していない」が76.9%で最も高く、次いで、「週1回」が1.7%、「月1～3回」が1.4%となっている。



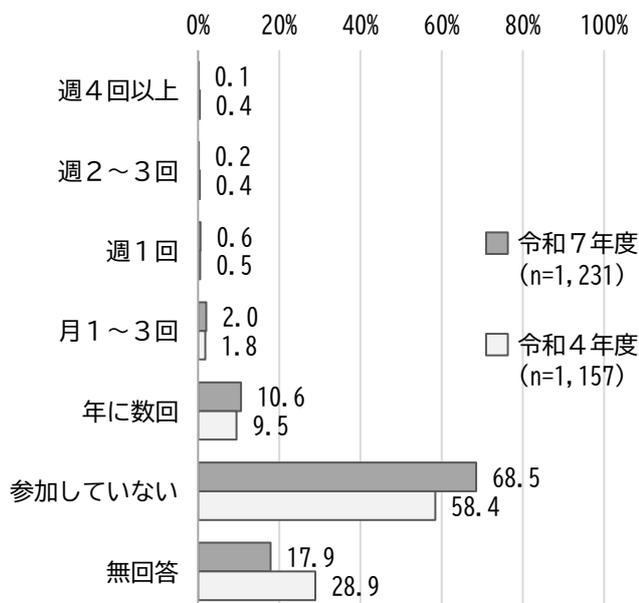
⑥老人クラブ

「参加していない」が79.0%で最も高く、次いで、「月1～3回」が1.1%、「週2～3回」が0.5%となっている。



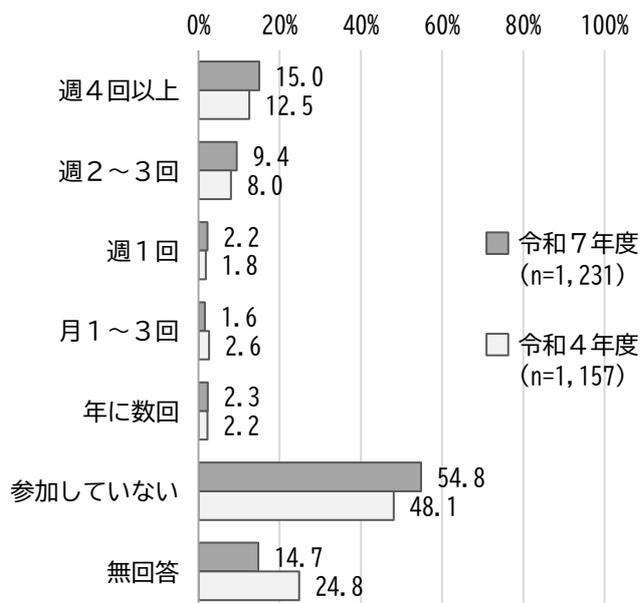
⑦町内会・自治会

「参加していない」が68.5%で最も高く、次いで、「年に数回」が10.6%、「月1～3回」が2.0%となっている。



⑧収入のある仕事

「参加していない」が54.8%で最も高く、次いで、「週4回以上」が15.0%、「週2～3回」が9.4%となっている。



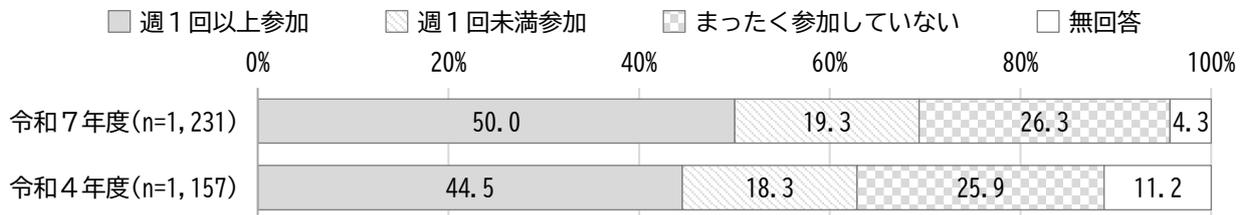
■地域活動①～⑧ 年に数回以上参加している活動

単位：%

	人数	ボランティア	スポーツ関係	趣味関係	学習・教養	通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	仕事
全体	1,231	12.7	25.5	31.1	11.5	4.9	2.3	13.5	30.5
男性 65～74 歳	284	8.6	20.8	27.8	9.1	1.8	0.8	12.8	51.1
男性 75～84 歳	222	17.6	23.5	34.3	11.3	2.3	3.2	13.7	28.5
男性 85 歳以上	63	9.6	22.3	22.2	6.4	8.0	4.8	8.0	12.8
女性 65～74 歳	281	13.2	34.2	35.8	15.3	4.7	0.0	17.5	40.8
女性 75～84 歳	249	13.6	25.6	31.3	11.6	8.4	2.0	14.0	14.8
女性 85 歳以上	107	8.5	20.5	24.3	11.2	9.4	7.5	6.5	0.9
一人暮らし	246	7.2	23.2	30.5	9.3	5.6	2.0	8.1	25.9
夫婦二人暮らし	578	14.8	25.7	31.8	12.4	3.2	1.7	15.0	32.3
息子・娘との二世帯	157	12.6	33.0	36.3	13.4	6.3	3.1	15.3	27.4
その他	181	13.4	25.4	26.5	12.2	7.9	2.9	14.4	34.9
北東圏域	286	9.4	25.4	29.0	10.0	2.3	0.6	11.1	27.2
南西圏域	306	11.4	27.8	31.7	10.5	3.7	4.0	14.0	29.1
南東圏域	300	15.4	29.3	34.3	11.6	5.0	1.3	14.4	36.0
北西圏域	299	13.3	19.7	29.2	13.7	8.0	2.3	15.1	30.4

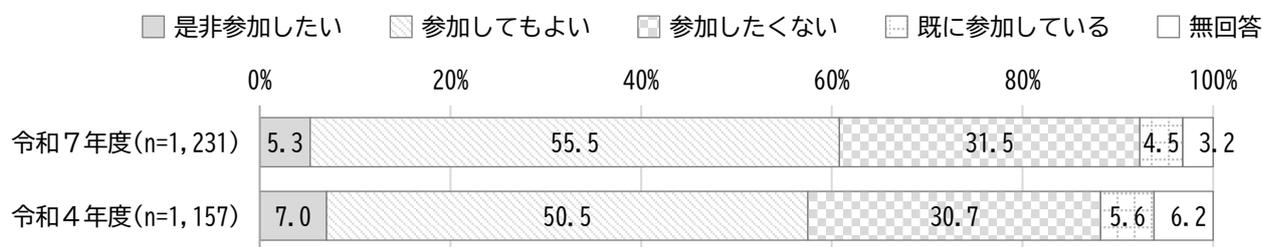
■地域活動①～⑧のいずれかの参加状況

「週1回以上参加」が50.0%で最も高く、次いで、「まったく参加していない」が26.3%、「週1回未満参加」が19.3%となっている。



問5（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

「参加してもよい」が55.5%で最も高く、次いで、「参加したくない」が31.5%、「是非参加したい」が5.3%となっている。



単位：%

	人数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	1,231	5.3	55.5	31.5	4.5	3.2
男性 65～74 歳	284	3.9	57.7	35.2	2.1	1.1
男性 75～84 歳	222	3.6	56.8	33.8	4.5	1.4
男性 85 歳以上	63	3.2	46.0	42.9	4.8	3.2
女性 65～74 歳	281	5.7	59.8	26.7	5.7	2.1
女性 75～84 歳	249	6.4	53.8	27.7	5.6	6.4
女性 85 歳以上	107	7.5	46.7	34.6	4.7	6.5
一人暮らし	246	7.3	54.1	31.7	3.7	3.3
夫婦二人暮らし	578	5.0	58.1	31.1	3.3	2.4
息子・娘との二世帯	157	5.1	52.2	30.6	5.7	6.4
その他	181	3.3	52.5	34.8	7.2	2.2
北東圏域	286	7.3	56.6	28.3	4.2	3.5
南西圏域	306	3.6	58.2	30.1	5.6	2.6
南東圏域	300	3.7	55.7	32.0	4.3	4.3
北西圏域	299	6.0	52.2	36.1	3.7	2.0

問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

「参加したくない」が 57.3%で最も高く、次いで、「参加してもよい」が 34.0%、「既に参加している」が 3.1%となっている。



単位：%

	人数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体	1,231	2.2	34.0	57.3	3.1	3.5
男性 65～74 歳	284	4.6	39.1	54.2	1.8	0.4
男性 75～84 歳	222	0.9	37.8	55.9	3.6	1.8
男性 85 歳以上	63	0.0	39.7	54.0	3.2	3.2
女性 65～74 歳	281	1.8	34.5	58.4	3.2	2.1
女性 75～84 歳	249	1.2	27.3	59.0	4.4	8.0
女性 85 歳以上	107	0.9	25.2	64.5	1.9	7.5
一人暮らし	246	2.8	30.1	61.4	2.4	3.3
夫婦二人暮らし	578	2.2	37.7	55.2	2.4	2.4
息子・娘との二世帯	157	1.3	32.5	56.7	4.5	5.1
その他	181	1.7	30.9	58.0	5.5	3.9
北東圏域	286	1.0	37.8	54.5	3.1	3.5
南西圏域	306	2.0	33.3	58.2	3.9	2.6
南東圏域	300	2.0	34.0	56.7	2.7	4.7
北西圏域	299	3.3	31.4	59.5	2.7	3.0

問6 たすけあいについて

問6（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（複数回答）

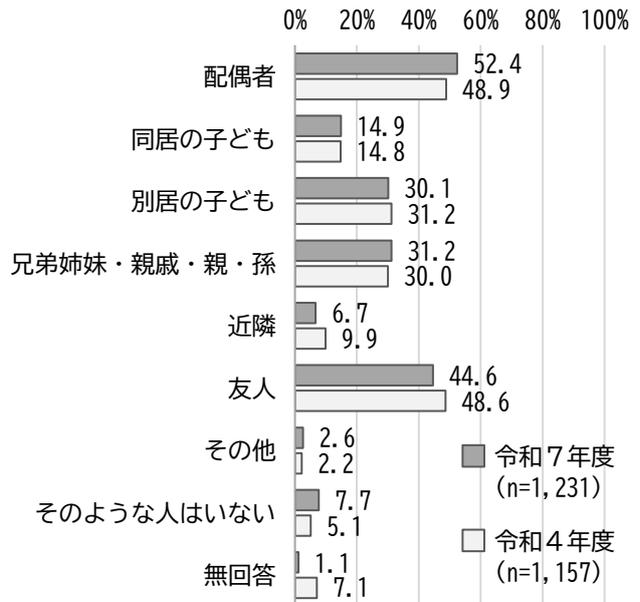
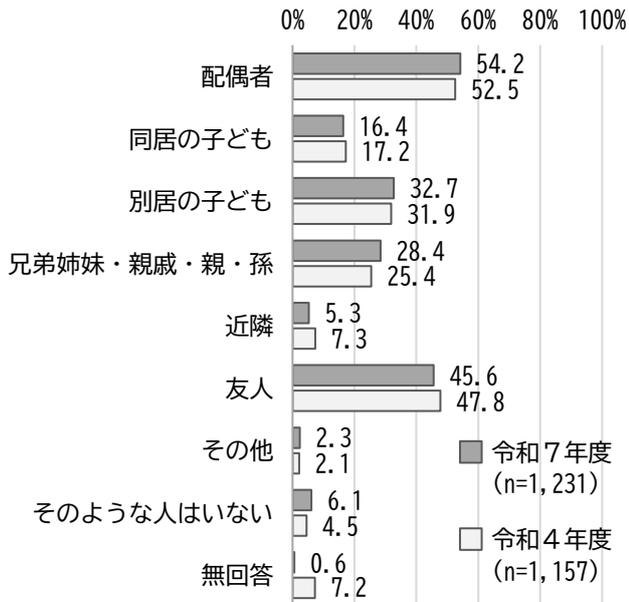
問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。（複数回答）

①情緒的支援者（受領）

「配偶者」が54.2%で最も高く、次いで、「友人」が45.6%、「別居の子ども」が32.7%となっている。

②情緒的支援者（授与）

「配偶者」が52.4%で最も高く、次いで、「友人」が44.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.2%となっている。



①情緒的支援者（受領）

単位：％

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,231	54.2	16.4	32.7	28.4	5.3	45.6	2.3	6.1	0.6
男性 65～74 歳	284	66.9	8.5	18.0	15.8	1.4	38.0	4.6	10.6	0.0
男性 75～84 歳	222	69.8	8.6	24.8	23.0	1.8	33.8	1.4	8.1	0.9
男性 85 歳以上	63	68.3	15.9	33.3	19.0	3.2	11.1	0.0	3.2	0.0
女性 65～74 歳	281	54.4	19.6	47.3	38.1	8.9	69.0	2.8	1.8	0.4
女性 75～84 歳	249	37.8	23.3	38.2	37.3	8.0	52.6	1.2	4.4	0.8
女性 85 歳以上	107	18.7	30.8	39.3	33.6	9.3	35.5	0.9	6.5	0.9
一人暮らし	246	2.4	0.4	35.8	34.1	10.2	48.8	2.4	16.7	1.2
夫婦二人暮らし	578	81.7	1.4	37.0	27.2	4.5	45.7	1.9	3.3	0.0
息子・娘との二世帯	157	46.5	51.0	20.4	29.3	3.8	44.6	1.3	3.8	1.3
その他	181	47.5	47.0	27.6	27.1	3.9	46.4	4.4	3.3	0.0

②情緒的支援者（授与）

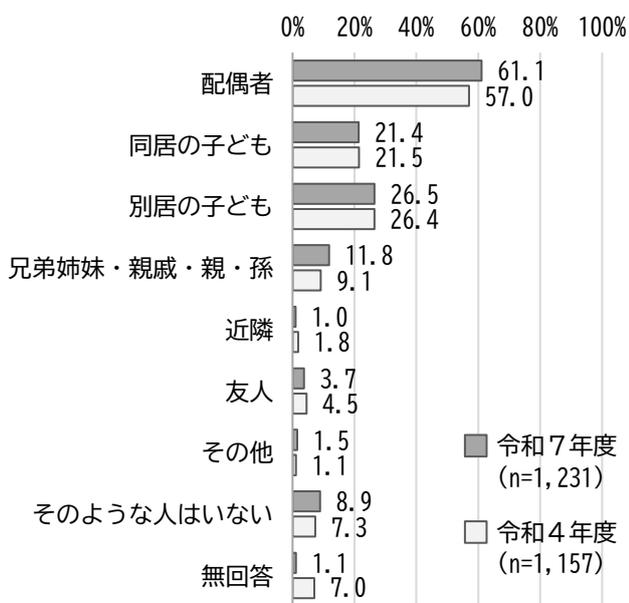
単位：％

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,231	52.4	14.9	30.1	31.2	6.7	44.6	2.6	7.7	1.1
男性 65～74 歳	284	67.3	9.9	22.5	21.5	1.1	35.9	4.9	9.5	0.0
男性 75～84 歳	222	69.4	8.6	23.4	26.1	5.4	31.5	1.8	9.5	0.9
男性 85 歳以上	63	66.7	7.9	30.2	15.9	1.6	12.7	3.2	9.5	1.6
女性 65～74 歳	281	52.0	19.2	44.8	38.8	10.3	71.2	2.5	2.8	0.0
女性 75～84 歳	249	35.3	21.3	31.3	41.0	11.6	49.0	0.8	6.0	1.6
女性 85 歳以上	107	12.1	20.6	24.3	36.4	7.5	38.3	1.9	13.1	4.7
一人暮らし	246	2.4	0.8	29.7	34.6	8.1	49.6	2.4	17.9	2.0
夫婦二人暮らし	578	78.4	1.6	35.5	30.3	7.1	44.6	2.8	4.7	0.0
息子・娘との二世帯	157	46.5	45.9	19.1	32.5	4.5	44.6	0.6	6.4	3.2
その他	181	47.0	44.2	25.4	29.3	5.5	43.6	3.9	4.4	1.1

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
 問6 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(複数回答)

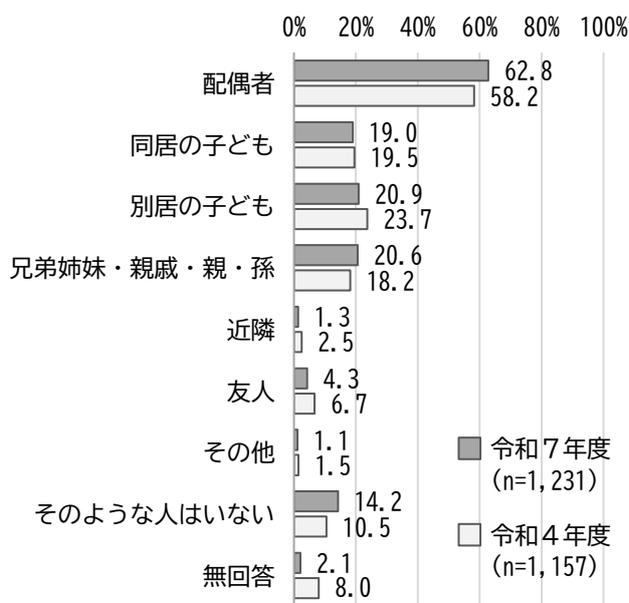
③手段的支援者(受領)

「配偶者」が61.1%で最も高く、次いで、「別居の子ども」が26.5%、「同居の子ども」が21.4%となっている。



④手段的支援者(授与)

「配偶者」が62.8%で最も高く、次いで、「別居の子ども」が20.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が20.6%となっている。



③手段的支援者（受領）

単位：％

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,231	61.1	21.4	26.5	11.8	1.0	3.7	1.5	8.9	1.1
男性 65～74 歳	284	74.6	10.2	11.3	7.7	0.4	1.8	2.1	12.3	0.7
男性 75～84 歳	222	77.9	14.9	20.3	9.0	0.5	1.8	0.9	5.4	0.5
男性 85 歳以上	63	66.7	22.2	25.4	14.3	0.0	0.0	1.6	6.3	0.0
女性 65～74 歳	281	63.7	24.2	31.0	11.4	1.4	6.8	1.4	8.9	0.7
女性 75～84 歳	249	45.0	30.1	36.1	18.9	2.0	5.2	1.6	7.6	1.6
女性 85 歳以上	107	18.7	38.3	46.7	12.1	0.9	1.9	0.9	11.2	2.8
一人暮らし	246	2.8	0.4	37.4	24.0	2.8	8.5	2.8	31.7	3.3
夫婦二人暮らし	578	92.4	2.2	27.5	8.1	0.5	2.8	0.5	2.9	0.2
息子・娘との二世帯	157	51.6	75.2	17.8	6.4	0.0	0.6	0.6	0.6	1.3
その他	181	51.9	54.1	18.8	13.3	1.1	2.2	3.3	5.5	0.6

④手段的支援者（授与）

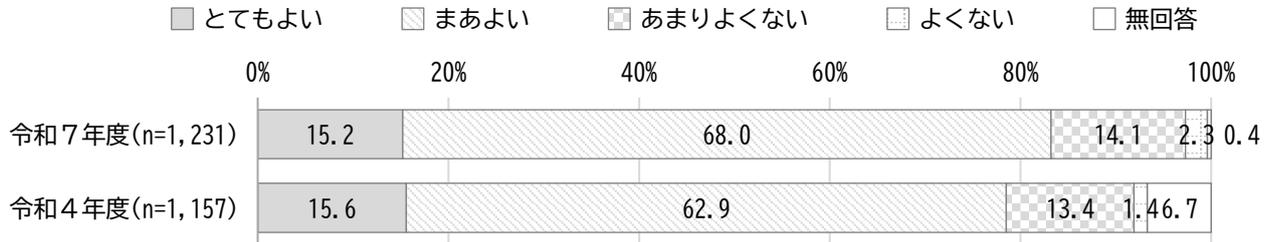
単位：％

	人数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,231	62.8	19.0	20.9	20.6	1.3	4.3	1.1	14.2	2.1
男性 65～74 歳	284	72.2	14.8	11.6	16.5	0.0	1.8	1.1	15.1	1.4
男性 75～84 歳	222	74.3	12.6	16.7	14.0	0.9	2.7	0.5	14.0	2.7
男性 85 歳以上	63	68.3	12.7	9.5	9.5	0.0	0.0	1.6	17.5	1.6
女性 65～74 歳	281	69.0	23.1	36.7	30.6	2.5	6.8	1.1	8.2	0.7
女性 75～84 歳	249	49.8	24.9	19.7	25.7	2.8	5.6	1.2	13.3	2.8
女性 85 歳以上	107	27.1	24.3	23.4	14.0	0.0	6.5	1.9	29.0	4.7
一人暮らし	246	3.7	0.8	22.8	29.3	2.4	8.1	1.6	45.1	4.5
夫婦二人暮らし	578	93.8	1.9	23.7	19.2	1.0	3.5	0.5	4.3	0.9
息子・娘との二世帯	157	53.5	62.4	15.9	14.0	0.0	3.8	0.6	8.9	2.5
その他	181	54.1	53.0	14.9	21.0	1.1	2.8	2.2	11.0	1.7

問7 健康について

問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（単数回答）

「まあよい」が68.0%で最も高く、次いで、「とてもよい」が15.2%、「あまりよくない」が14.1%となっている。



単位：%

	人数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	1,231	15.2	68.0	14.1	2.3	0.4
男性 65～74 歳	284	17.6	68.7	10.6	3.2	0.0
男性 75～84 歳	222	11.3	71.6	14.4	1.8	0.9
男性 85 歳以上	63	6.3	54.0	28.6	9.5	1.6
女性 65～74 歳	281	23.5	68.0	8.2	0.4	0.0
女性 75～84 歳	249	14.1	68.7	16.1	1.2	0.0
女性 85 歳以上	107	4.7	65.4	24.3	4.7	0.9
一人暮らし	246	13.4	62.2	19.5	4.1	0.8
夫婦二人暮らし	578	16.3	69.9	12.1	1.6	0.2
息子・娘との二世帯	157	14.0	68.8	14.6	1.9	0.6
その他	181	16.0	68.5	12.7	2.8	0.0

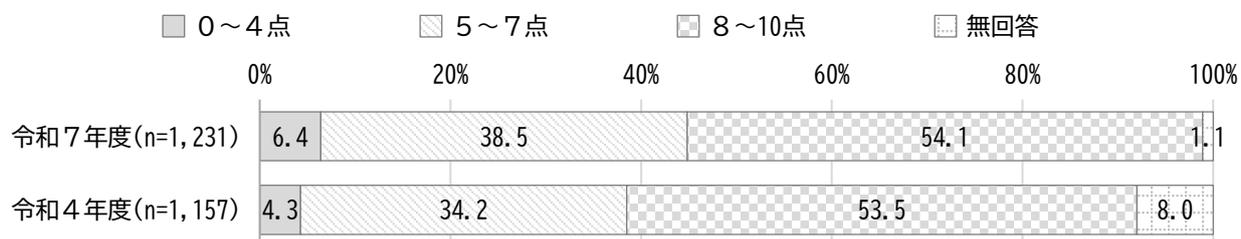
■主観的健康観別の要介護リスク該当率

単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
とてもよい	187	1.6	7.0	7.0	19.8	18.7	5.3	0.5
まあよい	837	7.4	9.0	21.6	41.3	39.5	10.4	1.3
あまりよくない	174	29.9	13.2	46.6	71.3	57.5	23.0	8.0
よくない	28	50.0	10.7	50.0	78.6	53.6	53.6	14.3

問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

「0～4点」が6.4%、「5～7点」が38.5%、「8～10点」が54.1%となっている。



単位：%

	人数	0～4点	5～7点	8～10点	無回答
全体	1,231	6.4	38.5	54.1	1.1
男性 65～74 歳	284	8.6	40.8	50.4	0.4
男性 75～84 歳	222	7.3	44.6	46.4	1.8
男性 85 歳以上	63	11.1	44.4	42.8	1.6
女性 65～74 歳	281	7.1	30.9	61.6	0.4
女性 75～84 歳	249	2.4	37.0	59.4	1.2
女性 85 歳以上	107	2.8	36.4	58.0	2.8
一人暮らし	246	11.4	42.3	43.9	2.4
夫婦二人暮らし	578	4.7	34.3	60.4	0.7
息子・娘との二世帯	157	5.1	42.0	51.6	1.3
その他	181	5.5	43.1	50.8	0.6

単位：%

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和7年度	1,231	0.5	0.4	0.6	2.5	2.4	15.4	7.4	15.7	28.6	11.4	14.1	1.1
令和4年度	1,157	0.3	0.1	0.4	1.8	1.7	12.7	7.4	14.1	26.7	13.1	13.7	8.0

■主観的幸福感別の要介護リスク該当率

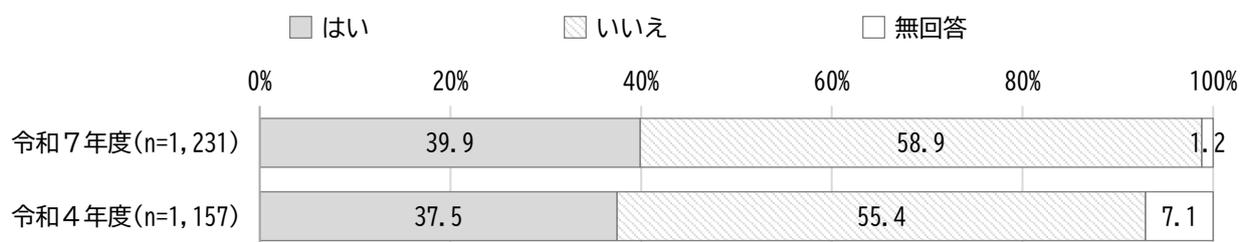
単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
0～4点	78	25.6	7.7	44.9	82.1	65.4	19.2	5.1
5～7点	474	12.9	9.1	24.3	55.1	43.2	15.2	2.7
8～10点	665	6.9	9.5	20.2	29.9	33.2	9.6	2.0

問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(単数回答)

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(単数回答)

ゆううつな気持ちになったことは、「はい」が39.9%、「いいえ」が58.9%であった。



楽しめないことがあったことは、「はい」が21.2%、「いいえ」が77.1%であった。

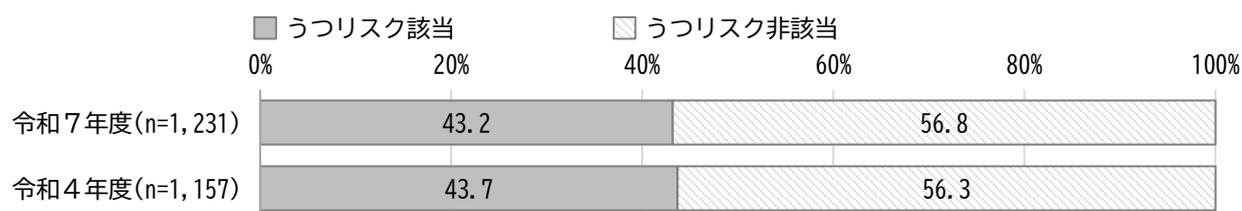


単位：%

	人数	うつリスク	ゆううつな気持ちがあった	なかった	無回答	楽しめないことがあった	なかった	無回答
全体	1,231	43.2	39.9	58.9	1.2	21.2	77.1	1.7
男性 65～74 歳	284	36.6	33.1	66.2	0.7	17.6	81.0	1.4
男性 75～84 歳	222	47.3	38.3	60.8	0.9	19.8	78.8	1.4
男性 85 歳以上	63	42.3	38.1	60.3	1.6	34.9	63.5	1.6
女性 65～74 歳	281	41.8	47.0	52.7	0.4	19.2	80.4	0.4
女性 75～84 歳	249	46.0	38.6	59.4	2.0	20.1	77.5	2.4
女性 85 歳以上	107	54.2	47.7	48.6	3.7	32.7	61.7	5.6
一人暮らし	246	48.8	43.9	54.1	2.0	29.3	67.9	2.8
夫婦二人暮らし	578	41.5	38.1	61.1	0.9	19.0	79.8	1.2
息子・娘との二世帯	157	45.2	45.2	53.5	1.3	19.7	77.7	2.5
その他	181	42.0	38.1	60.8	1.1	17.7	81.8	0.6

■うつリスク

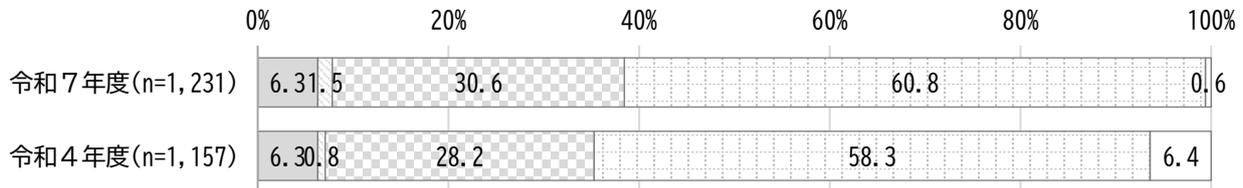
「ゆううつな気持ちになることがある」「楽しめない感じがある」のいずれか1つ以上に該当するうつリスク該当は、43.2%であった。



問7 (5) タバコは吸っていますか。(単数回答)

「もともと吸っていない」が60.8%で最も高く、次いで、「吸っていたがやめた」が30.6%、「ほぼ毎日吸っている」が6.3%となっている。

ほぼ毎日吸っている
 時々吸っている
 吸っていたがやめた
 もともと吸っていない
 無回答

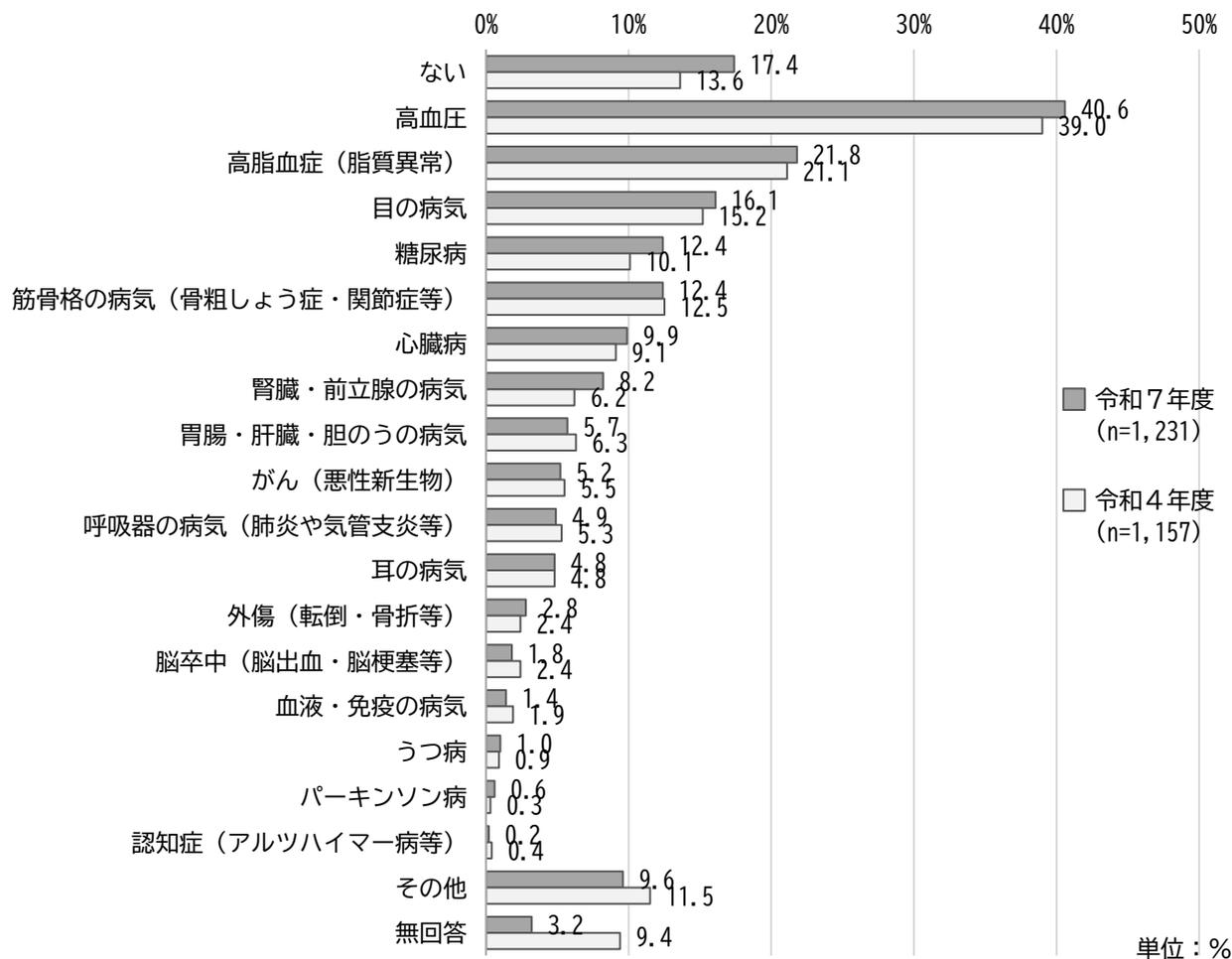


単位：%

	人数	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体	1,231	6.3	1.5	30.6	60.8	0.6
男性 65～74 歳	284	13.0	1.4	50.4	34.9	0.4
男性 75～84 歳	222	9.5	2.3	54.5	33.3	0.5
男性 85 歳以上	63	6.3	3.2	50.8	36.5	3.2
女性 65～74 歳	281	3.9	1.4	14.9	79.4	0.4
女性 75～84 歳	249	1.2	1.2	9.2	88.4	0.0
女性 85 歳以上	107	0.9	0.0	6.5	89.7	2.8
一人暮らし	246	6.9	2.0	27.2	62.2	1.6
夫婦二人暮らし	578	6.9	1.0	33.6	57.8	0.7
息子・娘との二世帯	157	3.2	2.5	28.7	65.6	0.0
その他	181	6.6	1.7	28.2	63.5	0.0

問7(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

「高血圧」が40.6%で最も高く、次いで、「高脂血症(脂質異常)」が21.8%、「ない」が17.4%となっている。



	人数	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気
全体	1,231	17.4	40.6	1.8	9.9	12.4	21.8	4.9	5.7	8.2	12.4
男性 65～74歳	284	20.1	42.6	1.1	11.3	17.3	22.5	3.2	4.6	12.3	3.5
男性 75～84歳	222	14.4	45.5	2.7	14.9	18.9	18.0	4.1	6.8	16.2	5.4
男性 85歳以上	63	9.5	54.0	3.2	27.0	15.9	17.5	6.3	4.8	31.7	7.9
女性 65～74歳	281	25.3	27.0	1.1	2.1	6.4	23.5	5.3	4.6	0.7	14.6
女性 75～84歳	249	14.5	39.4	2.0	5.6	8.0	22.5	5.2	7.6	0.0	22.5
女性 85歳以上	107	8.4	57.9	1.9	13.1	9.3	23.4	6.5	5.6	2.8	25.2

	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	2.8	5.2	1.4	1.0	0.2	0.6	16.1	4.8	9.6	3.2
男性 65～74歳	0.7	4.2	1.1	1.1	0.0	0.4	13.4	1.8	12.0	1.1
男性 75～84歳	1.8	9.0	0.5	1.4	0.5	1.8	18.0	8.6	8.6	2.3
男性 85歳以上	1.6	3.2	4.8	0.0	0.0	1.6	14.3	12.7	9.5	3.2
女性 65～74歳	3.6	2.8	0.4	1.1	0.0	0.4	13.2	1.4	11.0	3.9
女性 75～84歳	3.6	6.4	2.0	1.2	0.4	0.4	18.1	3.6	6.0	6.4
女性 85歳以上	6.5	4.7	2.8	0.0	0.9	0.0	21.5	11.2	9.3	2.8

問7 (7) 生活をしていく上で、孤独を感じることがありますか。(単数回答)

「あまりない」が44.9%で最も高く、次いで、「ない」が26.3%、「ときどきある」が21.5%となっている。



単位：%

	人数	よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
全体	1,231	4.9	21.5	44.9	26.3	2.4
男性 65～74 歳	284	4.9	24.3	42.6	27.5	0.7
男性 75～84 歳	222	3.6	21.2	47.7	26.1	1.4
男性 85 歳以上	63	6.3	27.0	38.1	23.8	4.8
女性 65～74 歳	281	5.7	17.1	49.1	26.7	1.4
女性 75～84 歳	249	2.4	20.5	45.0	27.7	4.4
女性 85 歳以上	107	10.3	26.2	36.4	22.4	4.7
一人暮らし	246	9.8	37.8	36.6	13.4	2.4
夫婦二人暮らし	578	3.6	15.7	45.8	32.2	2.6
息子・娘との二世帯	157	3.2	23.6	47.1	24.8	1.3
その他	181	2.8	19.9	49.2	26.0	2.2

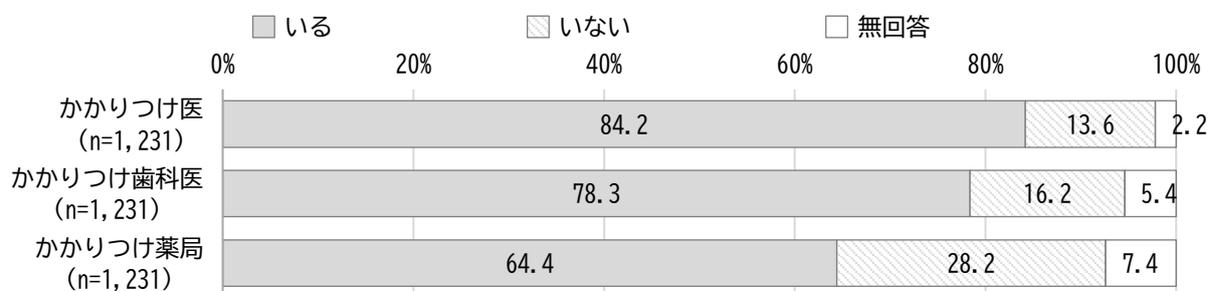
■孤独感別の要介護リスク該当率

単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
よくある	60	20.0	13.3	45.0	96.7	65.0	21.7	6.7
ときどきある	265	15.8	10.9	26.8	70.6	52.5	12.1	3.0
あまりない	553	9.4	9.4	23.1	36.5	36.3	13.2	2.5
ない	324	7.1	6.8	17.3	22.2	27.5	9.0	0.9

問7(8) あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」はいますか。また、「かかりつけ薬局」はありますか。(単数回答)

- ①かかりつけ医は、「いる」が84.2%、「いない」が13.6%であった。
- ②かかりつけ歯科医は、「いる」が78.3%、「いない」が16.2%であった。
- ③かかりつけ薬局は、「いる」が64.4%、「いない」が28.2%であった。



単位：%

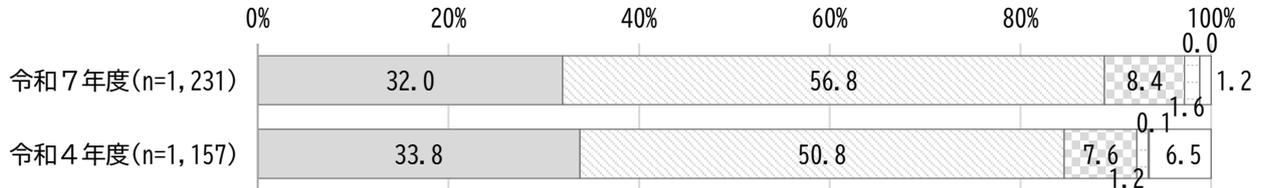
	人数	かかりつけ医		かかりつけ歯科医		かかりつけ薬局	
		いる	いない	いる	いない	いる	いない
全体	1,231	84.2	13.6	78.3	16.2	64.4	28.2
男性 65～74 歳	284	79.9	18.3	76.8	19.0	55.6	40.5
男性 75～84 歳	222	89.2	9.5	79.7	17.6	64.9	28.4
男性 85 歳以上	63	93.7	4.8	73.0	9.5	65.1	11.1
女性 65～74 歳	281	76.2	22.4	82.9	15.3	61.9	35.2
女性 75～84 歳	249	87.1	8.0	80.3	14.1	72.3	16.1
女性 85 歳以上	107	95.3	2.8	71.0	14.0	77.6	11.2
一人暮らし	246	86.2	11.0	70.3	21.5	66.7	24.0
夫婦二人暮らし	578	81.8	16.1	80.6	14.7	60.6	32.5
息子・娘との二世帯	157	91.1	7.6	81.5	14.0	72.0	21.7
その他	181	83.4	14.4	80.1	15.5	66.9	25.4
北東圏域	286	85.7	10.8	77.3	15.0	66.4	23.8
南西圏域	306	86.9	10.5	79.1	16.7	64.4	27.1
南東圏域	300	81.3	17.7	80.3	16.0	63.7	31.3
北西圏域	299	82.9	15.1	77.6	16.4	63.9	30.1

問8 認知症について

問8（1）あなたは、「認知症」にどの程度関心がありますか。（単数回答）

「まあまあ関心がある」が56.8%で最も高く、次いで、「とても関心がある」が32.0%、「あまり関心がない」が8.4%となっている。

とても関心がある
 まあまあ関心がある
 あまり関心がない
 まったく関心がない
 初めて聞いた
 無回答



単位：%

	人数	とても関心がある	まあまあ関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	初めて聞いた	無回答
全体	1,231	32.0	56.8	8.4	1.6	0.0	1.2
男性 65～74歳	284	25.0	61.6	10.9	2.1	0.0	0.4
男性 75～84歳	222	26.6	58.1	8.1	4.1	0.0	3.2
男性 85歳以上	63	30.2	49.2	17.5	1.6	0.0	1.6
女性 65～74歳	281	37.7	57.7	3.6	0.7	0.0	0.4
女性 75～84歳	249	34.9	55.4	8.4	0.0	0.0	1.2
女性 85歳以上	107	42.1	45.8	8.4	1.9	0.0	1.9
一人暮らし	246	29.3	57.7	8.1	2.0	0.0	2.8
夫婦二人暮らし	578	33.7	57.4	6.2	1.4	0.0	1.2
息子・娘との二世帯	157	32.5	54.8	10.2	2.5	0.0	0.0
その他	181	30.4	56.4	11.0	1.7	0.0	0.6

問8（2）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（単数回答）

「はい」が13.6%、「いいえ」が84.2%であった。

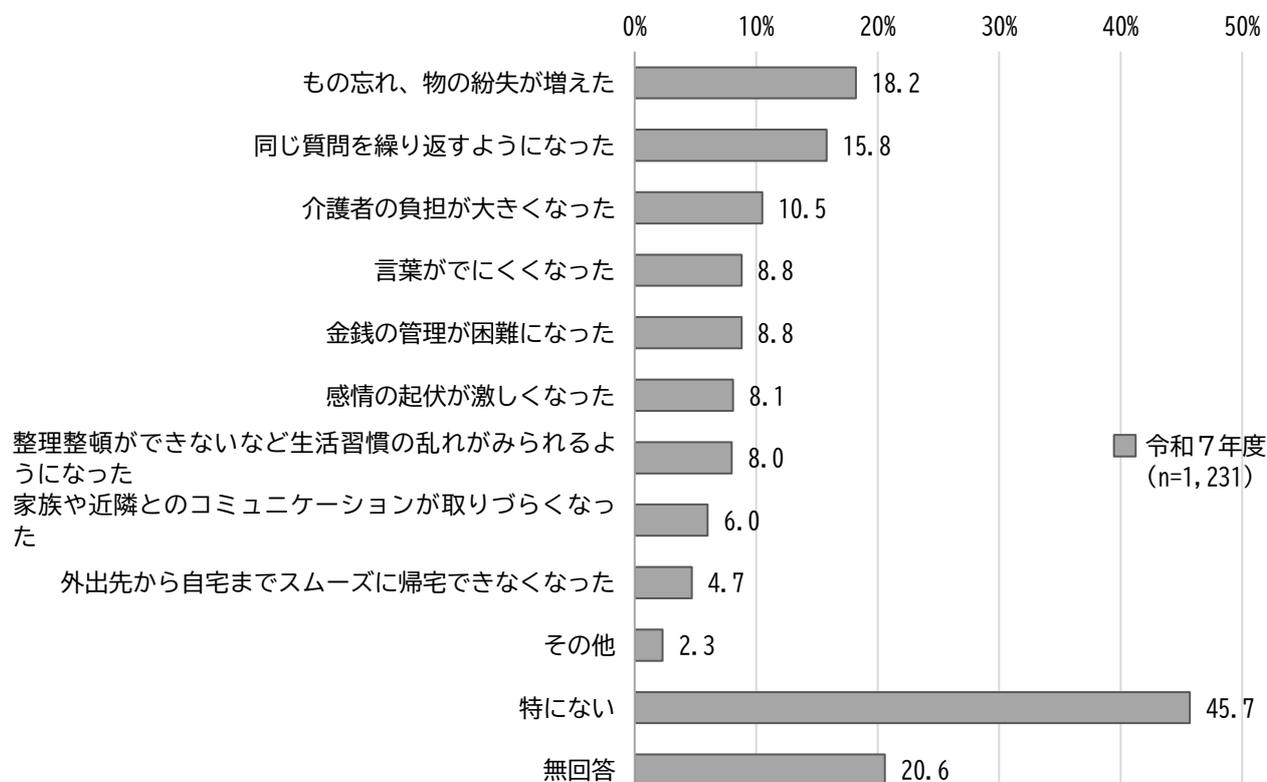


単位：%

	人数	はい	いいえ	無回答
全体	1,231	13.6	84.2	2.3
男性 65～74歳	284	16.9	82.0	1.1
男性 75～84歳	222	5.4	93.2	1.4
男性 85歳以上	63	14.3	79.4	6.3
女性 65～74歳	281	15.3	83.6	1.1
女性 75～84歳	249	12.9	83.5	3.6
女性 85歳以上	107	16.8	79.4	3.7
一人暮らし	246	12.6	84.1	3.3
夫婦二人暮らし	578	13.7	84.8	1.6
息子・娘との二世帯	157	11.5	85.4	3.2
その他	181	14.9	83.4	1.7

問8（3）あなたの身近に認知症の症状がある人がいた場合、実際に困ったことはありますか。（複数回答）

「特にない」が45.7%で最も高く、次いで、「もの忘れ、物の紛失が増えた」が18.2%、「同じ質問を繰り返すようになった」が15.8%となっている。

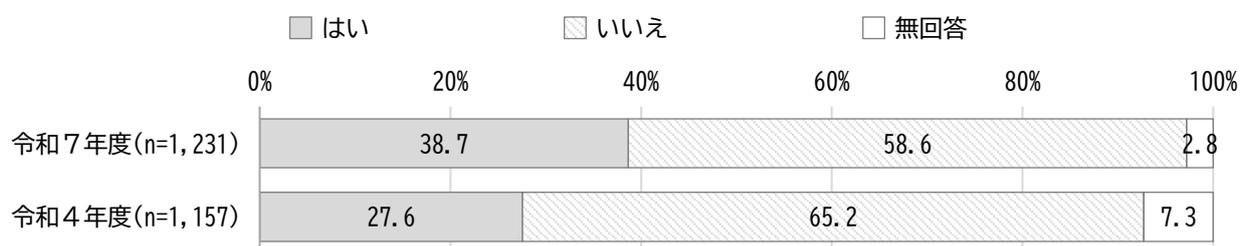


単位：%

	人数	もの忘れ、物の紛失が増えた	感情の起伏が激しくなった	同じ質問を繰り返すようになった	言葉がでにくくなった	金銭の管理が困難になった	整理整頓ができないなど生活習慣の乱れがみられるようになった	家族や近隣とのコミュニケーションが取りづらくなった	外出先から自宅までスムーズに帰宅できなくなった	介護者の負担が大きくなった	その他	特にない	無回答
全体	1,231	18.2	8.1	15.8	8.8	8.8	8.0	6.0	4.7	10.5	2.3	45.7	20.6
男性 65～74歳	284	17.3	9.5	19.0	8.1	10.2	5.3	7.4	5.3	12.7	3.2	51.1	12.7
男性 75～84歳	222	14.0	4.1	6.8	5.4	3.6	2.7	3.2	3.2	4.1	0.9	57.7	18.5
男性 85歳以上	63	23.8	6.3	11.1	11.1	6.3	9.5	6.3	3.2	9.5	1.6	41.3	27.0
女性 65～74歳	281	22.8	11.4	23.1	10.0	13.2	10.7	9.3	7.5	17.4	3.9	36.7	19.2
女性 75～84歳	249	15.7	6.8	14.9	8.4	7.2	10.8	4.4	2.8	7.6	1.2	43.0	27.7
女性 85歳以上	107	18.7	9.3	12.1	13.1	10.3	11.2	3.7	4.7	7.5	1.9	40.2	27.1
一人暮らし	246	16.3	6.5	15.4	8.9	9.8	9.8	6.9	5.3	9.8	1.6	46.7	19.9
夫婦二人暮らし	578	16.4	8.1	15.6	9.2	7.3	6.1	6.2	3.3	9.7	1.7	47.1	20.1
息子・娘との二世帯	157	20.4	7.6	12.1	6.4	9.6	11.5	5.1	7.6	11.5	3.2	45.2	22.3
その他	181	23.8	12.2	21.0	9.9	12.2	7.7	5.5	4.4	13.8	3.9	42.5	18.2
認知症の人がいる	167	47.3	24.6	44.9	22.2	29.3	25.1	14.4	11.4	32.3	5.4	15.0	3.0
認知症の人がいない	1,036	13.2	5.7	11.1	6.6	5.6	5.2	4.7	3.7	6.9	1.7	51.2	23.1

問8 (4) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

「はい」が38.7%、「いいえ」が58.6%であった。

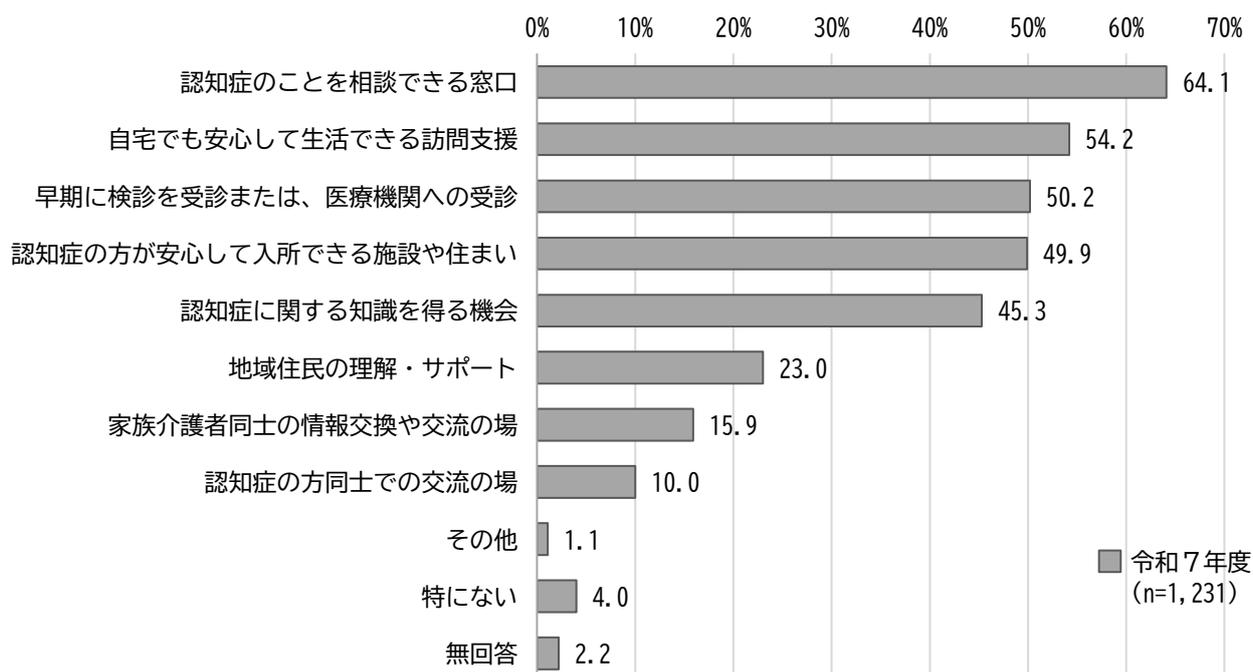


単位：%

	人数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体	1,231	38.7	58.6	2.8
男性 65～74 歳	284	27.1	71.8	1.1
男性 75～84 歳	222	36.9	59.9	3.2
男性 85 歳以上	63	20.6	73.0	6.3
女性 65～74 歳	281	48.0	51.2	0.7
女性 75～84 歳	249	46.6	48.2	5.2
女性 85 歳以上	107	42.1	55.1	2.8
一人暮らし	246	37.8	59.8	2.4
夫婦二人暮らし	578	40.1	57.1	2.8
息子・娘との二世帯	157	36.3	61.1	2.5
その他	181	36.5	60.8	2.8
認知症の人がいる	167	53.9	43.1	3.0
認知症の人がいない	1,036	36.9	61.1	2.0

問8 (5) もし、自分や家族が認知症になったときに、もしくは心配な症状が見られるようになったときに、認知症の対策として必要だと思うことはなんですか。(複数回答)

「認知症のことを相談できる窓口」が64.1%で最も高く、次いで、「自宅でも安心して生活できる訪問支援」が54.2%、「早期に検診を受診または、医療機関への受診」が50.2%となっている。



■認知症の対策として必要だと思うこと

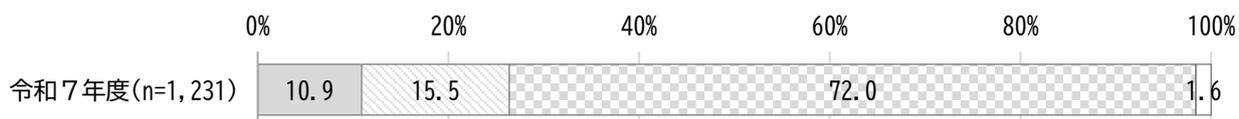
単位：%

	人数	認知症に関する知識を得る機会	地域住民の理解・サポート	認知症のことを相談できる窓口	認知症の方同士での交流の場	家族介護者同士の情報交換や交流の場	自宅でも安心して生活できる訪問支援	認知症の方が安心して入所できる施設や住まい	早期に検診を受診または、医療機関への受診	その他	特にな	無回答
全体	1,231	45.3	23.0	64.1	10.0	15.9	54.2	49.9	50.2	1.1	4.0	2.2
男性 65～74 歳	284	46.1	23.2	64.4	9.2	12.0	50.0	46.8	45.4	2.5	5.3	1.1
男性 75～84 歳	222	42.3	20.3	62.6	5.4	9.5	51.4	47.3	49.1	0.5	6.3	1.8
男性 85 歳以上	63	41.3	7.9	63.5	7.9	11.1	50.8	49.2	42.9	0.0	6.3	4.8
女性 65～74 歳	281	53.4	29.5	71.9	14.6	26.3	57.3	58.7	61.2	1.1	1.4	1.4
女性 75～84 歳	249	43.0	22.1	60.2	9.2	15.7	59.8	47.8	47.0	0.4	3.2	3.2
女性 85 歳以上	107	38.3	20.6	52.3	10.3	15.0	53.3	47.7	51.4	0.9	2.8	3.7
一人暮らし	246	33.7	23.6	56.5	9.8	11.4	56.1	48.4	41.5	1.2	4.1	4.1
夫婦二人暮らし	578	48.6	22.5	65.4	8.1	14.4	53.8	51.0	53.6	1.6	4.0	1.7
息子・娘との二世帯	157	45.9	21.0	68.8	12.1	21.7	59.2	51.0	50.3	0.0	3.2	2.5
その他	181	52.5	24.3	63.0	12.7	19.3	50.3	48.6	51.9	0.6	4.4	0.6
認知症の人がいる	167	40.1	21.0	59.9	12.0	13.8	51.5	60.5	43.7	2.4	1.8	1.8
認知症の人がいない	1,036	46.6	23.4	65.3	9.7	16.5	54.8	48.3	52.0	0.9	4.4	1.6

問8（6）「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。（単数回答）

「知らない」が 72.0%で最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が 15.5%、「内容を含めて知っている」が 10.9%となっている。

■ 内容を含めて知っている ■ 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない ■ 知らない □ 無回答

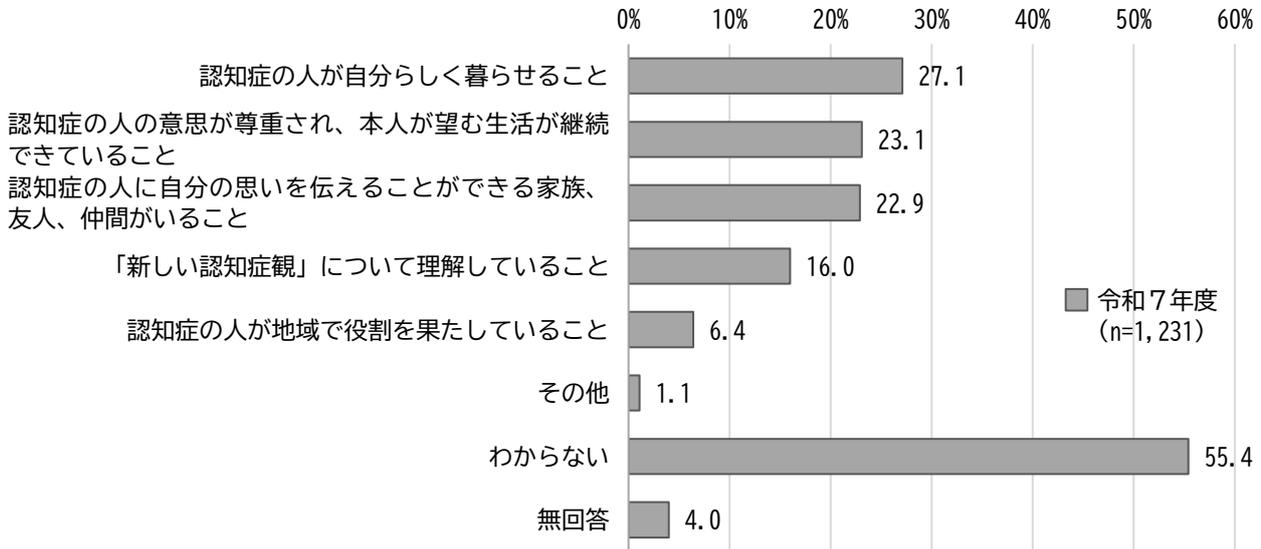


単位：%

	人数	内容を含めて知っている	言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体	1,231	10.9	15.5	72.0	1.6
男性 65～74 歳	284	4.2	14.8	79.6	1.4
男性 75～84 歳	222	8.1	13.5	77.5	0.9
男性 85 歳以上	63	11.1	19.0	68.3	1.6
女性 65～74 歳	281	14.9	14.9	68.7	1.4
女性 75～84 歳	249	15.3	16.5	67.1	1.2
女性 85 歳以上	107	12.1	19.6	63.6	4.7
一人暮らし	246	13.8	15.4	67.1	3.7
夫婦二人暮らし	578	11.1	15.7	72.0	1.2
息子・娘との二世帯	157	7.6	15.3	75.8	1.3
その他	181	7.2	16.6	75.7	0.6
認知症の人がいる	167	14.4	15.0	68.3	2.4
認知症の人がいない	1,036	10.2	15.4	73.4	1.0

問8（7）認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて、以下のことが地域において実現できていると思いますか。（複数回答）

「わからない」が 55.4%で最も高く、次いで、「認知症の人が自分らしく暮らせること」が 27.1%、「認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること」が 23.1%となっている。



単位：%

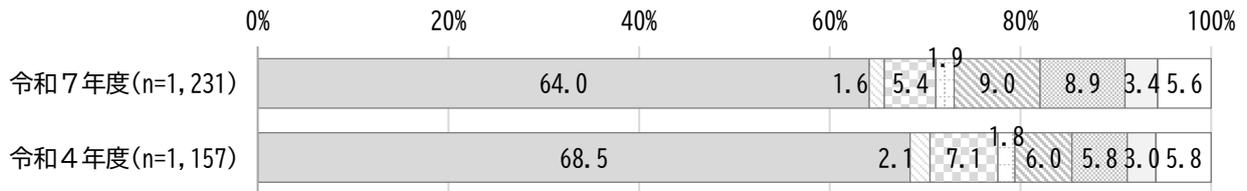
	人数	「新しい認知症観」について理解していること	認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること	認知症の人に自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること	認知症の人が地域で役割を果たしていること	認知症の人が自分らしく暮らせること	その他	わからない	無回答
全体	1,231	16.0	23.1	22.9	6.4	27.1	1.1	55.4	4.0
男性 65～74 歳	284	15.1	19.7	21.1	5.6	24.6	0.7	58.8	1.8
男性 75～84 歳	222	14.9	21.6	19.4	5.9	23.0	0.0	60.8	3.6
男性 85 歳以上	63	11.1	33.3	36.5	4.8	27.0	3.2	41.3	4.8
女性 65～74 歳	281	15.7	21.0	20.6	7.8	27.8	1.4	58.0	3.9
女性 75～84 歳	249	18.5	28.1	23.7	7.2	32.5	1.2	52.2	5.6
女性 85 歳以上	107	13.1	22.4	31.8	5.6	27.1	2.8	44.9	7.5
一人暮らし	246	12.6	22.4	20.3	6.5	28.5	2.8	53.3	5.3
夫婦二人暮らし	578	14.5	20.6	21.5	5.5	24.6	0.3	59.3	4.0
息子・娘との二世帯	157	15.9	28.0	28.0	5.7	33.8	0.6	47.8	3.8
その他	181	21.0	27.1	26.0	9.4	27.1	1.7	54.1	2.8
認知症の人がいる	167	19.8	24.6	26.3	7.2	25.1	1.2	50.3	4.8
認知症の人がいない	1,036	15.3	22.6	22.2	6.2	26.7	1.2	56.9	3.4

問9 住まいについて

問9（1）今後、介護が必要となった場合に、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。（単数回答）

「介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい」が64.0%で最も高く、次いで、「サービス付き高齢者向け住宅に住みたい」が9.0%、「有料老人ホームに住みたい」が8.9%となっている。

- 介護サービスを利用しながら現在の自宅に住みたい
 介護サービスを利用しながら家族の家に住みたい
 特別養護老人ホームに住みたい
 グループホームに住みたい
 サービス付き高齢者向け住宅に住みたい
 有料老人ホームに住みたい
 すぐに入居できる施設等に移りたい
 無回答



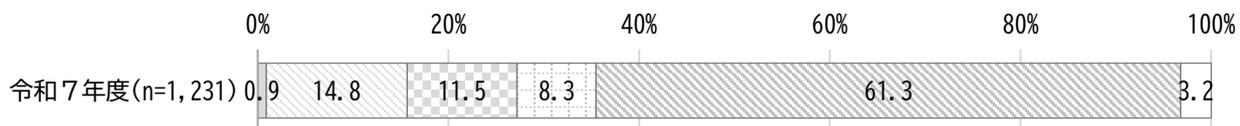
単位：%

	人数	介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい	介護サービスを利用しながら、家族の家に住みたい	特別養護老人ホームに住みたい	グループホームに住みたい	サービス付き高齢者向け住宅に住みたい	有料老人ホームに住みたい	すぐに入居できる施設等に移りたい	無回答
全体	1,231	64.0	1.6	5.4	1.9	9.0	8.9	3.4	5.6
男性 65～74 歳	284	68.7	0.7	2.5	0.4	12.0	9.5	3.5	2.8
男性 75～84 歳	222	66.2	2.3	4.5	2.7	9.0	9.9	2.3	3.2
男性 85 歳以上	63	63.5	3.2	7.9	0.0	1.6	9.5	1.6	12.7
女性 65～74 歳	281	61.2	1.1	6.0	3.9	10.0	10.3	4.6	2.8
女性 75～84 歳	249	62.7	0.8	6.4	1.6	8.0	6.4	3.2	10.8
女性 85 歳以上	107	58.9	5.6	8.4	1.9	5.6	8.4	3.7	7.5
一人暮らし	246	54.1	1.6	6.5	2.0	12.2	11.8	4.5	7.3
夫婦二人暮らし	578	66.3	1.2	3.6	2.2	9.2	10.0	3.3	4.2
息子・娘との二世帯	157	69.4	4.5	9.6	1.3	5.7	3.2	3.2	3.2
その他	181	66.3	0.6	5.0	2.2	7.7	7.7	2.8	7.7

問9（2）在宅生活を続けるための高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。（単数回答）

「わからない」が61.3%で最も高く、次いで、「まあまあ充実している」が14.8%、「あまり充実していない」が11.5%となっている。

■ とても充実している ■ まあまあ充実している ■ あまり充実していない ■ 充実していない ■ わからない □ 無回答

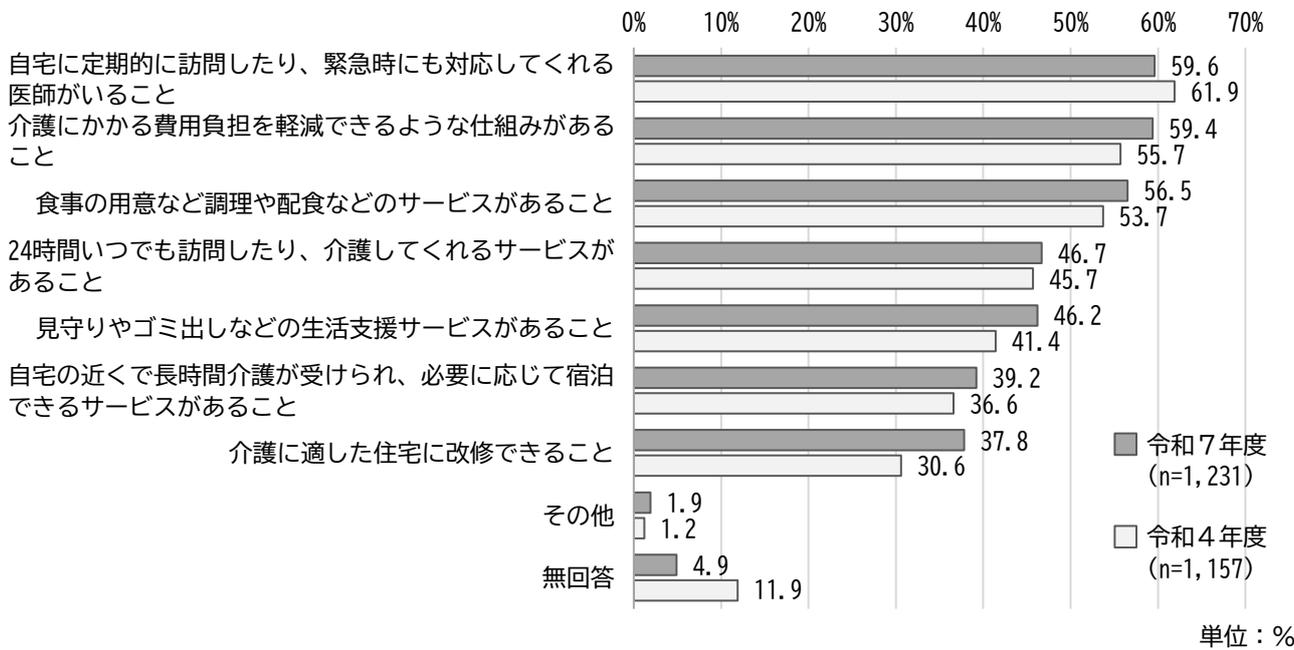


単位：%

	人数	とても充実している	まあまあ充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
全体	1,231	0.9	14.8	11.5	8.3	61.3	3.2
男性 65～74 歳	284	0.0	17.6	11.6	8.8	60.2	1.8
男性 75～84 歳	222	2.3	11.3	14.4	7.7	61.7	2.7
男性 85 歳以上	63	1.6	20.6	9.5	9.5	52.4	6.3
女性 65～74 歳	281	0.0	13.5	15.3	9.6	60.1	1.4
女性 75～84 歳	249	1.2	15.7	7.2	8.4	61.8	5.6
女性 85 歳以上	107	1.9	13.1	5.6	5.6	69.2	4.7
一人暮らし	246	1.2	14.6	8.9	12.2	59.3	3.7
夫婦二人暮らし	578	0.9	14.0	11.9	7.8	62.3	3.1
息子・娘との二世帯	157	1.3	16.6	15.9	7.0	57.3	1.9
その他	181	0.6	16.0	9.4	7.2	64.6	2.2

問9 (3) 在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。(複数回答)

「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」が59.6%で最も高く、次いで、「介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること」が59.4%、「食事の用意など調理や配食などのサービスがあること」が56.5%となっている。

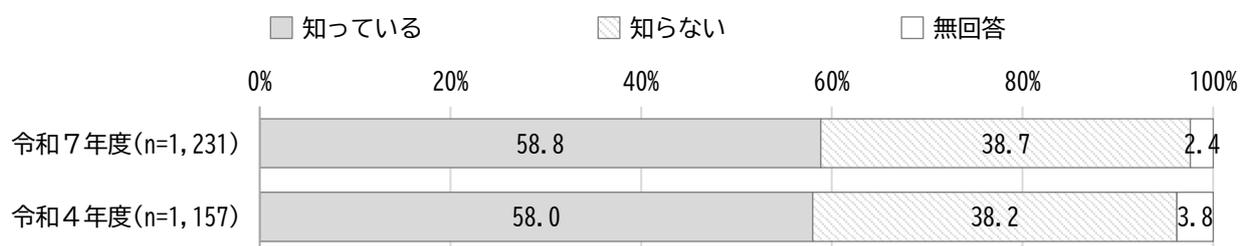


	人数	介護に適した住宅に改修できること	見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること	食事の用意など調理や配食などのサービスがあること	24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること	自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること	自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊できるサービスがあること	介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること	その他	無回答
全体	1,231	37.8	46.2	56.5	46.7	59.6	39.2	59.4	1.9	4.9
男性 65～74歳	284	39.4	49.6	54.6	51.8	57.7	34.5	57.7	2.1	2.5
男性 75～84歳	222	37.8	40.1	58.1	38.3	56.8	30.6	51.4	1.8	4.5
男性 85歳以上	63	25.4	38.1	60.3	34.9	60.3	22.2	54.0	0.0	6.3
女性 65～74歳	281	50.2	55.5	63.0	57.3	66.9	55.2	75.8	1.4	1.8
女性 75～84歳	249	31.3	41.8	55.4	45.4	60.2	40.2	55.8	0.8	8.4
女性 85歳以上	107	27.1	36.4	43.0	36.4	50.5	35.5	49.5	6.5	10.3
一人暮らし	246	24.0	45.5	54.5	50.0	54.1	30.5	58.1	2.4	7.3
夫婦二人暮らし	578	45.0	50.9	60.0	47.9	63.7	40.7	59.5	1.6	4.5
息子・娘との二世帯	157	35.7	33.8	52.2	42.7	59.2	45.2	60.5	1.3	3.2
その他	181	39.8	42.5	53.0	45.9	54.7	41.4	59.7	2.8	2.8

問 10 地域包括支援センターについて

問 10（1）あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。（単数回答）

「知っている」が 58.8%、「知らない」が 38.7%であった。



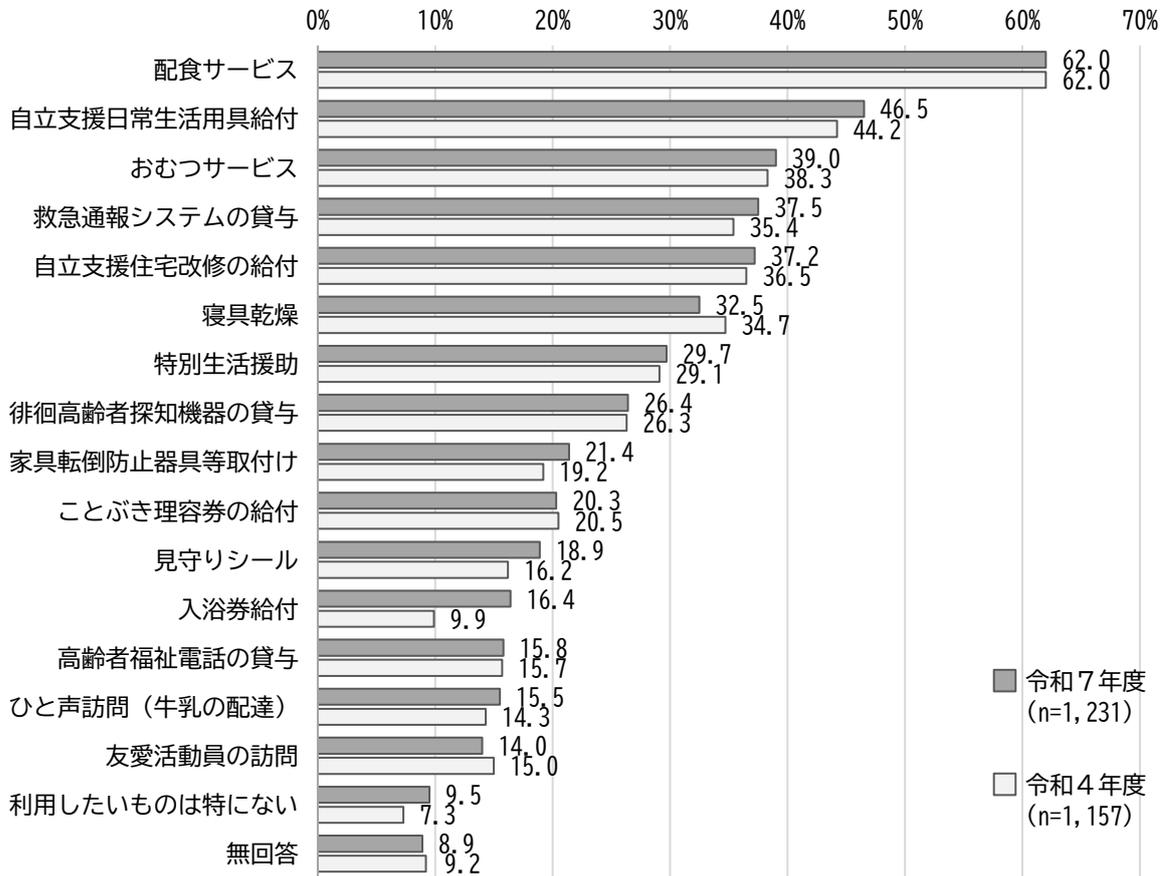
単位：%

	人数	知っている	知らない	無回答
全体	1,231	58.8	38.7	2.4
男性 65～74 歳	284	38.0	60.9	1.1
男性 75～84 歳	222	57.2	40.5	2.3
男性 85 歳以上	63	63.5	30.2	6.3
女性 65～74 歳	281	65.1	34.5	0.4
女性 75～84 歳	249	72.3	23.3	4.4
女性 85 歳以上	107	68.2	27.1	4.7
一人暮らし	246	58.9	37.4	3.7
夫婦二人暮らし	578	56.7	41.3	1.9
息子・娘との二世帯	157	65.0	34.4	0.6
その他	181	59.7	37.0	3.3
北東圏域	286	58.7	38.8	2.4
南西圏域	306	60.1	37.9	2.0
南東圏域	300	56.0	41.0	3.0
北西圏域	299	61.2	37.8	1.0

問 11 高齢者保健福祉サービス（介護保険外）等について

問 11（1）市では、介護保険以外にも、様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。（複数回答）

「配食サービス」が 62.0%で最も高く、次いで、「自立支援日常生活用具給付」が 46.5%、「おむつサービス」が 39.0%となっている。



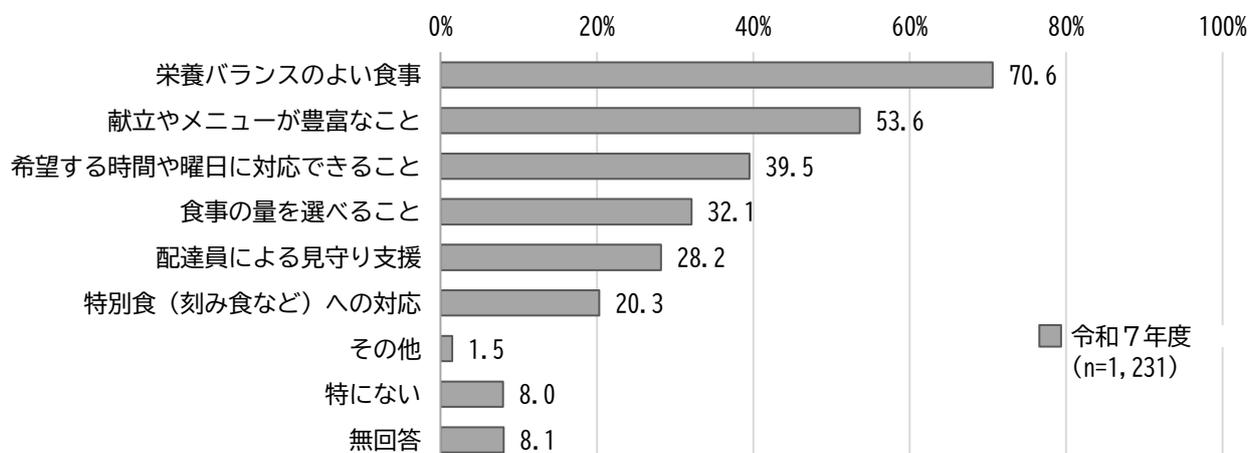
※ 「配食サービス」について令和4年度は「食の自立支援」であった。

単位：%

	人数	自立支援日常生活用具給付	自立支援住宅改修の給付	寝具乾燥	配食サービス	おむつサービス	入浴券給付	ことばき理容券の給付	高齢者福祉電話の貸与	救急通報システムの貸与	徘徊高齢者探知機器の貸与	見守りシール	ひと声訪問（牛乳の配達）	友愛活動員の訪問	特別生活援助	家具転倒防止器具等取付け	利用したいものは特にない	無回答
全体	1,231	46.5	37.2	32.5	62.0	39.0	16.4	20.3	15.8	37.5	26.4	18.9	15.5	14.0	29.7	21.4	9.5	8.9
男性 65～74 歳	284	52.5	42.6	31.3	63.0	35.9	23.2	21.1	15.1	41.5	25.4	20.4	13.4	13.4	28.5	18.3	12.3	3.5
男性 75～84 歳	222	44.1	36.5	30.6	64.0	34.2	14.4	20.3	16.2	34.2	23.9	17.1	14.0	12.6	23.9	18.9	14.0	6.3
男性 85 歳以上	63	44.4	31.7	27.0	46.0	33.3	4.8	20.6	12.7	30.2	17.5	11.1	19.0	11.1	19.0	25.4	12.7	12.7
女性 65～74 歳	281	60.9	46.6	38.4	70.5	48.8	21.4	21.0	15.7	46.3	35.6	23.8	17.4	16.4	37.0	28.5	5.7	6.8
女性 75～84 歳	249	36.5	31.3	27.3	59.4	40.2	10.0	16.9	17.7	34.5	26.1	16.1	14.9	14.5	32.1	19.3	7.2	14.5
女性 85 歳以上	107	25.2	19.6	37.4	47.7	32.7	11.2	21.5	11.2	22.4	15.0	13.1	17.8	11.2	27.1	19.6	6.5	18.7
一人暮らし	246	32.1	26.4	26.4	57.3	24.0	13.0	17.5	15.4	33.7	14.2	12.6	15.9	16.3	34.1	17.5	8.5	11.4
夫婦二人暮らし	578	53.5	41.9	36.0	66.4	45.2	17.3	19.9	17.3	40.8	31.1	21.1	16.8	13.8	31.7	22.1	9.3	7.1
息子・娘との二世帯	157	49.7	38.2	32.5	62.4	37.6	17.8	23.6	8.3	31.8	22.9	17.2	10.2	9.6	21.0	22.9	10.2	6.4
その他	181	43.6	38.1	27.6	53.0	39.8	17.1	21.0	15.5	35.9	26.5	18.2	13.8	13.8	23.8	22.1	11.0	12.2

問 11 (2) 配食サービスに望むものは何ですか。(複数回答)

「栄養バランスのよい食事」が70.6%で最も高く、次いで、「献立やメニューが豊富なこと」が53.6%、「希望する時間や曜日に対応できること」が39.5%となっている。



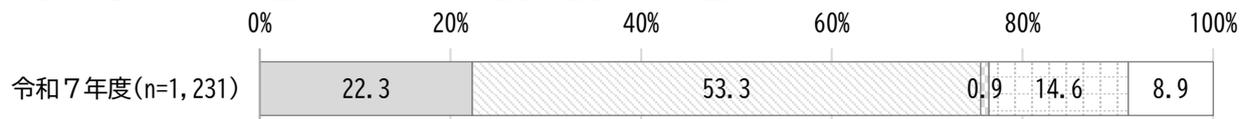
単位：%

	人数	栄養バ ランスのよ い食事	配達員に よる見守 り支援	希望する 時間や曜 日に対応 できるこ と	献立やメ ニューが 豊富なこ と	食事の量 を選べる こと	特別食 (刻み食 など)へ の対応	その他	特にな い	無回答
全体	1,231	70.6	28.2	39.5	53.6	32.1	20.3	1.5	8.0	8.1
男性 65～74 歳	284	72.9	28.5	35.9	56.3	29.9	17.3	1.4	6.7	4.2
男性 75～84 歳	222	66.7	23.0	35.6	48.6	24.8	13.1	0.9	13.1	5.9
男性 85 歳以上	63	63.5	25.4	33.3	44.4	34.9	9.5	1.6	11.1	14.3
女性 65～74 歳	281	80.4	33.1	47.3	67.3	37.0	31.0	2.1	3.2	5.0
女性 75～84 歳	249	66.3	30.5	45.0	48.6	34.1	21.7	1.2	8.8	12.0
女性 85 歳以上	107	63.6	21.5	28.0	39.3	33.6	16.8	0.9	9.3	17.8
一人暮らし	246	70.3	29.7	37.0	54.5	32.5	13.4	1.2	8.9	8.5
夫婦二人暮らし	578	71.5	30.8	42.9	55.7	31.7	20.8	2.2	7.1	7.1
息子・娘との二世帯	157	70.7	22.3	36.9	51.0	36.9	24.2	0.0	7.6	10.2
その他	181	70.2	22.1	35.9	50.8	30.9	22.1	0.6	7.7	7.7

問 11(3) 小金井市が実施していく理美容サービス事業は次のうちどれが良いと思いますか。(単数回答)

「寝たきりなどの状態により外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス」が53.3%で最も高く、次いで、「一人暮らし高齢者の方など見守りを必要とする方に理容助成券を配布することで、市内理美容店や市との関わりを通した見守りを兼ねた理美容サービス」が22.3%、「特に必要ない」が14.6%となっている。

市内理美容店や市との関わりを通した見守りを兼ねた理美容サービス
 外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス
 その他
 特に必要ない
 無回答



単位：%

	人数	市内理美容店や市との関わりを通した見守りを兼ねた理美容サービス	外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス	その他	特に必要ない	無回答
全体	1,231	22.3	53.3	0.9	14.6	8.9
男性 65～74 歳	284	29.9	51.4	1.1	14.4	3.2
男性 75～84 歳	222	25.2	46.8	1.8	19.8	6.3
男性 85 歳以上	63	14.3	49.2	0.0	15.9	20.6
女性 65～74 歳	281	21.0	63.7	0.4	8.9	6.0
女性 75～84 歳	249	16.9	52.2	0.8	14.5	15.7
女性 85 歳以上	107	15.9	49.5	0.9	18.7	15.0
一人暮らし	246	25.6	44.7	1.6	18.3	9.8
夫婦二人暮らし	578	21.8	56.4	0.9	13.5	7.4
息子・娘との二世帯	157	15.9	56.7	0.0	15.3	12.1
その他	181	24.3	53.0	1.1	12.2	9.4

問 12 地域生活について

問 12 (1) あなたは、隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(単数回答)

「たまに挨拶や立ち話等をする程度」が 53.9%で最も高く、次いで、「ほとんど付き合いはない」が 19.6%、「特定の人とは親しくしている」が 18.4%となっている。



単位：%

	人数	多くの人と親しく付き合っている	特定の人とは親しくしている	たまに挨拶や立ち話等をする程度	ほとんど付き合いはない	無回答
全体	1,231	6.0	18.4	53.9	19.6	2.2
男性 65～74 歳	284	1.8	12.7	54.2	30.6	0.7
男性 75～84 歳	222	6.8	18.5	49.5	22.5	2.7
男性 85 歳以上	63	9.5	14.3	50.8	17.5	7.9
女性 65～74 歳	281	6.8	19.2	55.5	17.1	1.4
女性 75～84 歳	249	7.2	21.3	59.4	10.4	1.6
女性 85 歳以上	107	8.4	25.2	44.9	16.8	4.7
一人暮らし	246	5.3	17.1	47.2	27.6	2.8
夫婦二人暮らし	578	5.9	19.9	53.3	19.2	1.7
息子・娘との二世帯	157	6.4	15.9	60.5	14.0	3.2
その他	181	6.1	16.6	53.6	21.5	2.2
北東圏域	286	6.3	15.7	53.1	21.7	3.1
南西圏域	306	6.2	22.5	53.3	16.7	1.3
南東圏域	300	5.3	19.7	52.3	20.7	2.0
北西圏域	299	6.0	15.1	55.9	21.1	2.0

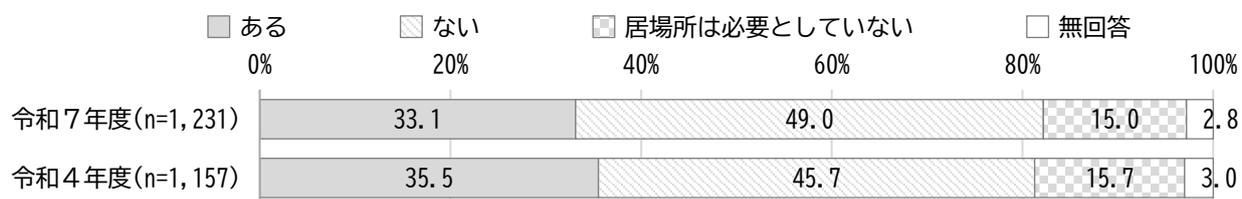
■近隣付き合いと要介護リスク該当率

単位：%

	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
多くの人と親しく付き合っている	74	13.5	9.5	27.0	35.1	43.2	5.4	1.4
特定の人とは親しくしている	226	9.7	9.3	23.9	41.6	42.9	9.7	1.3
たまに挨拶や立ち話等をする程度	663	10.6	8.9	22.2	42.2	36.2	12.5	2.7
ほとんど付き合いはない	241	11.2	10.0	25.3	49.4	41.9	15.4	3.3

問12(2) あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。（単数回答）

「ある」が33.1%、「ない」が49.0%、「居場所は必要としていない」が15.0%となっている。

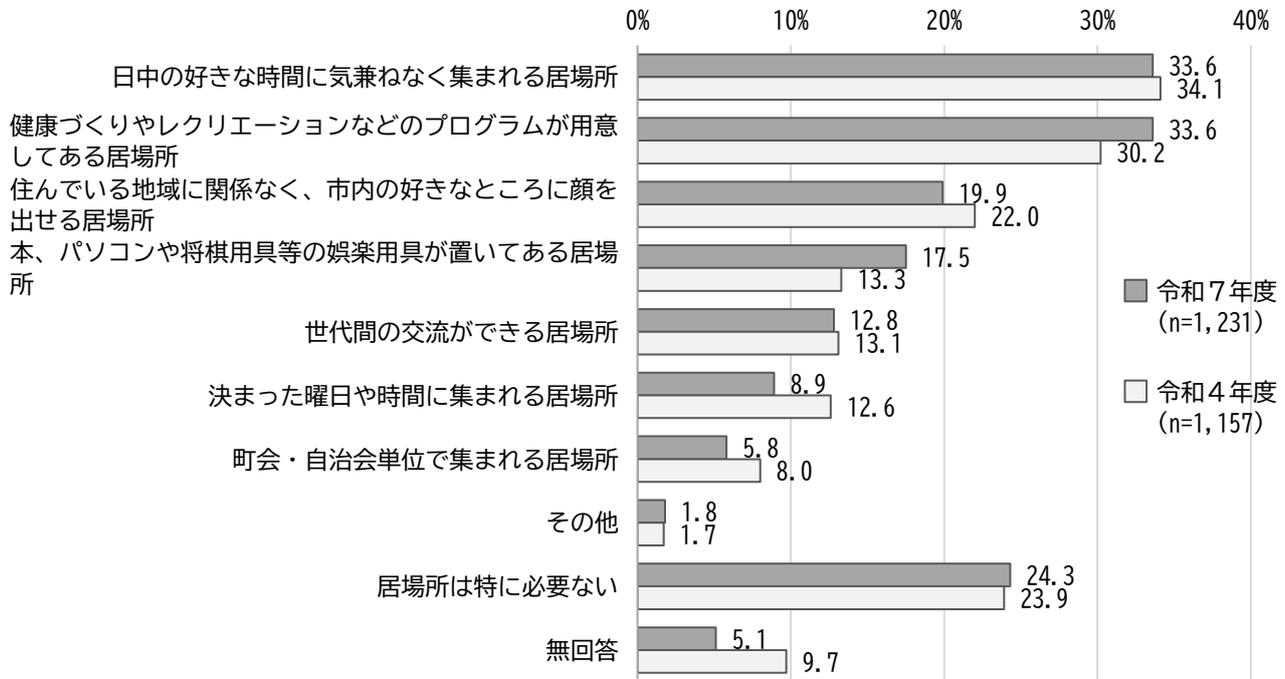


単位：%

	人数	ある	ない	居場所は必要としていない	無回答
全体	1,231	33.1	49.0	15.0	2.8
男性 65～74 歳	284	25.4	55.3	18.7	0.7
男性 75～84 歳	222	31.1	50.9	15.8	2.3
男性 85 歳以上	63	28.6	50.8	12.7	7.9
女性 65～74 歳	281	37.4	47.7	14.2	0.7
女性 75～84 歳	249	41.4	42.2	12.4	4.0
女性 85 歳以上	107	29.9	48.6	15.9	5.6
一人暮らし	246	29.3	52.8	16.3	1.6
夫婦二人暮らし	578	32.7	49.3	15.9	2.1
息子・娘との二世帯	157	36.9	46.5	12.1	4.5
その他	181	36.5	48.1	12.2	3.3
北東圏域	286	33.6	47.2	14.0	5.2
南西圏域	306	35.6	50.0	13.1	1.3
南東圏域	300	32.3	49.7	16.0	2.0
北西圏域	299	29.8	50.2	18.1	2.0

問 12 (3) 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。(複数回答)

「日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる居場所」が 33.6%で最も高く、次いで、「健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある居場所」が 33.6%、「居場所は特に必要ない」が 24.3%となっている。

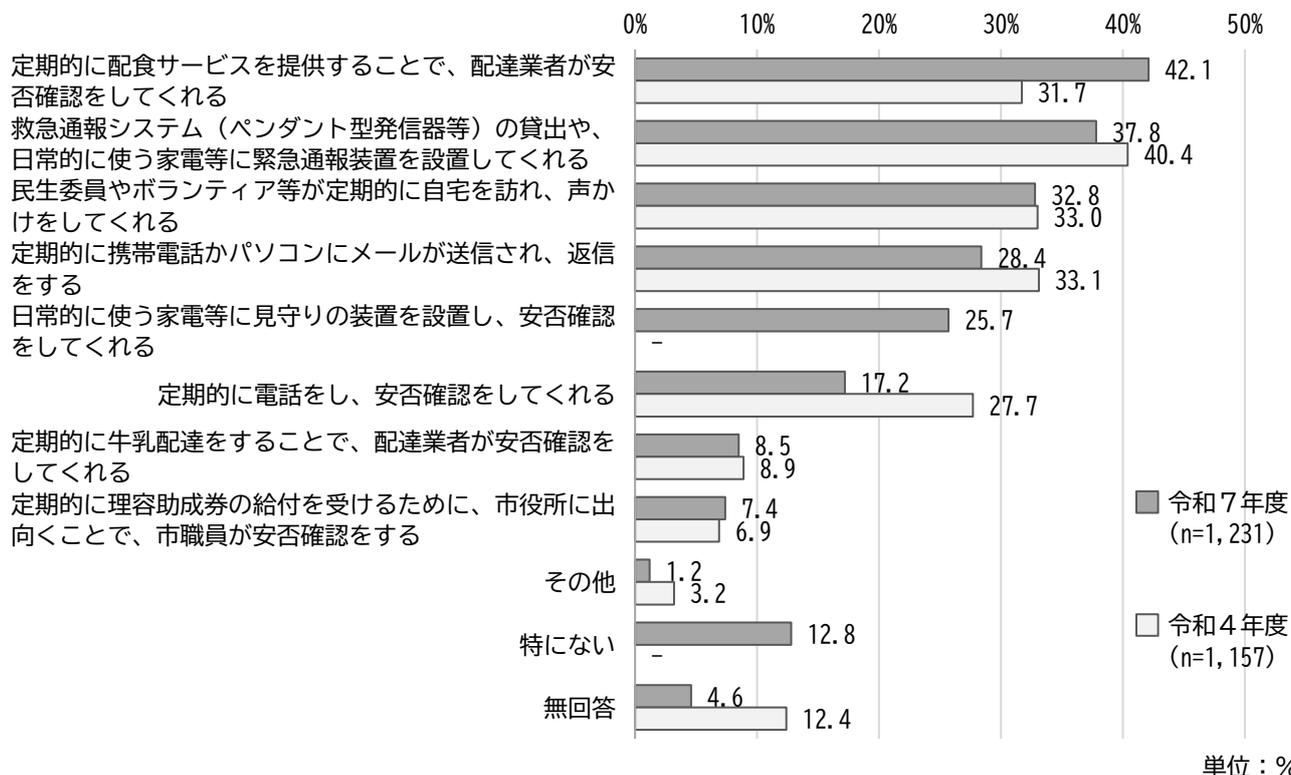


単位：%

	人数	町会・自治会単位で集まれる居場所	住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる居場所	決まった曜日や時間に集まれる居場所	日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる居場所	健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある居場所	本、パソコンや将棋用具等の娯楽用具が置いてある居場所	世代間の交流ができる居場所	その他	居場所は特に必要ない	無回答
全体	1,231	5.8	19.9	8.9	33.6	33.6	17.5	12.8	1.8	24.3	5.1
男性 65～74 歳	284	6.0	21.5	6.7	31.3	29.9	23.6	12.7	3.9	27.5	2.5
男性 75～84 歳	222	7.7	14.9	8.1	30.6	26.1	22.1	10.8	0.0	31.5	3.2
男性 85 歳以上	63	7.9	15.9	12.7	28.6	17.5	17.5	11.1	1.6	28.6	12.7
女性 65～74 歳	281	3.6	24.9	10.3	37.4	49.8	15.7	15.7	1.8	14.6	2.5
女性 75～84 歳	249	4.8	17.3	9.2	34.5	32.1	12.0	12.0	0.8	25.3	8.8
女性 85 歳以上	107	6.5	17.8	8.4	33.6	29.0	5.6	12.1	2.8	24.3	10.3
一人暮らし	246	4.9	19.1	8.9	31.3	32.1	15.0	13.0	1.6	26.4	6.5
夫婦二人暮らし	578	6.4	20.8	9.0	33.2	34.6	18.3	11.4	1.9	23.0	5.4
息子・娘との二世帯	157	4.5	20.4	7.6	36.3	34.4	15.3	13.4	0.6	24.2	3.8
その他	181	6.1	18.2	8.8	34.8	33.1	17.7	17.1	3.3	24.9	3.3
北東圏域	286	3.1	21.0	10.5	31.8	33.6	16.8	13.3	1.0	26.2	6.3
南西圏域	306	6.2	20.6	6.2	36.6	35.6	19.0	14.4	1.6	19.3	5.2
南東圏域	300	5.3	19.3	10.0	32.3	33.0	17.3	12.0	3.0	26.0	2.0
北西圏域	299	8.0	17.7	8.4	32.8	32.4	15.4	11.7	1.7	26.1	7.4

問 12 (4) もし、あなたがひとり暮らしになった場合（現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として）、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。（複数回答）

「定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる」が42.1%で最も高く、次いで、「救急通報システム（ペンダント型発信器等）の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる」が37.8%、「民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」が32.8%となっている。

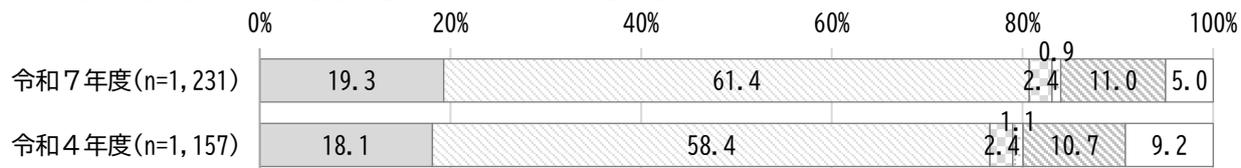


	人数	民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる	定期的に電話をし、安否確認をしてくれる	定期的に携帯電話かパソコンにメールが送信され、返信をする	救急通報システムの貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる	定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認をしてくれる	定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる	理容助成券を受けるために、市役所に向くことで、市職員が安否確認をする	日常的に使う家電等に見守りの装置を設置し、安否確認をしてくれる	その他	特にない	無回答
全体	1,231	32.8	17.2	28.4	37.8	8.5	42.1	7.4	25.7	1.2	12.8	4.6
男性 65～74 歳	284	36.3	14.4	43.3	39.4	6.0	44.4	10.9	22.9	0.7	11.6	0.7
男性 75～84 歳	222	37.4	18.0	28.4	36.9	8.1	41.4	7.2	25.7	0.9	9.9	5.0
男性 85 歳以上	63	46.0	15.9	14.3	38.1	12.7	42.9	4.8	25.4	1.6	17.5	3.2
女性 65～74 歳	281	25.3	14.9	27.0	44.5	9.3	45.2	6.8	29.2	1.1	12.8	2.5
女性 75～84 歳	249	27.7	21.7	22.5	36.5	8.0	41.0	5.2	23.3	1.2	14.5	7.6
女性 85 歳以上	107	31.8	17.8	15.0	18.7	12.1	27.1	5.6	28.0	3.7	15.9	13.1
一人暮らし	246	24.8	13.4	23.6	27.2	9.8	28.9	7.3	18.3	2.8	23.6	7.3
夫婦二人暮らし	578	36.2	19.0	32.2	40.8	8.8	46.0	7.4	29.6	0.7	8.1	3.1
息子・娘との二世帯	157	28.7	16.6	22.9	36.9	5.7	43.9	7.6	24.2	0.6	14.6	6.4
その他	181	33.1	16.0	29.8	41.4	6.6	40.3	7.7	24.9	1.7	12.7	3.3

問 12 (5) ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、費用が発生する場合、利用と負担の関係はどうかとどうあるべきだと思いますか。(単数回答)

「利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき」が 61.4%で最も高く、次いで、「大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき」が 19.3%、「わからない」が 11.0%となっている。

- 大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき
- ▨ 利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき
- 利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき
- ▨ その他
- ▨ わからない
- 無回答



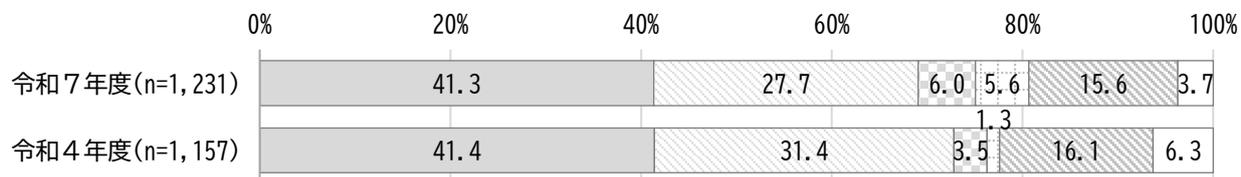
単位：%

	人数	大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき	利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき	利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき	その他	わからない	無回答
全体	1,231	19.3	61.4	2.4	0.9	11.0	5.0
男性 65～74 歳	284	20.4	64.8	1.1	1.1	10.9	1.8
男性 75～84 歳	222	20.3	65.3	2.3	0.9	8.1	3.2
男性 85 歳以上	63	27.0	57.1	3.2	0.0	6.3	6.3
女性 65～74 歳	281	20.6	59.1	3.6	1.4	11.7	3.6
女性 75～84 歳	249	17.7	60.2	3.6	0.4	11.2	6.8
女性 85 歳以上	107	11.2	55.1	0.9	0.9	17.8	14.0
一人暮らし	246	19.5	56.1	2.4	0.4	14.6	6.9
夫婦二人暮らし	578	18.7	64.5	3.5	0.7	8.8	3.8
息子・娘との二世帯	157	22.3	58.6	0.0	1.3	11.5	6.4
その他	181	19.9	59.7	1.1	2.2	14.4	2.8

問12(6) ご自身が病気・老衰などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいですか。(単数回答)

「自宅」が41.3%で最も高く、次いで、「病院などの医療施設」が27.7%、「特に希望はない」が15.6%となっている。

■ 自宅 ■ 病院などの医療施設 ■ 特別養護老人ホームなどの介護保険施設 ■ その他 ■ 特に希望はない □ 無回答



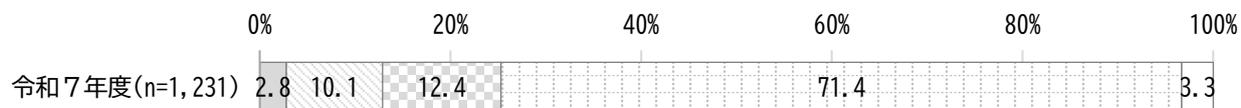
単位：%

	人数	自宅	病院などの医療施設	特別養護老人ホームなどの介護保険施設	その他	特に希望はない	無回答
全体	1,231	41.3	27.7	6.0	5.6	15.6	3.7
男性 65～74歳	284	42.3	27.8	4.2	8.1	16.9	0.7
男性 75～84歳	222	56.3	21.2	8.1	3.2	9.0	2.3
男性 85歳以上	63	52.4	31.7	0.0	0.0	7.9	7.9
女性 65～74歳	281	30.2	28.5	5.3	9.3	23.1	3.6
女性 75～84歳	249	40.6	28.5	6.8	4.4	14.1	5.6
女性 85歳以上	107	33.6	34.6	10.3	0.0	14.0	7.5
一人暮らし	246	32.9	31.3	5.3	2.4	22.4	5.7
夫婦二人暮らし	578	42.9	25.6	7.3	6.9	13.5	3.8
息子・娘との二世帯	157	48.4	23.6	5.7	4.5	14.6	3.2
その他	181	42.5	32.6	3.3	6.1	13.8	1.7

問12(7) ACP(アドバンス・ケア・プランニング)という言葉をご存じですか。(単数回答)

「知らない」が71.4%で最も高く、次いで、「聞いたことがあるが内容は知らない」が12.4%、「知っているが話し合ったことはない」が10.1%となっている。

■ 知っているが話し合ったことがある ■ 知っているが話し合ったことはない ■ 聞いたことがあるが内容は知らない ■ 知らない □ 無回答

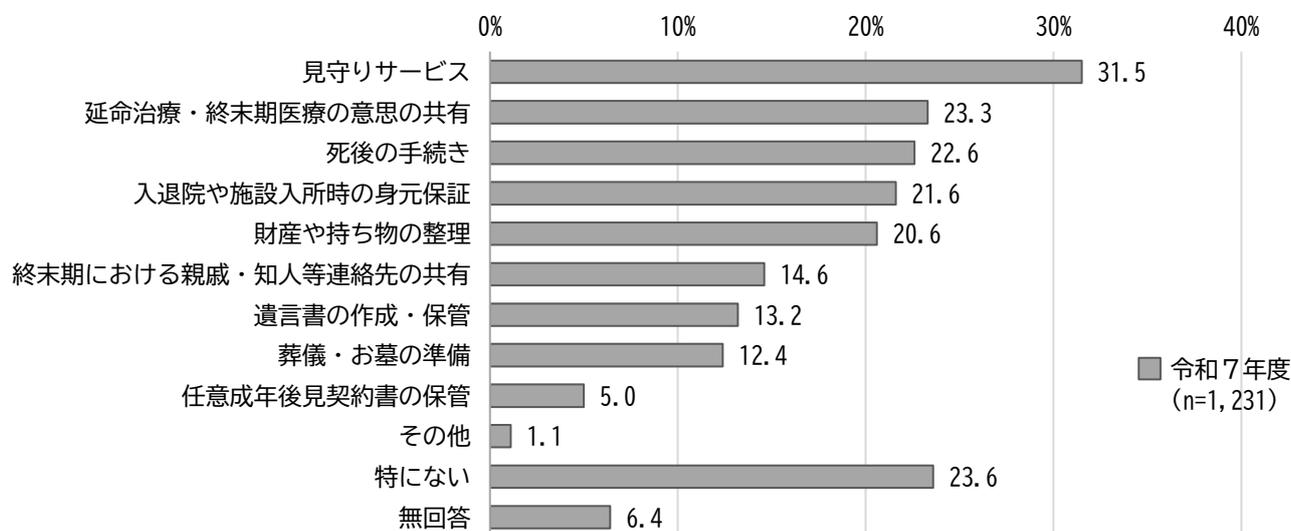


単位：%

	人数	知っているが話し合ったことがある	知っているが話し合ったことはない	聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体	1,231	2.8	10.1	12.4	71.4	3.3
男性 65～74歳	284	1.8	8.5	9.5	78.2	2.1
男性 75～84歳	222	0.9	7.2	10.4	79.3	2.3
男性 85歳以上	63	1.6	6.3	19.0	66.7	6.3
女性 65～74歳	281	3.9	9.6	12.1	73.3	1.1
女性 75～84歳	249	4.4	12.9	17.3	59.8	5.6
女性 85歳以上	107	3.7	17.8	11.2	60.7	6.5
一人暮らし	246	3.7	11.4	15.4	65.9	3.7
夫婦二人暮らし	578	2.8	9.9	10.7	73.5	3.1
息子・娘との二世帯	157	3.2	10.2	14.6	67.5	4.5
その他	181	2.2	8.3	12.2	75.1	2.2

問 12 (8) どのような終活サポートを受けたいですか。(複数回答)

「見守りサービス」が31.5%で最も高く、次いで、「特にない」が23.6%、「延命治療・終末期医療の意思の共有」が23.3%となっている。



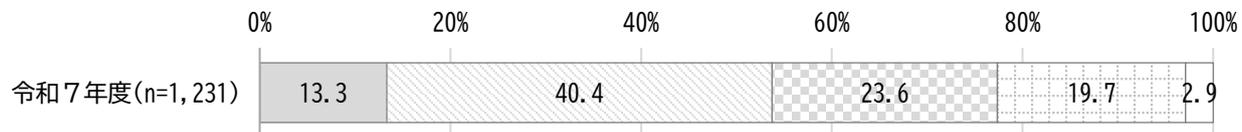
単位：%

	人数	見守りサービス	入退院や施設入所時の身元保証	延命治療・終末期医療の意思の共有	終末期における親戚・知人等連絡先の共有	任意成年後見契約書の保管	葬儀・お墓の準備	遺言書の作成・保管	財産や持ち物の整理	死後の手続き	その他	特にない	無回答
全体	1,231	31.5	21.6	23.3	14.6	5.0	12.4	13.2	20.6	22.6	1.1	23.6	6.4
男性 65～74 歳	284	30.6	28.5	25.4	16.2	7.7	18.3	19.7	28.2	27.8	0.7	22.2	1.8
男性 75～84 歳	222	29.3	19.4	19.4	14.4	5.0	13.5	14.4	18.5	21.2	0.9	22.1	5.0
男性 85 歳以上	63	31.7	23.8	17.5	22.2	1.6	14.3	12.7	22.2	27.0	0.0	25.4	9.5
女性 65～74 歳	281	34.5	26.3	27.8	16.4	4.6	13.2	14.6	24.2	25.3	1.4	22.1	5.7
女性 75～84 歳	249	34.1	15.7	23.3	11.2	4.4	4.8	8.4	15.3	18.5	0.8	22.9	10.8
女性 85 歳以上	107	24.3	7.5	15.0	8.4	1.9	5.6	2.8	4.7	10.3	3.7	35.5	12.1
一人暮らし	246	30.9	24.4	19.1	17.1	5.3	6.5	14.6	21.1	26.4	0.8	21.5	7.7
夫婦二人暮らし	578	33.9	21.6	25.6	15.1	5.2	14.4	13.3	22.5	23.4	1.4	22.5	5.5
息子・娘との二世帯	157	25.5	19.1	22.3	10.2	5.1	11.5	14.0	15.3	14.6	0.0	28.0	8.9
その他	181	29.8	19.9	24.3	14.4	3.9	13.8	13.8	19.3	21.5	1.7	24.9	6.1

問 12（9）あなたは成年後見制度をご存じですか。（単数回答）

「内容を少し知っている」が40.4%で最も高く、次いで、「聞いたことがあるが内容は知らない」が23.6%、「知らない」が19.7%となっている。

■ 内容までよく知っている ■ 内容を少し知っている ■ 聞いたことがあるが内容は知らない ■ 知らない □ 無回答

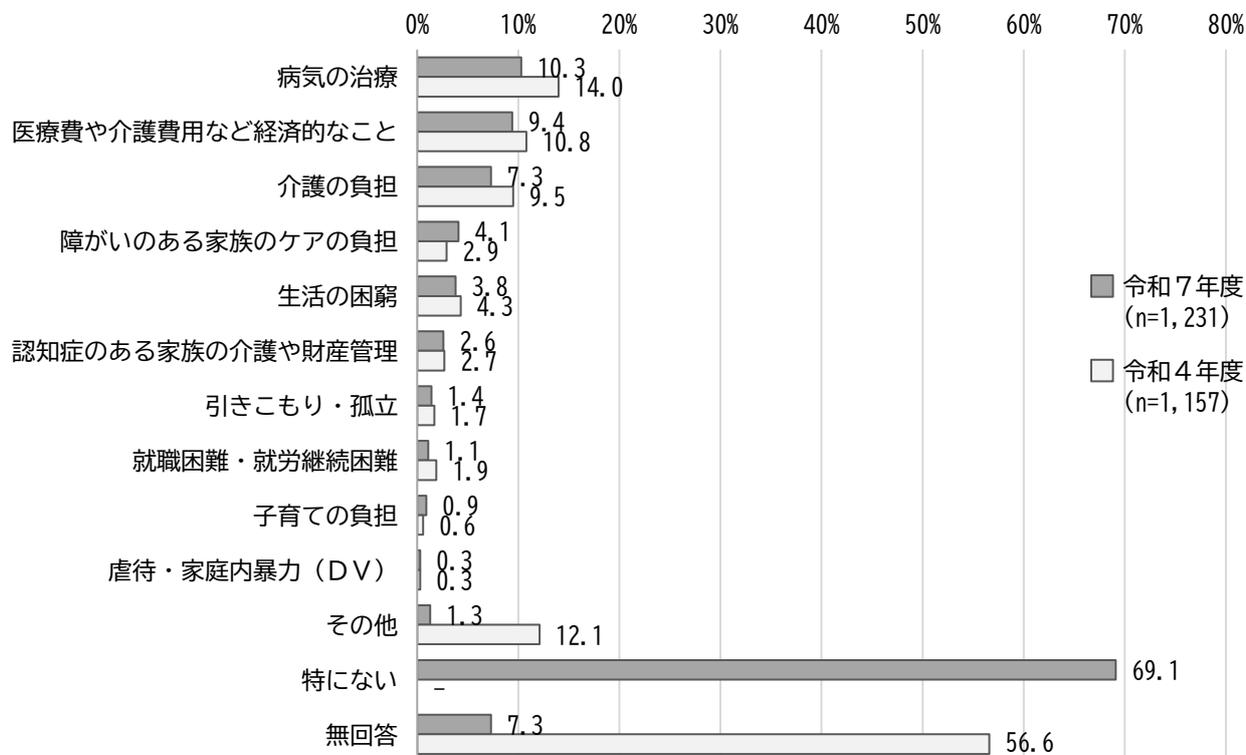


単位：%

	人数	内容までよく知っている	内容を少し知っている	聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体	1,231	13.3	40.4	23.6	19.7	2.9
男性 65～74 歳	284	13.4	39.1	23.6	23.2	0.7
男性 75～84 歳	222	14.0	36.9	23.0	24.3	1.8
男性 85 歳以上	63	9.5	20.6	31.7	30.2	7.9
女性 65～74 歳	281	13.9	47.3	23.5	13.9	1.4
女性 75～84 歳	249	14.5	46.6	22.1	12.4	4.4
女性 85 歳以上	107	10.3	31.8	23.4	26.2	8.4
一人暮らし	246	15.4	37.8	25.6	17.9	3.3
夫婦二人暮らし	578	12.5	41.5	22.8	20.6	2.6
息子・娘との二世帯	157	15.3	34.4	25.5	19.7	5.1
その他	181	13.3	43.6	22.1	19.9	1.1

問 12 (10) あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(複数回答)

「特にない」が69.1%で最も高く、次いで、「病気の治療」が10.3%、「医療費や介護費用など経済的なこと」が9.4%となっている。

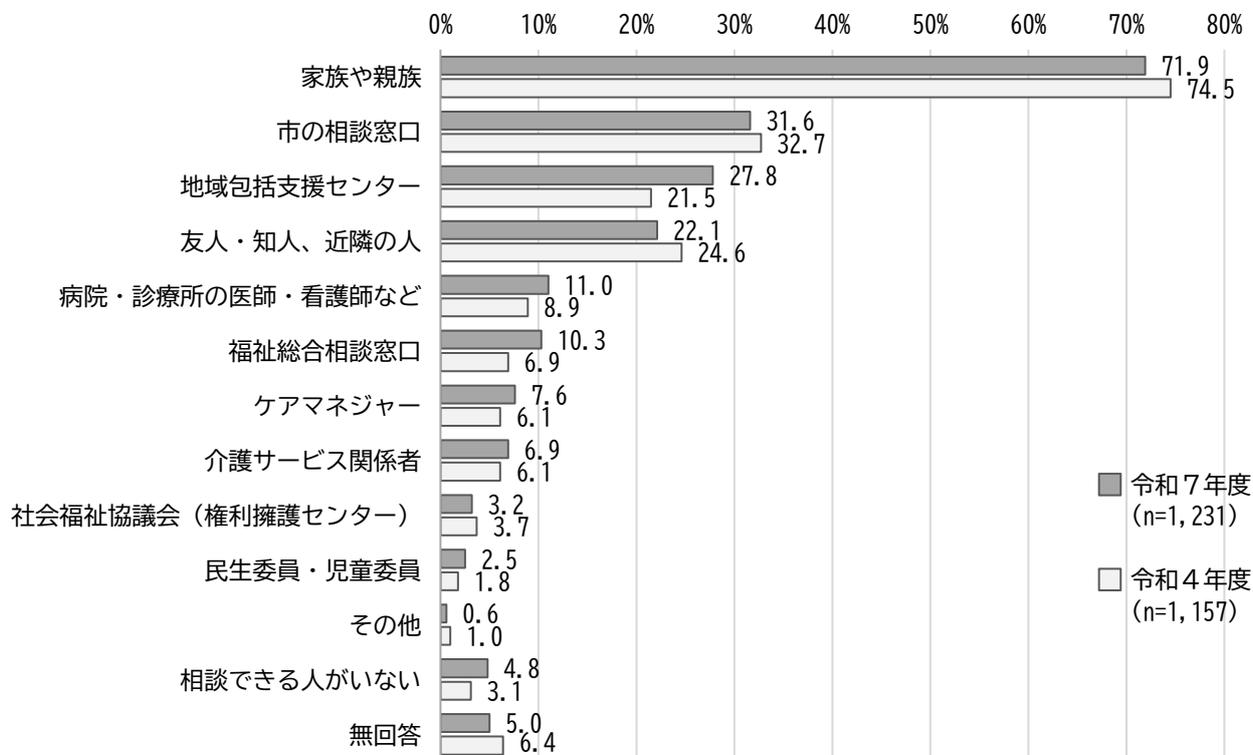


単位：%

	人数	介護の負担	子育ての負担	障がいのある家族のケアの負担	病気の治療	生活の困窮	認知症のある家族の介護や財産管理	医療費や介護費用など経済的なこと	就職困難・就労継続困難	引きこもり・孤立	虐待・家庭内暴力(DV)	その他	特にない	無回答
全体	1,231	7.3	0.9	4.1	10.3	3.8	2.6	9.4	1.1	1.4	0.3	1.3	69.1	7.3
男性 65～74 歳	284	8.1	2.1	6.0	12.3	4.6	3.2	10.2	1.8	1.8	0.4	1.1	68.3	4.2
男性 75～84 歳	222	6.3	0.5	3.2	9.9	5.9	2.3	10.4	0.9	1.8	0.0	0.9	73.4	5.0
男性 85 歳以上	63	11.1	0.0	3.2	22.2	3.2	4.8	20.6	0.0	0.0	1.6	0.0	63.5	4.8
女性 65～74 歳	281	5.7	1.1	4.6	7.1	3.2	3.2	9.6	1.8	1.1	0.4	3.6	68.3	6.8
女性 75～84 歳	249	6.0	0.4	2.4	7.6	2.4	0.8	4.4	0.4	1.2	0.4	0.0	73.1	10.4
女性 85 歳以上	107	12.1	0.0	4.7	11.2	2.8	1.9	8.4	0.9	1.9	0.0	0.9	62.6	14.0
一人暮らし	246	6.9	0.4	1.6	8.1	6.1	1.2	8.1	0.4	0.8	0.0	0.8	69.1	8.9
夫婦二人暮らし	578	7.3	0.7	2.6	10.4	2.9	2.6	9.0	0.7	1.4	0.5	1.9	73.4	5.7
息子・娘との二世帯	157	6.4	1.3	8.9	12.7	2.5	3.2	8.9	1.3	0.6	0.6	0.6	62.4	10.8
その他	181	9.4	1.7	7.7	9.9	4.4	3.3	11.6	3.9	2.8	0.0	1.1	62.4	6.1

問 12 (11) あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（複数回答）

「家族や親族」が71.9%で最も高く、次いで、「市の相談窓口」が31.6%、「地域包括支援センター」が27.8%となっている。



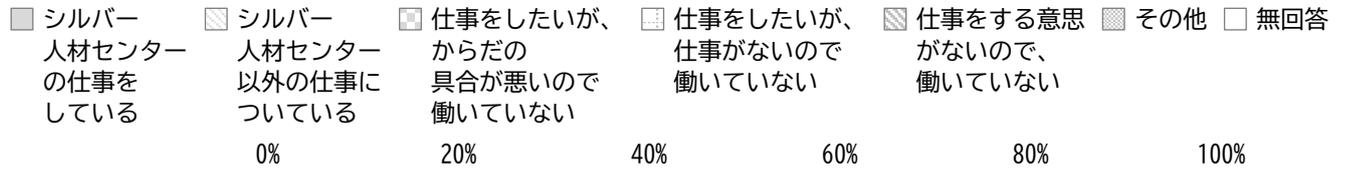
単位：％

	人数	家族や親族	友人・知人、近隣の人	市の相談窓口	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	ケアマネジャー	介護サービス関係者	福祉総合相談窓口	社会福祉協議会（権利擁護センター）	病院・診療所の医師・看護師など	その他	相談できる人がいない	無回答
全体	1,231	71.9	22.1	31.6	27.8	2.5	7.6	6.9	10.3	3.2	11.0	0.6	4.8	5.0
男性 65～74 歳	284	67.3	18.0	36.6	20.4	2.5	8.5	5.6	10.2	2.8	10.2	0.7	8.1	3.9
男性 75～84 歳	222	73.4	15.3	29.7	25.7	3.6	3.2	6.8	14.9	5.4	9.5	0.0	5.4	5.0
男性 85 歳以上	63	82.5	6.3	27.0	34.9	4.8	11.1	11.1	9.5	6.3	17.5	1.6	6.3	1.6
女性 65～74 歳	281	74.4	38.8	33.5	24.9	0.7	6.4	6.0	6.4	1.8	9.6	0.7	3.6	4.3
女性 75～84 歳	249	70.3	22.5	28.1	34.9	2.4	5.6	6.0	11.2	3.2	9.6	0.8	2.4	6.8
女性 85 歳以上	107	72.0	13.1	27.1	37.4	3.7	19.6	11.2	9.3	2.8	17.8	0.9	1.9	6.5
一人暮らし	246	59.3	26.0	26.4	30.1	2.4	8.1	5.3	13.4	4.1	11.8	1.2	8.1	4.9
夫婦二人暮らし	578	78.4	21.1	34.4	27.2	1.7	6.9	7.6	9.3	3.1	9.9	0.3	3.8	4.2
息子・娘との二世帯	157	72.0	22.3	28.0	22.9	1.9	8.3	6.4	8.9	5.1	11.5	0.0	3.2	7.6
その他	181	69.1	22.1	32.6	28.7	4.4	7.2	6.1	9.9	2.2	11.6	1.7	5.5	4.4
北東圏域	286	67.5	21.0	33.9	27.3	1.7	7.3	7.7	11.2	3.8	11.9	1.0	6.6	6.3
南西圏域	306	77.5	25.5	33.3	25.5	2.6	6.9	5.9	8.8	3.3	9.2	0.0	2.6	2.9
南東圏域	300	71.7	24.0	28.0	26.3	1.3	9.0	7.0	9.7	2.7	11.7	1.0	4.3	5.7
北西圏域	299	71.2	18.1	30.8	31.1	3.7	7.0	6.7	11.0	3.3	10.7	0.7	5.4	4.7

問 13 就労意向について

問 13 (1) あなたは現在、収入のある仕事についていますか。(単数回答)

「仕事をする意思がないので、働いていない」が 43.7%で最も高く、次いで、「シルバー人材センター以外の仕事についている」が 20.9%、「その他」が 11.6%となっている。



令和7年度(n=1,231)	3.1	20.9	3.8	4.5	43.7	11.6	12.3
令和4年度(n=1,157)	3.8	19.4	4.1	5.7	40.5	12.1	14.3

単位：%

	人数	シルバー人材センターの仕事をしている	シルバー人材センター以外の仕事についている	仕事をしたいが、からだの具合が悪いので働いていない	仕事をしたいが、仕事がないので働いていない	仕事をする意思がないので、働いていない	その他	無回答
全体	1,231	3.1	20.9	3.8	4.5	43.7	11.6	12.3
男性 65～74 歳	284	1.4	40.5	3.9	7.0	26.1	14.4	6.7
男性 75～84 歳	222	7.7	16.2	3.2	2.3	54.1	9.5	7.2
男性 85 歳以上	63	4.8	1.6	3.2	1.6	63.5	9.5	15.9
女性 65～74 歳	281	2.1	28.1	3.2	7.8	35.9	14.2	8.5
女性 75～84 歳	249	2.8	8.4	5.2	2.4	57.4	8.0	15.7
女性 85 歳以上	107	0.0	1.9	0.9	0.9	46.7	11.2	38.3
一人暮らし	246	1.6	17.1	6.5	3.7	41.9	14.2	15.0
夫婦二人暮らし	578	3.3	22.1	2.4	4.7	45.8	10.4	11.2
息子・娘との二世帯	157	4.5	18.5	3.2	4.5	44.6	9.6	15.3
その他	181	3.3	24.9	3.3	6.1	39.8	13.3	9.4
北東圏域	286	3.8	13.6	4.2	3.5	43.0	14.3	17.5
南西圏域	306	2.6	24.2	4.2	4.6	44.8	9.5	10.1
南東圏域	300	3.7	22.7	2.3	6.3	41.7	12.7	10.7
北西圏域	299	2.3	23.4	3.3	4.0	45.2	10.7	11.0

■仕事の状況と要介護リスク該当率

単位：%

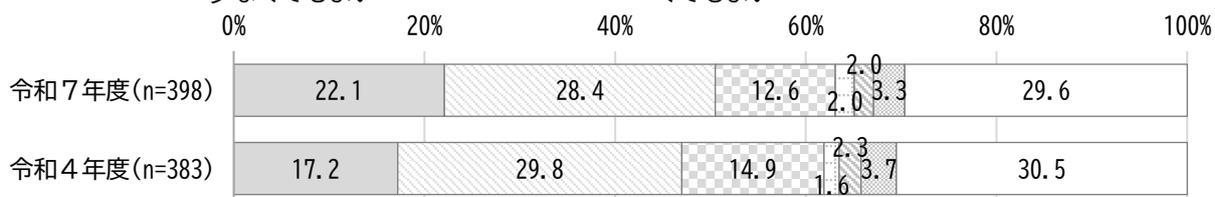
	人数	運動器機能	低栄養	咀嚼機能	うつ	認知症	閉じこもり	IADL 低下
全体	1,231	10.7	9.3	23.6	43.2	39.2	12.3	2.4
シルバー人材センターの仕事をしている	38	10.5	10.5	15.8	39.5	50.0	7.9	0.0
シルバー人材センター以外の仕事についている	257	3.5	7.8	14.8	37.0	33.5	5.1	0.4
仕事をしたいがからだの具合が悪いので働いていない	47	21.3	8.5	42.6	74.5	44.7	17.0	4.3
仕事をしたいが仕事がないので働いていない	56	0.0	8.9	21.4	60.7	48.2	14.3	0.0
仕事をする意思がないので、働いていない	538	13.8	10.0	24.5	40.3	39.0	12.8	3.3
その他	143	5.6	9.1	17.5	44.1	37.8	9.1	2.1

【問13(1)で「仕事をしている」「仕事をしたい」と回答した方】

問13(2) あなたは今後、どのようなかたちで働きたいと考えていますか。(単数回答)

「自分の知識や技能をいかした仕事ができれば、収入は少なくてもよい」が28.4%で最も高く、次いで、「自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい」が22.1%、「地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい」が12.6%となっている。

- 自分の知識や技能をいかして収入の多い仕事をしたい
- 自分の知識や技能をいかした仕事ができれば、収入は少なくてもよい
- 地域に貢献できる仕事ができれば収入は少なくてもよい
- 自分の知識や技能をいかした活動ができれば収入は少なくてもよい
- 地域に貢献できる仕事ができれば収入は少なくてもよい
- その他
- 無回答



■今後の仕事の希望

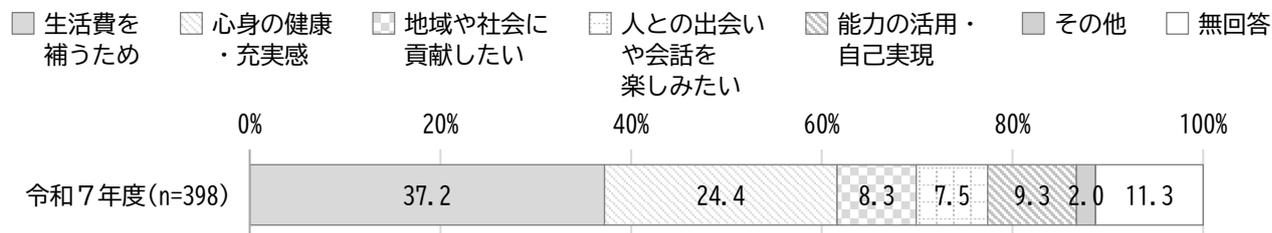
単位：%

	人数	自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい	自分の知識や技能をいかした仕事ができれば、収入は少なくてもよい	地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい	自分の知識や技能をいかした活動ができれば、収入は少なくてもよい	地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい	その他	無回答
全体	398	22.1	28.4	12.6	2.0	2.0	3.3	29.6
男性 65～74 歳	150	26.0	35.3	9.3	2.0	0.7	5.3	21.3
男性 75～84 歳	65	26.2	26.2	12.3	3.1	6.2	1.5	24.6
男性 85 歳以上	7	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6
女性 65～74 歳	116	20.7	25.9	14.7	1.7	0.9	1.7	34.5
女性 75～84 歳	47	10.6	21.3	19.1	0.0	4.3	2.1	42.6
女性 85 歳以上	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0
一人暮らし	71	23.9	26.8	12.7	1.4	0.0	0.0	35.2
夫婦二人暮らし	188	20.7	29.8	13.8	1.6	3.2	4.8	26.1
息子・娘との二世帯	48	25.0	16.7	12.5	2.1	0.0	4.2	39.6
その他	68	26.5	35.3	10.3	2.9	2.9	1.5	20.6

【問 13（1）で「仕事をしている」「仕事をしたい」と回答した方】

問 13（3）仕事をする一番の理由は何ですか。（単数回答）

「生活費を補うため」が 37.2%で最も高く、次いで、「心身の健康・充実感」が 24.4%、「能力の活用・自己実現」が 9.3%となっている。



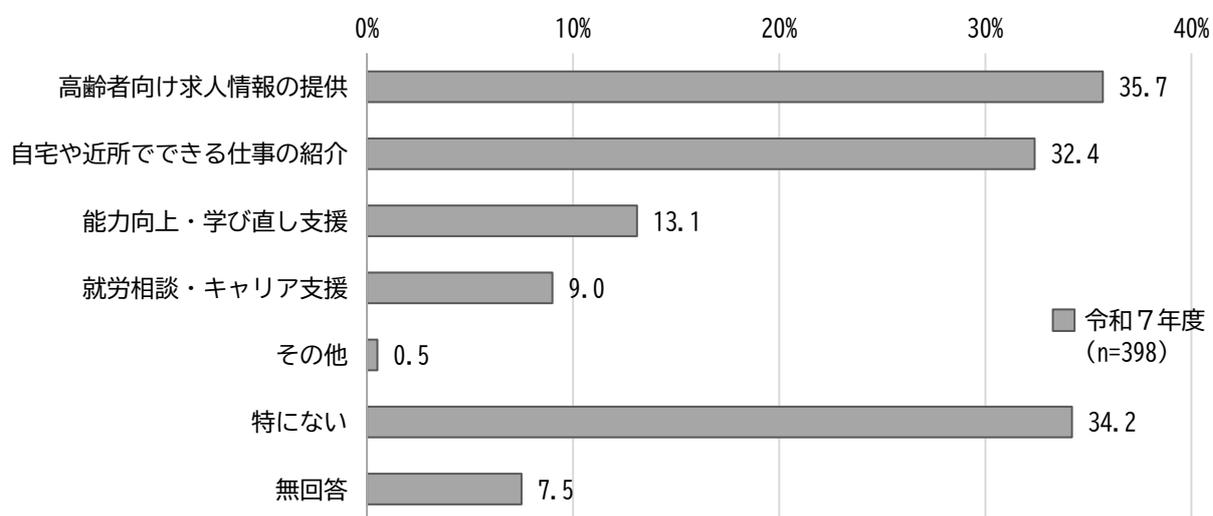
単位：%

	人数	生活費を補うため	心身の健康・充実感	地域や社会に貢献したい	人との出会うや会話を楽しみたい	能力の活用・自己実現	その他	無回答
全体	398	37.2	24.4	8.3	7.5	9.3	2.0	11.3
男性 65～74 歳	150	38.7	24.7	8.0	7.3	11.3	2.7	7.3
男性 75～84 歳	65	44.6	32.3	9.2	3.1	4.6	0.0	6.2
男性 85 歳以上	7	14.3	28.6	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3
女性 65～74 歳	116	33.6	23.3	9.5	6.9	11.2	2.6	12.9
女性 75～84 歳	47	29.8	17.0	8.5	12.8	6.4	2.1	23.4
女性 85 歳以上	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
一人暮らし	71	42.3	18.3	8.5	7.0	7.0	2.8	14.1
夫婦二人暮らし	188	33.0	27.1	9.0	8.0	10.6	2.7	9.6
息子・娘との二世帯	48	39.6	18.8	8.3	12.5	4.2	0.0	16.7
その他	68	41.2	29.4	8.8	4.4	8.8	1.5	5.9

【問13(1)で「仕事をしている」「仕事をしたい」と回答した方】

問13(4) 就労につながるためにどのようなサポートを受けたいですか。(複数回答)

「高齢者向け求人情報の提供」が35.7%で最も高く、次いで、「特にない」が34.2%、「自宅や近所でできる仕事の紹介」が32.4%となっている。



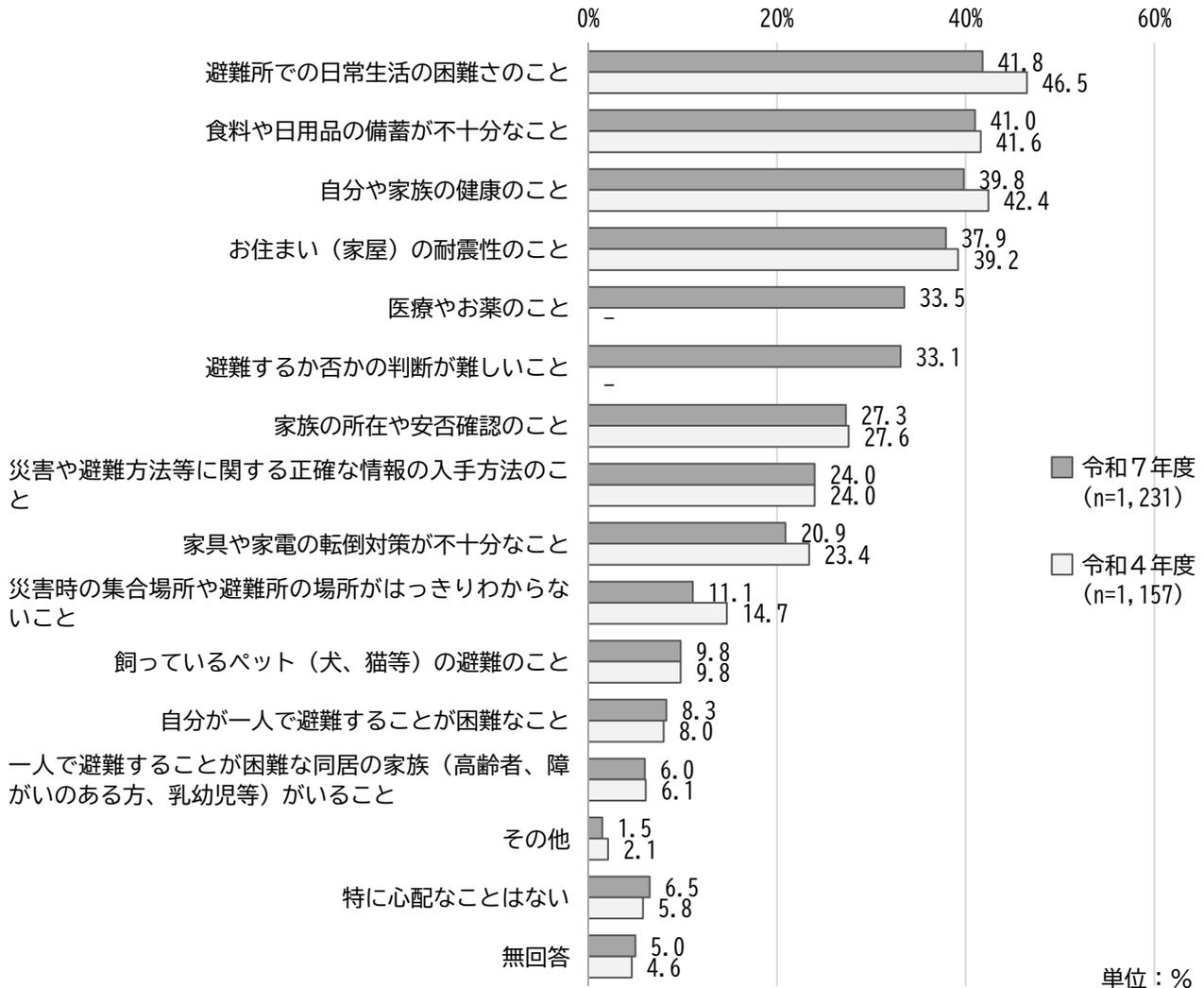
単位：%

	人数	高齢者向け求人情報の提供	能力向上・学び直し支援	就労相談・キャリア支援	自宅や近所でできる仕事の紹介	その他	特にない	無回答
全体	398	35.7	13.1	9.0	32.4	0.5	34.2	7.5
男性 65～74歳	150	37.3	10.7	10.7	28.7	0.7	39.3	6.0
男性 75～84歳	65	24.6	15.4	4.6	24.6	0.0	43.1	6.2
男性 85歳以上	7	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3
女性 65～74歳	116	44.0	16.4	11.2	43.1	0.9	25.9	6.0
女性 75～84歳	47	27.7	12.8	4.3	29.8	0.0	29.8	14.9
女性 85歳以上	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
一人暮らし	71	39.4	8.5	8.5	36.6	0.0	32.4	11.3
夫婦二人暮らし	188	34.6	13.3	9.0	36.7	1.1	35.1	4.8
息子・娘との二世帯	48	41.7	8.3	4.2	29.2	0.0	29.2	12.5
その他	68	32.4	23.5	14.7	22.1	0.0	35.3	4.4

問 14 災害対応について

問 14 (1) あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。(複数回答)

「避難所での日常生活の困難さのこと」が 41.8%で最も高く、次いで、「食料や日用品の備蓄が不十分なこと」が 41.0%、「自分や家族の健康のこと」が 39.8%となっている。

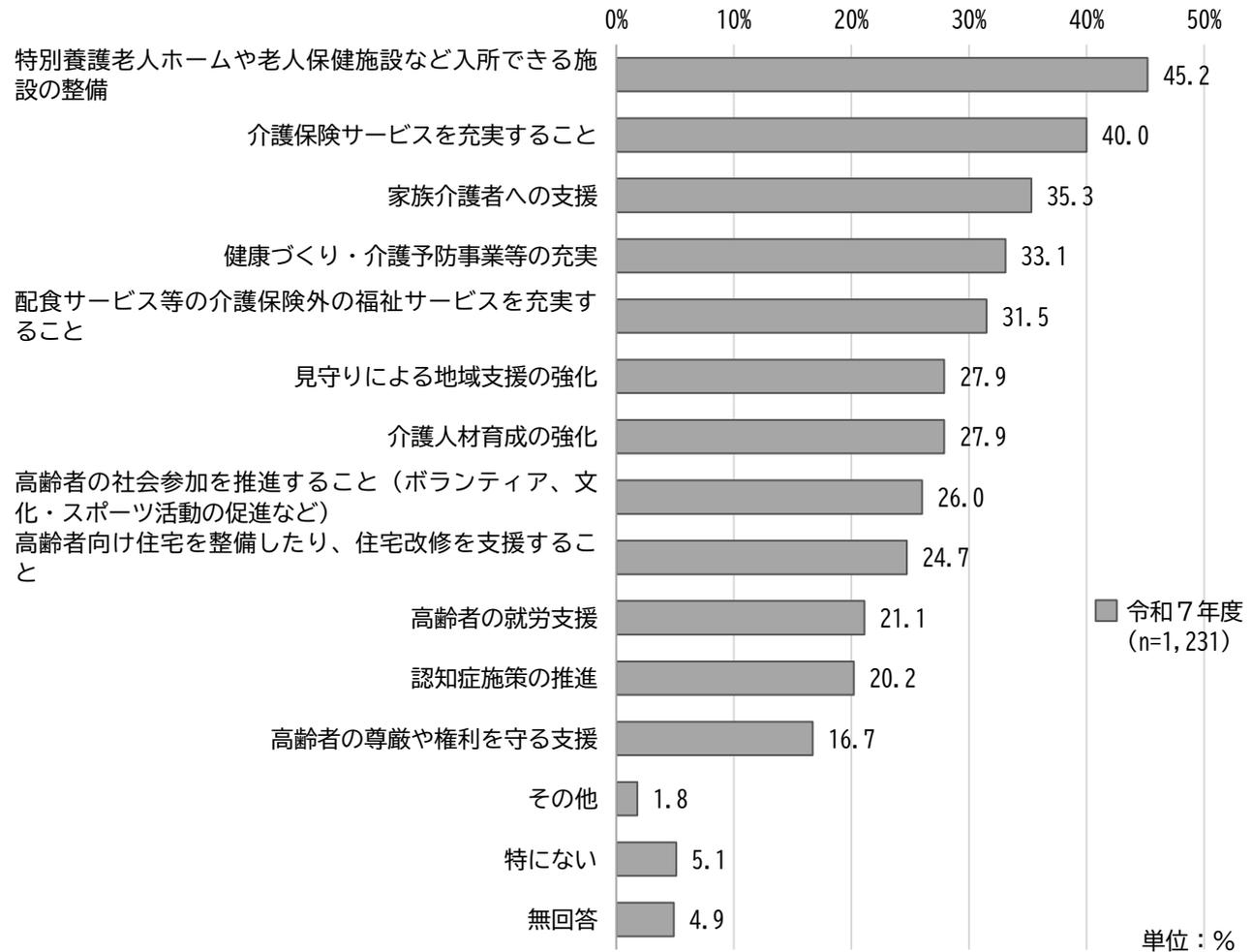


	人数	お住まい(家屋)の耐震性	家具や家電の転倒対策が不十分	食料や日用品の備蓄が不十分	避難するか否かの判断が難しい	集合場所や避難所の場所が不明	避難所での日常生活の困難さ	自分が一人で避難することが困難	一人での避難が困難な同居の家族	自分や家族の健康のこと	医療やお薬のこと	家族の所在や安否確認	飼っているペットの避難	災害や避難に関する情報の入手方法	その他	特に心配なことはない	無回答
全体	1,231	37.9	20.9	41.0	33.1	11.1	41.8	8.3	6.0	39.8	33.5	27.3	9.8	24.0	1.5	6.5	5.0
男性 65～74歳	284	37.7	19.7	42.6	29.2	8.8	36.6	3.9	6.0	42.3	32.0	27.5	13.0	19.0	1.1	8.1	3.5
男性 75～84歳	222	41.4	19.8	43.7	26.1	9.0	39.6	5.9	2.7	43.7	35.6	25.7	8.1	19.4	2.3	9.9	3.6
男性 85歳以上	63	46.0	27.0	44.4	27.0	12.7	50.8	20.6	15.9	42.9	49.2	22.2	1.6	22.2	0.0	4.8	1.6
女性 65～74歳	281	35.9	21.0	46.3	34.9	9.6	46.6	3.9	5.0	44.1	30.2	35.2	13.2	30.2	1.8	3.2	3.9
女性 75～84歳	249	34.1	23.7	34.9	41.0	12.0	45.4	7.6	5.6	33.3	30.5	22.1	10.4	26.1	0.8	5.2	7.2
女性 85歳以上	107	40.2	16.8	31.8	37.4	20.6	36.4	29.9	10.3	29.9	36.4	23.4	1.9	22.4	2.8	7.5	9.3
一人暮らし	246	37.8	17.9	38.2	39.0	13.4	38.2	14.2	2.4	25.6	30.1	17.9	5.7	24.8	1.6	6.1	4.9
夫婦二人暮らし	578	37.2	19.7	40.8	32.4	8.0	42.7	5.2	5.5	45.5	33.7	28.2	9.3	22.5	1.4	7.1	4.7
息子・娘との二世帯	157	41.4	24.2	43.9	36.3	14.6	47.8	10.8	9.6	43.9	33.8	31.8	10.8	23.6	1.9	8.3	4.5
その他	181	36.5	26.5	43.1	25.4	13.8	41.4	8.3	7.7	39.2	35.4	30.4	13.8	26.0	1.1	3.3	5.0

問 15 その他・市への要望について

問 15 (1) 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを充実すべきだとお考えですか。(複数回答)

「特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設の整備」が 45.2%で最も高く、次いで、「介護保険サービスを充実すること」が 40.0%、「家族介護者への支援」が 35.3%となっている。

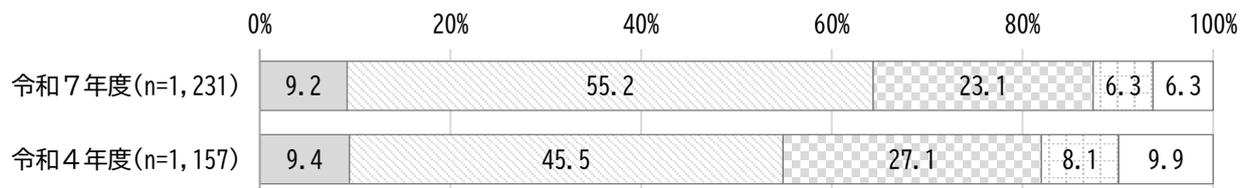


	人数	高齢者の社会参加を推進すること	高齢者の就労支援	健康づくり・介護予防事業等の充実	見守りによる地域支援の強化	介護保険サービスを充実すること	介護保険外の福祉サービスの充実	高齢者住宅の整備や住宅改修の支援	特養など入所できる施設整備	認知症施策の推進	高齢者の尊厳や権利を守る支援	家族介護者への支援	介護人材育成の強化	その他	特にない	無回答
全体	1,231	26.0	21.1	33.1	27.9	40.0	31.5	24.7	45.2	20.2	16.7	35.3	27.9	1.8	5.1	4.9
男性 65～74 歳	284	27.1	31.7	35.2	28.5	38.0	32.7	29.9	40.5	23.6	13.4	30.6	24.6	1.8	5.3	3.2
男性 75～84 歳	222	29.3	15.8	30.2	30.6	35.1	29.7	18.0	43.7	17.1	14.4	31.1	19.4	1.8	5.9	4.5
男性 85 歳以上	63	17.5	11.1	33.3	38.1	42.9	28.6	22.2	46.0	23.8	17.5	36.5	31.7	0.0	6.3	0.0
女性 65～74 歳	281	29.2	27.4	38.8	28.8	43.1	35.9	29.5	50.9	20.3	19.2	43.1	32.0	3.9	2.1	3.2
女性 75～84 歳	249	24.1	14.5	28.9	21.3	42.2	30.1	22.1	45.4	18.9	17.7	34.5	36.5	0.8	6.4	6.8
女性 85 歳以上	107	14.0	7.5	27.1	25.2	33.6	26.2	21.5	42.1	16.8	19.6	36.4	19.6	0.0	8.4	12.1
一人暮らし	246	23.6	19.1	27.2	33.3	34.1	33.3	25.2	41.1	17.9	18.7	19.9	30.1	1.2	5.3	6.5
夫婦二人暮らし	578	25.6	20.4	35.1	28.2	42.4	33.4	27.3	47.4	22.0	15.9	36.5	28.5	2.2	5.2	3.3
息子・娘との二世帯	157	28.7	21.0	31.8	19.7	40.8	28.7	15.9	45.2	17.8	18.5	43.9	28.0	1.3	5.1	3.2
その他	181	26.5	23.8	38.1	27.1	35.4	28.2	26.5	41.4	17.7	14.4	42.5	22.7	2.2	5.5	6.6

問 15 (2) 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(単数回答)

「どちらかといえばそう思う」が 55.2%で最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」が 23.1%、「そう思う」が 9.2%となっている。

■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う ▩ どちらかといえばそう思わない ▪ そう思わない □ 無回答



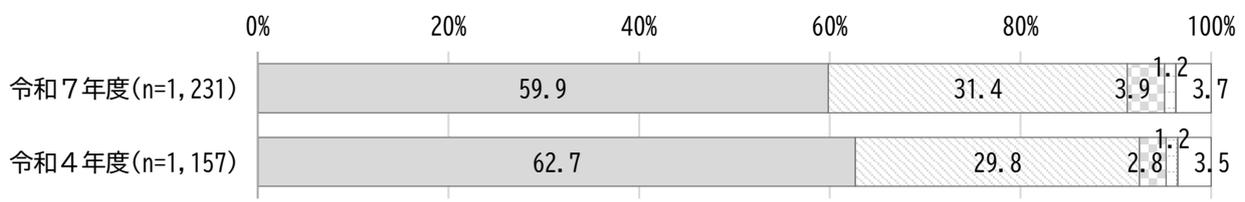
単位：%

	人数	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	無回答
全体	1,231	9.2	55.2	23.1	6.3	6.3
男性 65～74 歳	284	8.1	55.6	24.6	8.8	2.8
男性 75～84 歳	222	9.5	51.4	23.9	7.7	7.7
男性 85 歳以上	63	20.6	49.2	20.6	4.8	4.8
女性 65～74 歳	281	5.7	55.5	28.8	4.6	5.3
女性 75～84 歳	249	10.4	58.2	18.1	6.0	7.2
女性 85 歳以上	107	11.2	55.1	15.0	4.7	14.0
一人暮らし	246	11.8	55.7	22.0	3.7	6.9
夫婦二人暮らし	578	7.8	54.8	24.6	7.6	5.2
息子・娘との二世帯	157	11.5	55.4	19.7	7.6	5.7
その他	181	8.3	52.5	24.9	6.1	8.3

問 15 (3) あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

「そう思う」が 59.9%で最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」が 31.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 3.9%となっている。

■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う ▩ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない □ 無回答



単位：%

	人数	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	無回答
全体	1,231	59.9	31.4	3.9	1.2	3.7
男性 65～74 歳	284	56.0	35.6	3.5	2.8	2.1
男性 75～84 歳	222	61.3	30.2	2.7	1.4	4.5
男性 85 歳以上	63	71.4	20.6	3.2	0.0	4.8
女性 65～74 歳	281	53.0	37.0	7.5	0.4	2.1
女性 75～84 歳	249	63.9	28.1	2.0	0.8	5.2
女性 85 歳以上	107	72.0	17.8	3.7	0.9	5.6
一人暮らし	246	57.3	33.7	3.3	1.6	4.1
夫婦二人暮らし	578	60.2	29.9	4.5	1.7	3.6
息子・娘との二世帯	157	61.8	31.2	4.5	0.6	1.9
その他	181	58.6	33.7	3.3	0.0	4.4
北東圏域	286	57.3	33.6	3.1	0.7	5.2
南西圏域	306	58.2	30.1	4.6	2.3	4.9
南東圏域	300	63.3	29.7	2.7	1.0	3.3
北西圏域	299	61.5	31.1	5.7	1.0	0.7

問 15（4）高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。（自由回答）

※自由回答について内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

◆行政への意見・提案（66件）

■福祉のまちづくりの推進（31件）

- ・駅の施設整備（エスカレータ及びホームへの昇降口増設、転落防止柵設置）
- ・バス料金の軽減措置、お風呂券、ゴミ処理券の無料化、お米券、市役所窓口の休日運用、アンケートの謝礼
- ・個人経営の飲食店、ショッピング店をもっと活性化させる施策を考えてほしい。
- ・高齢者支援はお願いしたいが、若夫婦の家庭支援もお願いします。
- ・連雀通りが狭く危険で、市役所まで歩いて行けません。特に中山谷付近は危険です。3・4・1号線よりも、まず連雀通りの安全対策を優先してください。
- ・一人で生きていく力を本人に意識させ、加齢によりどうしても人の手（支援）を必要とするところに手を差し伸べてほしい。
- ・上水桜通りでは秋冬の落ち葉が非常に多く、年齢や腰痛のため片付けが大きな負担です。植樹だけでなく、落ち葉清掃などの支援もお願いしたいです。たばこのポイ捨ても多く、火災が心配です。
- ・将来困った際には市役所や地域包括支援センターが親切に相談に乗ってくださることを期待しています。
- ・老人がいきいき暮らせる行政をお願いします。
- ・高齢者支援施策とともに小金井市の住民すべてが共生する社会をめざしてほしいと思います。
- ・少し歩ける高齢者のために市内のアチコチに通行の防げとらない所にいすやベンチなど腰かける所を設置してほしい。

■行政体制・支援強化（12件）

- ・これは国や都の問題かもしれないが、くだらない事に税金を使わないで、高齢者支援を行う業者が廃業しなくても済む様な仕組みや支援は必要だと思う。
- ・高齢者一人ひとりの意見を吸い上げて、きめ細かいサービス、支援ができるような施策を進めてほしい。
- ・ボランティアで関わっている所のスタッフさん、社協方など、とても丁寧ですばらしい活動をなさっているので、そちらへのサポートが多いと良いと実感しています。
- ・小金井市は公共施設がみずばらしい。早く市庁舎を建ててほしい。
- ・若い人達に負担がかかるような試策は、さけてほしい。

■情報提供・周知の工夫（8件）

- ・現在どんな施策を実行していて、これからどんな施策をやる予定なのが、わかりやすく一枚のペーパーにまとめて周知衆知を図って欲しい。
- ・インターネットを使えない高齢者もいるので、ペーパーで分かりやすく福祉の活動を発信して戴きたいですね！
- ・市報に高齢者向け情報コーナーを設ける（月1回でも）・近隣市と提携して、高齢者向け講座、学習、娯楽などを開催する。
- ・具体的に高齢者に説明の場を増していただきたい。

■相談窓口の周知・充実（7件）

- ・健康や心配ごとが起きたとき、どこへ相談したらよいかを相談に乗ってほしい。同居する家族にとってもとても助かることだと思います。
- ・老老介護になった時、共倒れにならないように、支援していただきたい。確定申告の手助けをしてほしい。
- ・死亡した時墓は造らず海そう野そうにしたいから相談する係がほしい。

■補助金・助成制度の拡充（4件）

- ・補聴器の補助金があるのでしょうか。
- ・聴覚障害者のために携帯できる呼び出しボタンを市から給付して欲しい。

■災害時の対応・防犯・安全（2件）

- ・避難所が遠い、本町は第三小学校になっているが高齢者が大災害になったら、第三小学校に無事に着く人はいない、防災マップを作った人は実情を知らない。
- ・自動車の通行量が多い、宅配車のかって駐車は通行に危険。自転車の逆行、一時停止無視、安全な通行の確保。

■介護人材の育成・処遇改善（2件）

- ・少子化、高齢者時代における人材不足を補う為の高齢者の活用による社会貢献と、多種病気の予防対策の推進

◆地域・社会参加・生きがい（42件）

■社会参加支援（26件）

- ・地域で気楽に徒歩で訪問できる、施設があればよいと思う。
- ・介護予防のための活動を身近なところで実施してほしい。（体操、ウォーキング教室等）
- ・「こがねい国保健幸チャレンジ」や「健康運動教室」に参加し、楽しく運動を継続できています。
- ・図書の新刊受付をもう少し良好（多く）にしてほしい。
- ・高齢者に特化した健康体操教室やグループ体操行事をもっと増やしてほしい。
- ・高齢者にきめなくてお茶ができる空間がほしい。お話をしたい
- ・フレイル予防への健康体操及び散歩の企画
- ・文化的な友達（友人）づくりの集いなど（費用、会費など必要な支払いはいりません。）
- ・地域特性にあった支援施策を望みます e x. 住宅地、コミュニティ、学園・公園が豊富、交通の利便性等
- ・図書館の充実
- ・自由に参加できる。映画会、音楽会、お芝居があれば、無料又は安価で。

■就労・働く機会（10件）

- ・高齢者の働き口をもっと多く発信発進してほしい。
- ・高齢者が特性に合った柔軟な働き方を選べる環境づくりをご検討ください。
- ・高齢者が自立できるように、就労機会を増やして欲しいです。
- ・元気な高齢者は多いです。働きたい人に、こんな仕事があると情報を出していただければ働ける人はたくさんいらっしゃると思います。

■生きがい・役割づくり（6件）

- ・周りを見ると高齢でも1人で生活している人が多い。良く歩き、おしゃべりをして元気な様子なので見習いたい。
- ・体操教室に参加してきたおかげで、今も自立した生活ができています。高齢者には筋力づくりが大切です。市内の身近な施設で、年間を通じて利用できる教室を実施してほしいです。
- ・隣人を大切にしたい。昔は隣人と深い交際がありました。

◆介護保険制度・サービス（34件）

■施設・設備の充実（14件）

- ・今でも特養は少ないので高額な費用の施設しかない現状、この先どうなるのでしょうか。
- ・安く入所出来る施設の整備
- ・特養ホームや保健施設の充実を願う。
- ・介護施設の充実、施設の個数が多くあればよい。
- ・高齢者が安心してらせる市にしてほしい。高齢者住宅を充実してほしい！
- ・施設に入っても、食べる練習、運動などもっと行って、また家に帰れるようになるよう支援してほしい。

■介護保険制度・認定（10件）

- ・介護の認定や審査に時間がかかり過ぎると思います。
- ・近くに妹が住んでいるためヘルパーを利用できないと言われたが、老老介護で全介護は困難であり、その制度はおかしいと感じている。
- ・介護保険、医療費の軽減
- ・今のところ健康に不安はありませんが、年金から引かれている介護保険料の高さには少々困っています。

■利用者の経済的負担（3件）

- ・介護保険の内容低下、健康保険自己負担額（割合）のアップとても不安です。年齢と共に病気やケガが増えていますが、年金生活では必要な通院を控えるしかありません。
- ・住民税や健康保険料の負担が重いと感じており、健康維持に費用がかかるため、保険料が一定額以下の人には支給などの支援があってもよいのではないかと考えている。
- ・所得の少ない高齢者は介護保険料の負担がかなり大きく、生活費の捻出に苦労しているのが現状と思うので、市としては何らかの方法でバックアップを充実し対応していただきたい、と願っています。

■ケアマネ事業所の運営・質（3件）

- ・90歳を過ぎ一人暮らしで、包括支援センターやケアマネに連絡しても対応がなく、骨折を繰り返し不安な中、どこに相談すればよいのか分からず困っています。
- ・担当ケアマネジャーを決め相談できる形を作ってほしい。

■訪問介護事業の運営・質（2件）

- ・訪問介護が充実すれば在宅で最後まで過ごせると思う。自己負担が増えてもよい。施設か病院にはなるべく入りたくない。

■居宅系サービスの充実・質の向上（2件）

- ・両腕を痛め家事ができず、認知症の夫との生活に不安があります。治るまで短期入所できる施設があれば助かります。

- ・介護度別のデイサービスを作って欲しい。また、入浴したい人、運動をしたい人、歌を歌い人。絵を描きたい人等その人のニーズに合わせサービスを受けられれば楽しいものになりそうな気がするものである。

◆生活課題・困りごと (32件)

■身元保証・独居・孤立 (12件)

- ・高齢者の賃貸住宅の契約が困難になっているので、大家さんに不安を生じさせないような対策をとってほしい。
- ・1人生活の安否
- ・1人暮らしの高齢者にとって①見守り確認、②入院時の保証人③財産管理／金銭収支管理④死後事務を市が引き受けてくれると助かります。

■移動に関する支援 (10件)

- ・CoCoバスなどコミュニティバスが廃止等の動きが有るように聞くと、移動手段がなくなることは運転免許を手放した高齢者には極めて問題があり。
- ・東小金駅発、中町循環 CoCo バス廃止 断じて大反対。
- ・ココバスや京王バスの本数が減る予定と聞いた、高齢者の外出の機会を妨げることと思う、東小金井駅地域でシルバーバスが利用できる交通機関を是非との存続してほしい。
- ・介護タクシーが利用できない事、急な体調不良時の受診時、介護タクシーが使えた事ありません。

■経済的な不安 (5件)

- ・公共集会所の無料化と、医療費の1割負担への軽減を希望します。
- ・後期高齢者が簡易に医療受診の治療ができる、支援の充実を望みます。
- ・年金で暮しているが、生活が大変である。物価があまりに高くて毎日悩んで生活している。

■介護者の負担・求められる支援 (3件)

- ・介護の支援等、特に介護をしなければならない人の支援を充実してほしい。
- ・腰を掛けるベンチ等が全くない。ベンチの有る駅周辺にワザワザ買い物に出掛ける人もいる。市政の一還として検討して下さい。
- ・老健のみならず、レベルに応じた、グループホームや少しの援助で老人のシェアハウスなど、多様な選び方ができると良いと思う。

■認知症への対応・支援 (2件)

- ・一人暮らしで今のところ問題なく暮らしていますが認知症のような状態になった場合助けてもらいたい。

◆アンケート調査 (24件)

■設問関連 (16件)

- ・将来を考える良いアンケートでした。費用は市負担としましたが、実際の自己負担額の目安を示していただけると、利用判断の参考になります。
- ・現在、元気なのでアンケートの内容が現実的で無いから答えもなってみなければ解らない事が多かったです。
- ・今回のアンケートで、今後の残された毎日をどう生きていくのか考えなければならないことが多くあることを実感させられました。

■回答・実施方法 (8件)

- ・このような、アンケートをする事自体が高齢者の事を考えてくれていると知って嬉しかった。ありがとう。
- ・今後共このようなアンケート、状況の調査等をして必要な支援施設の改善へつなげてほしい。
- ・個人特定への不安があるため適切な活用を求めるとともに、結果を高齢者支援施策に活かしてほしい。新しい用語は分かりやすく周知してほしい。

◆在宅生活支援 (9件)

■生活支援 (6件)

- ・被介護者が転倒したり立ち上がれなくなった時に、緊急に助けてもらえる仕組みがあるといいと思う。
- ・配食サービスを単身者以外にもお願いしたい。
- ・買物独りで行けない人の援助
- ・日常の買物支援（食糧品など他）移動サービス

■経済・物品支援 (3件)

- ・介護タクシーの補助金など助成があるとよいです。

◆デジタル活用・情報環境整備 (4件)

■デジタル利用支援 (2件)

- ・防災無線が聞き取りにくい改善をお願いします。また、前原町は交通が不便で外出が困難なため、CoCoバスの東八道路南側への延伸をご検討ください。
- ・市報の表紙の一地域のみならずで地域を応援について、高齢者はそのキャッシュレス決済を使っていない人も多く、使う側（応援する側）が若い人達に限られます。

■デジタル環境整備 (2件)

- ・最近特にスマホでの決済が多くなったのでついていけずに不安です。
- ・スマホのアプリを使用した日常生活サービスが増え、使用できてもうまく入力できないセキュリティに問題が発生した時にサポートする迅速に対応できる問合せ先があるといいです。

◆医療体制・地域医療（4件）**■地域医療の充実（4件）**

- ・社会福祉において、十分なケアを望む。特に医療にかかる費用など負担を軽減してほしい。
- ・ACP「人生会議」について詳しく知りたい。例 安楽死、尊厳死 死に方を選ぶ権利
- ・口から食べる事が出来なくなった場合点滴等

◆その他（18件）**■その他（18件）**

- ・小金井に居住地があるのでそこに住み続けるしかない、感謝です。やさしい方が多くて、ありがたいです。若い方も親切です。
- ・小金井市はとても住みやすく、これからも過ごしていくためによろしくお願い致します。
- ・充実の高齢者施策を実施されている。市議、市長各議員の皆様にご心より感謝申し上げます。
- ・この街がとても好きなのでずっと元気で暮らしていけたらいいなと思います。
- ・他の市や区は分かりませんが小金井市の職員は接客で嫌な感情を持った事は1度もありません。これだけをお願いしたい、最後は個人の気持
- ・母の介護では大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

第2章 在宅介護実態調査

○ 用語の定義等

■要介護度の判定基準と状態像の目安

要介護度	判定基準	状態像の目安
要支援1	介護基準時間 25～32分	日常生活の能力は基本的にあるが、入浴などに一部介助が必要である。
要支援2	介護基準時間 32～50分	立ち上がりや歩行が不安定。排泄、入浴などに一部介助が必要であるが、適切なサービス利用により、明らかな要介護状態に移行することを防ぐことができる可能性がある。
要介護1	介護基準時間 32～50分	立ち上がりや歩行が不安定。排泄、入浴などに一部介助が必要である。認知症又は半年以内に要介護度が上がる可能性がある。
要介護2	介護基準時間 50～70分	起き上がりが自力では困難。 排泄、入浴などに一部又は全介助が必要である。
要介護3	介護基準時間 70～90分	起き上がり、寝返りが自力ではできない。 排泄、入浴、衣服の着脱などに全介助が必要である。
要介護4	介護基準時間 90～110分	排泄、入浴、衣服の着脱など多くの行為に全面的介助が必要である。
要介護5	介護基準時間 110分以上	生活全般について全面的介助が必要である。

■障害高齢者の日常生活自立度

ランク	状態	判定基準
J	生活自立	何らかの障がい等を有するが日常生活はほぼ自立し、独力で外出する。 1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所へは外出する。
A	準寝たきり	屋内での生活は概ね自立しているが介助なしには外出しない。 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B	寝たきり	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2. 介助により車いすに移乗する。
C	寝たきり	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りもうてない。

■認知症高齢者の日常生活自立度の判定基準と症状

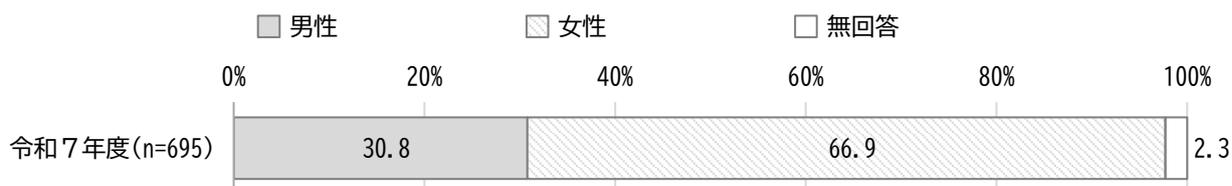
ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷う、買物や事務、金銭管理などこれまでできたことにミスが目立つなど
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応などが困難で、一人で留守番ができない など
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為 など
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態 など

■その他、本調査報告書における定義

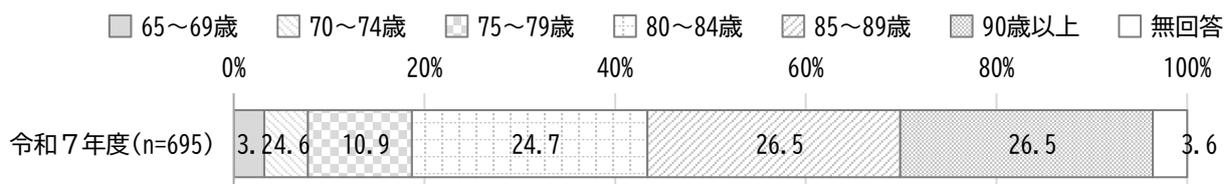
用語	定義
施設等	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、認知症高齢者グループホームを指す。
パートタイム	「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い者」が該当する。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等を含む。
一緒に住んでいる	同じ敷地内に住んでいることを指す。生計や住民票上の世帯を同じくしているか否かは問わない。集合住宅で同じ棟の違う部屋に居住している者は別居とする。

※ 回答者の認定情報

①本人の性別（認定情報）



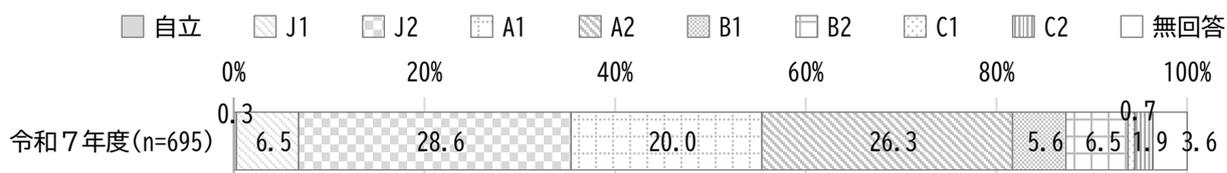
②本人の年齢（認定情報）



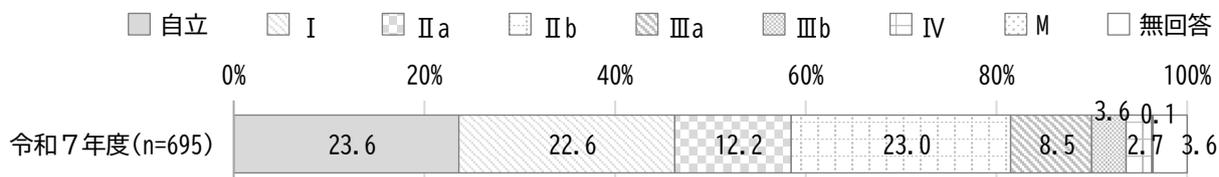
③本人の要介護度（認定情報）



④本人の障害自立度（認定情報）



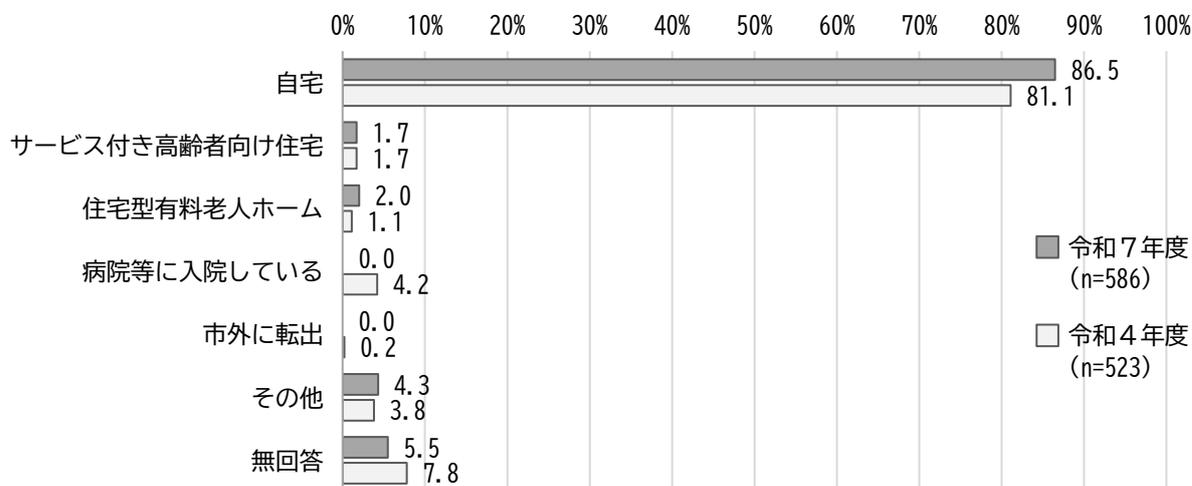
⑤本人の認知症自立度（認定情報）



1. 調査の回答者について

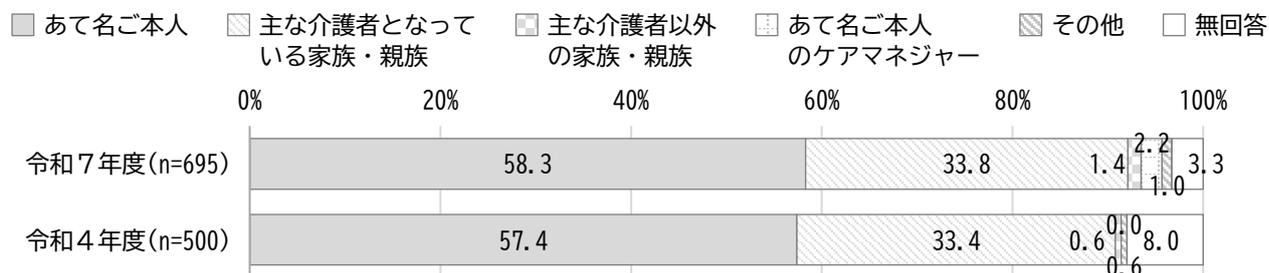
◆ あなた（あて名ご本人）は現在どちらにいらっしゃいますか。（単数回答）

「自宅」が86.5%で最も高く、次いで、「その他」が4.3%、「住宅型有料老人ホーム」が2.0%となっている。



◆ この調査票はどなたがご記入されますか。（単数回答）

「あて名ご本人」が58.3%で最も高く、次いで、「主な介護者となっている家族・親族」が33.8%、「あて名ご本人のケアマネジャー」が2.2%となっている。



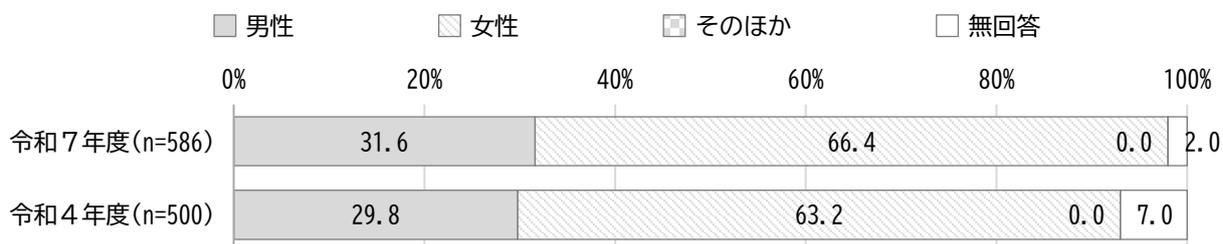
単位：%

	人数	あて名ご本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	あて名ご本人のケアマネジャー	その他	無回答
全体	695	58.3	33.8	1.4	2.2	1.0	3.3
自立+ I	321	81.9	11.8	1.2	0.9	0.9	3.1
自立度Ⅱ	245	44.1	46.1	1.6	2.4	1.6	4.1
自立度Ⅲ以上	104	14.4	75.0	1.9	5.8	0.0	2.9
単身世帯	248	64.5	27.0	1.2	3.2	1.6	2.4
夫婦のみ世帯	219	63.0	32.9	1.4	2.3	0.0	0.5
その他	212	49.1	44.3	1.9	0.9	1.4	2.4

2. あなた（あて名ご本人）について

F 1 あなたの性別はどちらですか。（単数回答）

「男性」が31.6%、「女性」が66.4%であった。

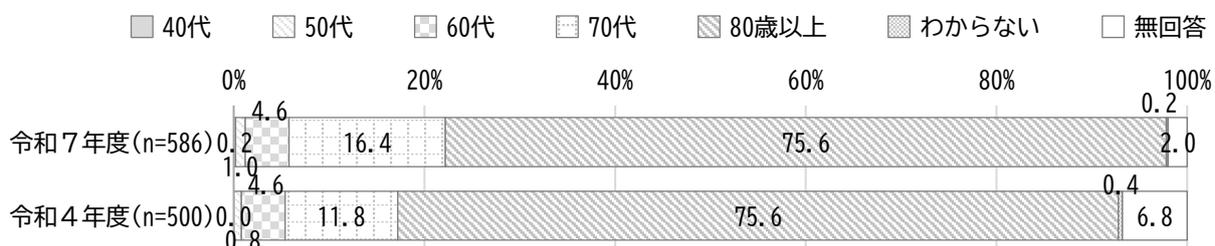


単位：%

	人数	男性	女性	そのほか	無回答
全体	586	31.6	66.4	0.0	2.0
自立+ I	279	32.3	65.9	0.0	1.8
自立度Ⅱ	205	32.7	64.4	0.0	2.9
自立度Ⅲ以上	80	27.5	71.3	0.0	1.3
単身世帯	213	17.4	82.6	0.0	0.0
夫婦のみ世帯	185	55.7	43.8	0.0	0.5
その他	173	25.4	74.6	0.0	0.0

F 2 あなたの年齢は次のどれですか。（単数回答）

「80歳以上」が75.6%で最も高く、次いで、「70代」が16.4%、「60代」が4.6%となっている。



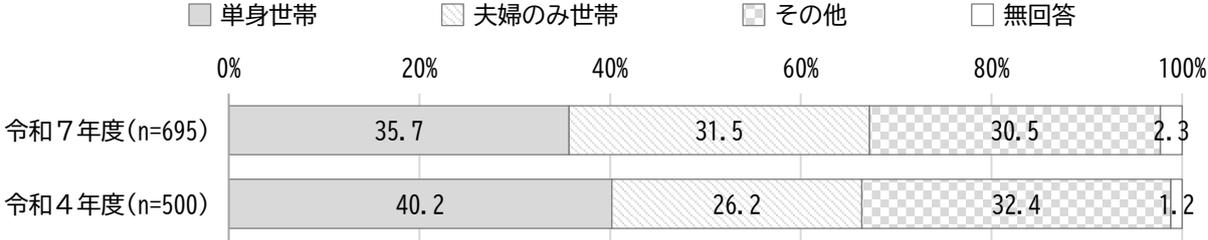
単位：%

	人数	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体	586	0.2	1.0	4.6	16.4	75.6	0.2	2.0
自立+ I	279	0.0	0.7	5.0	17.9	74.6	0.0	1.8
自立度Ⅱ	205	0.5	1.5	3.4	13.7	78.0	0.0	2.9
自立度Ⅲ以上	80	0.0	1.3	7.5	16.3	73.8	0.0	1.3
単身世帯	213	0.0	0.5	3.3	13.1	82.2	0.5	0.5
夫婦のみ世帯	185	0.5	0.5	4.3	24.9	69.7	0.0	0.0
その他	173	0.0	2.3	6.9	11.6	79.2	0.0	0.0

3. 本人の介護の状況について

問1 あなたの世帯類型は次のうちどれですか。(単数回答)

「単身世帯」が35.7%で最も高く、次いで、「夫婦のみ世帯」が31.5%、「その他」が30.5%となっている。



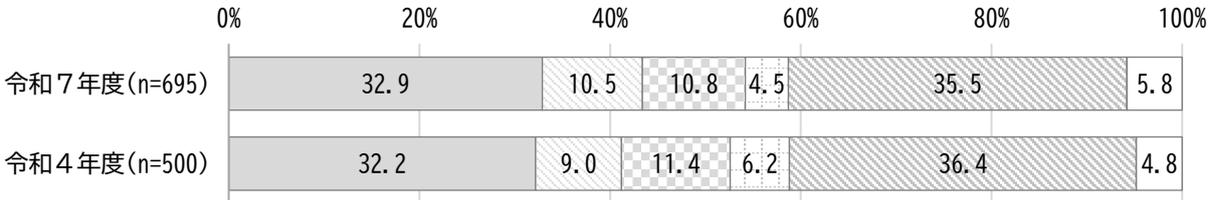
単位：%

	人数	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体	695	35.7	31.5	30.5	2.3
自立+I	321	38.3	34.3	24.9	2.5
自立度Ⅱ	245	36.7	26.5	33.9	2.9
自立度Ⅲ以上	104	24.0	34.6	40.4	1.0

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。同居していない子どもや親族等からの介護も入れてお答えください。(単数回答)

「ほぼ毎日ある」が35.5%で最も高く、次いで、「ない」が32.9%、「週に1～2日ある」が10.8%となっている。

■ ない ■ 家族・親族の介護はあるが週に1日よりも少ない ■ 週に1～2日ある ■ 週に3～4日ある ■ ほぼ毎日ある ■ 無回答



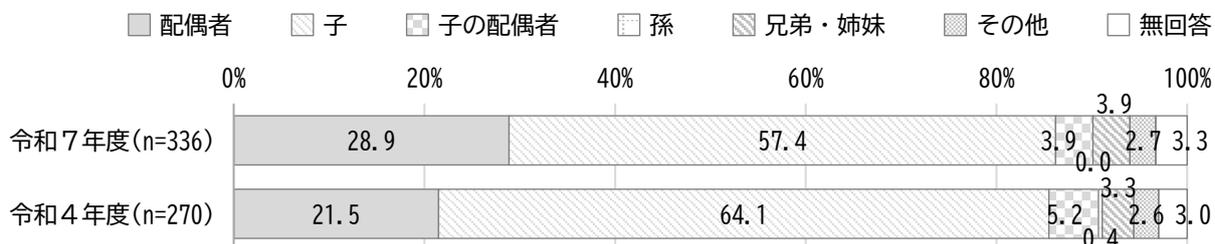
単位：%

	人数	ない	家族・親族の介護はあるが週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体	695	32.9	10.5	10.8	4.5	35.5	5.8
自立+I	321	48.0	14.0	10.0	2.8	19.3	5.9
自立度Ⅱ	245	20.0	8.2	13.9	7.3	44.9	5.7
自立度Ⅲ以上	104	12.5	5.8	6.7	2.9	65.4	6.7
単身世帯	248	37.5	16.5	19.0	5.6	18.1	3.2
夫婦のみ世帯	219	41.6	7.8	6.8	3.7	34.7	5.5
その他	212	21.2	6.6	5.7	4.2	58.5	3.8

【問2で「家族・親族介護がある」と回答した方】

問3 主な介護者の方はどなたですか。(単数回答)

「子」が57.4%で最も高く、次いで、「配偶者」が28.9%、「子の配偶者」が3.9%となっている。



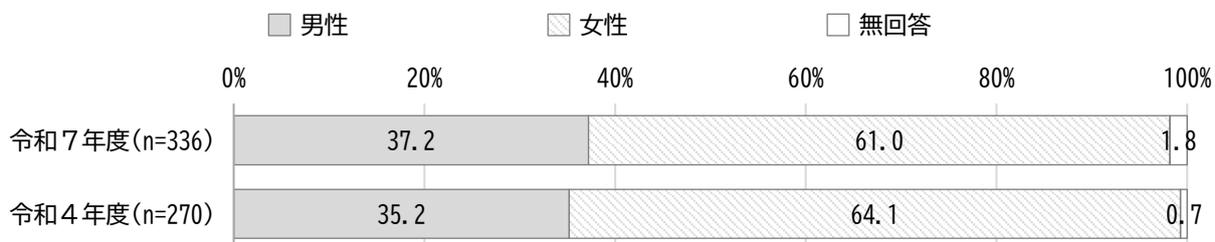
単位：%

	人数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	336	28.9	57.4	3.9	0.0	3.9	2.7	3.3
自立+ I	122	31.1	54.9	2.5	0.0	3.3	3.3	4.9
自立度Ⅱ	143	23.1	59.4	6.3	0.0	4.9	2.8	3.5
自立度Ⅲ以上	62	37.1	56.5	1.6	0.0	3.2	1.6	0.0
単身世帯	120	0.0	82.5	4.2	0.0	5.0	3.3	5.0
夫婦のみ世帯	91	76.9	17.6	2.2	0.0	0.0	1.1	2.2
その他	122	21.3	62.3	4.9	0.0	5.7	3.3	2.5

【問2で「家族・親族介護がある」と回答した方】

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。(単数回答)

「男性」が37.2%、「女性」が61.0%であった。



単位：%

	人数	男性	女性	無回答
全体	336	37.2	61.0	1.8
自立+ I	122	35.2	62.3	2.5
自立度Ⅱ	143	30.8	67.8	1.4
自立度Ⅲ以上	62	56.5	41.9	1.6
単身世帯	120	33.3	64.2	2.5
夫婦のみ世帯	91	42.9	56.0	1.1
その他	122	37.7	60.7	1.6

【問2で「家族・親族介護がある」と回答した方】

問5 主な介護者の方の年齢は次のどれですか。(単数回答)

「60代」が30.7%で最も高く、次いで、「50代」が28.3%、「80歳以上」が18.2%となっている。



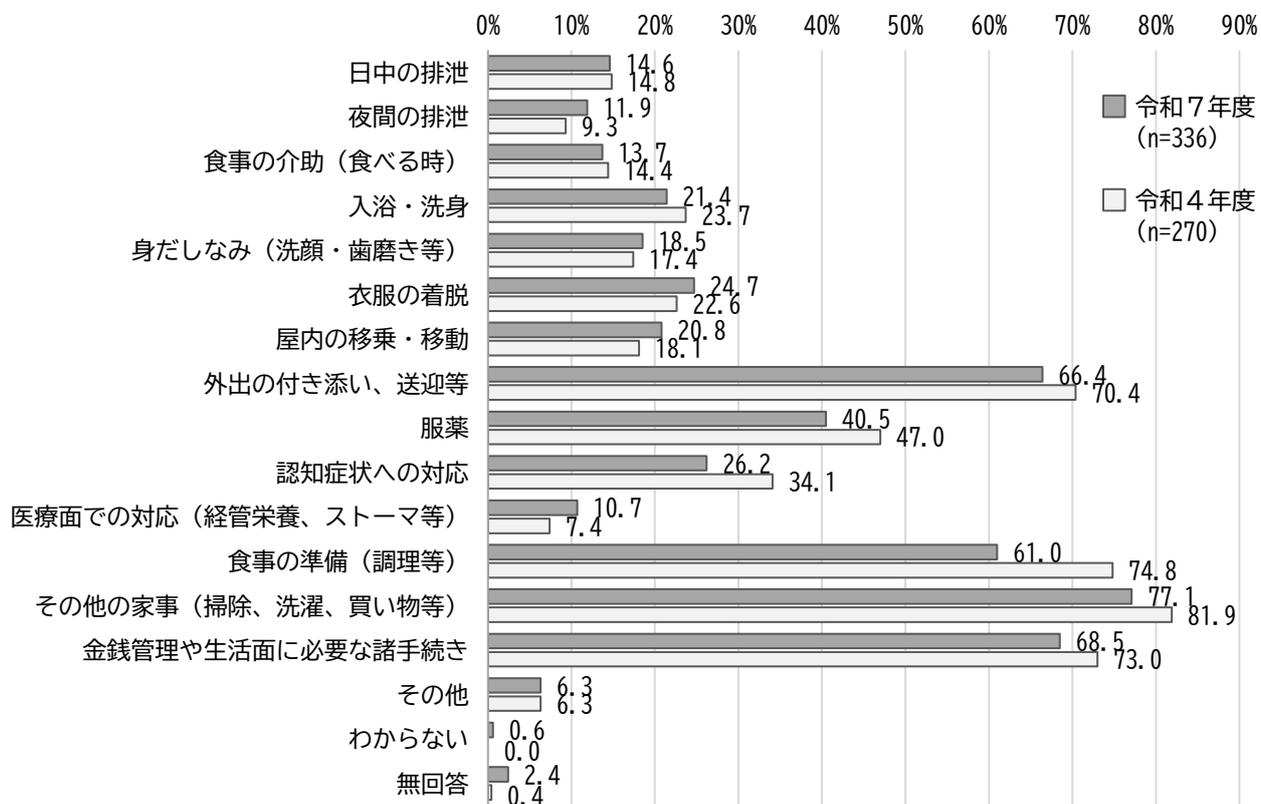
単位：%

	人数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体	336	0.0	0.0	0.3	5.4	28.3	30.7	15.2	18.2	0.3	1.8
自立+ I	122	0.0	0.0	0.8	6.6	31.1	27.9	8.2	23.0	0.8	1.6
自立度Ⅱ	143	0.0	0.0	0.0	6.3	30.1	31.5	16.8	13.3	0.0	2.1
自立度Ⅲ以上	62	0.0	0.0	0.0	1.6	16.1	37.1	25.8	19.4	0.0	0.0
単身世帯	120	0.0	0.0	0.0	6.7	37.5	43.3	8.3	2.5	0.0	1.7
夫婦のみ世帯	91	0.0	0.0	0.0	3.3	15.4	8.8	25.3	45.1	1.1	1.1
その他	122	0.0	0.0	0.8	4.9	28.7	35.2	14.8	13.1	0.0	2.5

【問2で「家族・親族介護がある」と回答した方】

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等は次のどれですか。(複数回答)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が77.1%で最も高く、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.5%、「外出の付き添い、送迎等」が66.4%となっている。



単位：％

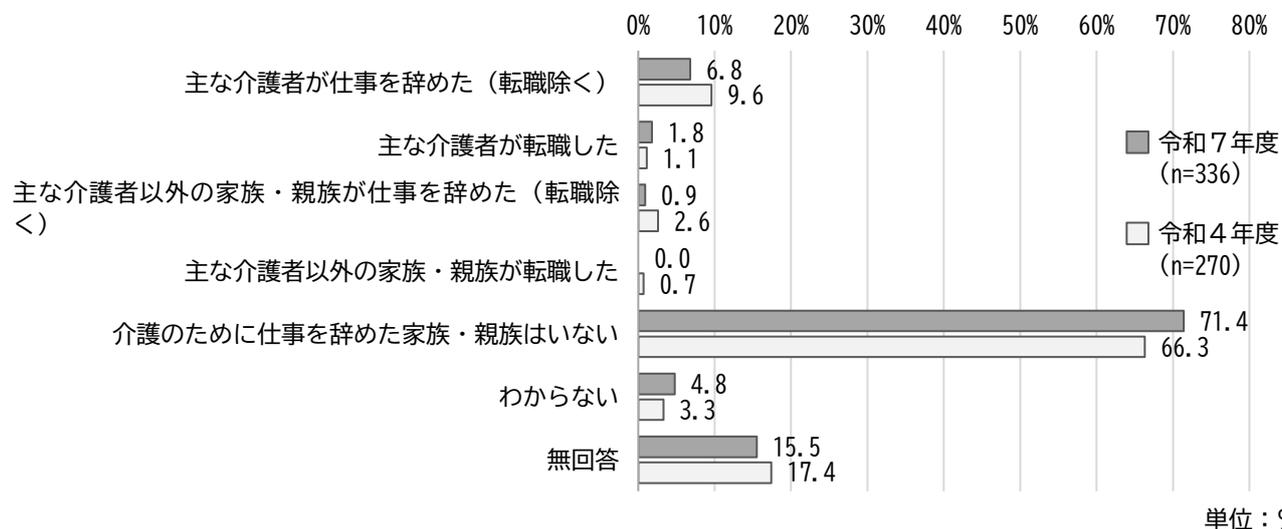
	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	336	14.6	11.9	13.7	21.4	18.5	24.7	20.8	66.4
自立+I	122	6.6	4.9	4.9	16.4	4.1	11.5	9.0	55.7
自立度II	143	11.2	9.8	14.0	23.8	17.5	21.7	21.0	76.2
自立度III以上	62	38.7	32.3	32.3	27.4	48.4	53.2	41.9	62.9
単身世帯	120	9.2	4.2	8.3	16.7	12.5	12.5	14.2	60.8
夫婦のみ世帯	91	12.1	13.2	14.3	18.7	20.9	33.0	17.6	69.2
その他	122	22.1	18.9	18.9	27.9	23.0	30.3	30.3	69.7

	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体	40.5	26.2	10.7	61.0	77.1	68.5	6.3	0.6	2.4
自立+I	12.3	4.1	8.2	46.7	69.7	51.6	6.6	0.0	4.1
自立度II	48.3	31.5	14.7	66.4	78.3	71.3	7.7	1.4	1.4
自立度III以上	74.2	61.3	6.5	77.4	88.7	95.2	3.2	0.0	1.6
単身世帯	28.3	20.8	6.7	39.2	64.2	65.0	4.2	0.8	3.3
夫婦のみ世帯	41.8	30.8	9.9	71.4	83.5	69.2	6.6	1.1	1.1
その他	51.6	27.9	15.6	75.4	86.1	72.1	8.2	0.0	1.6

【問2で「家族・親族介護がある」と回答した方】

問7 ご家族やご親族の中で、あて名ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや現在の勤務形態は問いません。(複数回答)

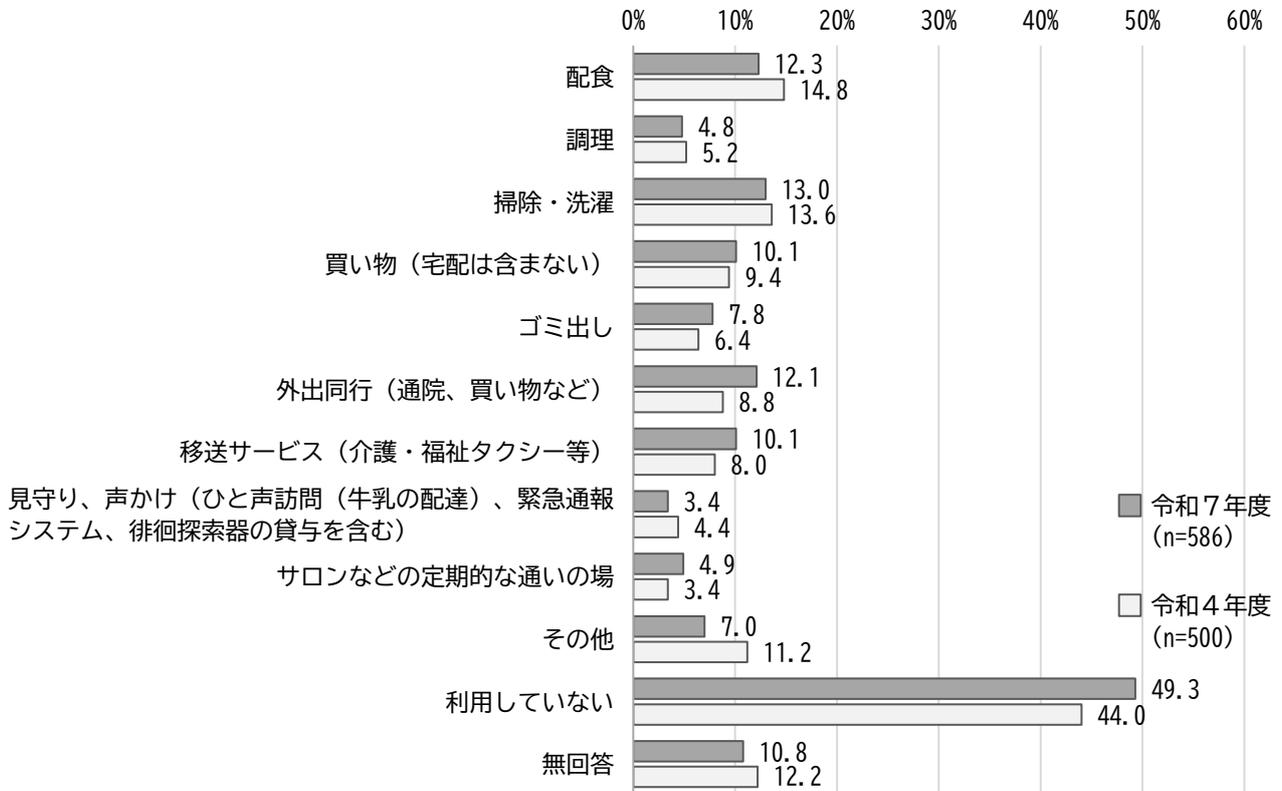
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が71.4%で最も高く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が6.8%、「わからない」が4.8%となっている。



	人数	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	336	6.8	0.9	1.8	0.0	71.4	4.8	15.5
自立+ I	122	6.6	0.0	1.6	0.0	66.4	6.6	21.3
自立度Ⅱ	143	6.3	0.7	2.8	0.0	71.3	4.2	14.7
自立度Ⅲ以上	62	8.1	3.2	0.0	0.0	80.6	3.2	6.5
単身世帯	120	4.2	1.7	3.3	0.0	75.0	5.0	12.5
夫婦のみ世帯	91	7.7	0.0	0.0	0.0	68.1	4.4	19.8
その他	122	9.0	0.8	1.6	0.0	70.5	4.9	14.8

問8 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか。(複数回答)

「利用していない」が49.3%で最も高く、次いで、「掃除・洗濯」が13.0%、「配食」が12.3%となっている。

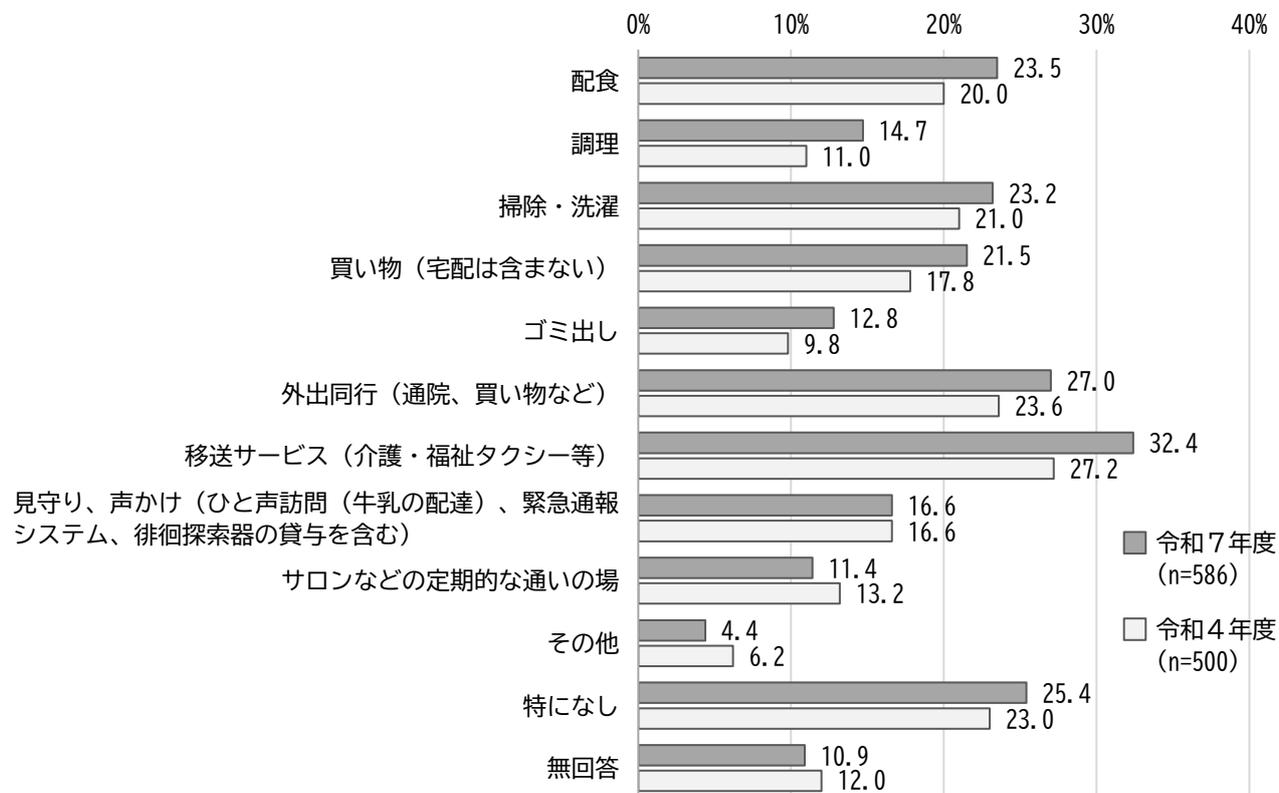


単位：%

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体	586	12.3	4.8	13.0	10.1	7.8	12.1	10.1	3.4	4.9	7.0	49.3	10.8
自立+ I	279	11.1	2.5	15.1	9.3	6.5	9.3	8.2	3.6	2.9	9.3	51.3	10.8
自立度Ⅱ	205	11.7	7.3	12.2	11.7	9.8	15.6	10.2	2.9	8.3	3.9	46.8	10.7
自立度Ⅲ以上	80	21.3	7.5	11.3	8.8	7.5	11.3	17.5	5.0	3.8	5.0	48.8	8.8
単身世帯	213	15.5	4.2	17.8	13.1	8.9	10.8	7.5	6.1	3.3	9.4	43.7	11.7
夫婦のみ世帯	185	13.5	5.4	10.8	8.1	7.6	13.0	9.7	1.1	7.0	4.3	55.1	8.6
その他	173	8.1	5.2	9.8	9.2	7.5	12.1	13.3	2.3	4.6	6.9	52.6	9.2

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）はどれですか。（複数回答）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.4%で最も高く、次いで、「外出同行（通院、買い物など）」が27.0%、「特になし」が25.4%となっている。



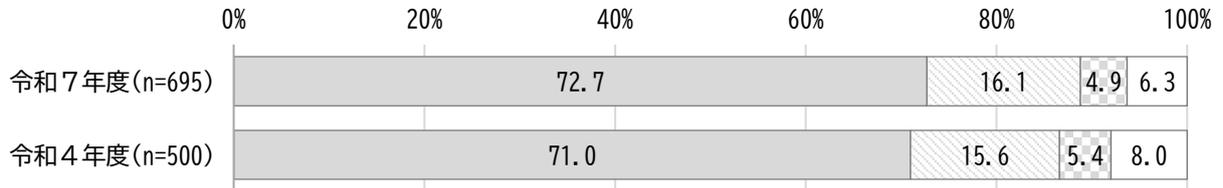
単位：%

	人数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	586	23.5	14.7	23.2	21.5	12.8	27.0	32.4	16.6	11.4	4.4	25.4	10.9
自立+ I	279	20.1	15.1	25.1	24.7	13.3	25.8	32.6	15.8	9.7	5.0	29.4	9.0
自立度Ⅱ	205	24.4	12.2	20.5	18.5	10.7	27.3	29.8	16.1	14.6	3.9	23.9	11.7
自立度Ⅲ以上	80	31.3	20.0	22.5	15.0	12.5	28.8	37.5	21.3	8.8	2.5	17.5	13.8
単身世帯	213	25.4	15.0	28.2	25.8	15.5	30.0	31.0	24.4	10.8	4.7	21.1	12.7
夫婦のみ世帯	185	24.3	16.2	21.6	22.2	13.5	24.9	36.2	14.6	11.9	4.3	29.2	7.0
その他	173	22.5	13.9	20.2	17.3	9.2	25.4	31.8	9.8	11.0	4.6	27.2	10.4

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(単数回答)

「入所・入居は検討していない」が 72.7%で最も高く、次いで、「入所・入居を検討している」が 16.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 4.9%となっている。

■ 入所・入居は検討していない ▨ 入所・入居を検討している ▩ すでに入所・入居申し込みをしている □ 無回答

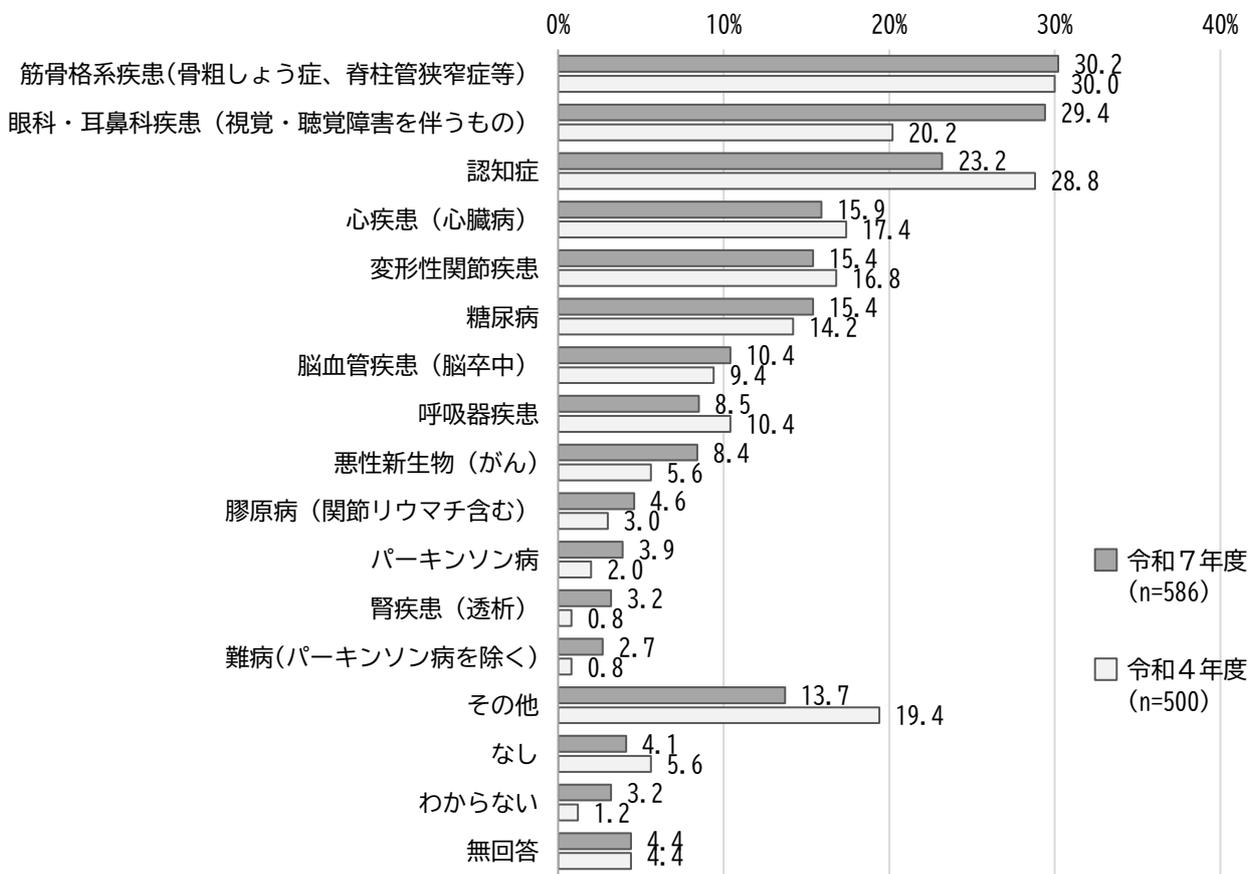


単位：%

	人数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全体	695	72.7	16.1	4.9	6.3
自立+ I	321	77.9	12.8	2.2	7.2
自立度Ⅱ	245	69.8	18.0	5.7	6.5
自立度Ⅲ以上	104	65.4	20.2	11.5	2.9
単身世帯	248	69.8	16.9	6.5	6.9
夫婦のみ世帯	219	70.8	20.5	3.2	5.5
その他	212	78.8	10.8	5.2	5.2

問11 あて名ご本人が現在抱えている傷病は次のどれですか。(複数回答)

「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」が30.2%で最も高く、次いで、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が29.4%、「認知症」が23.2%となっている。



単位：%

	人数	脳血管疾患	心疾患	悪性新生物	呼吸器疾患	腎疾患	筋骨格系疾患	膠原病	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患	その他	なし	わからない	無回答
全体	586	10.4	15.9	8.4	8.5	3.2	30.2	4.6	15.4	23.2	3.9	2.7	15.4	29.4	13.7	4.1	3.2	4.4
自立+ I	279	10.0	17.9	10.8	9.7	4.7	33.0	6.5	17.9	2.9	5.0	2.9	18.6	34.4	13.6	3.6	3.2	4.3
自立度Ⅱ	205	11.2	14.1	7.8	7.8	0.5	29.8	3.9	14.1	33.2	2.0	2.0	11.2	28.8	14.1	4.9	3.9	5.4
自立度Ⅲ以上	80	11.3	15.0	1.3	7.5	5.0	20.0	1.3	12.5	73.8	5.0	2.5	15.0	17.5	10.0	2.5	1.3	1.3
単身世帯	213	7.0	15.5	8.5	8.9	3.8	36.6	4.7	18.3	17.4	0.5	2.8	12.7	33.8	14.1	3.3	4.7	5.6
夫婦のみ世帯	185	13.0	16.2	8.6	12.4	2.7	28.6	6.5	9.2	24.9	8.1	2.2	17.3	29.2	10.8	2.7	2.2	2.2
その他	173	11.6	16.2	6.9	4.0	3.5	26.0	2.9	19.1	29.5	4.0	2.9	16.8	25.4	16.2	6.4	2.3	3.5

問12 あて名ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(単数回答)

「利用していない」が68.3%で最も高く、次いで、「利用している」が26.5%となっている。

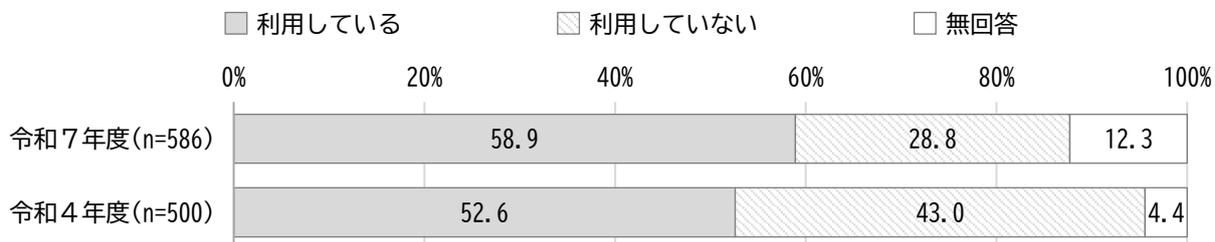


単位：%

	人数	利用している	利用していない	無回答
全体	586	26.5	68.3	5.3
自立+I	279	21.1	73.5	5.4
自立度Ⅱ	205	29.3	64.9	5.9
自立度Ⅲ以上	80	41.3	55.0	3.8
単身世帯	213	26.8	69.0	4.2
夫婦のみ世帯	185	24.3	68.6	7.0
その他	173	28.3	70.5	1.2

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(単数回答)

「利用している」が58.9%で最も高く、次いで、「利用していない」が28.8%となっている。



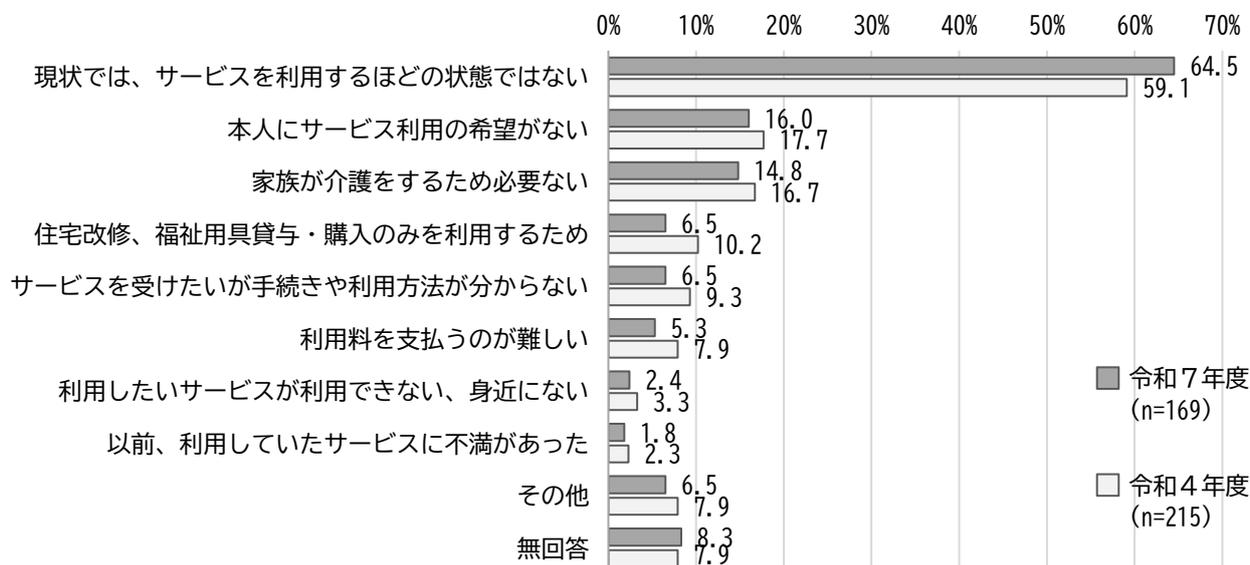
単位：%

	人数	利用している	利用していない	無回答
全体	586	58.9	28.8	12.3
自立+I	279	53.0	34.4	12.5
自立度Ⅱ	205	62.4	24.9	12.7
自立度Ⅲ以上	80	75.0	17.5	7.5
単身世帯	213	59.6	26.3	14.1
夫婦のみ世帯	185	60.0	29.2	10.8
その他	173	59.5	33.5	6.9

【問13で「利用していない」と回答した方】

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が64.5%で最も高く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が16.0%、「家族が介護をするため必要ない」が14.8%となっている。

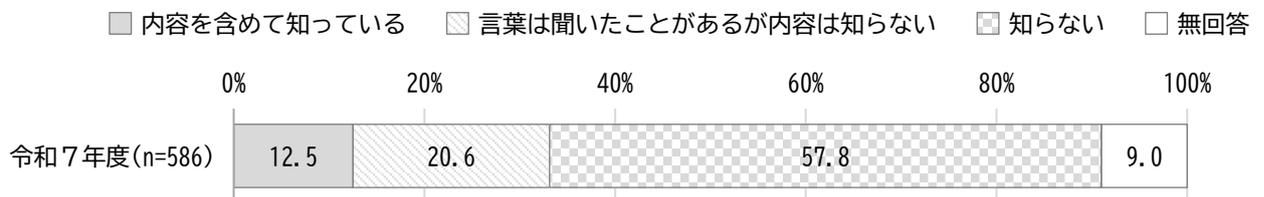


単位：%

	人数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体	169	64.5	16.0	14.8	1.8	5.3	2.4	6.5	6.5	6.5	8.3
自立+I	96	68.8	10.4	10.4	1.0	4.2	1.0	8.3	4.2	4.2	8.3
自立度II	51	60.8	27.5	19.6	2.0	7.8	3.9	3.9	9.8	9.8	5.9
自立度III以上	14	50.0	7.1	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3
単身世帯	56	51.8	25.0	7.1	3.6	7.1	3.6	3.6	10.7	10.7	12.5
夫婦のみ世帯	54	70.4	9.3	18.5	1.9	5.6	0.0	5.6	7.4	1.9	7.4
その他	58	70.7	13.8	17.2	0.0	3.4	3.4	10.3	1.7	6.9	5.2

問 15 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(単数回答)

「知らない」が 57.8%で最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が 20.6%、「内容を含めて知っている」が 12.5%となっている。

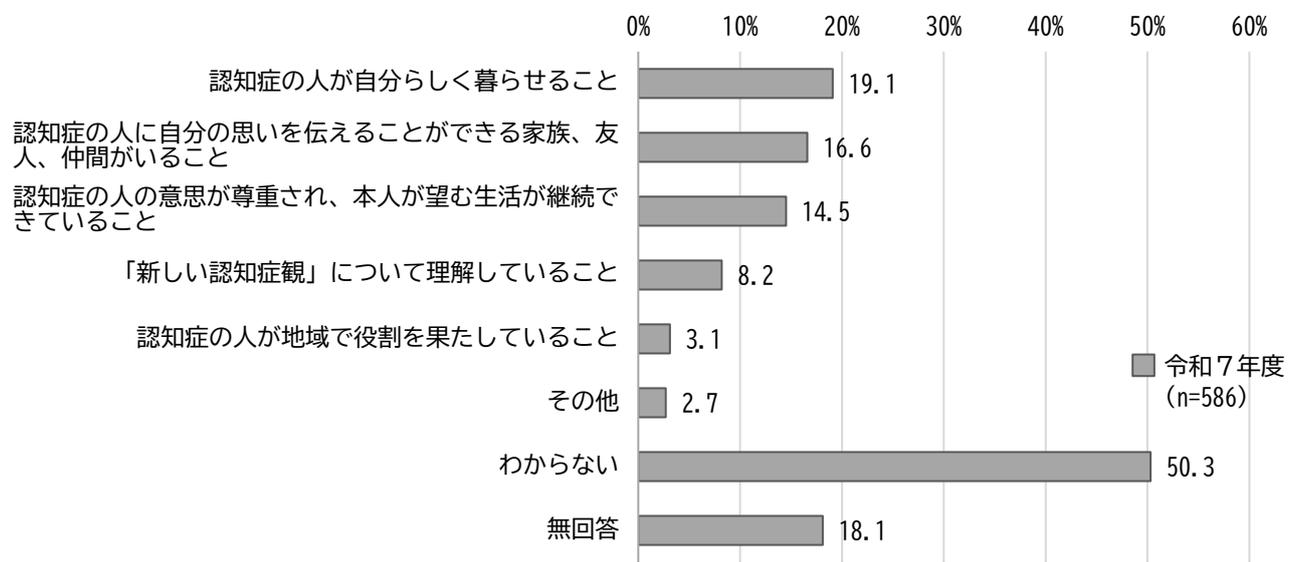


単位：%

	人数	内容を含めて知っている	言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体	586	12.5	20.6	57.8	9.0
自立+ I	279	12.9	21.5	56.3	9.3
自立度Ⅱ	205	10.2	20.5	60.0	9.3
自立度Ⅲ以上	80	11.3	17.5	63.8	7.5
単身世帯	213	10.8	26.8	55.4	7.0
夫婦のみ世帯	185	13.5	18.9	58.4	9.2
その他	173	12.1	16.2	64.2	7.5

問 16 認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて、以下のことが地域において実現できていると思いますか。(複数回答)

「わからない」が 50.3%で最も高く、次いで、「認知症の人が自分らしく暮らせること」が 19.1%、「認知症の人に自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること」が 16.6%となっている。



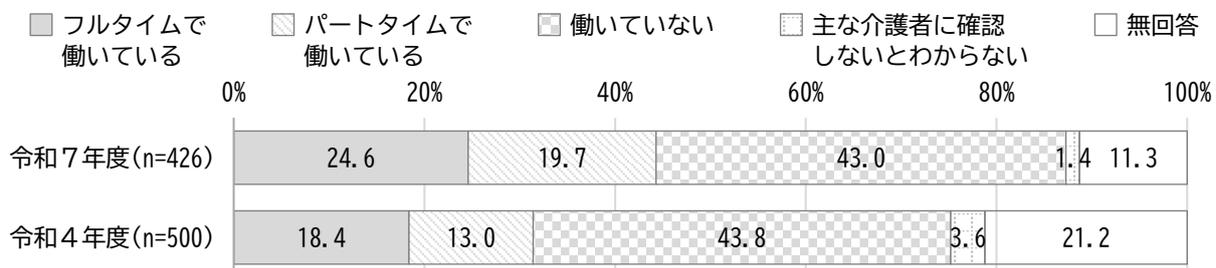
単位：%

	人数	「新しい認知症観」について理解していること	認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること	認知症の人に自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること	認知症の人が地域で役割を果たしていること	認知症の人が自分らしく暮らせること	その他	わからない	無回答
全体	586	8.2	14.5	16.6	3.1	19.1	2.7	50.3	18.1
自立+I	279	10.0	15.4	15.4	3.9	17.6	2.5	52.3	18.6
自立度Ⅱ	205	7.3	13.2	17.1	2.4	18.0	2.4	46.8	19.5
自立度Ⅲ以上	80	3.8	16.3	20.0	1.3	30.0	3.8	52.5	11.3
単身世帯	213	6.6	16.0	15.5	2.8	17.8	2.3	49.3	20.2
夫婦のみ世帯	185	10.3	13.0	15.7	3.2	18.9	3.8	49.2	18.4
その他	173	7.5	15.0	19.1	2.3	20.2	2.3	54.9	12.7

4. 主な介護者の状況について【家族・親族介護がある方】

問 17 主な介護者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。(単数回答)

「働いていない」が43.0%で最も高く、次いで、「フルタイムで働いている」が24.6%、「パートタイムで働いている」が19.7%となっている。



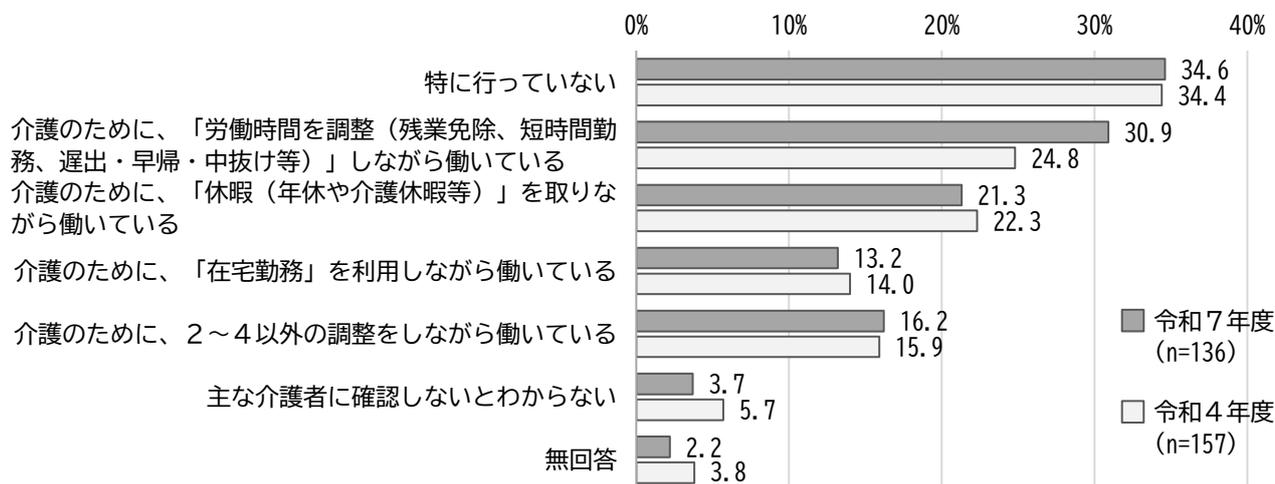
単位：%

	人数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体	426	24.6	19.7	43.0	1.4	11.3
自立+ I	148	25.0	19.6	38.5	1.4	15.5
自立度Ⅱ	182	26.4	17.6	44.0	1.6	10.4
自立度Ⅲ以上	84	21.4	23.8	50.0	1.2	3.6
単身世帯	147	30.6	26.5	25.2	2.0	15.6
夫婦のみ世帯	116	16.4	12.1	62.1	1.7	7.8
その他	159	25.2	19.5	45.9	0.6	8.8

【問17で「フルタイム/パートタイムで働いている」と回答した方】

問18 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数回答)

「特に行っていない」が34.6%で最も高く、次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」が30.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている」が21.3%となっている。



※令和4年度は3つまで選択であった。

単位：%

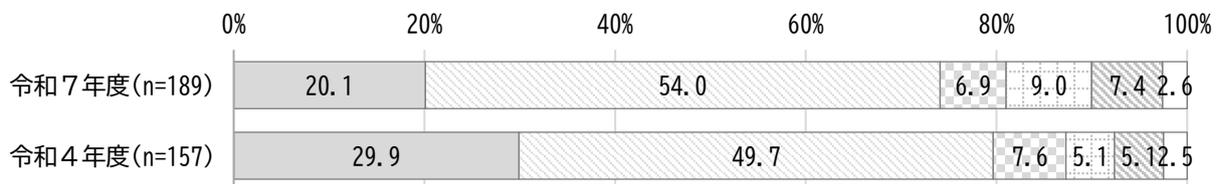
	人数	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体	136	34.6	30.9	21.3	13.2	16.2	3.7	2.2
自立+ I	51	47.1	21.6	15.7	15.7	7.8	9.8	2.0
自立度II	57	26.3	36.8	28.1	7.0	17.5	0.0	1.8
自立度III以上	25	28.0	36.0	16.0	24.0	24.0	0.0	4.0
単身世帯	64	32.8	31.3	26.6	12.5	18.8	3.1	3.1
夫婦のみ世帯	20	40.0	15.0	25.0	20.0	20.0	5.0	0.0
その他	51	35.3	35.3	13.7	11.8	11.8	3.9	2.0

【問 17 で「フルタイム/パートタイムで働いている」と回答した方】

問 19 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(単数回答)

「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.0%で最も高く、次いで、「問題なく、続けていける」が 20.1%、「続けていくのは、かなり難しい」が 9.0%となっている。

問題なく、続けていける
 問題はあるが、何とか続けていける
 続けていくのは、やや難しい
 続けていくのは、かなり難しい
 主な介護者に確認しないとわからない
 無回答

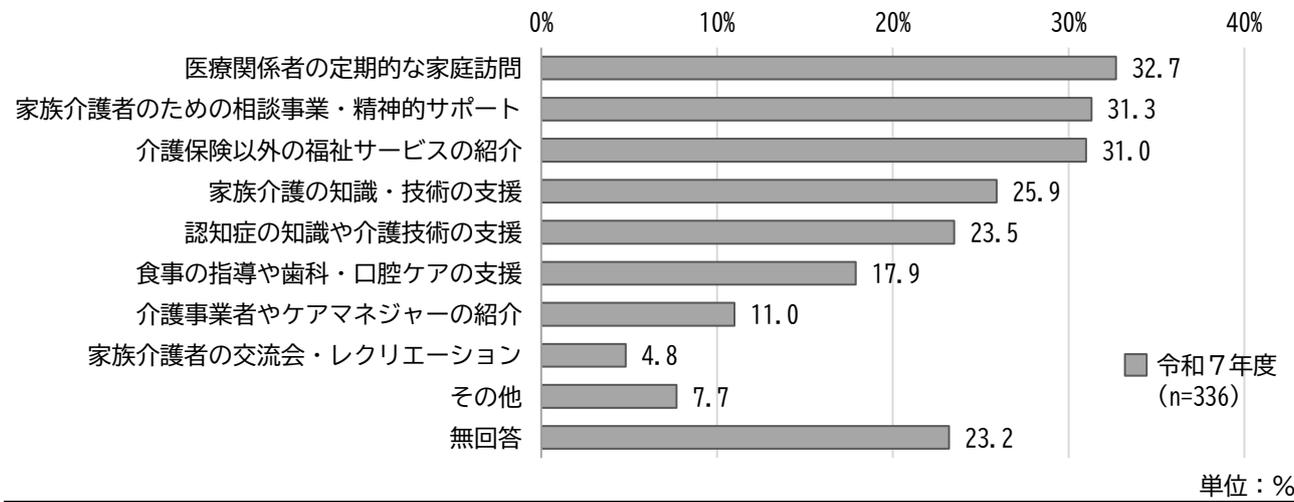


単位：%

	人数	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか 続けていける	続けていく のは、やや 難しい	続けていく のは、かな り難しい	主な介護者 に確認しな いと、わか らない	無回答
全体	189	20.1	54.0	6.9	9.0	7.4	2.6
自立+ I	66	30.3	39.4	4.5	9.1	13.6	3.0
自立度Ⅱ	80	13.8	62.5	10.0	7.5	3.8	2.5
自立度Ⅲ以上	38	15.8	65.8	2.6	10.5	2.6	2.6
単身世帯	84	22.6	53.6	7.1	6.0	7.1	3.6
夫婦のみ世帯	33	24.2	48.5	6.1	6.1	15.2	0.0
その他	71	15.5	56.3	7.0	14.1	4.2	2.8

問 20 主な介護者の方に、どのような支援があればよいと思いますか。(複数回答)

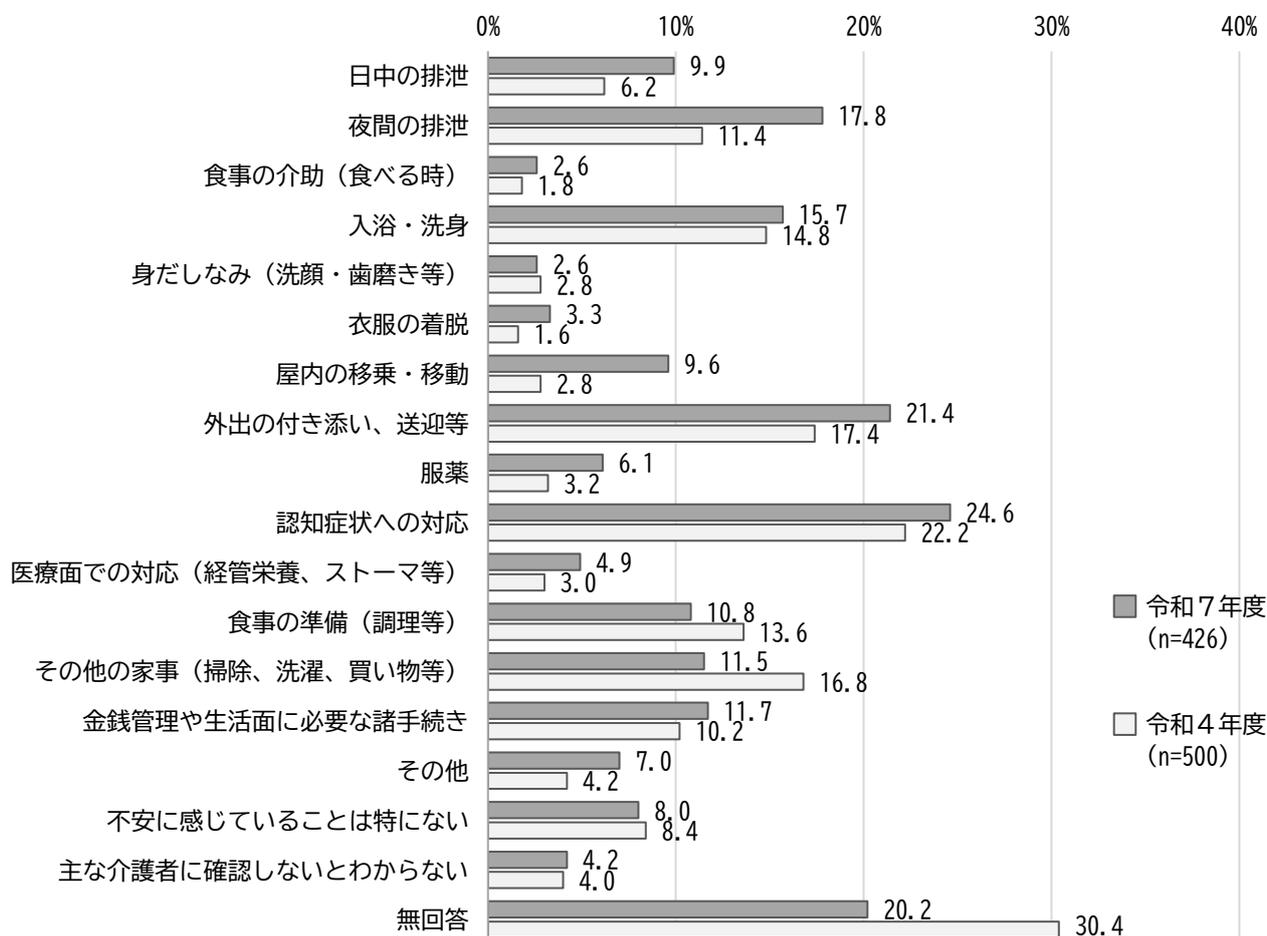
「医療関係者の定期的な家庭訪問」が 32.7%で最も高く、次いで、「家族介護者のための相談事業・精神的サポート」が 31.3%、「介護保険以外の福祉サービスの紹介」が 31.0%となっている。



	人数	医療関係者の定期的な家庭訪問	家族介護の知識・技術の支援	認知症の知識や介護技術の支援	食事の指導や歯科・口腔ケアの支援	家族介護者のための相談事業・精神的サポート	家族介護者の交流会・レクリエーション	介護事業者やケアマネジャーの紹介	介護保険以外の福祉サービスの紹介	その他	無回答
全体	336	32.7	25.9	23.5	17.9	31.3	4.8	11.0	31.0	7.7	23.2
自立+ I	122	32.8	25.4	13.1	13.9	20.5	4.1	13.1	32.8	7.4	33.6
自立度Ⅱ	143	31.5	21.0	25.9	18.9	35.0	6.3	9.1	30.1	9.1	19.6
自立度Ⅲ以上	62	37.1	40.3	38.7	25.8	41.9	3.2	11.3	29.0	4.8	8.1
単身世帯	120	40.0	22.5	20.0	20.8	25.0	5.8	12.5	33.3	7.5	26.7
夫婦のみ世帯	91	29.7	28.6	25.3	17.6	34.1	4.4	12.1	27.5	7.7	19.8
その他	122	27.9	27.9	26.2	15.6	36.1	4.1	8.2	32.0	8.2	21.3
フルタイム	75	44.0	22.7	21.3	25.3	26.7	6.7	18.7	34.7	8.0	16.0
パートタイム	61	34.4	21.3	24.6	9.8	29.5	1.6	9.8	41.0	4.9	18.0
働いていない	147	29.9	32.7	29.3	20.4	40.1	6.1	10.9	30.6	10.9	16.3

問 21 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等についてご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。(複数回答)

「認知症状への対応」が24.6%で最も高く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」が21.4%、「夜間の排泄」が17.8%となっている。



※令和4年度は3つまで選択であった。

単位：%

	人数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助	入浴・洗身	身だしなみ	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応	食事の準備	その他の家事	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは特にな	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体	426	9.9	17.8	2.6	15.7	2.6	3.3	9.6	21.4	6.1	24.6	4.9	10.8	11.5	11.7	7.0	8.0	4.2	20.2
自立+ I	148	5.4	7.4	0.7	11.5	1.4	3.4	7.4	24.3	1.4	8.1	8.1	11.5	14.2	10.1	7.4	11.5	6.8	27.0
自立度Ⅱ	182	11.5	15.9	2.2	20.3	4.4	3.3	11.0	22.5	8.8	26.9	3.3	10.4	9.3	12.6	7.1	7.1	3.3	17.6
自立度Ⅲ以上	84	15.5	40.5	7.1	14.3	1.2	3.6	11.9	13.1	7.1	51.2	3.6	11.9	9.5	11.9	7.1	3.6	2.4	10.7
単身世帯	147	6.1	12.2	4.1	17.7	2.7	2.0	11.6	23.1	6.8	22.4	6.1	7.5	10.2	12.9	6.1	6.8	7.5	21.8
夫婦のみ世帯	116	9.5	21.6	0.0	10.3	3.4	4.3	6.0	25.9	6.9	20.7	4.3	19.0	19.8	12.9	9.5	5.2	3.4	18.1
その他	159	13.2	20.8	3.1	17.6	1.9	3.8	10.7	17.0	5.0	30.2	4.4	7.5	6.9	10.1	6.3	10.7	1.9	19.5
フルタイム	105	13.3	19.0	1.9	18.1	4.8	4.8	12.4	24.8	6.7	26.7	3.8	11.4	11.4	13.3	7.6	8.6	4.8	15.2
パートタイム	84	11.9	20.2	2.4	21.4	0.0	4.8	11.9	20.2	4.8	25.0	6.0	8.3	11.9	11.9	2.4	9.5	6.0	16.7
働いていない	183	9.3	18.0	3.3	14.8	2.7	2.2	9.3	21.3	7.1	28.4	5.5	13.1	13.7	12.6	10.9	7.1	2.7	14.8

問 22 主な介護者の方は、介護に関する相談先はありますか。(単数回答)

「ある」が74.7%、「ない」が16.1%であった。



単位：%

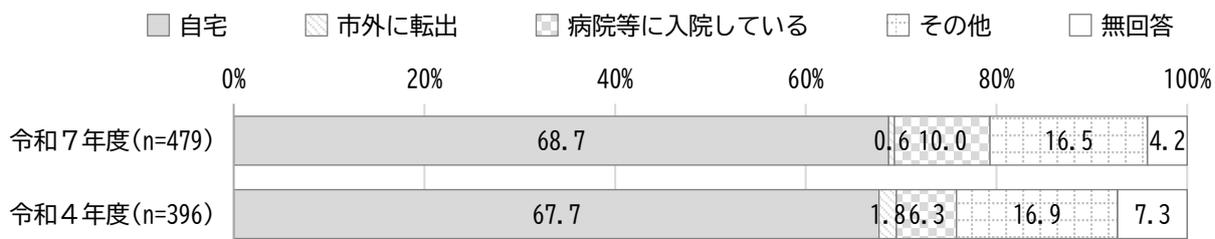
	人数	ある	ない	無回答
全体	336	74.7	16.1	9.2
自立+I	122	63.9	22.1	13.9
自立度Ⅱ	143	76.9	15.4	7.7
自立度Ⅲ以上	62	91.9	6.5	1.6
単身世帯	120	71.7	15.8	12.5
夫婦のみ世帯	91	72.5	20.9	6.6
その他	122	79.5	13.1	7.4

第3章 介護保険サービス利用意向調査

1. 調査の回答者について

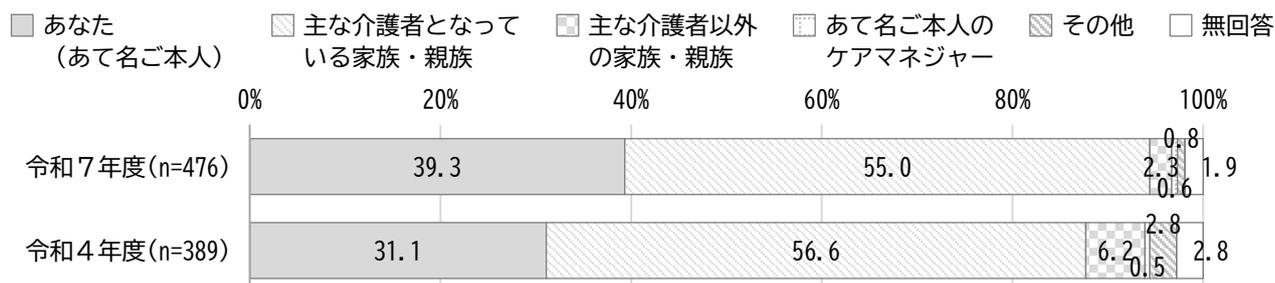
◆ あなた（あて名ご本人）は現在どちらにいらっしゃいますか。（単数回答）

「自宅」が68.7%で最も高く、次いで、「その他」が16.5%、「病院等に入院している」が10.0%となっている。



◆ この調査票はどなたがご記入されますか。（単数回答）

「主な介護者となっている家族・親族」が55.0%で最も高く、次いで、「あなた（あて名ご本人）」が39.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.3%となっている。



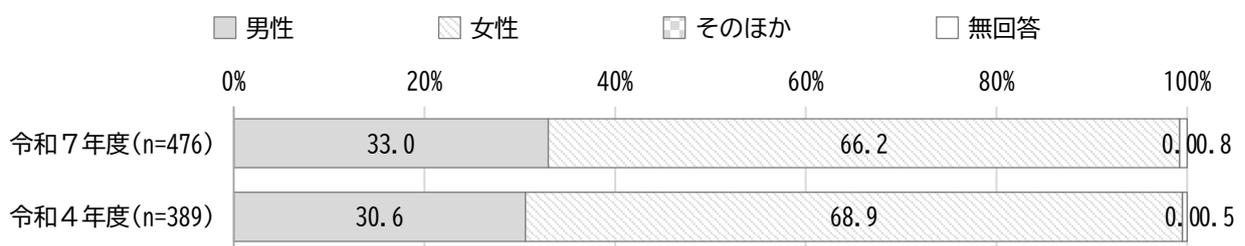
単位：%

	合計	あなた（あて名ご本人）	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	あて名ご本人のケアマネジャー	その他	無回答
全体	476	39.3	55.0	2.3	0.6	0.8	1.9
要介護1	160	56.3	40.6	1.3	0.0	0.0	1.9
要介護2	111	45.9	49.5	1.8	0.9	0.9	0.9
要介護3以上	186	16.1	75.8	3.8	1.1	1.6	1.6

2. あなた（あて名ご本人）について

F 1 あなたの性別はどちらですか。（単数回答）

「男性」が33.0%、「女性」が66.2%であった。

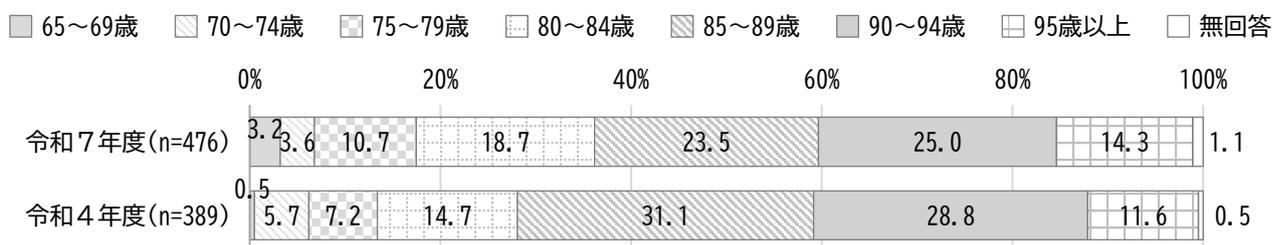


単位：%

	人数	男性	女性	そのほか	無回答
全体	476	33.0	66.2	0.0	0.8
要介護1	160	35.0	64.4	0.0	0.6
要介護2	111	28.8	71.2	0.0	0.0
要介護3以上	186	32.8	66.7	0.0	0.5

F 2 あなたの年齢は次のどれですか。（単数回答）

「90～94歳」が25.0%で最も高く、次いで、「85～89歳」が23.5%、「80～84歳」が18.7%となっている。

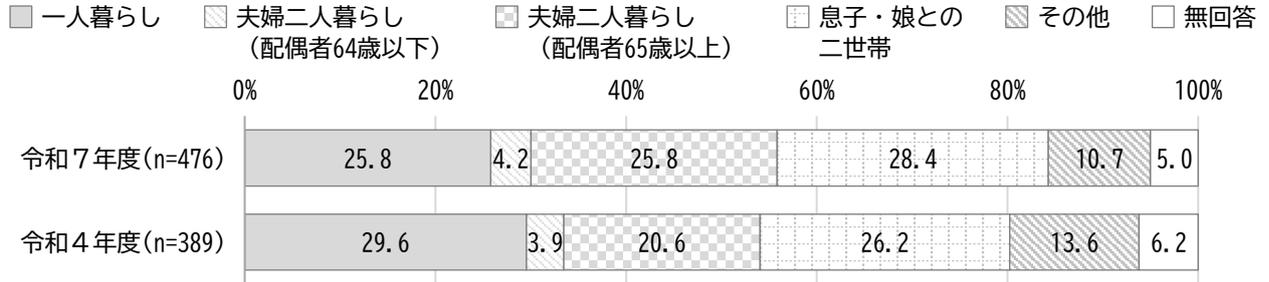


単位：%

	合計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	無回答
全体	476	3.2	3.6	10.7	18.7	23.5	25.0	14.3	1.1
要介護1	160	3.1	3.8	13.8	17.5	24.4	25.6	10.6	1.3
要介護2	111	2.7	3.6	9.0	22.5	26.1	24.3	11.7	0.0
要介護3以上	186	3.8	3.8	9.1	16.1	22.0	24.7	19.9	0.5

F 3 あなたの家族構成をお教えてください。(単数回答)

「息子・娘との二世帯」が 28.4%で最も高く、次いで、「一人暮らし」が 25.8%、「夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 25.8%となっている。

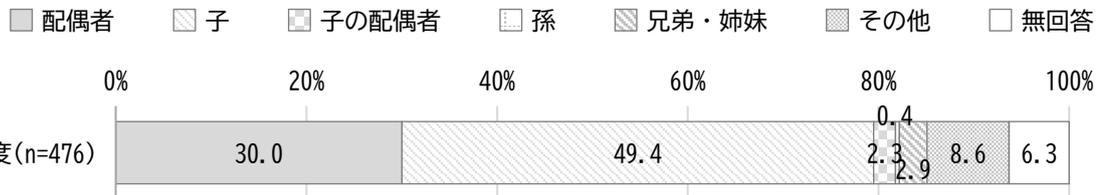


単位：%

	人数	一人暮らし	夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)	夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)	息子・娘との二世帯	その他	無回答
全体	476	25.8	4.2	25.8	28.4	10.7	5.0
要介護1	160	30.6	5.0	22.5	28.7	9.4	3.8
要介護2	111	19.8	3.6	24.3	37.8	10.8	3.6
要介護3以上	186	25.3	2.7	28.5	24.7	12.4	6.5

F 4 ご家族やご親族の中で、主な介護者の方はどこなですか。(単数回答)

「子」が 49.4%で最も高く、次いで、「配偶者」が 30.0%、「その他」が 8.6%となっている。



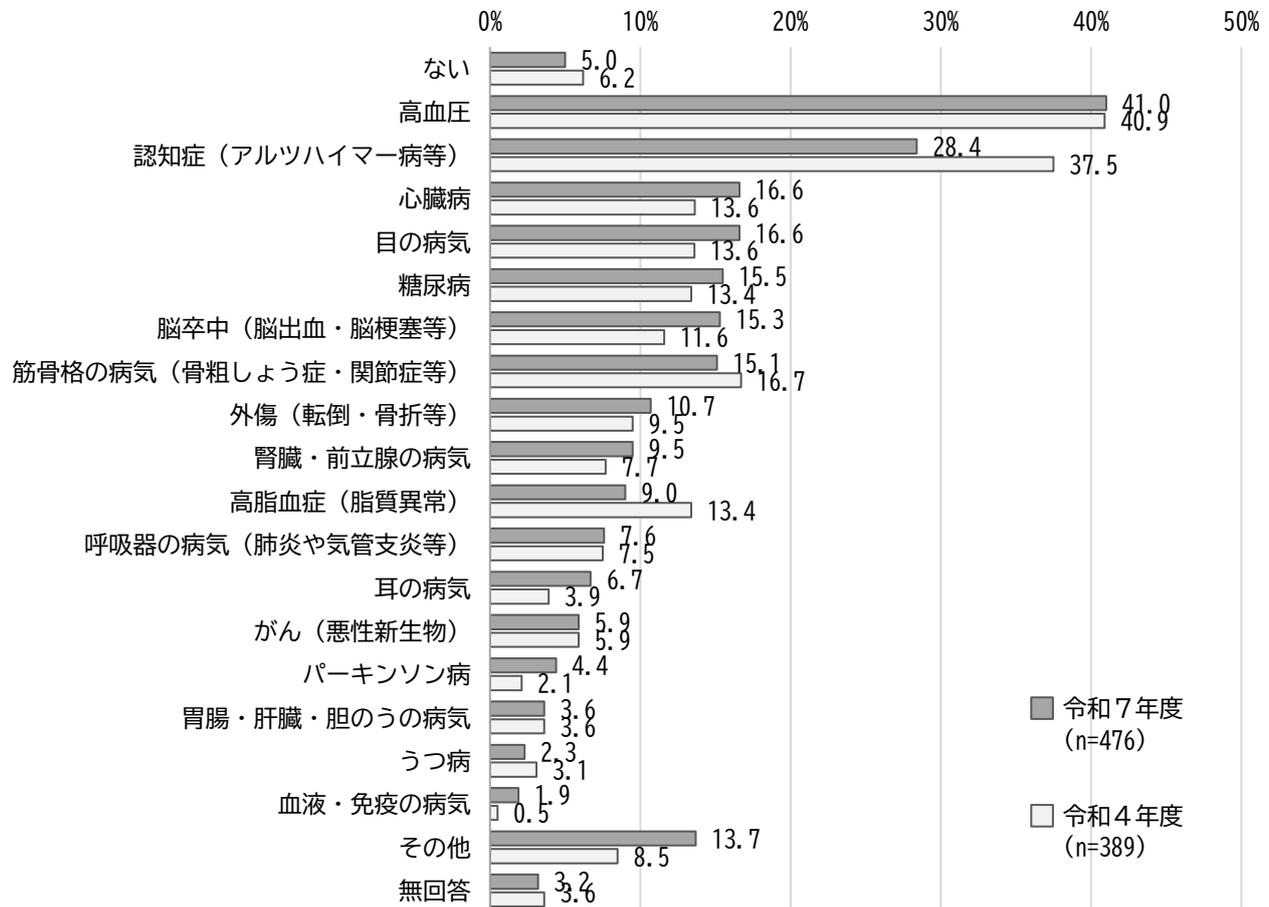
単位：%

	人数	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	476	30.0	49.4	2.3	0.4	2.9	8.6	6.3
要介護1	160	30.0	50.6	2.5	0.0	4.4	6.9	5.6
要介護2	111	29.7	48.6	3.6	0.9	2.7	9.0	5.4
要介護3以上	186	30.6	50.0	1.6	0.5	2.2	9.7	5.4

3. 健康の状態等について

問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。(複数回答)

「高血圧」が41.0%で最も高く、次いで、「認知症(アルツハイマー病等)」が28.4%、「心臓病」が16.6%となっている。



単位：%

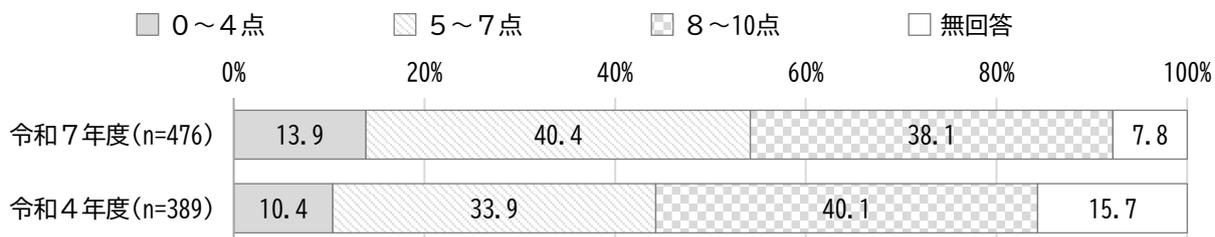
	人数	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気
全体	476	5.0	41.0	15.3	16.6	15.5	9.0	7.6	3.6	9.5	15.1
要介護1	160	4.4	47.5	14.4	15.6	17.5	8.8	6.9	3.1	8.1	15.0
要介護2	111	6.3	40.5	8.1	23.4	17.1	11.7	9.0	6.3	10.8	18.9
要介護3以上	186	2.2	36.6	21.5	15.1	12.9	7.5	8.1	2.7	10.2	14.5

単位：%

	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	10.7	5.9	1.9	2.3	28.4	4.4	16.6	6.7	13.7	3.2
要介護1	6.3	5.6	2.5	1.9	28.1	1.3	20.6	10.0	12.5	4.4
要介護2	17.1	7.2	2.7	3.6	16.2	7.2	17.1	3.6	13.5	1.8
要介護3以上	11.8	4.8	1.1	2.2	38.2	5.9	13.4	6.5	15.6	2.2

問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

「0～4点」が13.9%、「5～7点」が40.4%、「8～10点」が38.1%となっている。



単位：%

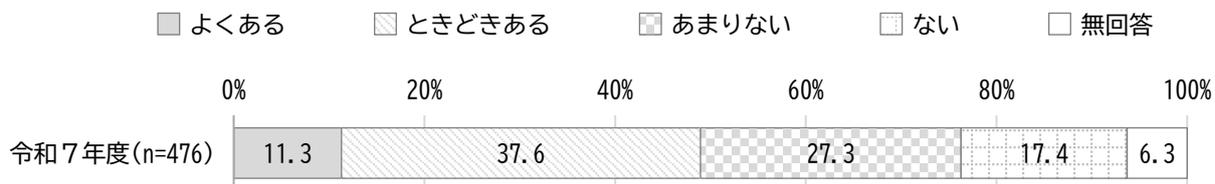
	人数	0～4点	5～7点	8～10点	無回答
全体	476	13.9	40.4	38.1	7.8
要介護1	160	8.2	40.0	47.5	4.4
要介護2	111	13.5	45.0	36.0	5.4
要介護3以上	186	20.5	39.9	28.5	11.3

単位：%

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和7年度	476	2.5	1.1	2.7	5.7	1.9	18.5	9.7	12.2	18.9	7.4	11.8	7.8
令和4年度	389	0.8	1.3	1.8	4.4	2.1	14.9	6.4	12.6	20.3	6.9	12.9	15.7

問3 生活をしていく上で、孤独を感じることはありますか。(単数回答)

「ときどきある」が37.6%で最も高く、次いで、「あまりない」が27.3%、「ない」が17.4%となっている。

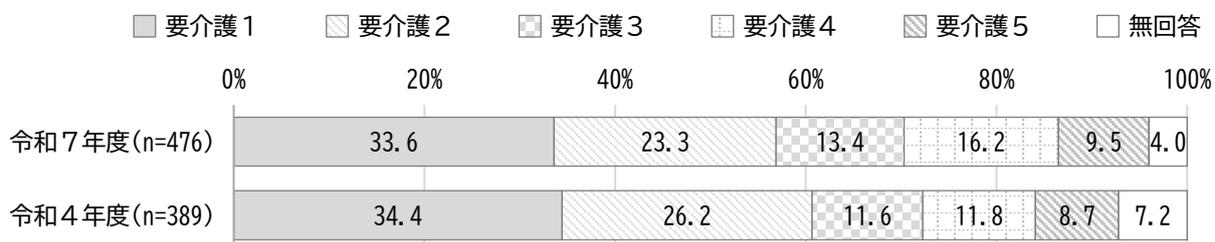


単位：%

	人数	よくある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
全体	476	11.3	37.6	27.3	17.4	6.3
要介護1	160	8.1	38.8	33.8	16.9	2.5
要介護2	111	11.7	43.2	25.2	18.9	0.9
要介護3以上	186	15.1	34.4	22.6	16.1	11.8

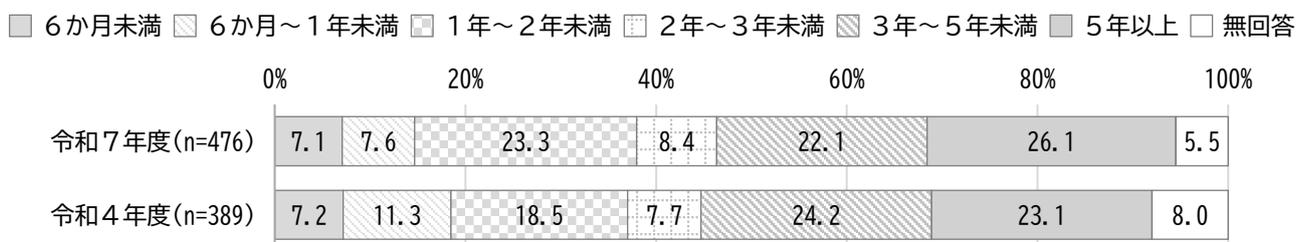
問4 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(単数回答)

「要介護1」が33.6%で最も高く、次いで、「要介護2」が23.3%、「要介護4」が16.2%となっている。



問5 最初の要介護の認定を受けてから、どの程度の期間が経過していますか。(単数回答)

「5年以上」が26.1%で最も高く、次いで、「1年～2年未満」が23.3%、「3年～5年未満」が22.1%となっている。

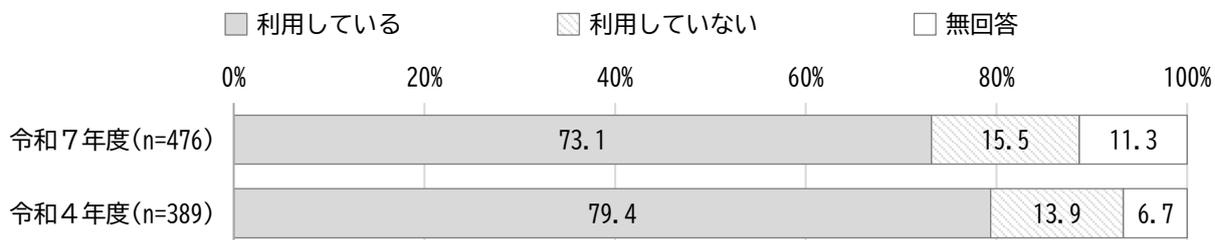


単位：%

	人数	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年以上	無回答
全体	476	7.1	7.6	23.3	8.4	22.1	26.1	5.5
要介護1	160	10.0	8.1	35.0	8.8	22.5	13.1	2.5
要介護2	111	6.3	8.1	29.7	9.0	19.8	24.3	2.7
要介護3以上	186	5.9	7.5	11.3	8.6	24.2	40.9	1.6

問6 あなたは、現在（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用されていますか。（単数回答）

「利用している」が73.1%で最も高く、次いで、「利用していない」が15.5%となっている。



※ 令和4年度の設問は「あなたは、介護保険サービスを利用されていますか。」であった。

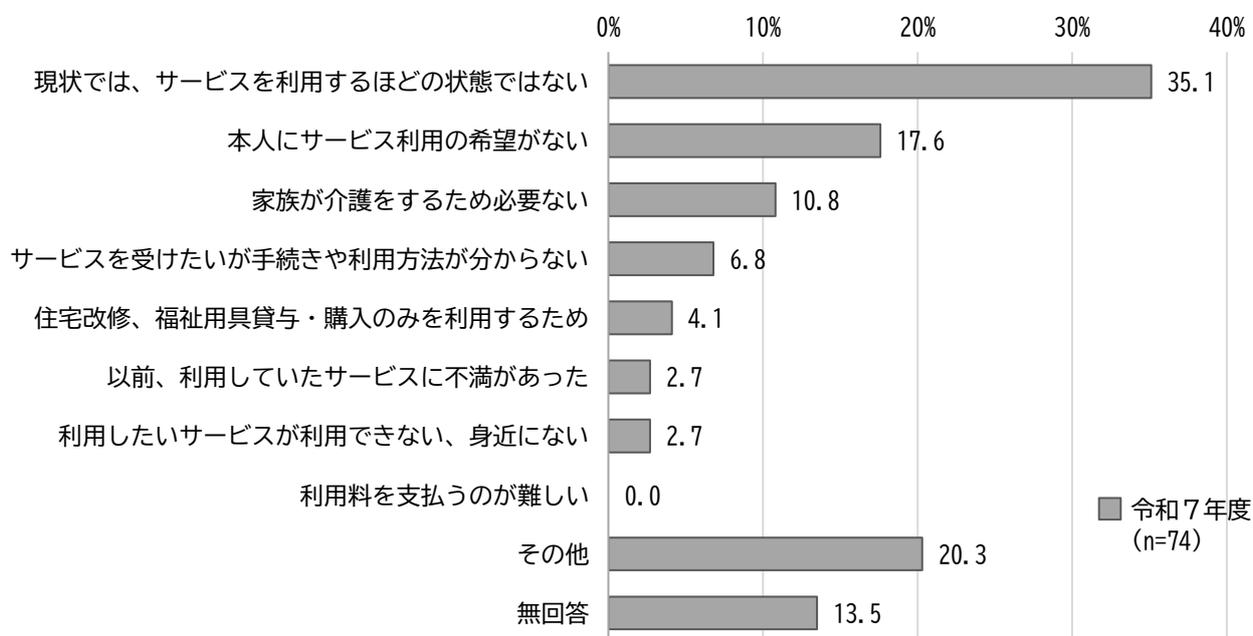
単位：%

	人数	利用している	利用していない	無回答
全体	476	73.1	15.5	11.3
要介護1	160	71.9	19.4	8.8
要介護2	111	79.3	12.6	8.1
要介護3以上	186	76.3	12.4	11.3

【問6で「利用していない」と答えた方】

問6-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数回答）

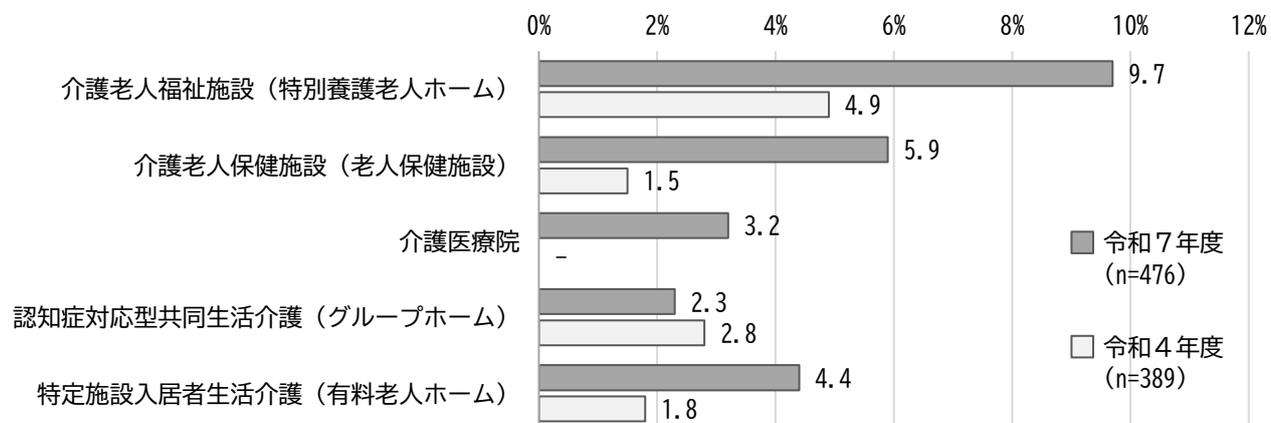
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.1%で最も高く、次いで、「その他」が20.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が17.6%となっている。



4. 介護保険について

問7 あなたは、次のサービスについて入所申請はしていますか。(複数回答)

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が9.7%で最も高く、次いで、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が5.9%、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）」が4.4%となっている。



※ 令和4年度は「申請して入所待ち」を質問している。

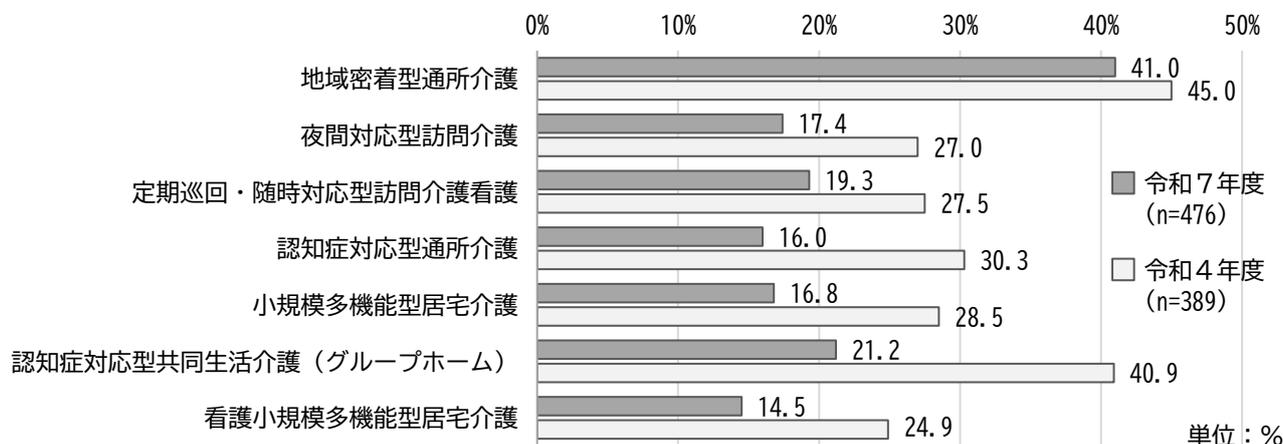
単位：%

	人数	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設（老人保健施設）	介護医療院	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）	無回答
全体	476	9.7	5.9	3.2	2.3	4.4	76.7
要介護1	160	1.9	6.3	2.5	1.9	3.1	86.9
要介護2	111	7.2	6.3	3.6	4.5	4.5	75.7
要介護3以上	186	18.8	5.9	3.8	1.6	5.9	66.1

問8 次のような地域密着型サービスを知っていますか、また、利用したいと思いますか。(複数回答)

①知っている

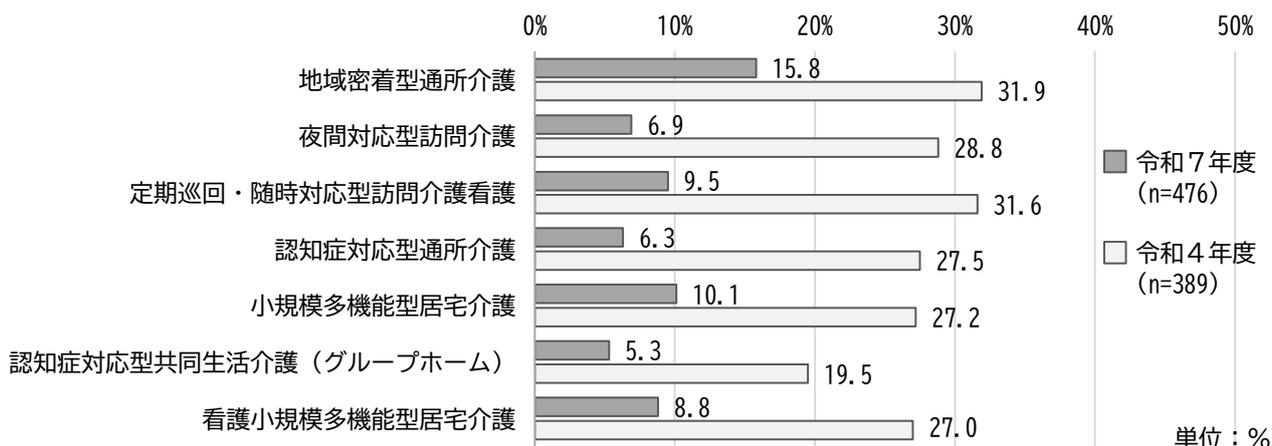
「地域密着型通所介護」が41.0%で最も高く、次いで、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が21.2%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が19.3%となっている。



	合計	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	無回答
全体	476	41.0	17.4	19.3	16.0	16.8	21.2	14.5	49.2
要介護1	160	42.5	13.8	16.3	15.0	15.0	19.4	12.5	47.5
要介護2	111	39.6	17.1	18.9	15.3	18.0	18.0	15.3	51.4
要介護3以上	186	41.9	22.6	23.1	18.3	19.4	26.9	17.2	46.8

②利用したい

「地域密着型通所介護」が15.8%で最も高く、次いで、「小規模多機能型居宅介護」が10.1%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が9.5%となっている。

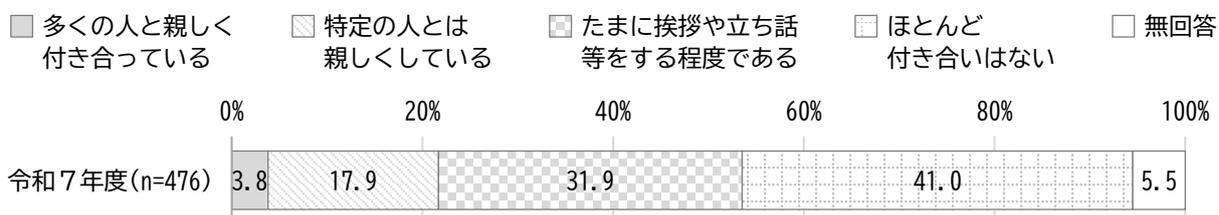


	人数	地域密着型通所介護	夜間対応型訪問介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	看護小規模多機能型居宅介護	無回答
全体	476	15.8	6.9	9.5	6.3	10.1	5.3	8.8	72.3
要介護1	160	18.1	6.3	8.8	8.8	11.9	8.8	10.6	68.1
要介護2	111	18.9	8.1	11.7	6.3	11.7	4.5	5.4	68.5
要介護3以上	186	13.4	7.0	9.1	4.8	8.6	3.2	10.2	75.8

5. 地域生活について

問9 あなたは隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(単数回答)

「ほとんど付き合いはない」が41.0%で最も高く、次いで、「たまに挨拶や立ち話等をする程度である」が31.9%、「特定の人とは親しくしている」が17.9%となっている。

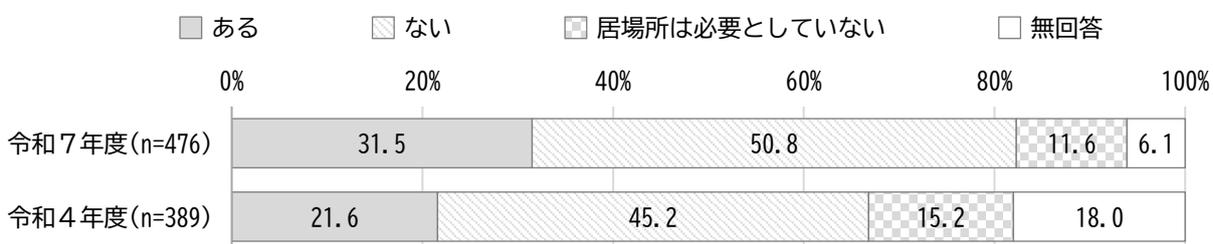


単位：%

	人数	多くの人と親しく付き合っている	特定の人とは親しくしている	たまに挨拶や立ち話等をする程度である	ほとんど付き合いはない	無回答
全体	476	3.8	17.9	31.9	41.0	5.5
要介護1	160	5.6	21.9	38.8	30.6	3.1
要介護2	111	2.7	20.7	37.8	32.4	6.3
要介護3以上	186	1.6	13.4	21.0	57.5	6.5

問10 あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。(単数回答)

「ない」が50.8%で最も高く、次いで、「ある」が31.5%、「居場所は必要としていない」が11.6%となっている。

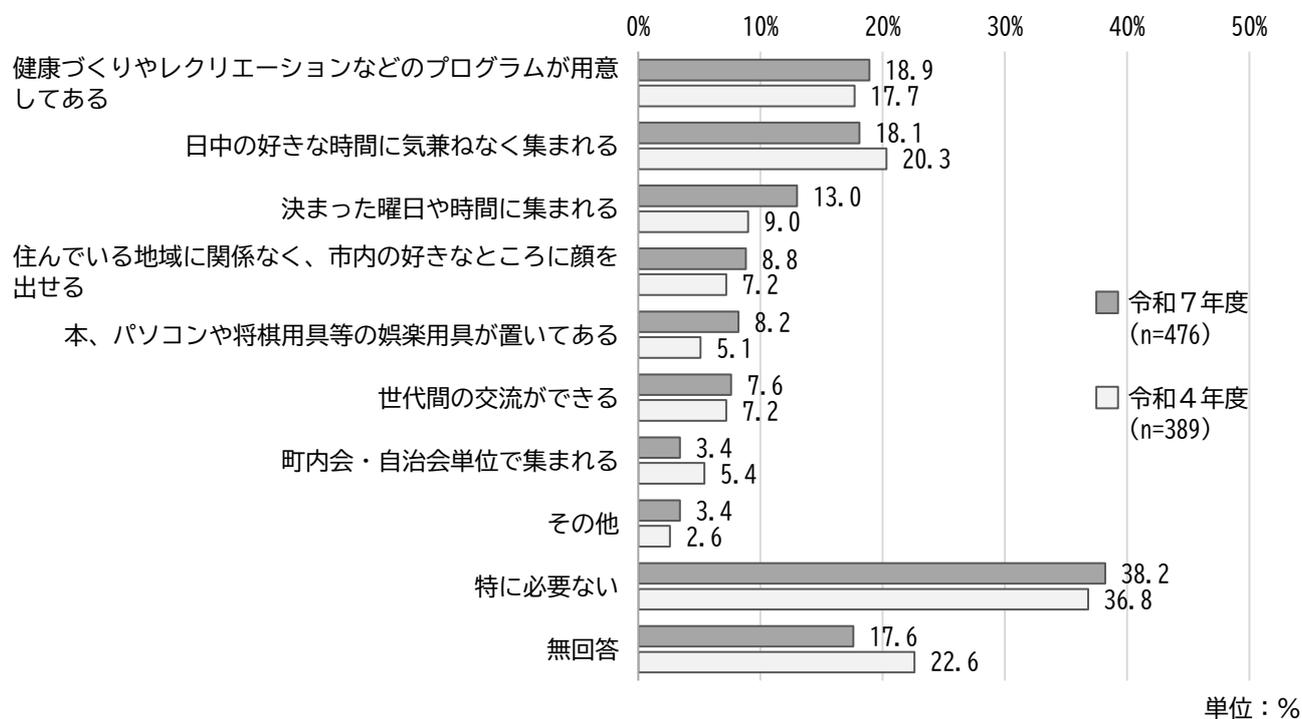


単位：%

	人数	ある	ない	居場所は必要としていない	無回答
全体	476	31.5	50.8	11.6	6.1
要介護1	160	39.4	46.9	8.8	5.0
要介護2	111	36.0	49.5	9.9	4.5
要介護3以上	186	21.5	56.5	15.6	6.5

問 11 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。(複数回答)

「特に必要ない」が 38.2%で最も高く、次いで、「健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある」が 18.9%、「日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる」が 18.1%となっている。



	人数	町内会・自治会単位で集まれる	住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる	決まった曜日や時間に集まれる	日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる	健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある	本、パソコンや将棋用具等の娯楽用具が置いてある	世代間の交流ができる	その他	特に必要ない	無回答
全体	476	3.4	8.8	13.0	18.1	18.9	8.2	7.6	3.4	38.2	17.6
要介護1	160	5.6	9.4	18.1	17.5	19.4	8.1	6.9	1.9	36.9	15.0
要介護2	111	2.7	9.0	10.8	19.8	19.8	7.2	9.9	0.9	39.6	11.7
要介護3以上	186	2.2	8.1	9.7	17.2	18.3	9.1	7.0	5.4	40.9	22.0

問12 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）という言葉をご存じですか。（単数回答）

「知らない」が76.3%で最も高く、次いで、「聞いたことがあるが内容は知らない」が7.8%、「知っているが話し合ったことはない」が5.9%となっている。

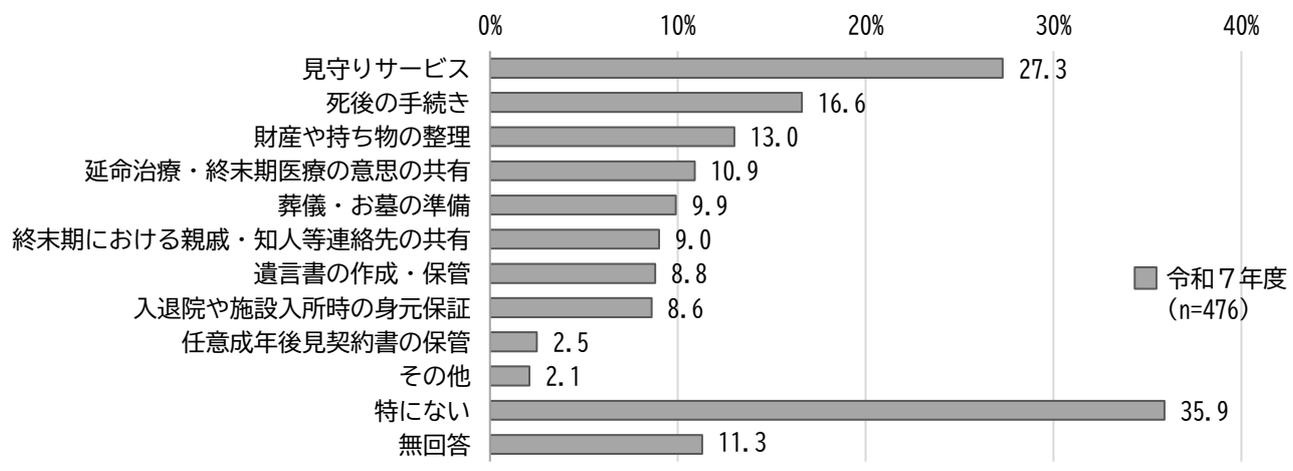


単位：%

	人数	知っている話し合ったことがある	知っているが話し合ったことはない	聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体	476	5.9	3.4	7.8	76.3	6.7
要介護1	160	5.0	6.3	8.1	74.4	6.3
要介護2	111	5.4	3.6	9.9	77.5	3.6
要介護3以上	186	7.0	1.1	5.4	79.0	7.5

問13 どのような終活サポートを受けたいですか。（複数回答）

「特にない」が35.9%で最も高く、次いで、「見守りサービス」が27.3%、「死後の手続き」が16.6%となっている。



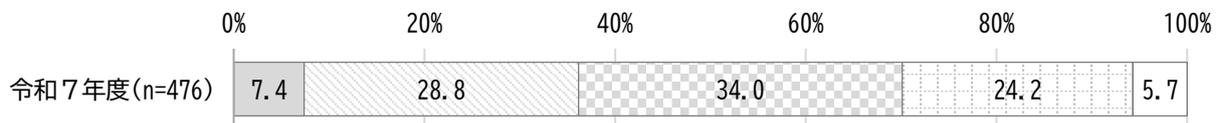
単位：%

	人数	見守りサービス	入退院や施設入所時の身元保証	延命治療・終末期医療の意思の共有	終末期における親戚・知人等連絡先の共有	任意成年後見契約書の保管	葬儀・お墓の準備	遺言書の作成・保管	財産や持ち物の整理	死後の手続き	その他	特にない	無回答
全体	476	27.3	8.6	10.9	9.0	2.5	9.9	8.8	13.0	16.6	2.1	35.9	11.3
要介護1	160	32.5	7.5	10.6	10.6	3.1	11.9	9.4	14.4	15.0	1.9	38.1	8.1
要介護2	111	24.3	11.7	5.4	8.1	1.8	7.2	9.0	13.5	14.4	3.6	40.5	9.9
要介護3以上	186	23.7	8.1	15.1	8.1	2.7	10.8	8.6	12.4	19.4	1.6	32.3	14.0

問 14 あなたは成年後見制度をご存じですか。(単数回答)

「聞いたことがあるが内容は知らない」が 34.0%で最も高く、次いで、「内容を少し知っている」が 28.8%、「知らない」が 24.2%となっている。

内容までよく知っている
 内容を少し知っている
 聞いたことがあるが内容は知らない
 知らない
 無回答

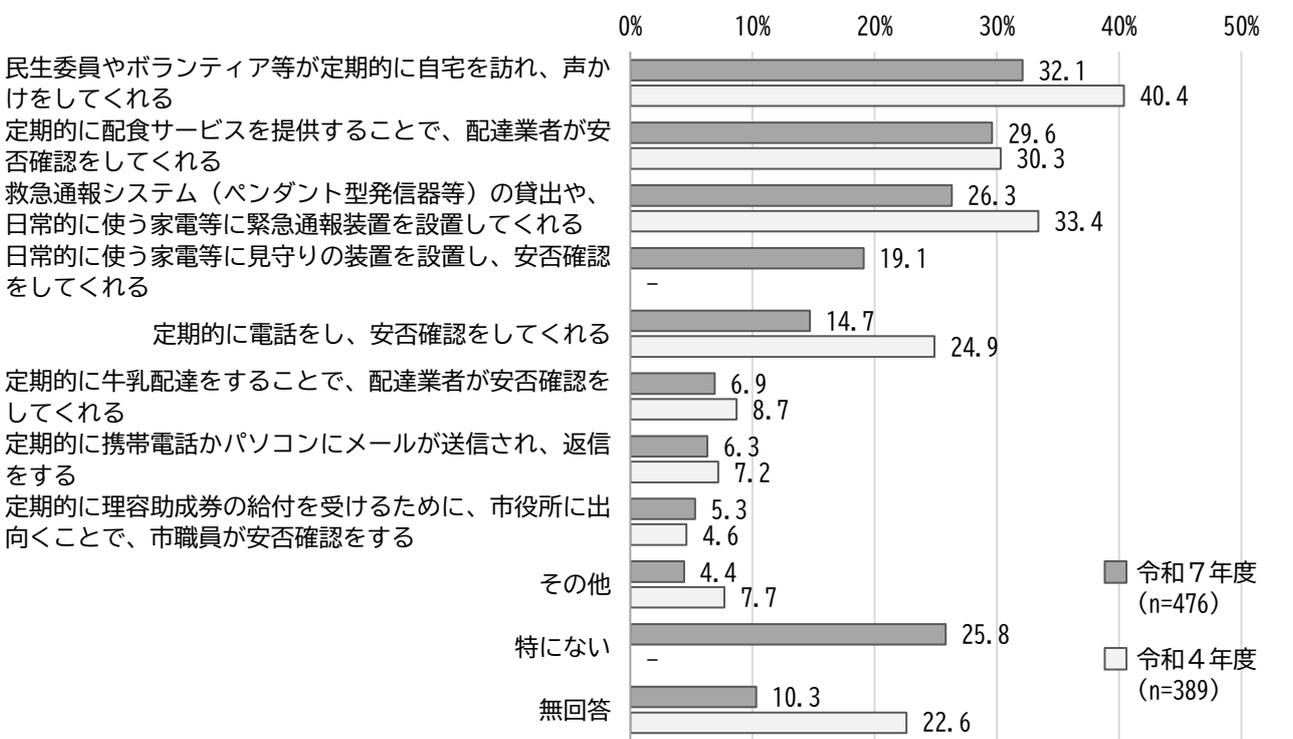


単位：%

	人数	内容までよく知っている	内容を少し知っている	聞いたことがあるが内容は知らない	知らない	無回答
全体	476	7.4	28.8	34.0	24.2	5.7
要介護1	160	8.8	22.5	38.8	25.6	4.4
要介護2	111	3.6	28.8	33.3	28.8	5.4
要介護3以上	186	9.1	34.4	28.5	21.5	6.5

問 15 もし、あなたがひとり暮らしになった場合（現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として）、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。（複数回答）

「民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」が32.1%で最も高く、次いで、「定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる」が29.6%、「救急通報システム（ペンダント型発信器等）の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる」が26.3%となっている。

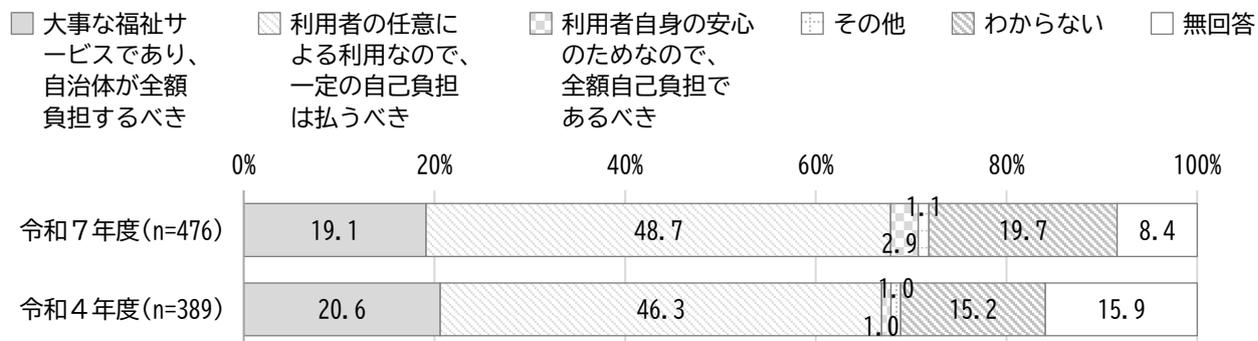


単位：%

	人数	民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる	定期的に電話をし、安否確認をしてくれる	定期的に携帯電話かパソコンにメールが送信され、返信をする	救急通報システムの貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる	定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認をしてくれる	定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる	定期的に理容助成券の給付を受けるために、市役所に出向くことで、市職員が安否確認をする	日常的に使う家電等に見守りの装置を設置し、安否確認をしてくれる	その他	特にない	無回答
全体	476	32.1	14.7	6.3	26.3	6.9	29.6	5.3	19.1	4.4	25.8	10.3
要介護1	160	35.0	16.3	8.8	24.4	10.6	30.0	7.5	15.6	3.8	25.0	6.9
要介護2	111	36.9	11.7	5.4	25.2	6.3	31.5	2.7	21.6	7.2	21.6	10.8
要介護3以上	186	27.4	16.7	4.8	30.6	3.8	27.4	5.4	22.0	3.8	28.5	11.8

問 16 ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、費用が発生する場合、利用と負担の関係はどうあるべきだと思いますか。(単数回答)

「利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき」が 48.7%で最も高く、次いで、「わからない」が 19.7%、「大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき」が 19.1%となっている。

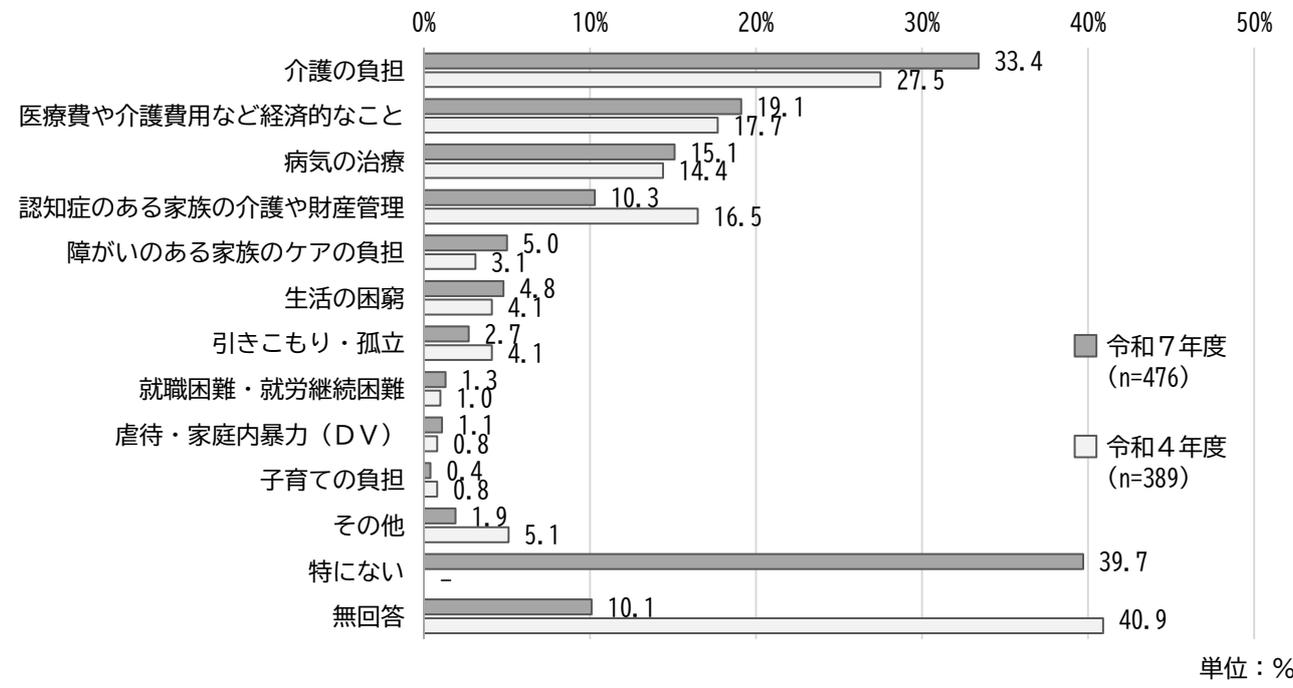


単位：%

	人数	大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき	利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき	利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき	その他	わからない	無回答
全体	476	19.1	48.7	2.9	1.1	19.7	8.4
要介護1	160	17.5	51.9	5.0	0.6	16.3	8.8
要介護2	111	18.0	46.8	3.6	0.9	24.3	6.3
要介護3以上	186	21.0	48.4	1.1	1.1	20.4	8.1

問 17 あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(複数回答)

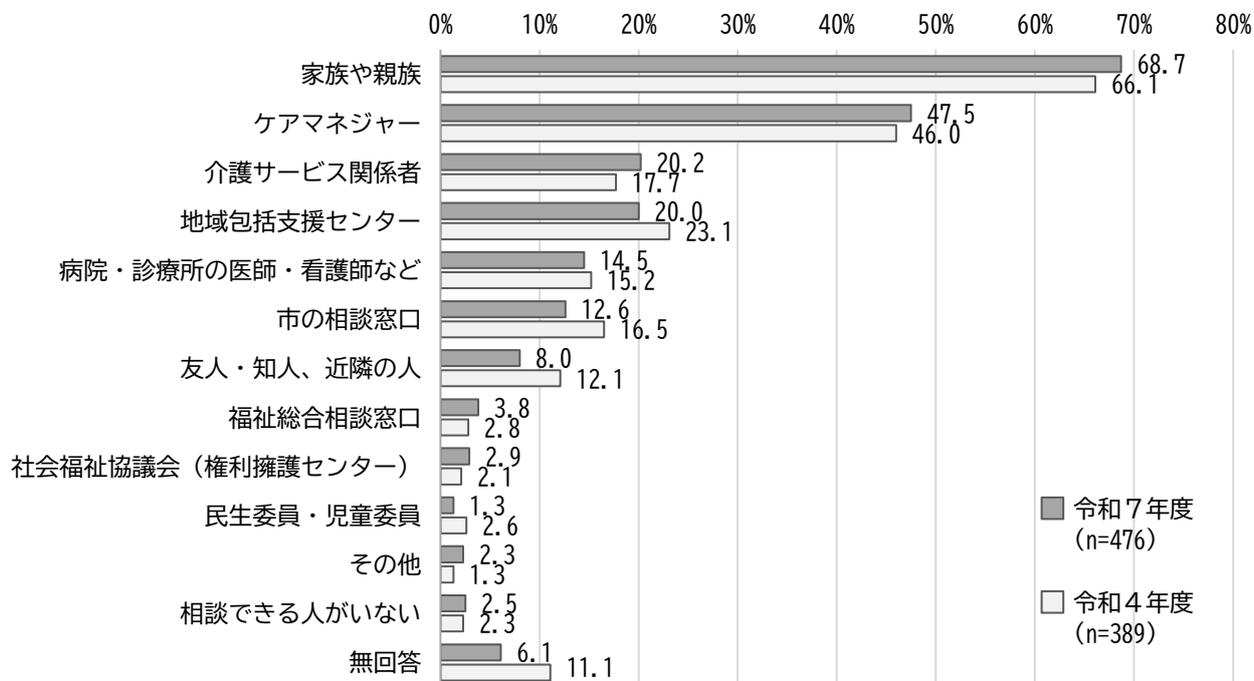
「特にない」が39.7%で最も高く、次いで、「介護の負担」が33.4%、「医療費や介護費用など経済的なこと」が19.1%となっている。



	人数	介護の負担	子育ての負担	障がいのある家族のケアの負担	病気の治療	生活の困窮	認知症のある家族の介護や財産管理	医療費や介護費用など経済的なこと	就職困難・就労継続困難	引きこもり・孤立	虐待・家庭内暴力(DV)	その他	特にない	無回答
全体	476	33.4	0.4	5.0	15.1	4.8	10.3	19.1	1.3	2.7	1.1	1.9	39.7	10.1
要介護1	160	26.9	0.0	3.8	15.6	5.6	11.3	17.5	1.3	0.0	0.6	0.0	46.3	9.4
要介護2	111	34.2	0.0	3.6	21.6	2.7	8.1	10.8	0.0	6.3	0.9	1.8	39.6	6.3
要介護3以上	186	40.9	1.1	7.5	11.8	5.9	11.8	26.3	2.2	3.2	1.6	3.8	31.2	12.4

問 18 あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（複数回答）

「家族や親族」が68.7%で最も高く、次いで、「ケアマネジャー」が47.5%、「介護サービス関係者」が20.2%となっている。



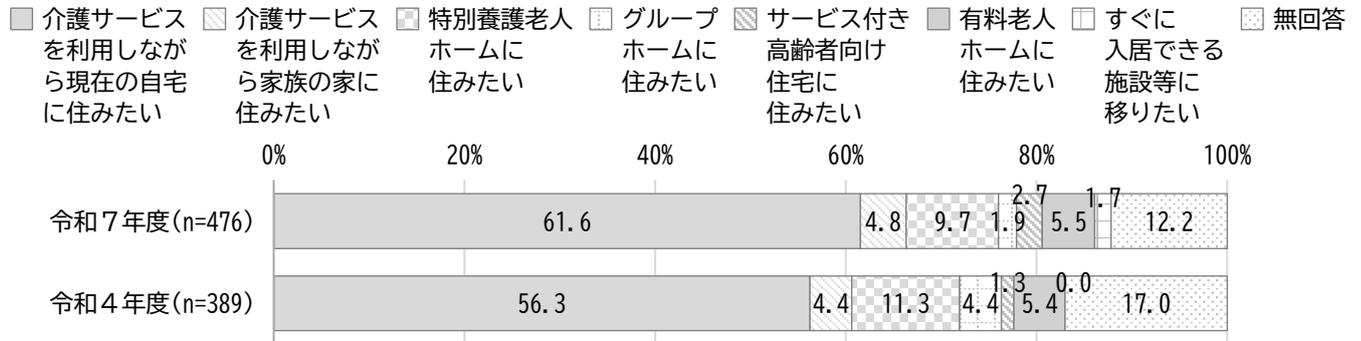
単位：%

	人数	家族や親族	友人・知人、近隣の人	市の相談窓口	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	ケアマネジャー	介護サービス関係者	福祉総合相談窓口	社会福祉協議会（権利擁護センター）	病院・診療所の医師・看護師など	その他	相談できる人がいない	無回答
全体	476	68.7	8.0	12.6	20.0	1.3	47.5	20.2	3.8	2.9	14.5	2.3	2.5	6.1
要介護1	160	73.8	10.0	13.1	21.3	2.5	51.2	23.1	2.5	3.1	16.9	1.9	1.3	3.8
要介護2	111	68.5	6.3	11.7	23.4	0.9	49.5	25.2	6.3	1.8	12.6	1.8	3.6	3.6
要介護3以上	186	64.0	7.5	11.3	18.3	0.5	45.2	15.6	3.2	3.8	14.0	3.2	3.2	9.1

6. 住まいについて

問 19 今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。(単数回答)

「介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい」が61.6%で最も高く、次いで、「特別養護老人ホームに住みたい」が9.7%、「有料老人ホームに住みたい」が5.5%となっている。

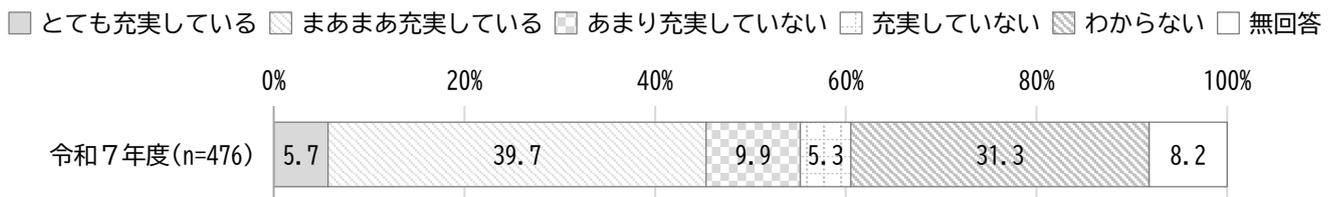


単位：%

	人数	介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい	介護サービスを利用しながら、家族の家に住みたい	特別養護老人ホームに住みたい	グループホームに住みたい	サービス付き高齢者向け住宅に住みたい	有料老人ホームに住みたい	すぐに入居できる施設等に移りたい	無回答
全体	476	61.6	4.8	9.7	1.9	2.7	5.5	1.7	12.2
要介護1	160	73.8	5.0	5.6	0.0	3.1	4.4	0.6	7.5
要介護2	111	61.3	6.3	8.1	4.5	3.6	3.6	2.7	9.9
要介護3以上	186	50.0	4.3	15.1	2.2	2.2	7.5	2.2	16.7

問 20 在宅生活を続けるにあたり高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(単数回答)

「まあまあ充実している」が39.7%で最も高く、次いで、「わからない」が31.3%、「あまり充実していない」が9.9%となっている。

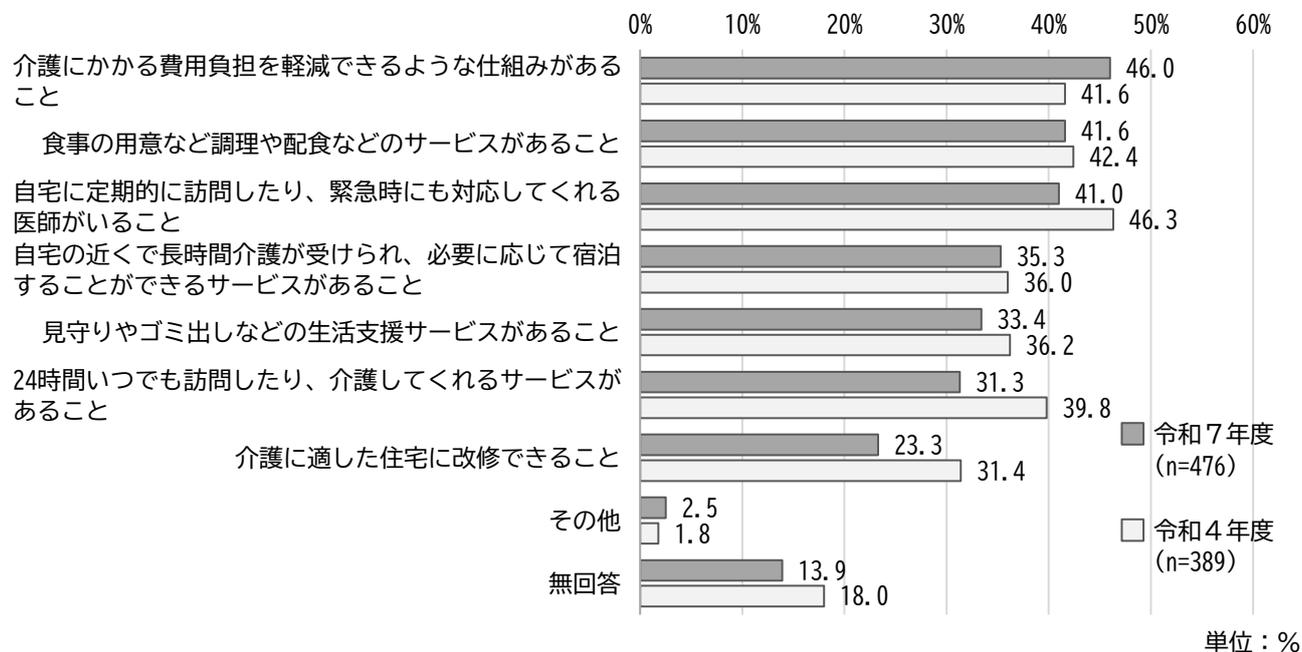


単位：%

	人数	とても充実している	まあまあ充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない	無回答
全体	476	5.7	39.7	9.9	5.3	31.3	8.2
要介護1	160	6.9	42.5	5.6	2.5	36.9	5.6
要介護2	111	6.3	38.7	16.2	0.0	31.5	7.2
要介護3以上	186	4.3	39.8	10.8	10.8	24.7	9.7

問 21 在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。(複数回答)

「介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること」が46.0%で最も高く、次いで、「食事の用意など調理や配食などのサービスがあること」が41.6%、「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」が41.0%となっている。

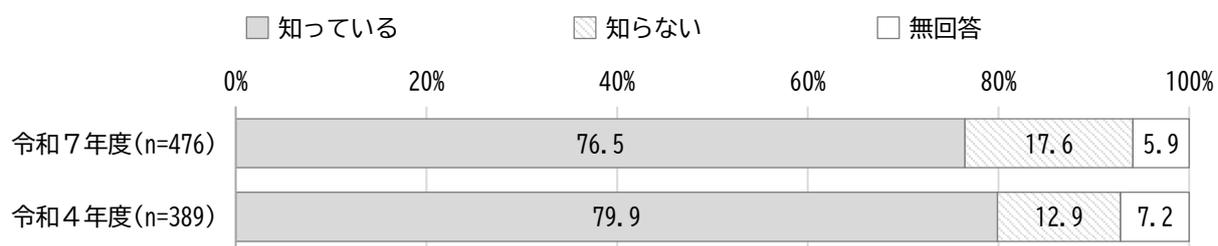


	人数	介護に適した住宅に改修できること	見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること	食事の用意など調理や配食などのサービスがあること	24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること	自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること	自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊することができるサービスがあること	介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること	その他	無回答
全体	476	23.3	33.4	41.6	31.3	41.0	35.3	46.0	2.5	13.9
要介護1	160	22.5	35.6	41.9	26.9	39.4	41.3	45.6	2.5	10.0
要介護2	111	22.5	36.0	45.9	31.5	43.2	29.7	45.9	2.7	10.8
要介護3以上	186	26.3	30.6	38.7	37.6	43.0	36.0	47.8	2.7	17.2

7. 地域包括支援センターについて

問 22 あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。(単数回答)

「知っている」が76.5%、「知らない」が17.6%であった。



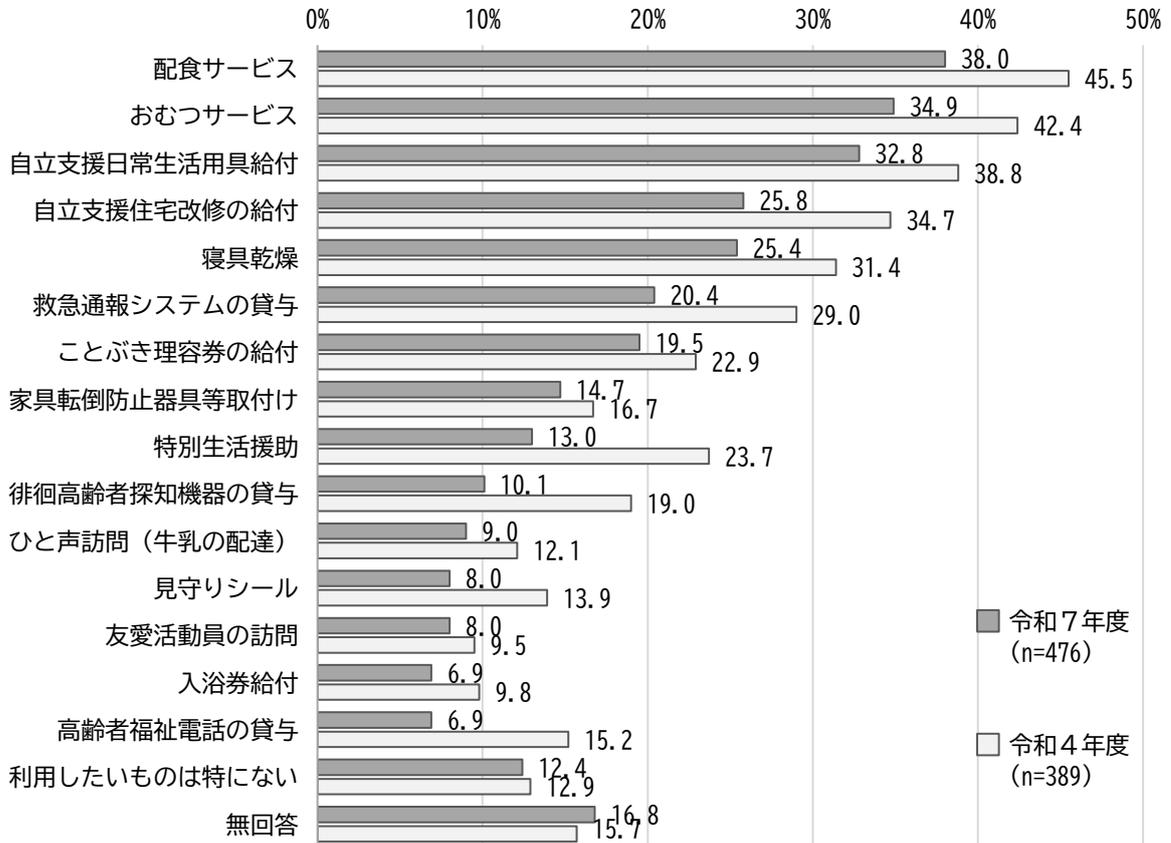
単位：%

	人数	知っている	知らない	無回答
全体	476	76.5	17.6	5.9
要介護1	160	75.6	19.4	5.0
要介護2	111	79.3	17.1	3.6
要介護3以上	186	77.4	16.7	5.9

8. 高齢者保健福祉サービスについて

問 23 市では介護保険以外にも、さまざまな高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。(複数回答)

「配食サービス」が38.0%で最も高く、次いで、「おむつサービス」が34.9%、「自立支援日常生活用具給付」が32.8%となっている。



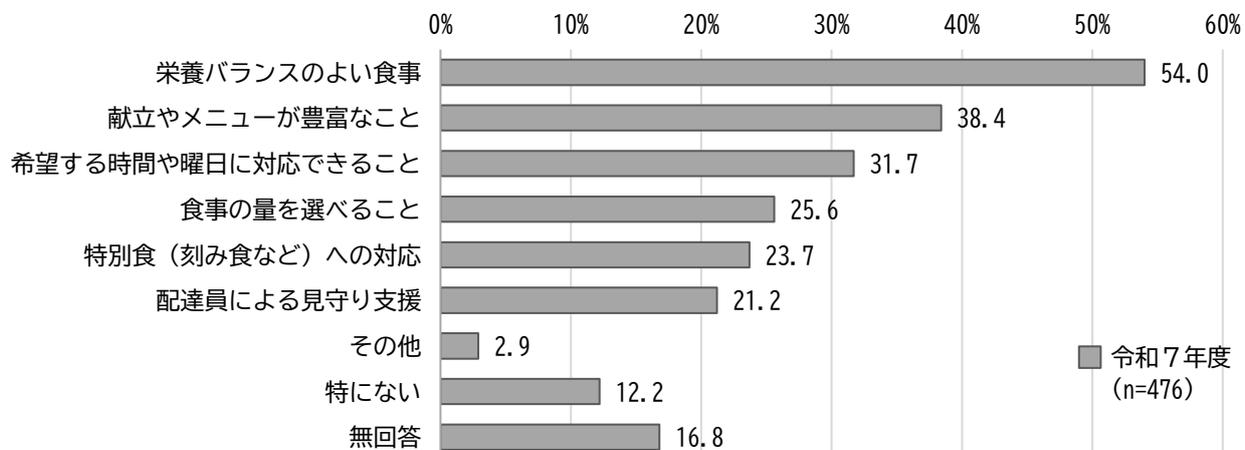
※令和4年度の設問は「市では介護保険以外にも、さまざまな高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。」であった。

単位：%

	人数	自立支援日常生活用具給付	自立支援住宅改修の給付	寝具乾燥	配食サービス	おむつサービス	入浴券給付	ことばき理容券の給付	高齢者福祉電話の貸与	救急通報システムの貸与	徘徊高齢者探知機器の貸与	見守りシール	ひと声訪問 (牛乳の配達)	友愛活動員の訪問	特別生活援助	家具転倒防止器具等取付け	利用したいものは特にない	無回答
全体	476	32.8	25.8	25.4	38.0	34.9	6.9	19.5	6.9	20.4	10.1	8.0	9.0	8.0	13.0	14.7	12.4	16.8
要介護1	160	33.1	27.5	25.6	36.9	26.9	3.1	17.5	5.6	21.3	12.5	9.4	12.5	8.8	13.1	14.4	14.4	11.9
要介護2	111	38.7	26.1	27.0	42.3	39.6	9.9	24.3	5.4	16.2	9.0	5.4	4.5	4.5	9.0	9.9	9.9	12.6
要介護3以上	186	30.1	26.3	25.8	36.6	41.9	9.1	20.4	9.7	24.2	9.7	9.1	9.1	9.7	16.7	17.2	12.4	22.0

問 24 配食サービスに望むものは何ですか。(複数回答)

「栄養バランスのよい食事」が54.0%で最も高く、次いで、「献立やメニューが豊富なこと」が38.4%、「希望する時間や曜日に対応できること」が31.7%となっている。



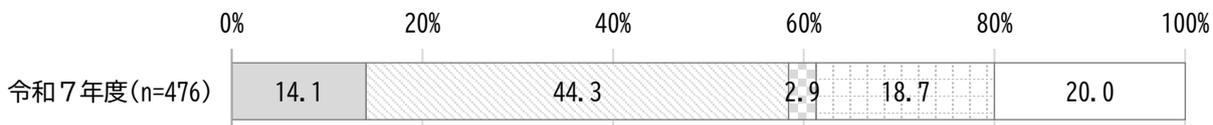
単位：%

	人数	栄養バ ランスのよ い食事	配達員に よる見守 り支援	希望する 時間や曜 日に対応 できるこ と	献立やメ ニューが 豊富なこ と	食事の量 を選べる こと	特別食 (刻み食 など)へ の対応	その他	特にな い	無回答
全体	476	54.0	21.2	31.7	38.4	25.6	23.7	2.9	12.2	16.8
要介護1	160	53.8	23.1	33.1	36.3	28.7	18.8	2.5	11.9	14.4
要介護2	111	63.1	18.0	32.4	39.6	26.1	21.6	3.6	9.9	16.2
要介護3以上	186	50.0	22.0	32.3	42.5	24.2	31.2	3.2	15.1	16.1

問 25 小金井市が実施していく理美容サービス事業は次のうちどれが良いと思いますか。(単数回答)

「寝たきりなどの状態により外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス」が44.3%で最も高く、次いで、「特に必要ない」が18.7%、「一人暮らし高齢者の方など見守りを必要とする方に理容助成券を配布することで、市内理美容店や市との関わりを通じた見守りを兼ねた理美容サービス」が14.1%となっている。

- 市内理美容店や市との関わりを通じた見守りを兼ねた理美容サービス
 外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス
 その他
 特に必要ない
 無回答



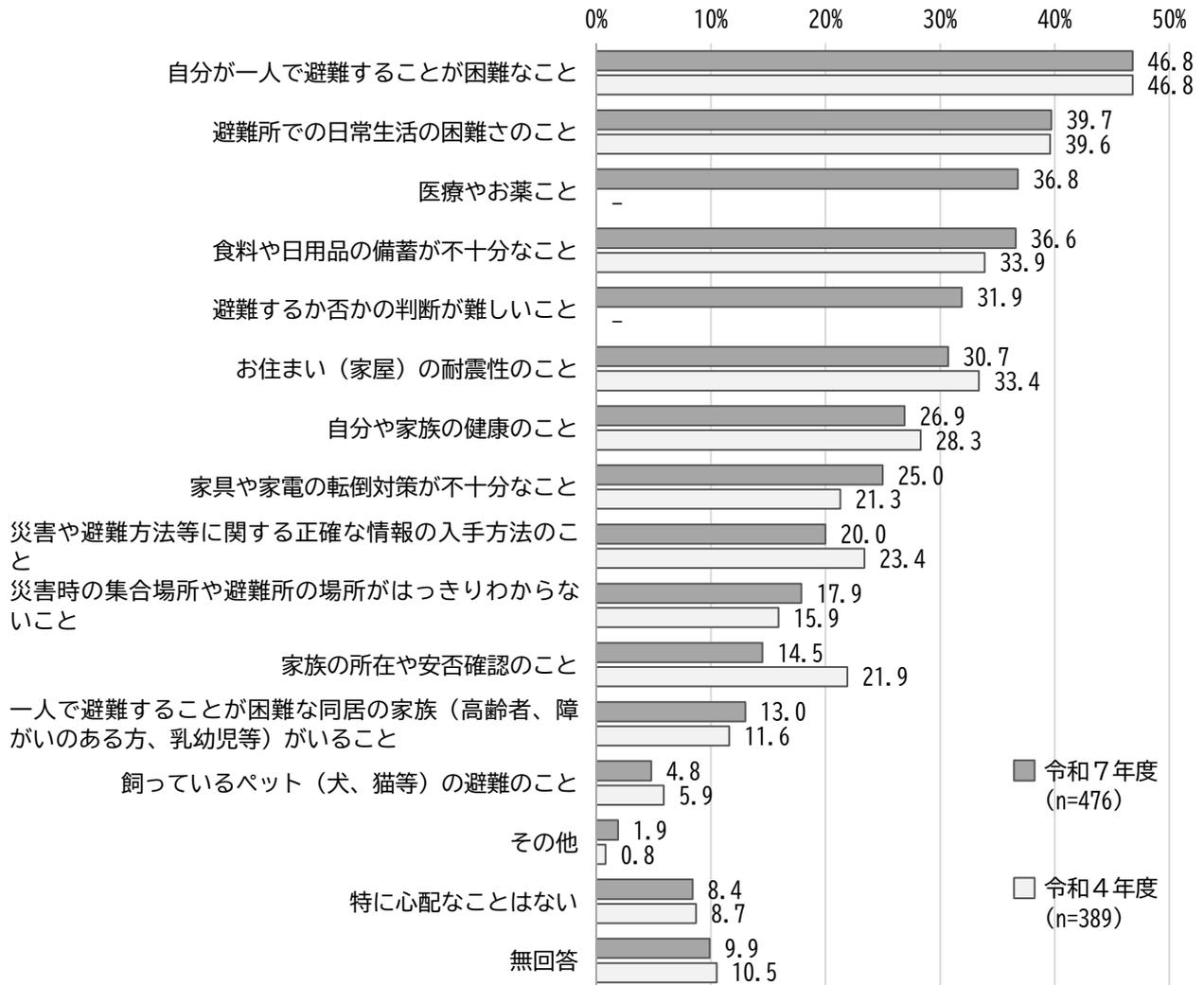
単位：%

	人数	市内理美容店や市との関わりを通じた見守りを兼ねた理美容サービス	外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス	その他	特に必要ない	無回答
全体	476	14.1	44.3	2.9	18.7	20.0
要介護1	160	17.5	31.9	2.5	28.1	20.0
要介護2	111	15.3	42.3	3.6	18.0	20.7
要介護3以上	186	10.2	59.1	2.7	11.3	16.7

9. 災害対応について

問 26 あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。(複数回答)

「自分が一人で避難することが困難なこと」が46.8%で最も高く、次いで、「避難所での日常生活の困難さのこと」が39.7%、「医療やお薬こと」が36.8%となっている。



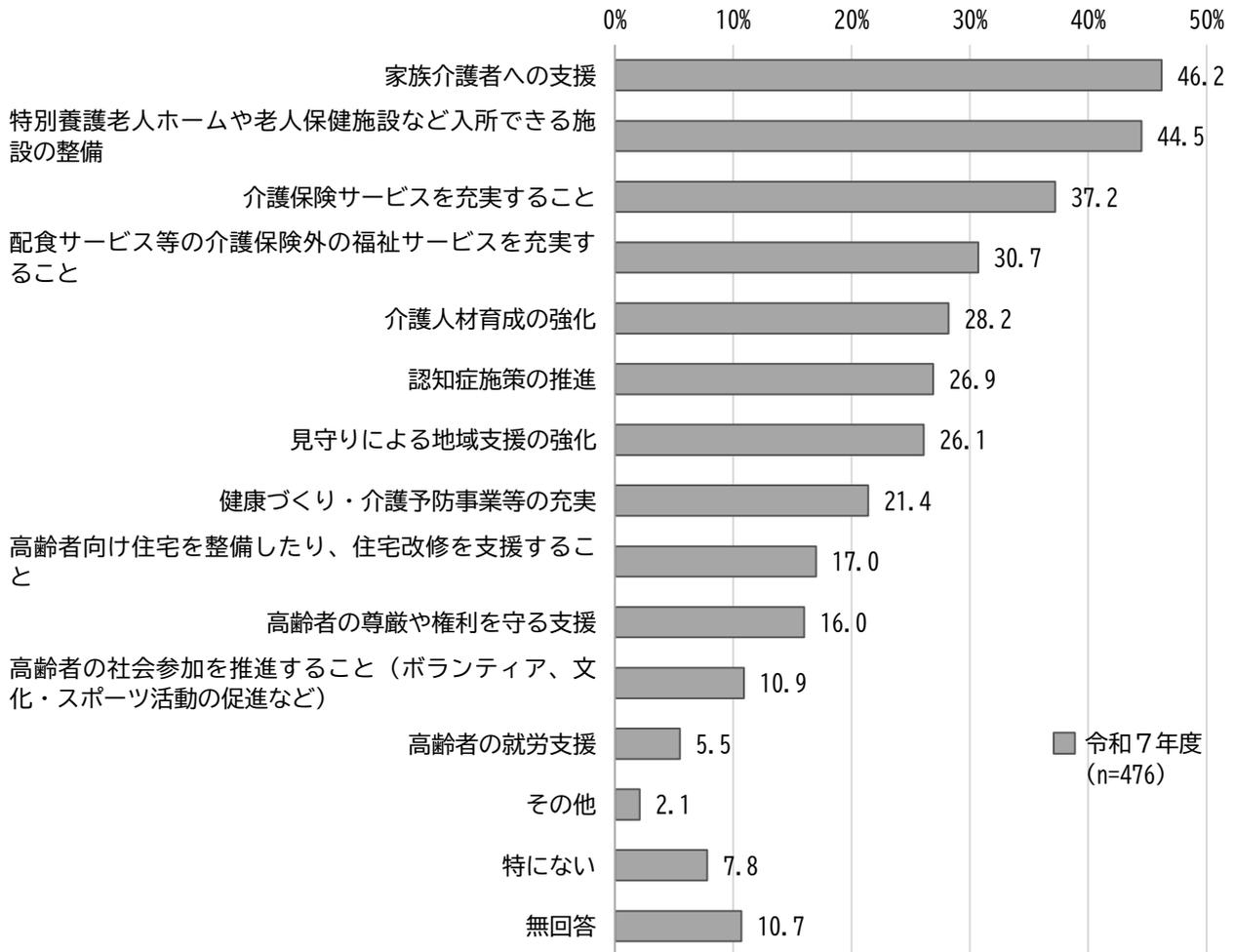
単位：%

	人数	お住まい(家屋)の耐震性のこと	家具や家電の転倒対策が不十分なこと	食料や日用品の備蓄が不十分なこと	避難するか否かの判断が難しいこと	災害時の集合場所や避難所の場所がわからないこと	避難所での日常生活の困難さのこと	自分が一人で避難することが困難なこと	一人で避難することが困難な同居の家族がいること	自分や家族の健康のこと	医療やお薬こと	家族の所在や安否確認のこと	飼っているペット(犬、猫等)の避難のこと	災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと	その他	特に心配なことはない	無回答
全体	476	30.7	25.0	36.6	31.9	17.9	39.7	46.8	13.0	26.9	36.8	14.5	4.8	20.0	1.9	8.4	9.9
要介護1	160	31.9	26.9	43.8	34.4	25.0	41.3	40.6	10.0	33.8	40.6	18.8	8.1	26.9	0.6	5.0	8.1
要介護2	111	30.6	23.4	35.1	27.0	13.5	40.5	49.5	16.2	27.9	45.9	15.3	4.5	16.2	3.6	8.1	5.4
要介護3以上	186	31.2	24.2	32.8	34.9	14.0	39.8	53.2	14.5	23.1	30.6	10.2	2.7	17.7	2.2	10.8	10.8

10. その他・市への要望について

問 27 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを充実すべきだとお考えですか。（複数回答）

「家族介護者への支援」が 46.2%で最も高く、次いで、「特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設の整備」が 44.5%、「介護保険サービスを充実すること」が 37.2%となっている。

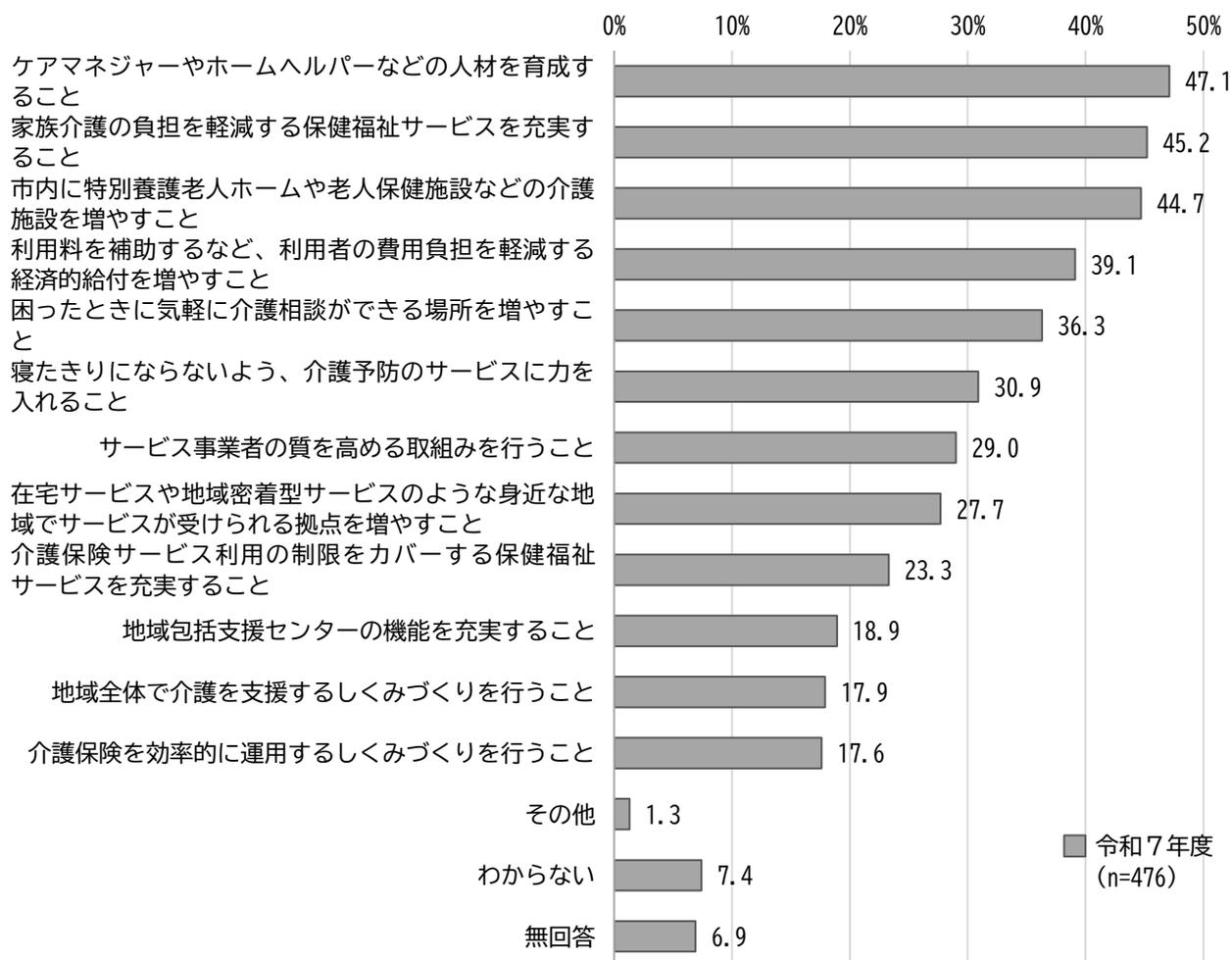


単位：%

	人数	高齢者の社会参加を推進すること	高齢者の就労支援	健康づくり・介護予防事業等の充実	見守りによる地域支援の強化	介護保険サービスを充実すること	配食サービス等の介護保険外の福祉サービスを充実すること	高齢者向け住宅を整備したり、住宅改修を支援すること	特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設の整備	認知症施策の推進	高齢者の尊厳や権利を守る支援	家族介護者への支援	介護人材育成の強化	その他	特にない	無回答
全体	476	10.9	5.5	21.4	26.1	37.2	30.7	17.0	44.5	26.9	16.0	46.2	28.2	2.1	7.8	10.7
要介護1	160	15.0	6.3	29.4	28.1	35.0	33.1	18.1	43.8	29.4	15.0	40.6	29.4	1.9	8.8	10.0
要介護2	111	9.0	5.4	19.8	24.3	38.7	32.4	19.8	46.8	21.6	14.4	47.7	27.9	0.9	8.1	8.1
要介護3以上	186	8.6	5.4	16.7	26.9	40.3	28.5	15.6	47.3	30.1	19.4	53.8	29.6	2.7	6.5	9.1

問 28 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(複数回答)

「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」が47.1%で最も高く、次いで、「家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること」が45.2%、「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」が44.7%となっている。



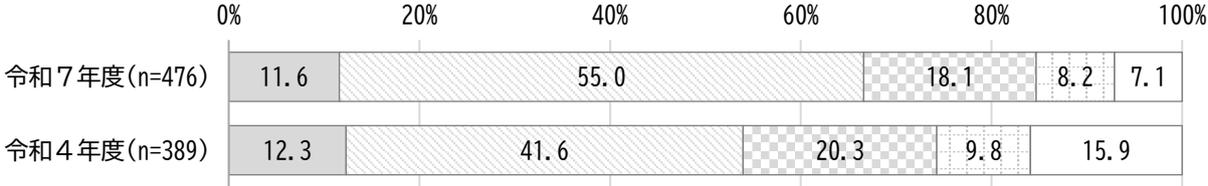
単位：%

	人数	サービス事業者の質を高める取組みを行うこと	ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	市内に特や老健などの介護施設を増やすこと	利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと	寝たきりにならないよう、介護予防に力を入れること	地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと	身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること	介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと	地域包括支援センターの機能を充実すること	介護保険の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること	その他	わからない	無回答
全体	476	29.0	47.1	44.7	39.1	30.9	17.9	27.7	36.3	45.2	17.6	18.9	23.3	1.3	7.4	6.9
要介護1	160	33.1	50.0	40.6	37.5	38.1	18.8	32.5	39.4	46.3	16.9	25.0	21.3	0.6	5.6	3.8
要介護2	111	24.3	41.4	47.7	43.2	28.8	19.8	27.9	41.4	45.0	19.8	18.0	26.1	0.9	7.2	6.3
要介護3以上	186	29.6	48.9	48.9	38.2	28.0	17.7	24.2	31.2	46.2	17.7	15.1	24.2	2.2	9.1	8.1

問 29 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(単数回答)

「どちらかといえばそう思う」が55.0%で最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」が18.1%、「そう思う」が11.6%となっている。

■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う ▩ どちらかといえばそう思わない ▪ そう思わない □ 無回答



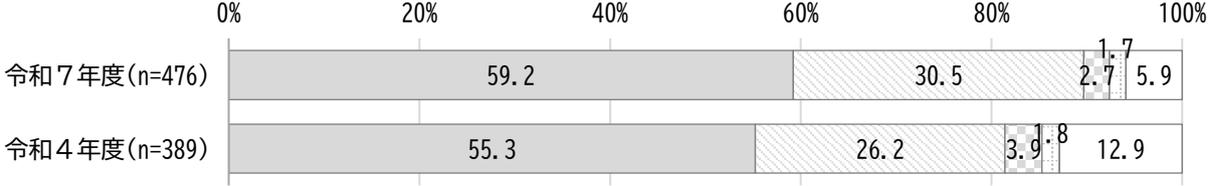
単位：%

	人数	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	無回答
全体	476	11.6	55.0	18.1	8.2	7.1
要介護1	160	13.8	60.6	16.9	5.6	3.1
要介護2	111	12.6	48.6	17.1	12.6	9.0
要介護3以上	186	9.7	53.8	21.0	7.5	8.1

問 30 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

「そう思う」が59.2%で最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思う」が30.5%、「どちらかとい
えばそう思わない」が2.7%となっている。

■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う ▩ どちらかといえばそう思わない ▪ そう思わない □ 無回答



単位：%

	人数	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	無回答
全体	476	59.2	30.5	2.7	1.7	5.9
要介護1	160	67.5	25.6	3.1	1.9	1.9
要介護2	111	50.5	39.6	2.7	0.9	6.3
要介護3以上	186	55.9	31.7	2.7	2.2	7.5

問 31 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

※自由回答について内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

◆介護保険制度・サービス (35 件)

■介護保険制度・認定 (14 件)

- ・手続きに時間がかかり、困ったその時すぐに利用出来ない介護認定は申請したらすぐにしてほしい。
- ・介護保険制度の利用についてケアマネジャーの負担や手続が多くて大変そう。
- ・介護認定をすばやく出来る様お願いしたい。
- ・介護保険を利用して訪問ヘルパー等、来て頂いているが、利用するサービスによって、同時に利用できなくなるサービスがあるので、その辺の規制を緩和してほしい。
- ・新制度の配食サービスは直接各業者に注文する値段よりも高い値段認定になっており補助金のメリットがない。即時見直して頂きたい。

■施設・設備の充実 (11 件)

- ・特養が少なく、なかなか入所出来ない。またコロナ禍なら影響で施設見学など出来ないことが困る。生涯を終える場所になるので慎重に選びたいので、可能な限り見学したいと思っています。
- ・特養は順番待ちと聞きます。特養老人ホームの数を増やして、利用せざるを得ない時に直ぐ入居できるようにしてほしいです。
- ・特養に入りやすく（施設を増やす）、また、東部に施設が少ないと感じる。
- ・身体障害の低所得者向け住宅
- ・施設によっても色々ありますが患者さんについてもっと充実して接してほしいです。大変でしょうが一生懸命して下されば患者さん自身もわからなくなっても少しはいしが通じわかちあえるものがある気がします。
- ・高齢者が安心して住み続けるためには、福祉サービスの充実は欠かせません。状態に応じた施設への入所がスムーズにできるように望みます。

■ケアマネ事業所の運営・質 (5 件)

- ・ケアマネさんやヘルパーさんの数を増やして、相談しやすい環境を整えてほしいです。在宅介護する家族のケアの大変さもフォローしてほしいです。横のつながり、情報交換ができる場もほしいです。
- ・現在に大変お世話になっており、働いていただいております。ケアマネジャーさんに感謝しております。

■居宅系サービスの充実・質の向上 (3 件)

- ・在宅の夜間サービスを充実させて欲しい。
- ・私の様な要介護 5 にもなると受け入れがとても難しくなる。他市でもそうですが…安心して泊まれるショートステイなどない。殆ど断られている。

■利用者の経済的負担 (1 件)

- ・介護してもらって費用がいろいろあるので高額なので無料にしてほしい。

■訪問介護事業の運営・質 (1 件)

- ・リハビリトレーニングセンターを利用させて頂き、利用年数が経るにつけ、大変に良いトレーニングだと実感しております。現在、自転車での転倒事故のため休んでおりますが、医者の方の許可を得たら、また通わせて頂きたいと思っております。

◆生活課題・困りごと (24 件)

■移動に関する支援 (8 件)

- ・坂下に住んでいます。ココバスが一方通行になってしまったので駅に向うのが困難です。
- ・CoCo バスの継続！！これがないと買い物に行けない。
- ・車いすでも気軽に出掛けられるような取り組みに力を入れてほしいです。介護タクシーの利用がもっと充実しているとうれしいです。
- ・各バス停に荷物おき用のいすがほしい。

■身元保証・独居・孤立 (6 件)

- ・一人暮らしなので、もし、動けなくなった時などすぐに、対しよしてもらえ施設を知りたいです。一人になった時の自分がとても不安です。
- ・現在の高齢者福祉は家族がいることが前提で成り立っている部分があるが、今後、独居の高齢者が増えるのでその対応が望まれる。
- ・病気をし一人暮らしが困難になり子供と同居したため受けられないサービスが沢山あるのは不公平です。子供は1日中勤務でないも同然です。

■経済的な不安（4件）

- ・高齢者の医療費無償
- ・紙オムツやレンタル介護用品も医療費として確定申告の時に経費で落とせないか？

■介護者の負担・求められる支援（3件）

- ・重度の認知を介護している者どうしがお茶飲みながらぐちをこぼす場所があったらと思います。介護が進んでいてもストレスの発散場所があれば良いかと思います。
- ・介護する者のケアも考えてほしい。

■認知症への対応・支援（3件）

- ・まず、伺いたい事が、わからない。すでに高齢化がしている我々には何から聞くべきか？お話を聞いてもその日の内に忘れてしまうのが高齢者だと思う。予想もできない。過去に両親をみたが、今とは全く違うし、人にもよるので、むしろ不安がつります。

◆行政への意見・提案（22件）

■情報提供・周知の工夫（6件）

- ・支援施策の広報を充実させて頂き、どのようなサービスがあるのか分かりやすくして頂くと良いと思います。
- ・不要な食品を活用したいときがある。提供方法など。

■福祉のまちづくりの推進（4件）

- ・町内会と行政のつながりが良く解りません。町内会には介護に関する機能はあるのでしょうか？（町内会は大きな災害が起きた時、無事かどうか確認するだけのようです）
- ・アンケートで答えた通りであるが、財政を豊かにしないと、何も出来ないと判断する。
- ・現況では、高齢になった時には、暮らせないと判断する。「いきいきと暮らす」「老後も安心」と思わせる政策を期待したい。
- ・安全な場所に高齢者が腰を休めるベンチがほしいとの要望をよく耳にします。

■相談窓口の周知・充実（4件）

- ・支援施策についての情報提供の充実
- ・要介護になった時、どのケアマネジャーにたのめばわからず困った。また、ケアマネジャーも人手不足で引き受けてくれるところが少なく、引き受けてくれるところから選ばざるを得なかった。

■行政体制・支援強化（4件）

- ・近隣の区や市のサービスを受けたり、そこに居住する人達から高齢者支援施策について経験したり見聞したりしているの、小金井市も今まで以上に知識と今後の活動に生かしてもらいたい。
- ・子供達への支援は良いが75才以上の老人への配慮がたりない。

■介護人材の育成・処遇改善（3件）

- ・高齢者支援施策について、情報を知らない。常に何でも人材不足、情報不足と思っている。
- ・介護人材の育成、待遇の改善（給料アップ）は急務だと思います。小金井市の福祉にはほぼ満足しています。いつもありがとうございます

■災害時の対応・防犯・安全（1件）

- ・市の職員の方が努力している。警察署は、皆無、指導されたい。（特に高齢者の対応）

◆在宅生活支援（11件）

■経済・物品支援（5件）

- ・歩行が困難ですが通院時にあらかじめタクシーが予約できなくて困っています。また全部無料でなくていいのでバスだけではなく場合によりタクシーも利用したいので金銭の補助や頼める仕組みがあれば助かります。
- ・知らない施策やサービスが多く、まずどれをどのように利用するのが最適なのかを相談できる場所が知りたいです。現在入院中ですが病院が指定するオムツ代や衣服代が高額なため、調布市のような入院のオムツ代助成があると助かります。

■生活支援（3件）

・1番こまるのは食事の用意かな？費用はかかってもよいが食事の面で力を入れてほしい。

■制度要件（1件）

・背骨の手術以後、私は、一人で歩くのがむずかしいのでヘアカットも、病院へも行けないので、来訪していただいていますので、その費用が大変です。利用券を貰っても、利用出来ない訳ですから、そういった事情をくみとっていただきたいです。

■デジタル環境整備（1件）

・高齢者にとってアンケート回答や各種手続きは負担が大きく、スマホ申請や来庁前提の仕組みは不便である。マイナンバーカード対応や保険証切替も高齢者の立場に配慮し、送付の一括化や申請主義の見直しを求めたい。ペイペイ施策なども高齢者には利用が難しく、不公平感がある。

■感染症対策（1件）

・施設によると思いますが、コロナ対策や感染症対策が行き過ぎに感じます。高齢者は人に接することで元気になります。それを阻んで食事だけ、風呂だけの単調で閉じこめるような生活は本当に良くないと思います。行政から施設に指導頂くことを切に願います。

◆アンケート調査（7件）

■回答・実施方法（5件）

・このアンケートは認知症が進んだ母には回答が困難です。介ゴは介ゴする側の問題がとても大きいので、回答者を介ゴする側にしたアンケートがあるべきと考えます。

・本人は長期入院中の患者様で、質問のほとんどに「わからない」と返答されています。

■設問関連（2件）

・当人認知症のためコミュニケーションとれない状態です。返答できるところだけ書かせていただきました。

◆地域・社会参加・生きがい（6件）

■社会参加支援（4件）

・私（主な介護者）は通いで高齢両親（90代）の生活サポートもしており、夫は週4日半日のデイサービス以外家に居ることになり運動不足です。費用がかかっても、週1回で良いのでハンデのある人が通えるスポーツクラブのクラスがあれば大変ありがたいです。

・高齢者から安心して集える（冷暖房完備の又、交通便利）居場所の是非至急整備を願っております。

■生きがい・役割づくり（1件）

・大切な老後の生き方を色々考えさせられ、自分自身勉強させて頂きました。ありがとうございます。

■就労・働く機会（1件）

・元気でいたいと思うが、いざとなった時、子供達も仕事を持っているために今の所たぐわえたお金でサービスを受けていますがたぐわえがなくなった時にはどのようなのか心配です。その時はどうなるのかと思うと心配です。

◆医療体制・地域医療（3件）

■病院への市の支援（2件）

・介護を生業としている専門家だけで、高齢者生活に必要なサービスを全部提供することはできないので、様々な世代の人が少しサポートできるよう、介護に関係する知識を習得する場を提供してほしい。

■地域医療の充実（1件）

・小金井市に公金を払ってるのに他県の施設にいる為予防接種など小金井の医療機関しか使えず受けられません。

◆その他（4件）

■その他（4件）

・高齢者支援について勉強不足のため（自分が）これから勉強するつもりです。

・現在の支援を有難く思います。

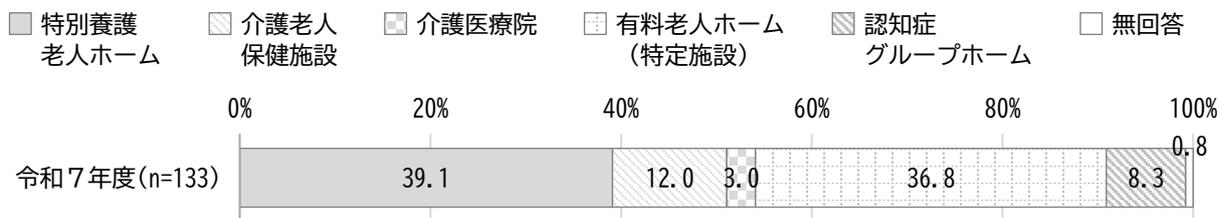
第4章 介護施設等サービス利用者調査

※令和4年度（n=83）においては、「特別養護老人ホーム」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」「介護医療院」の施設系入所者のみを対象とした。令和7年度の調査を「有料老人ホーム（特定施設）」「認知症グループホーム」を居住系入居者（n=60）、また、「特別養護老人ホーム」「介護老人保健施設」「介護医療院」を施設系入所者（n=72）と分類してクロス集計を行って、令和4年度と比較している箇所がある。

1. 調査の回答者について

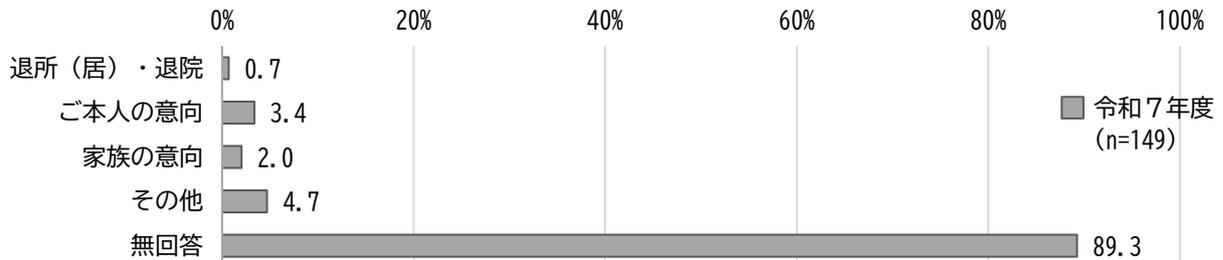
◆ 入所（入居）されている施設等の種類（単数回答）

「特別養護老人ホーム」が39.1%で最も高く、次いで、「有料老人ホーム（特定施設）」が36.8%、「介護老人保健施設」が12.0%となっている。



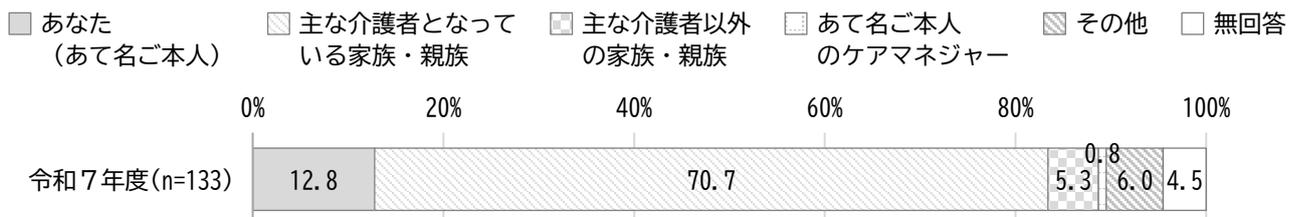
◆ 何らかの事情により回答できない方の理由（単数回答）

「その他」が4.7%で最も高く、次いで、「ご本人の意向」が3.4%、「家族の意向」が2.0%となっている。



◆ この調査票はどなたがご記入されますか。（単数回答）

「主な介護者となっている家族・親族」が70.7%で最も高く、次いで、「あなた（あて名ご本人）」が12.8%、「その他」が6.0%となっている。



2. あなた（あて名ご本人）について

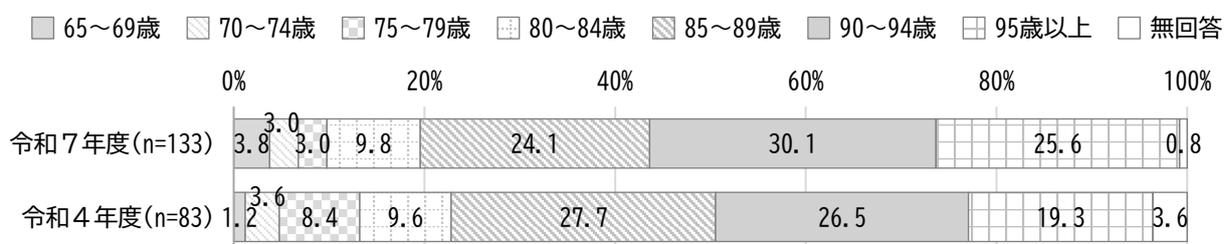
F 1 あなたの性別はどちらですか。（単数回答）

「男性」が24.1%、「女性」が75.2%であった。



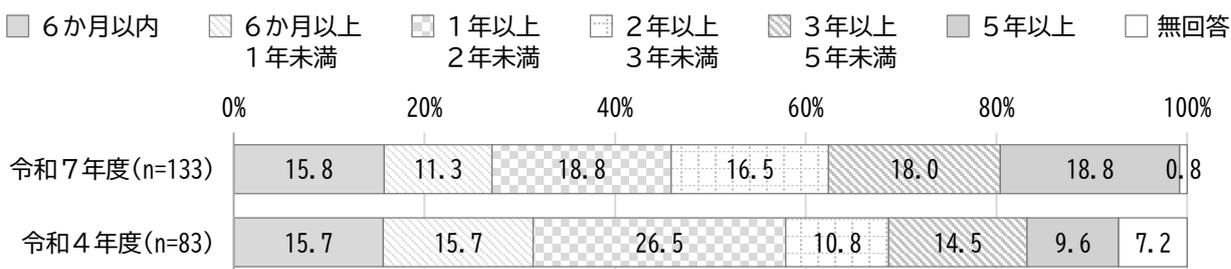
F 2 あなたの年齢は次のどれですか。（単数回答）

「90～94歳」が30.1%で最も高く、次いで、「95歳以上」が25.6%、「85～89歳」が24.1%となっている。



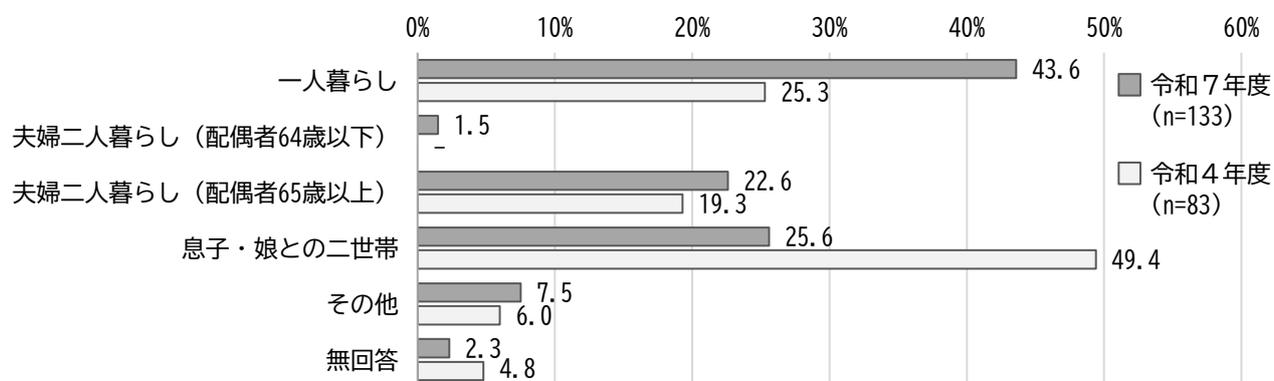
F 3 施設等に入所（入居）されてどのくらいですか。（単数回答）

「1年以上2年未満」が18.8%で最も高く、次いで、「5年以上」が18.8%、「3年以上5年未満」が18.0%となっている。



F4 入所（入居）する前に同居していた方はどなたですか。（複数回答）

「一人暮らし」が43.6%で最も高く、次いで、「息子・娘との二世帯」が25.6%、「夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）」が22.6%となっている。

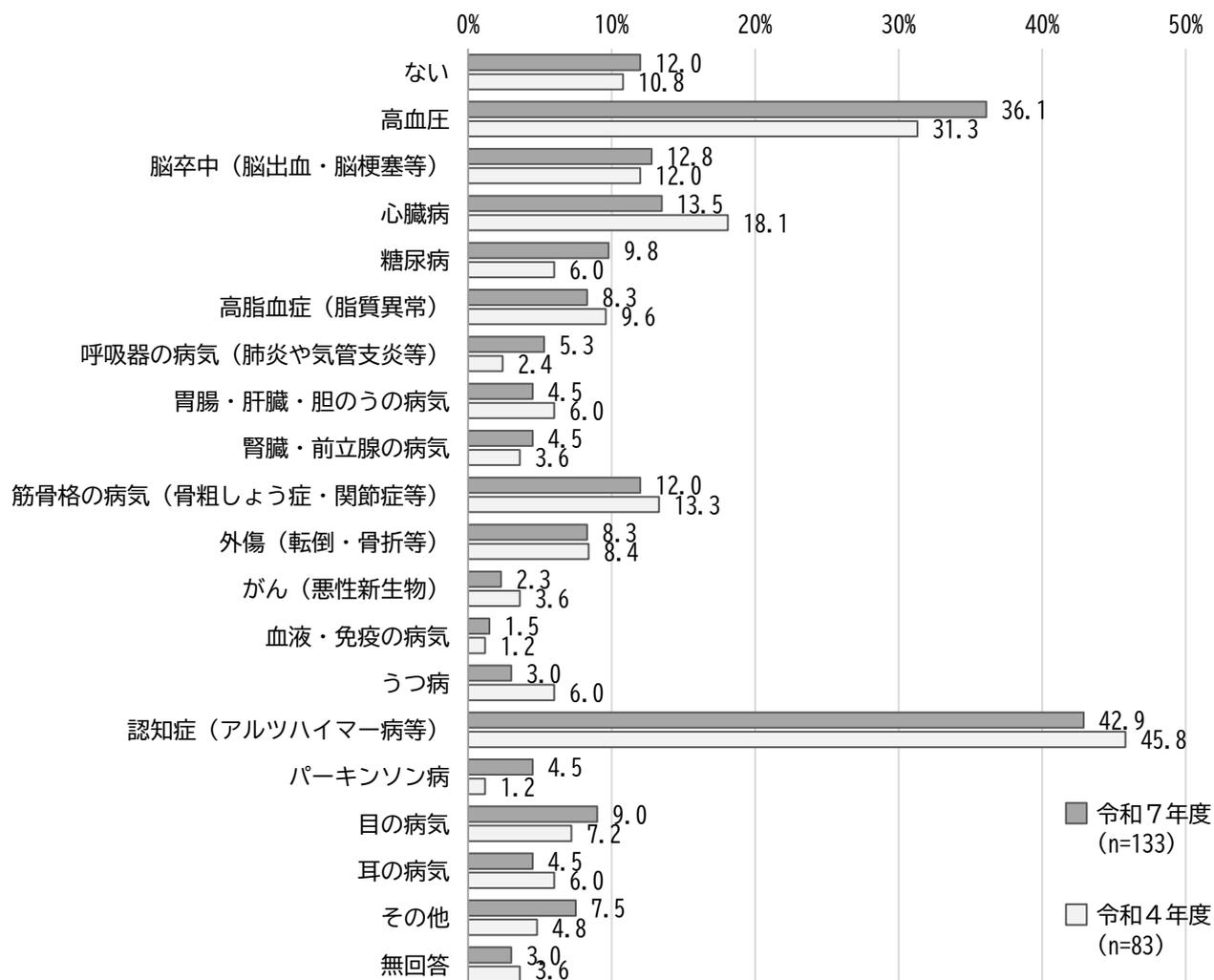


※ 令和4年度では、父母（2.4%）の選択肢があった。

3. 医療の状況について

問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。（複数回答）

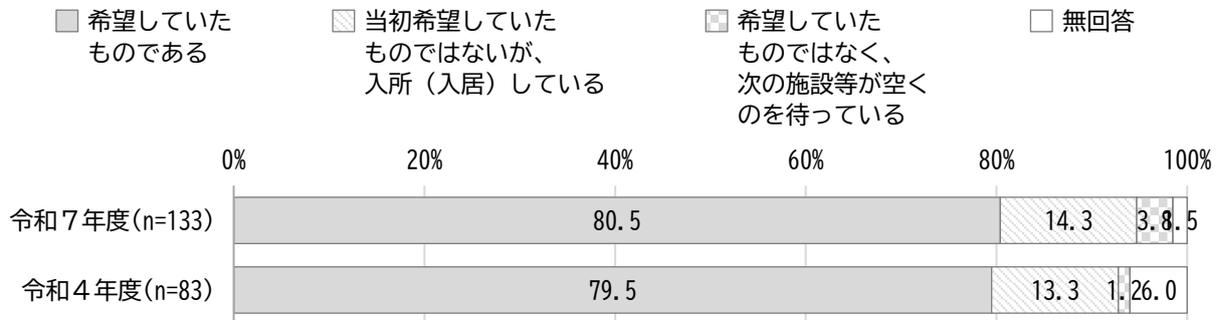
「認知症（アルツハイマー病等）」が42.9%で最も高く、次いで、「高血圧」が36.1%、「心臓病」が13.5%となっている。



4. 入所されるまでのことについて

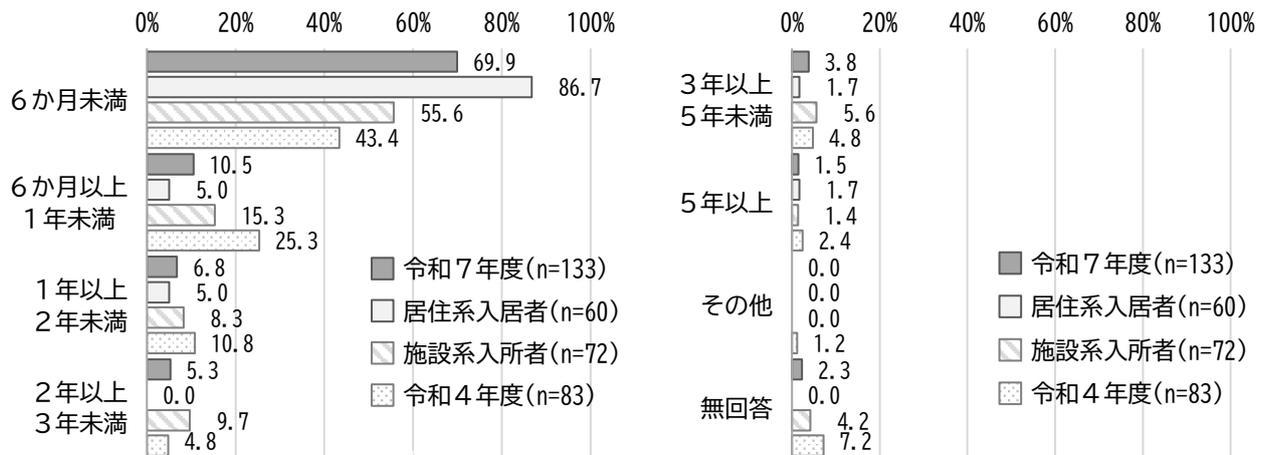
問2 現在入所（入居）している施設等の種類は、希望していたものですか。（単数回答）

「希望していたものである」が80.5%で最も高く、次いで、「当初希望していたものではないが、入所（入居）している」が14.3%、「希望していたものではなく、次の施設等が空くのを待っている」が3.8%となっている。



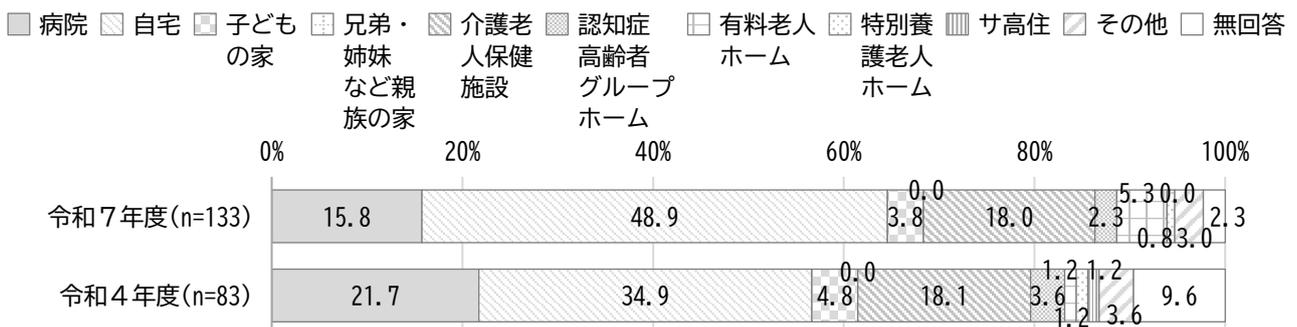
問3 あなたが、現在の施設等への入所（入居）が必要になってから（または希望してから）、現在の施設等に入所（入居）されるまでの期間はどれくらいでしたか。（単数回答）

「6か月未満」が69.9%で最も高く、次いで、「6か月以上1年未満」が10.5%、「1年以上2年未満」が6.8%となっている。



問4 現在の施設に入所（入居）される直前の住まい・施設はどこでしたか。（単数回答）

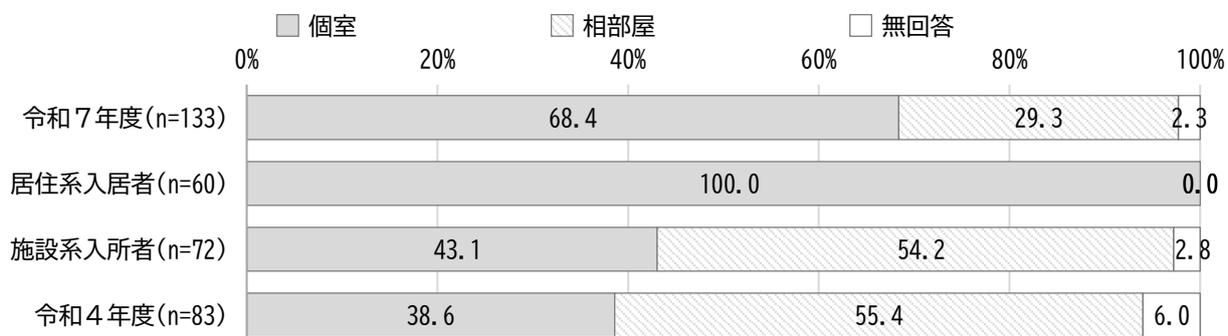
「自宅」が48.9%で最も高く、次いで、「介護老人保健施設」が18.0%、「病院」が15.8%となっている。



5. 施設等での生活やサービスについて

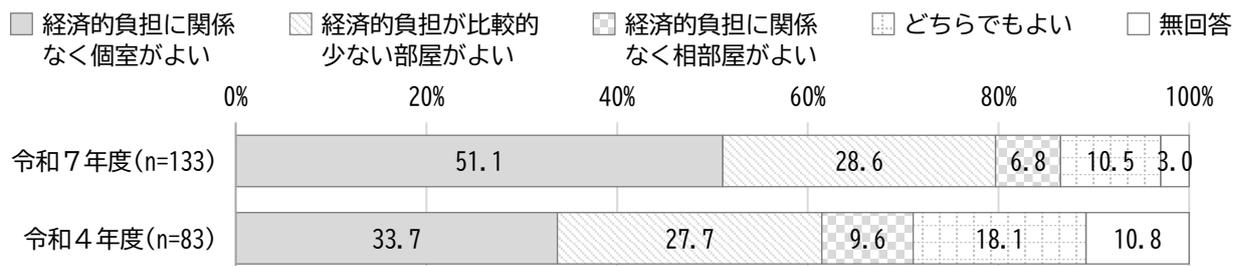
問5 現在入所（入居）中のあなたの部屋の種類についてお答えください。（単数回答）

「個室」が68.4%、「相部屋」が29.3%であった。



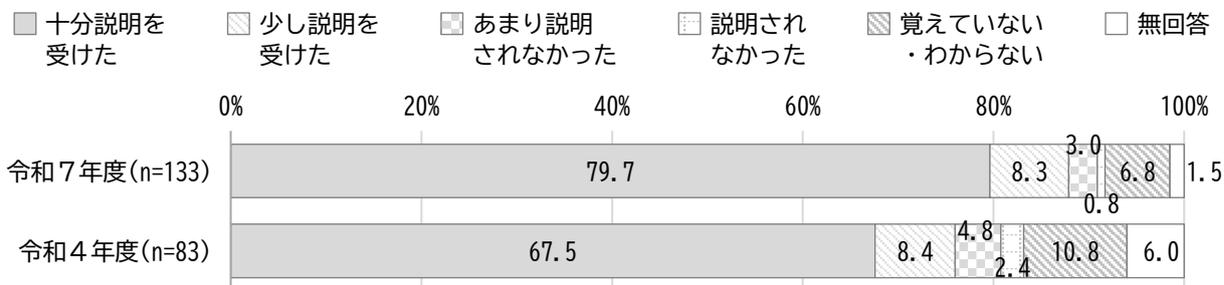
問6 あなたは今後、どのような部屋で生活したいですか。（単数回答）

「経済的負担に関係なく個室がよい」が51.1%で最も高く、次いで、「経済的負担が比較的少ない部屋がよい」が28.6%、「どちらでもよい」が10.5%となっている。



問7 施設等で生活するために必要になるサービスなどについて、詳しく説明が行われましたか。（単数回答）

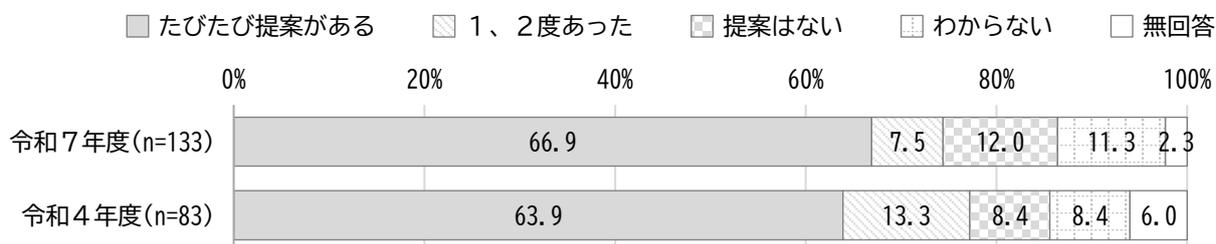
「十分説明を受けた」が79.7%で最も高く、次いで、「少し説明を受けた」が8.3%、「覚えていない・わからない」が6.8%となっている。



※令和4年度の設問は「生活するために必要になるサービスなどについて、詳しく説明が行われましたか。」であった。

問8 施設等から、心身の状態に応じたサービスの提案がありますか。(単数回答)

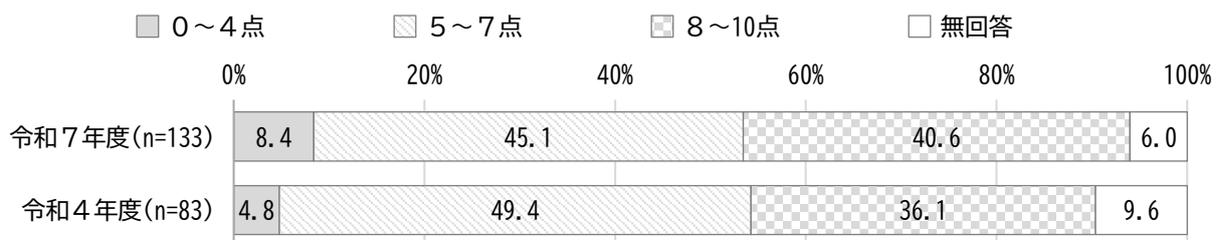
「たびたび提案がある」が 66.9%で最も高く、次いで、「提案はない」が 12.0%、「わからない」が 11.3%となっている。



※令和4年度の設問は「施設から、ご本人の体の状況に応じたサービスの提案がありますか。」であった。

問9 あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

「0～4点」が 8.4%、「5～7点」が 45.1%、「8～10点」が 40.6%となっている。



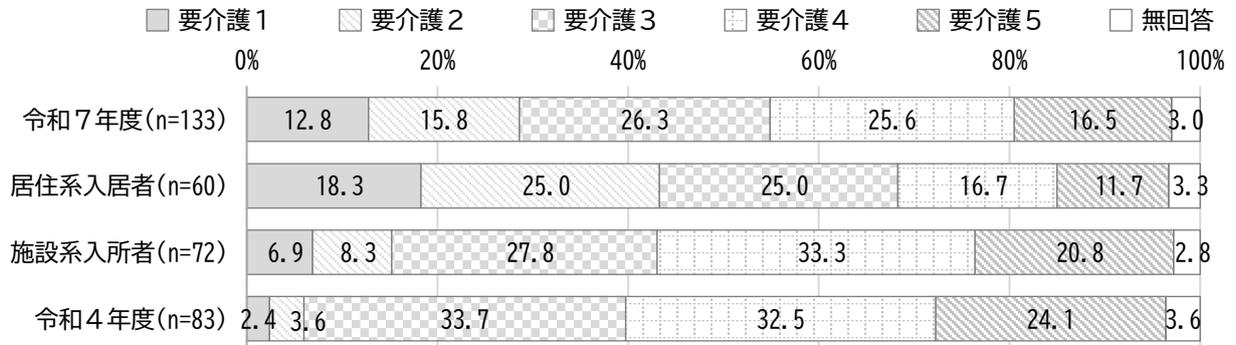
単位：%

	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和7年度	113	0.8	1.5	0.8	2.3	3.0	18.8	8.3	18.0	18.8	9.0	12.8	6.0
令和4年度	83	0.0	1.2	0.0	1.2	2.4	26.5	8.4	14.5	16.9	8.4	10.8	9.6

6. 介護保険について

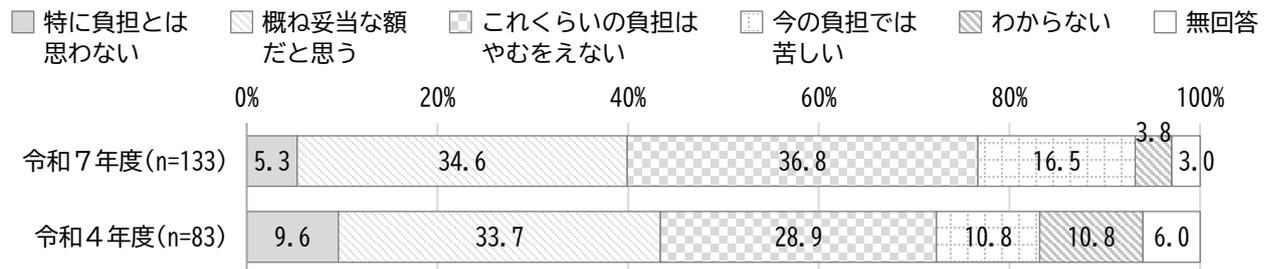
問10 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(単数回答)

「要介護3」が26.3%で最も高く、次いで、「要介護4」が25.6%、「要介護5」が16.5%となっている。



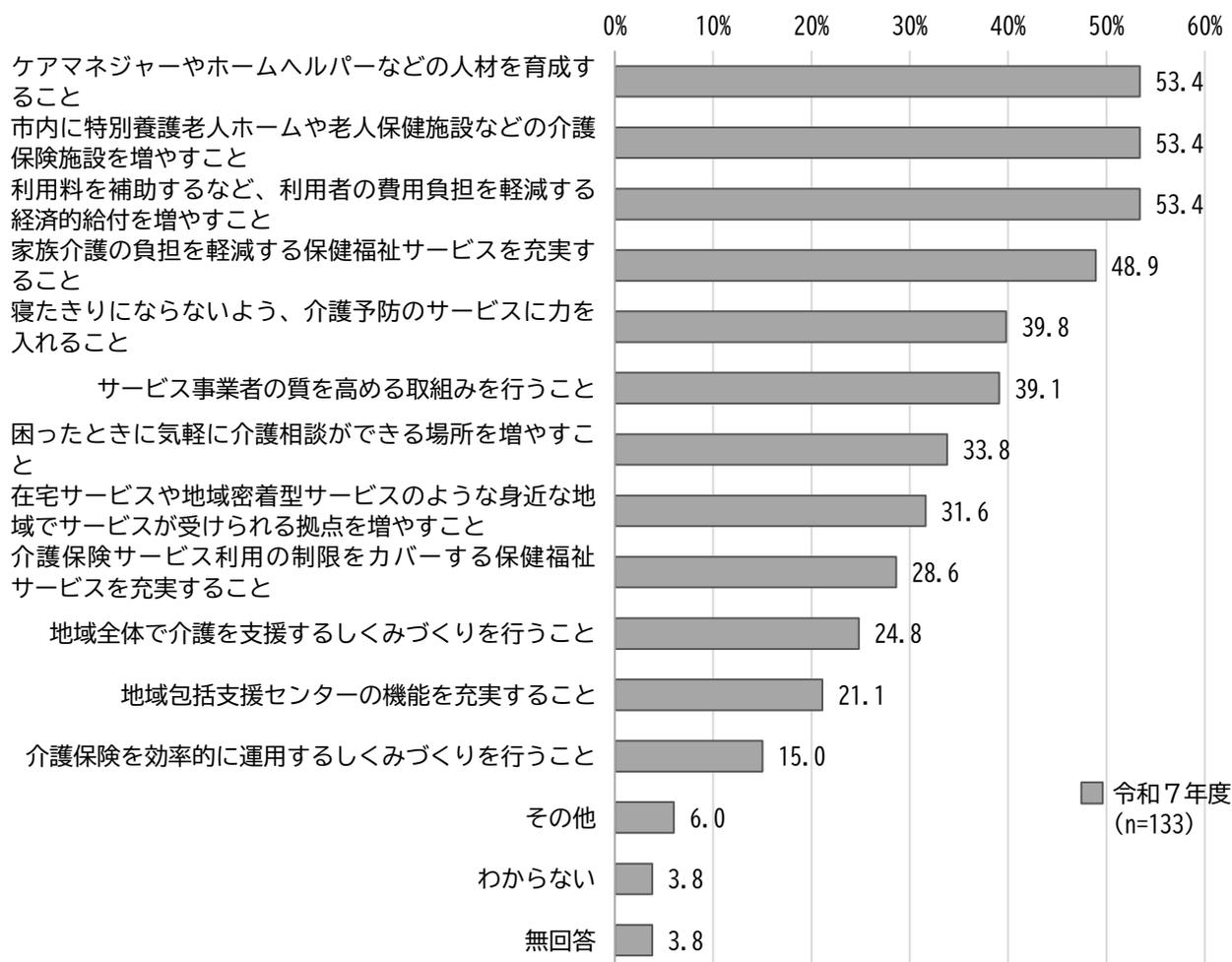
問11 施設利用料(介護サービス費・食費・居住費等)について、どのようにお考えですか。(単数回答)

「これくらいの負担はやむをえない」が36.8%で最も高く、次いで、「概ね妥当な額だと思う」が34.6%、「今の負担では苦しい」が16.5%となっている。



問 12 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(複数回答)

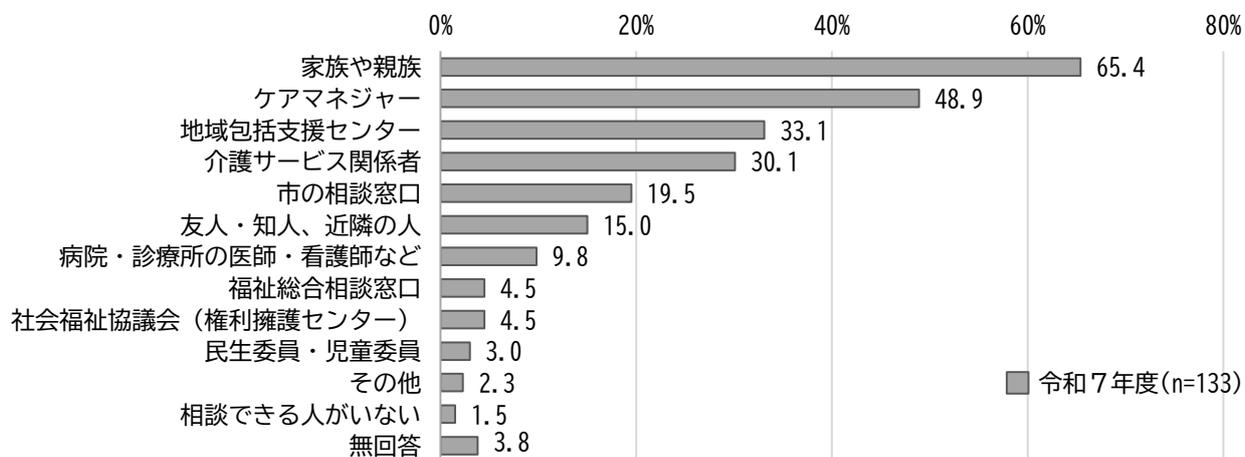
「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと」「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」が 53.4%となっている。



7. 高齢者の権利について

問13 あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（複数回答）

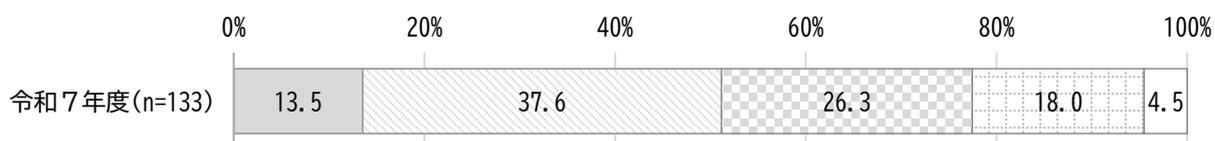
「家族や親族」が 65.4%で最も高く、次いで、「ケアマネジャー」が 48.9%、「地域包括支援センター」が 33.1%となっている。



問14 あなたは成年後見制度をご存じですか。（単数回答）

「内容を少し知っている」が 37.6%で最も高く、次いで、「聞いたことがあるが内容は知らない」が 26.3%、「知らない」が 18.0%となっている。

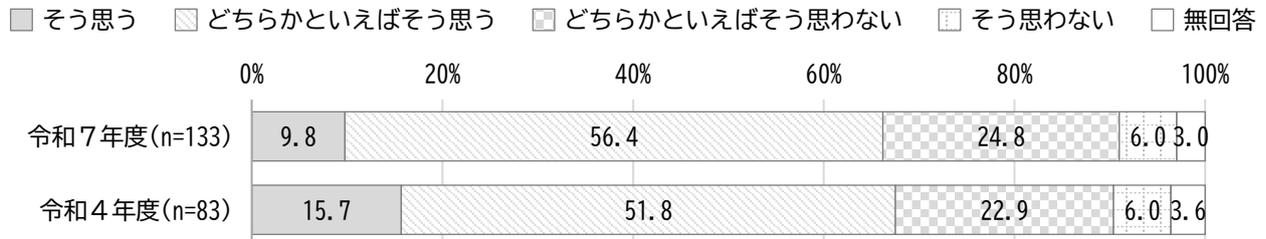
■ 内容までよく知っている ■ 内容を少し知っている ■ 聞いたことがあるが内容は知らない ■ 知らない □ 無回答



8. その他・市への要望について

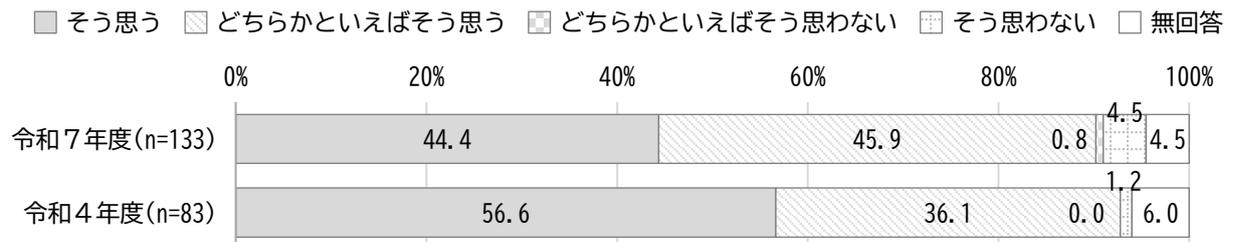
問 15 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(単数回答)

「どちらかといえばそう思う」が56.4%で最も高く、次いで、「どちらかといえばそう思わない」が24.8%、「そう思う」が9.8%となっている。



問 16 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

「どちらかといえばそう思う」が45.9%で最も高く、次いで、「そう思う」が44.4%、「そう思わない」が4.5%となっている。



問17 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

※自由意見について内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

<p>◆介護保険制度・サービス (12件)</p> <p>■ケアマネ事業所の運営・質 (6件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な介護者です。介護サービスには大変満足していますが、今のグループホームの利用料を振り込みか直接手渡ししかできないことが不満。また、連絡事項を口頭で伝えることしかできないので、LINEが活用できればいいのと思います。そういう小さな事で家族は意外と時間を使っています。家族の負担が少しずつ減るといいなと思います。 ・現在のままで、満足しております 母は、施設でのびのびと自由に過しております。抑制されず、面会に行っても穏やかな表情でいると安心し自分自身の生活が安定します。 ・入所できる施設についての情報が少なく、相談できる場所もあまりない。入所後は入所した施設のケアマネジャーが担当ケアマネになるため、とても相談しにくく困っている。客観的にどう判断したらいいかわからない事が多く、不安が大きくなっている。行政をもっと頼ることができたらありがたいです。 ・本人の今後の生活等について相談が有る時は、親身になって対応をお願い致します。 ・介護保険施設の充実と利用料支援の充実を望みます。 ・練馬区に入所していますが住所を移した方がいいのですか。ケアマネは小金井市の方が見て頂けないのでしょうか。入所時介護度2級ですが今は車椅子、おむつ、着替えも1人で出来ないこれでも施設のケアマネは申請をしないのです。どうしたらいいですか。 <p>■施設・設備の充実 (4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、更に高齢者支援制度、補助の充実をお願いします(老人ホームの施設等、補助金等)。 ・経済的な負担の少ない公営または半公営の有料老人ホームを作してほしい。 ・特別養護老人ホーム施設増設、生活保護での入所可能(対応)施設バリアフリー化、他市移住しても、補助金制度 ・特養に入所したくても、胃ろうなど重度は入れる所がなく困ってます。 <p>■介護保険制度・認定 (1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度はおおむねよくできた仕組みだと思います。但し、今後、いつまでこうしたレベルのサービスが続けられるか不安です。一方で、物価高、増税が続き、年金生活者は「社会のお荷物」「長生きは寿ではなく悪」というムードさえ感じています。市の担当者の方々のご努力は理解しておりますが、富裕税、外国人特別税、法人税の引き上げなど、社会原資配分の見直しを国に訴えていただきたいと思っています。 <p>■経済・物品支援 (1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のグループホームは良い。気持ちが良い。サービスもよい。経済的負担が半分ぐらいになってほしい。
<p>◆行政への意見・提案 (8件)</p> <p>■福祉のまちづくりの推進 (3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちのよう意思疎通がきかない家族(ほぼ寝たきり)本人しか受け取りができない書類がある→代理の家族がこれを持ってくれば受け取れると事前に市役所の方と話をしてお互いその認識でいたが、いざ受取となると、本人じゃないと難しいの一点張りだったことがあります(マイナンバー受取)。代理でもスムーズな手続きができるような世の中になって欲しいです。そのためのマイナンバーカードではないのでしょうか？ ・区画整理で散々苦労させられた親でした。区画整理はまだ続いていて駅前はまだ中途半端な状態です。いったい小金井市は駅前をどの様にしたいのか分かりません。 ・ゴミ袋をきちんと縛っていないと「持っていきません」みたいな紙をはられて持っていけないことがあった。高齢者の中には、指が痛くて結ぶことが困難なことがあります。ゴミ袋を使いやすくしてほしい。2ヶ所も結ぶ必要はないと思う。テープで止めてもいいのでは？(小さい部分)車イスが通れないような歩道もたくさんある。整備してほしい。 <p>■相談窓口の周知・充実 (2件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話での相談窓口があるのでしょうか。 ・認知症ではありますが、まだまだウイットに富んだコメントをしたり、シニカルなことを言ったりもします。問15などはナンセンスではないかと申しております。「誰もがいきいきと～」というのはありえない、と。数的指標のほうがいいのではという意のことを述べました。

■行政体制・支援強化（2件）

- ・施設への入所手続きや施設毎の情報
- ・税金のむだ使い分を高齢者に使って下さい。市長の若い頃のおもい（東小金井駅でいていた事）もくげき者はいますからね。

■相続・寄与料評価支援（1件）

- ・在宅中の親の介護を子や孫が行っているケースが我が家です。前述しましたが、相続発生時に子の寄与料、孫の特別寄与料を最終的に決めるのは家裁の場です。介護する側への支援策として、寄与料や特別寄与料を客観的に評価してくれるサービスが小金井市にあれば家族内トラブルも減少し、より住みやすい小金井市になると思います。全国初をお願いします。

◆生活課題・困りごと（5件）

■経済的な不安（2件）

- ・何と言いましても小金井の介護施設が足りなくて府中の施設に入れてもらっています。月20万円ですが主人の年金が月20万円で総て持って行かれたので生活費が足りず娘に助けてもらっています。もう少し安い施設があったらと思います。遠くの方に探さねば・・・と考えています。
- ・経済的に厳しい状況。行きづまったら自宅で介護の覚悟です。

■身元保証・独居・孤立（1件）

- ・昨年12月末に骨折するまで、親族が遠方の為1人で生活をしておりました。ヘルパーさん、デイサービスの助けを頂き、父が穏やかに生活できた事は、幸せだったのではと思っています。要望としては、一人暮らしの高齢者が安心して生活できる環境作りができると良いと思います。入所する事は最終手段であると思っています。

■介護者の負担・求められる支援（1件）

- ・介護予防ではなく、介護をしている家族支援の充実をお願いします。支援を受ける手順は、とても複雑なので、高齢者本人だけでももちろんたいへんですが、家族がいてもたいへんです。このようなところを、利用者がわかりやすいものにしていただきたいです。

■認知症への対応・支援（1件）

- ・認知症の診断、治療が出来る病院が少ない。診察までの時間がかかりすぎる。

◆その他（3件）

■その他（3件）

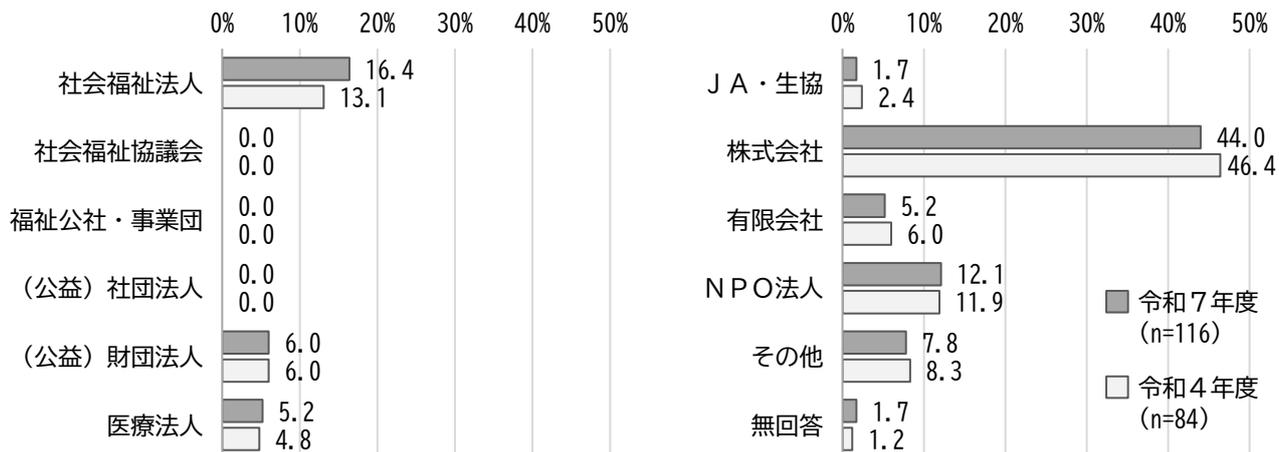
- ・いろいろやって頂いています。引続き対応をお願いします。
- ・小金井市の福祉は迅速に対応してくれて感謝しかありません。
- ・ご担当者様 高齢者支援施策ガンバって下さい。

第5章 介護保険サービス提供事業者調査

1. 事業所について

問1 組織形態について教えてください。(単数回答)

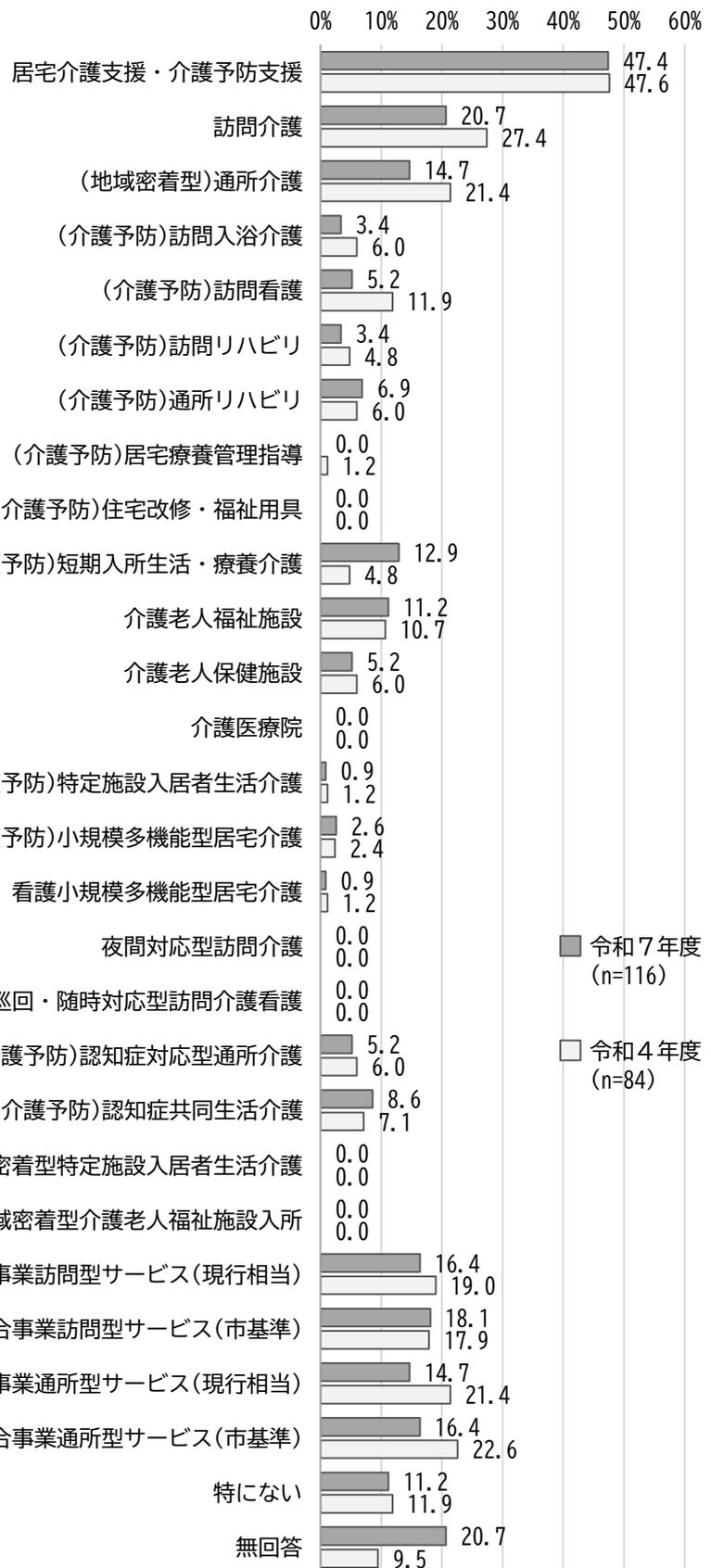
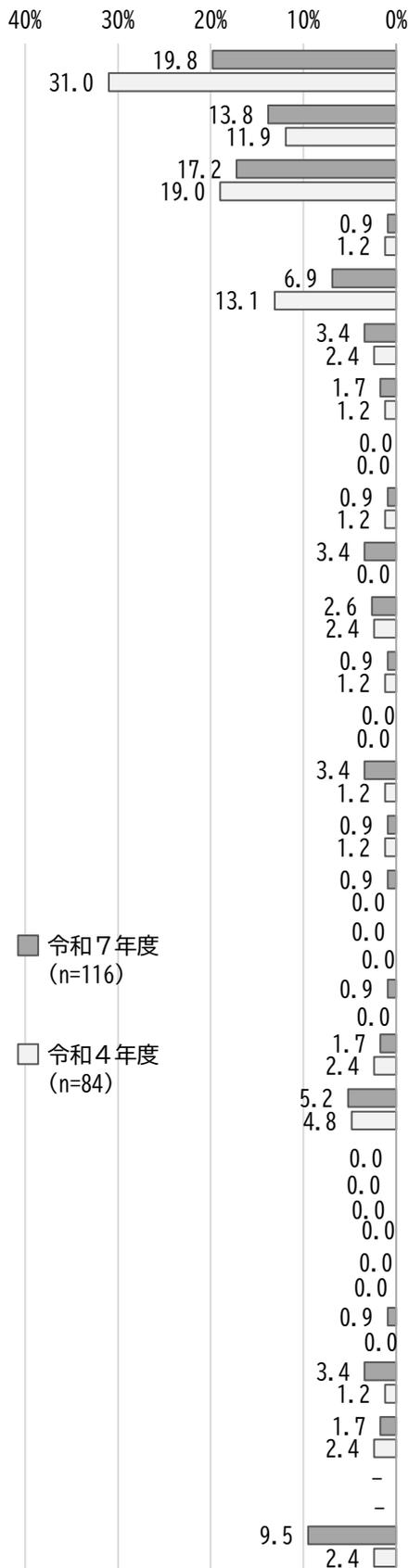
「株式会社」が44.0%で最も高く、次いで、「社会福祉法人」が16.4%、「NPO法人」が12.1%となっている。



問2 活動状況について教えてください。

①貴事業所の種類(単数回答)

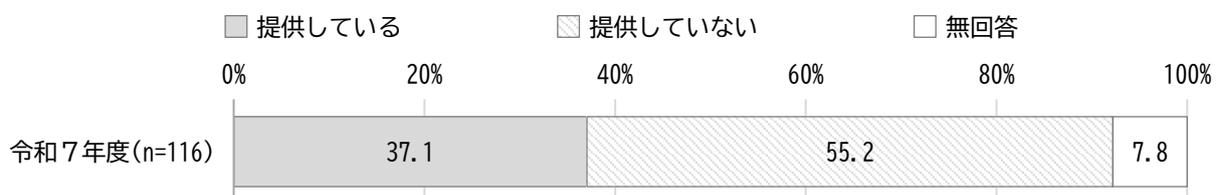
②併設する事業所の種類(複数回答)



2. 介護保険外サービスについて

問3 貴事業所では、介護保険以外のサービスを提供していますか。(単数回答)

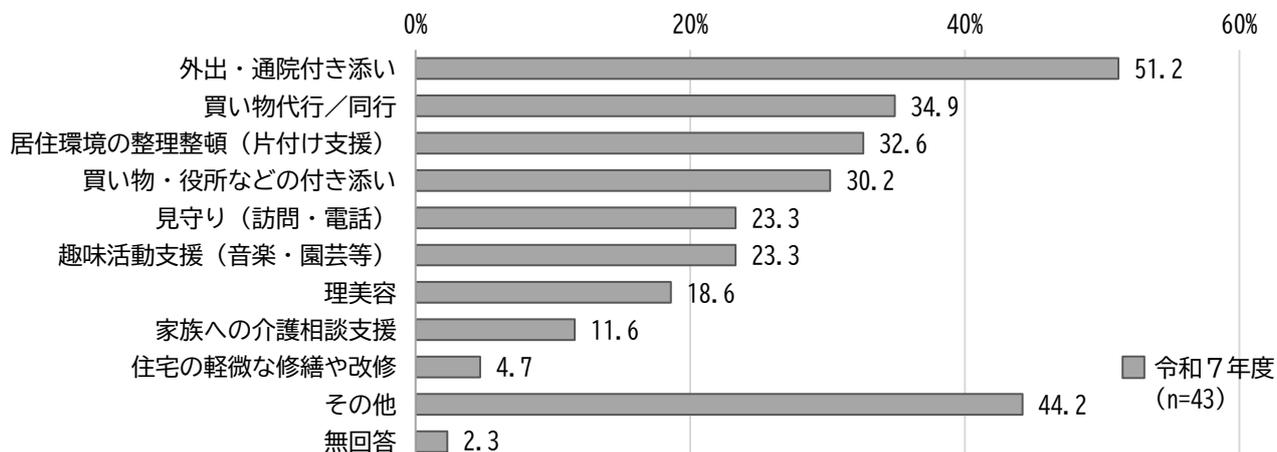
「提供していない」が55.2%で最も高く、次いで、「提供している」が37.1%となっている。



【問3で「提供している」と回答した事業所】

問3-1 具体的なサービス内容を記入してください。(複数回答)

「外出・通院付き添い」が51.2%で最も高く、次いで、「その他」が44.2%、「買い物代行／同行」が34.9%となっている。



問4 今後は介護保険外サービスの実施、またはその事業について拡充の予定がありますか。(単数回答)

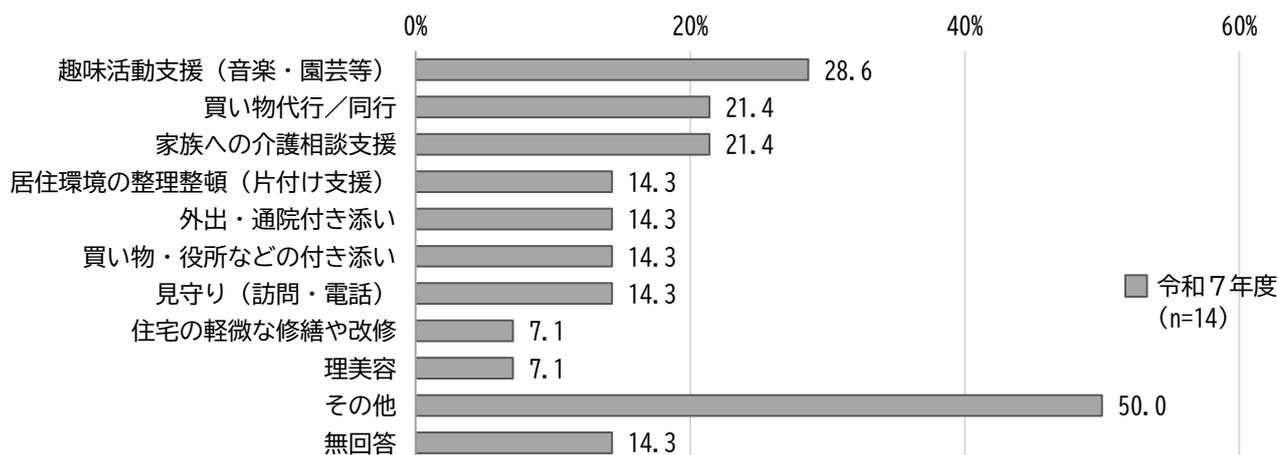
「ない」が56.0%で最も高く、次いで、「まだわからない」が25.0%、「検討中」が7.8%となっている。



【問4で「予定がある」「検討中」と回答した事業所】

問4-1 具体的なサービス内容を記入してください。(複数回答)

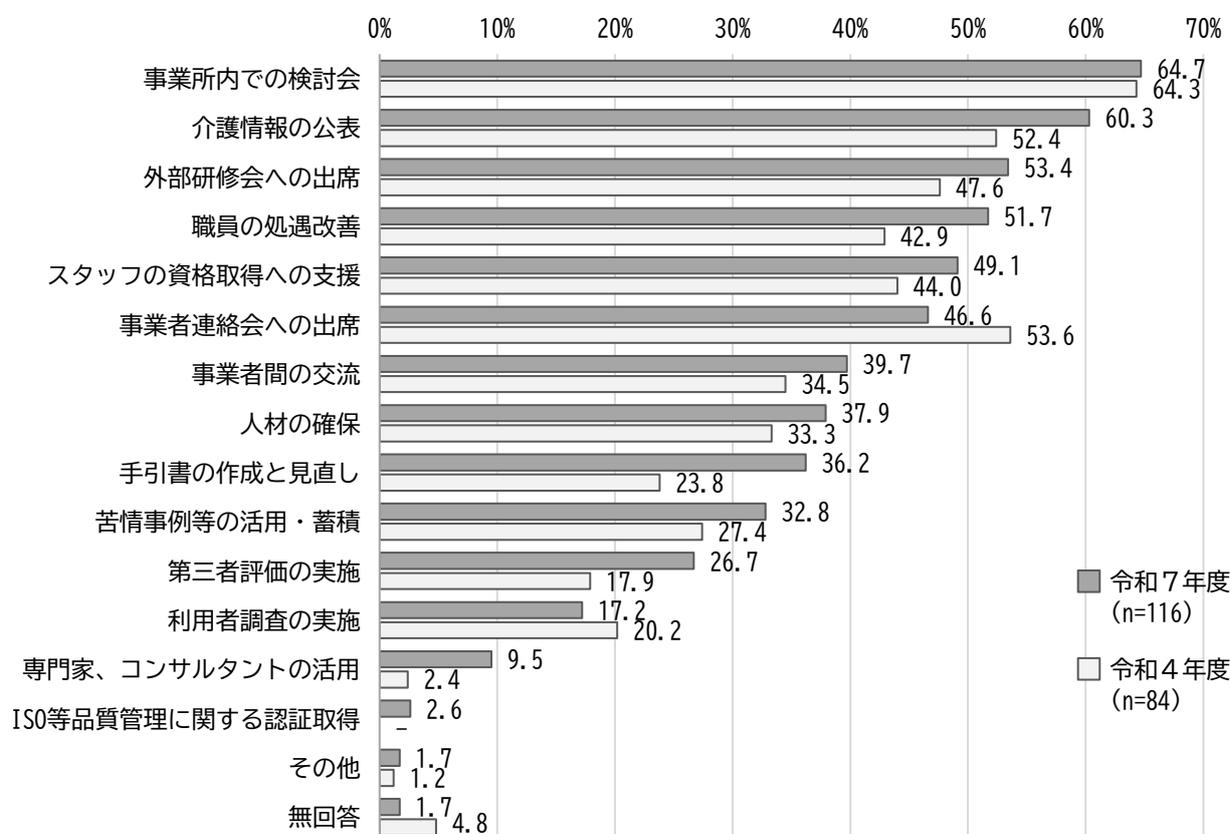
「その他」が50.0%で最も高く、次いで、「趣味活動支援（音楽・園芸等）」が28.6%、「買い物代行／同行」「家族への介護相談支援」が21.4%となっている。



3. サービス向上に向けた取組について

問5 現在、貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。(複数回答)

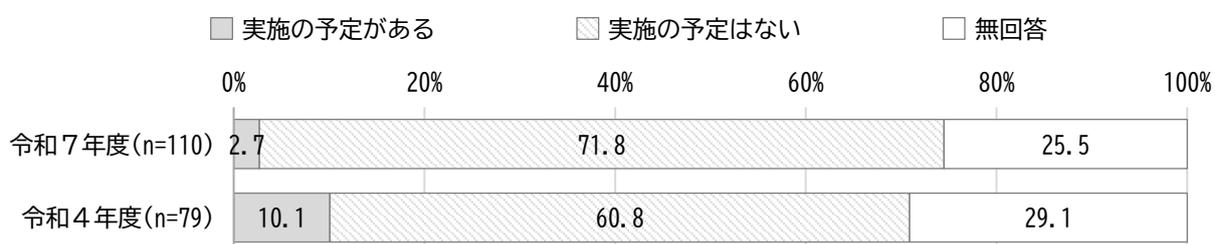
「事業所内での検討会」が64.7%で最も高く、次いで、「介護情報の公表」が60.3%、「外部研修会への出席」が53.4%となっている。



【問5で「第三者評価の実施」を選択しなかった事業所】

問5-1 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(単数回答)

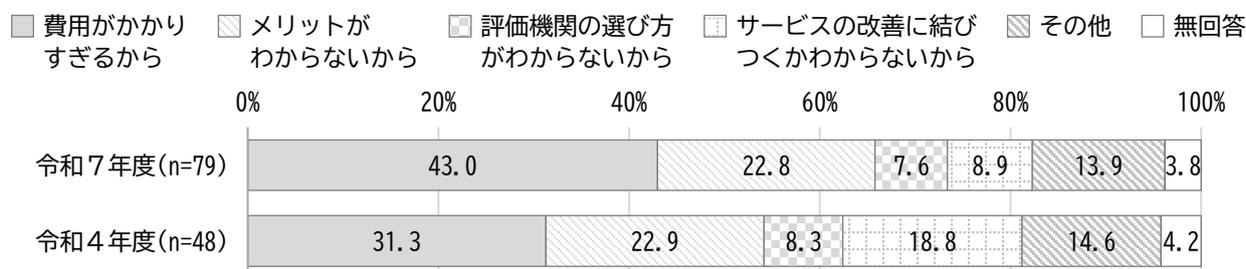
「実施の予定はない」が71.8%で最も高く、次いで、「実施の予定がある」が2.7%となっている。



【問 5-1 で「実施の予定はない」と回答した事業所】

問 5-2 その主な理由は次のうちどれですか。(単数回答)

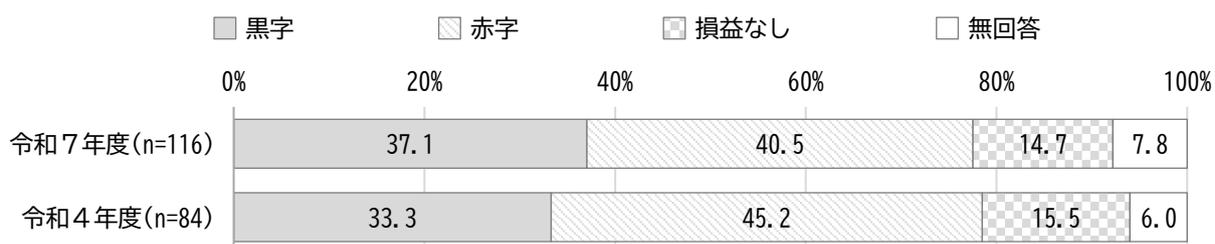
「費用がかかりすぎるから」が 43.0%で最も高く、次いで、「メリットがわからないから」が 22.8%、「その他」が 13.9%となっている。



4. 事業運営について

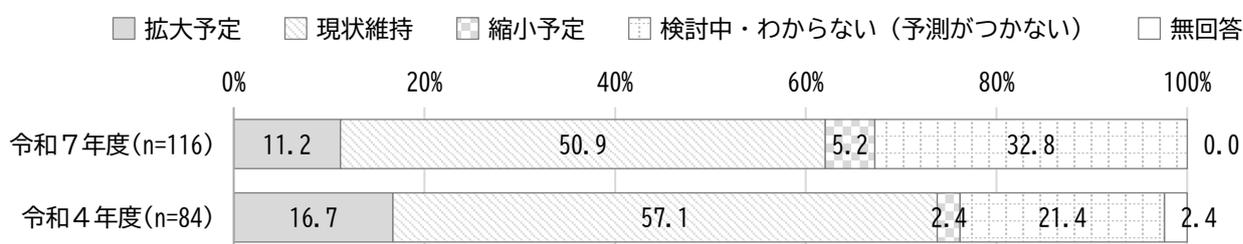
問 6 直前の決算年度の事業の採算はいかがでしたか。差し支えなければお答えください。(単数回答)

「赤字」が 40.5%で最も高く、次いで、「黒字」が 37.1%、「損益なし」が 14.7%となっている。



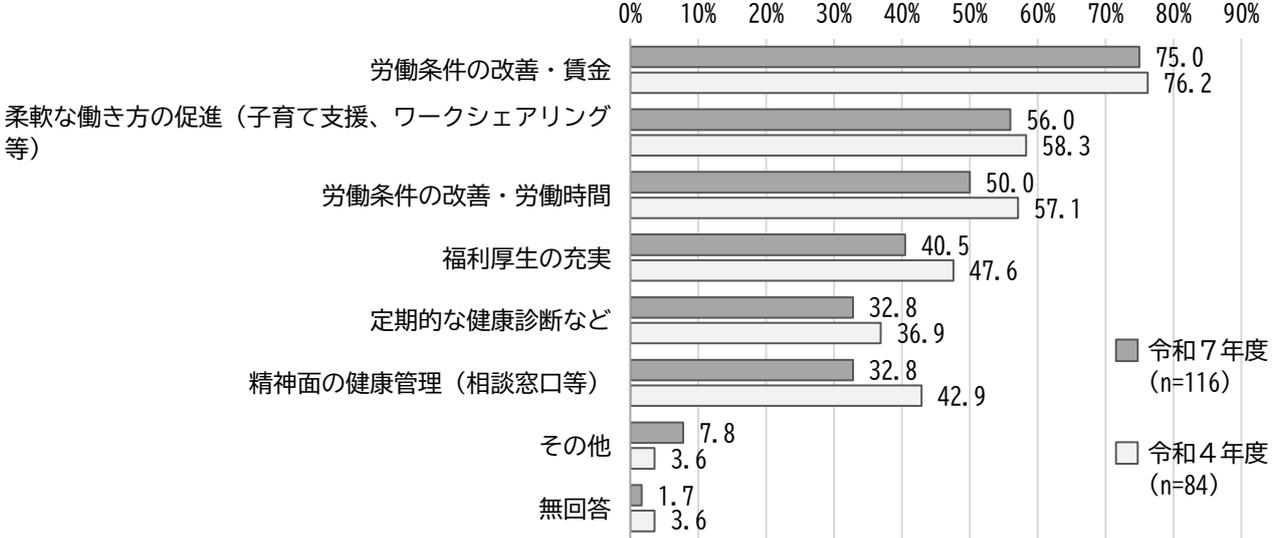
問 7 貴事業所では、今後3年のうちに介護保険サービスの事業規模についてどのように考えますか。(単数回答)

「現状維持」が 50.9%で最も高く、次いで、「検討中・わからない(予測がつかない)」が 32.8%、「拡大予定」が 11.2%となっている。



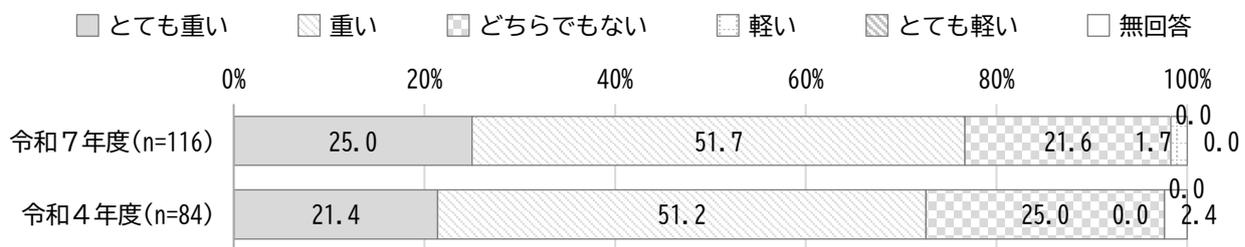
問8 労働環境整備のためにどのような取組みが必要だと思いますか。(複数回答)

「労働条件の改善・賃金」が75.0%で最も高く、次いで、「柔軟な働き方の促進（子育て支援、ワークシェアリング等）」が56.0%、「労働条件の改善・労働時間」が50.0%となっている。



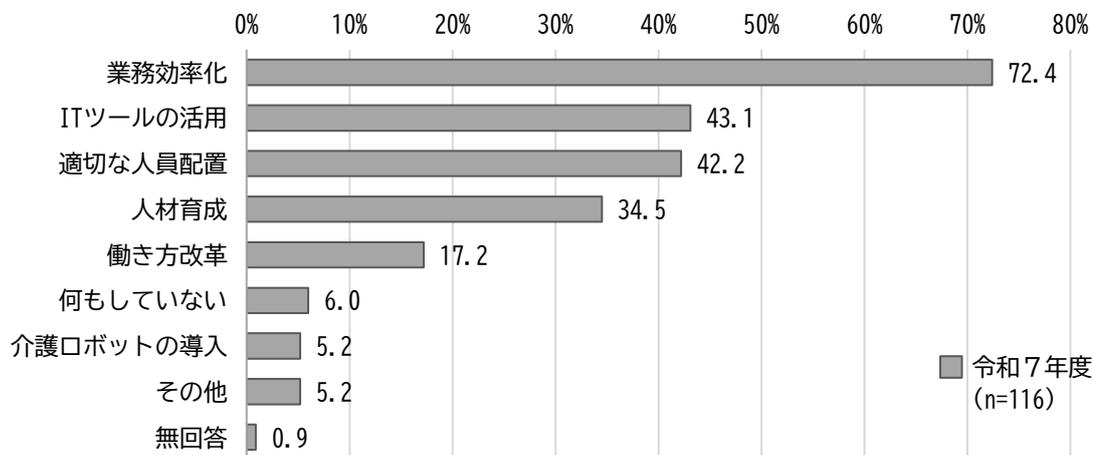
問9 事務作業の負担感はどの程度ですか。(単数回答)

「重い」が51.7%で最も高く、次いで、「とても重い」が25.0%、「どちらでもない」が21.6%となっている。



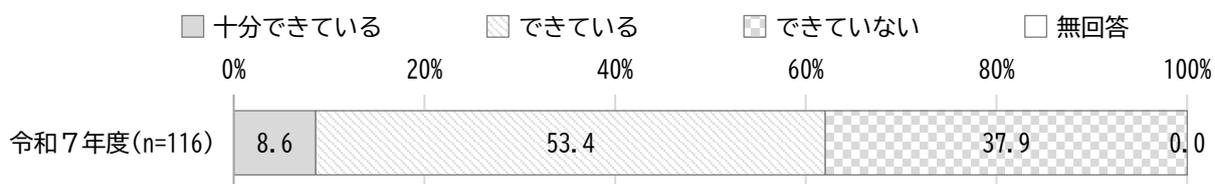
問 10 生産性向上（労働時間短縮）のためにどのようなことに取り組まれていますか。（複数回答）

「業務効率化」が72.4%で最も高く、次いで、「ITツールの活用」が43.1%、「適切な人員配置」が42.2%となっている。



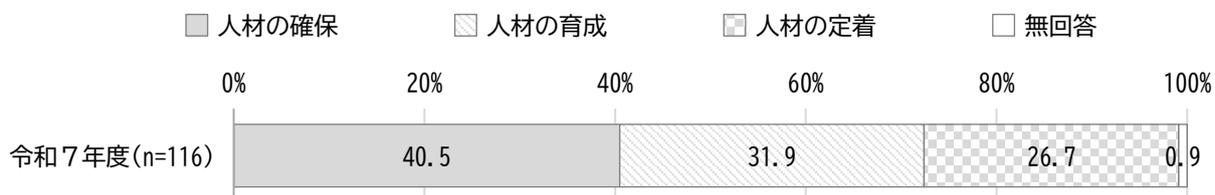
問 11 運営上に必要な人材の確保ができていますか。（単数回答）

「できている」が53.4%で最も高く、次いで、「できていない」が37.9%、「十分できている」が8.6%となっている。



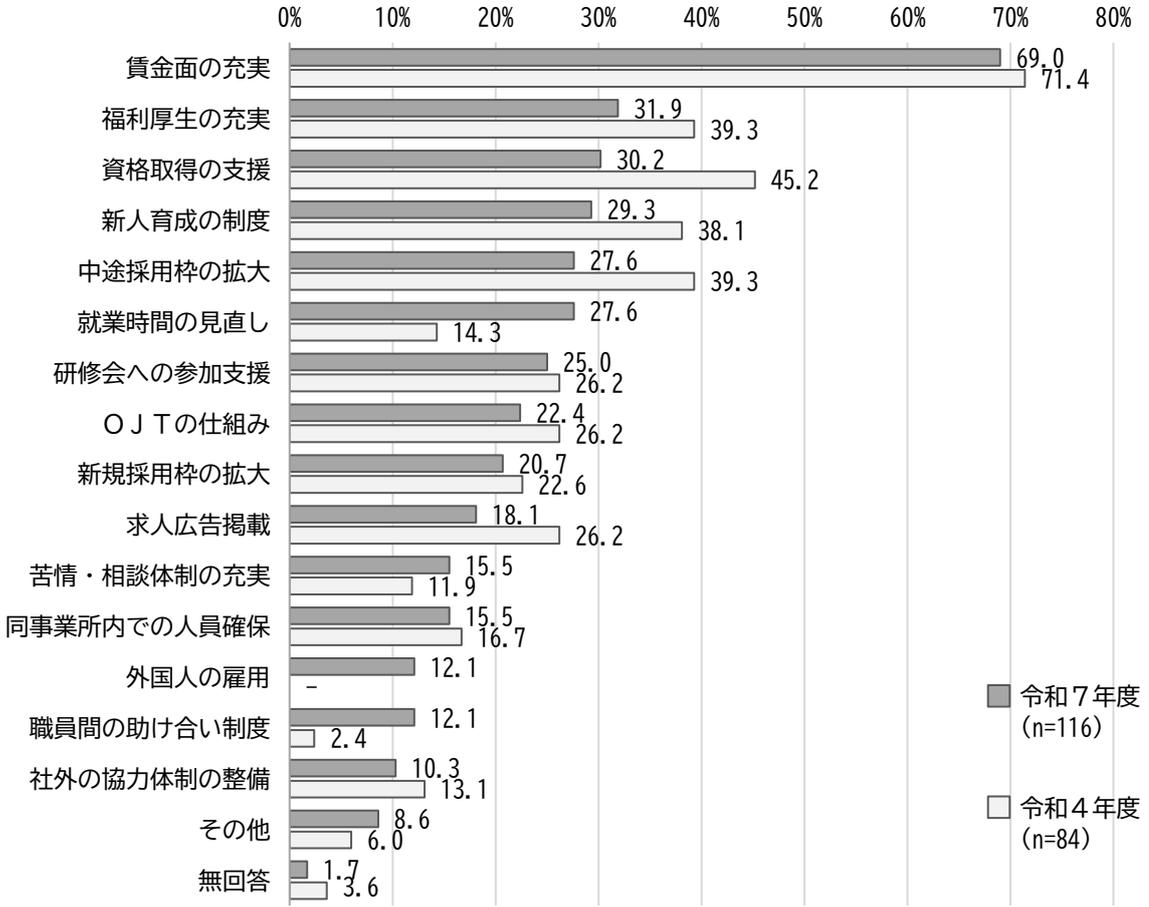
問 12 人材対策で力を入れる必要があるものは何かありますか。（単数回答）

「人材の確保」が40.5%で最も高く、次いで、「人材の育成」が31.9%、「人材の定着」が26.7%となっている。



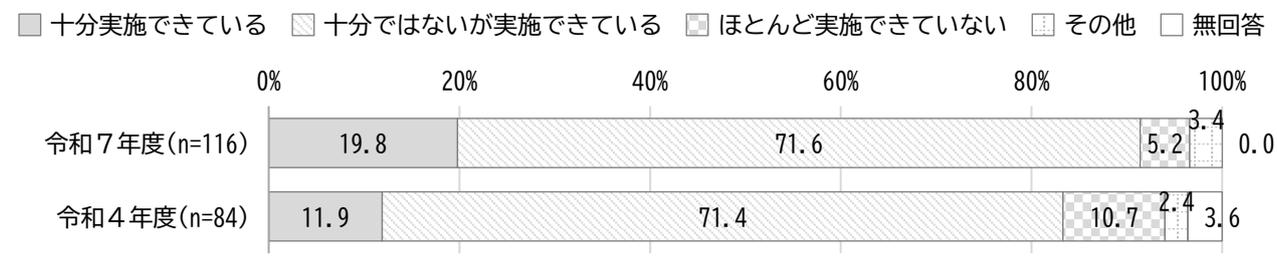
問 13 人材確保のため今後どのような取組みが必要だと思いますか。(複数回答)

「賃金面の充実」が69.0%で最も高く、次いで、「福利厚生への充実」が31.9%、「資格取得の支援」が30.2%となっている。



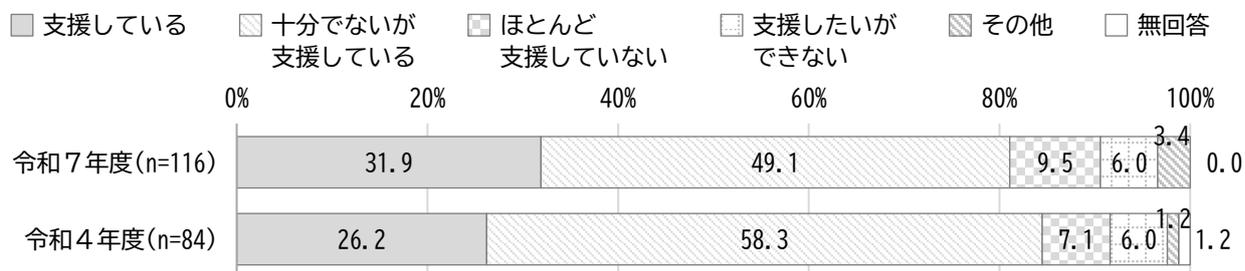
問 14 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(単数回答)

「十分ではないが実施できている」が71.6%で最も高く、次いで、「十分実施できている」が19.8%、「ほとんど実施できていない」が5.2%となっている。



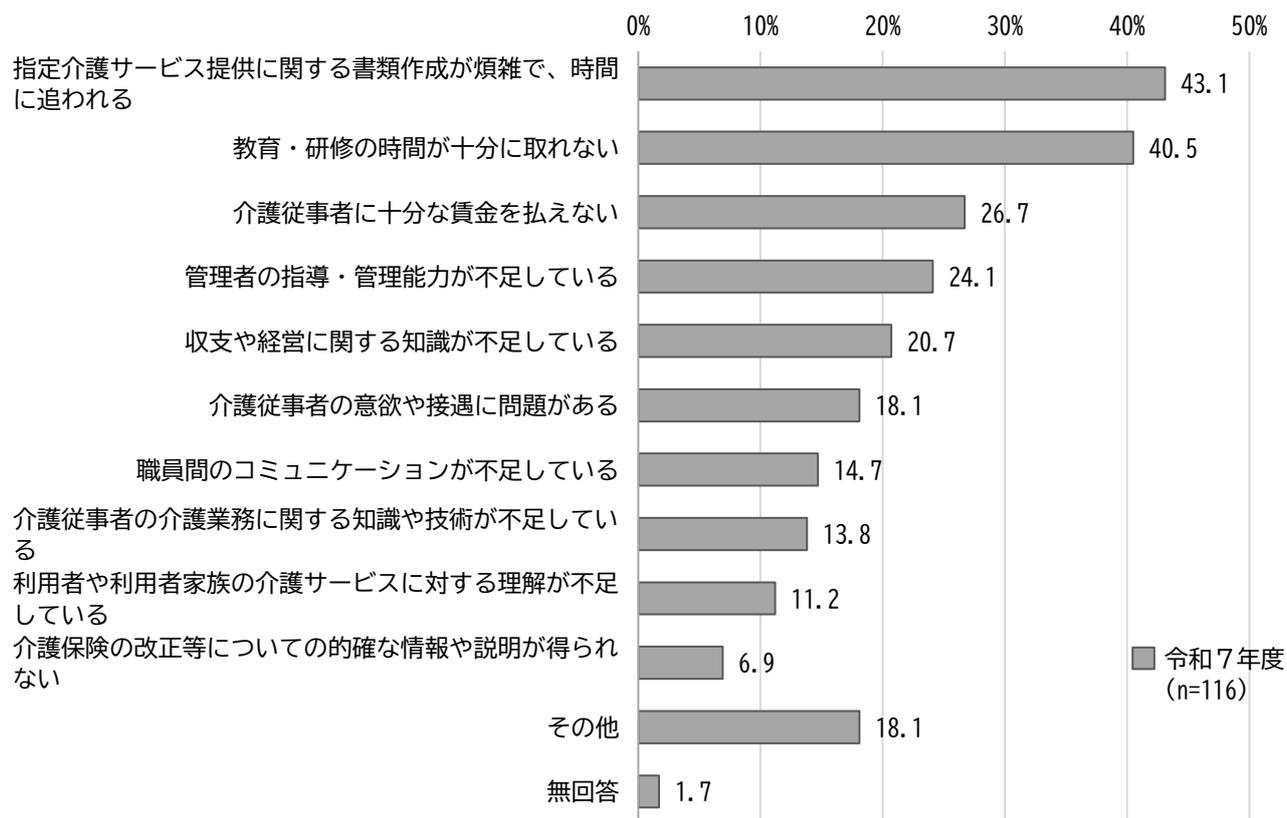
問 15 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(単数回答)

「十分でないが支援している」が49.1%で最も高く、次いで、「支援している」が31.9%、「ほとんど支援していない」が9.5%となっている。



問 16 貴事業所の運営上の課題は何ですか。(複数回答)

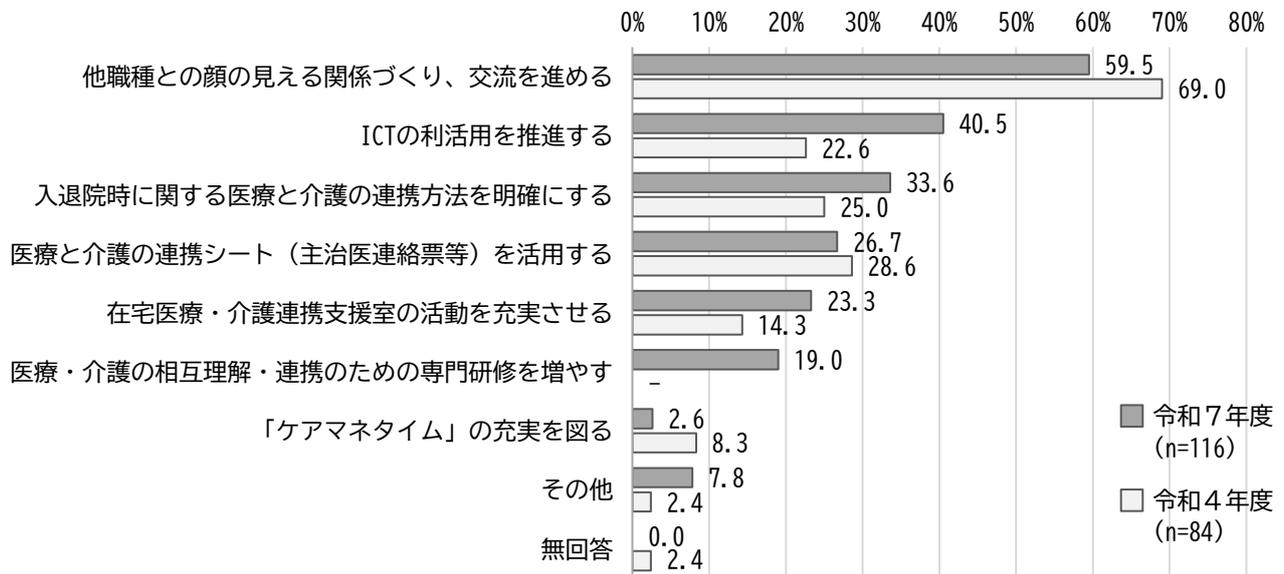
「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる」が43.1%で最も高く、次いで、「教育・研修の時間が十分に取れない」が40.5%、「介護従事者に十分な賃金を払えない」が26.7%となっている。



5. 医療と介護の連携について

問 17 在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくりのために、どのようなことが必要だとお考えですか。(複数回答)

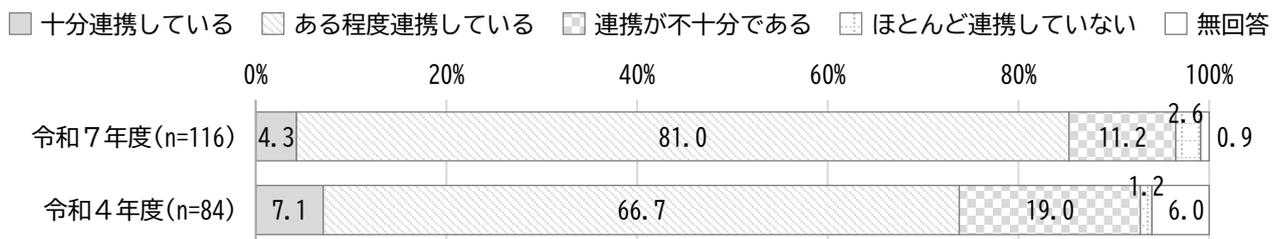
「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」が59.5%で最も高く、次いで、「ICTの利活用を推進する」が40.5%、「入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする」が33.6%となっている。



※令和4年度は2つまで選択であった。

問 18 小金井市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(単数回答)

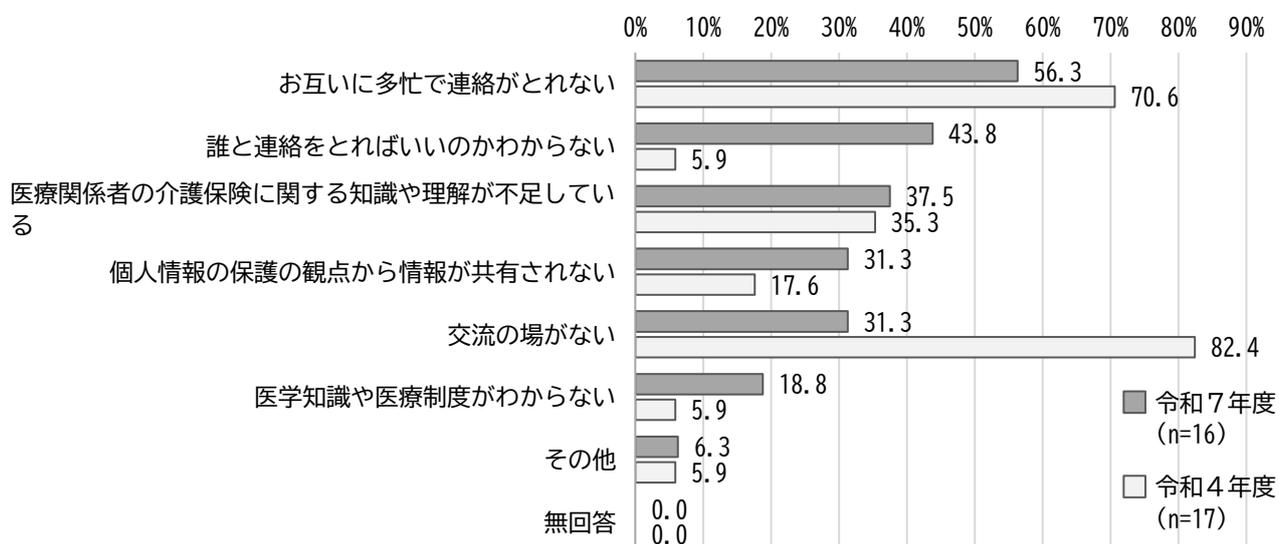
「ある程度連携している」が81.0%で最も高く、次いで、「連携が不十分である」が11.2%、「十分連携している」が4.3%となっている。



【問 18 で「連携が不十分である」「ほとんど連携していない」と回答した事業所】

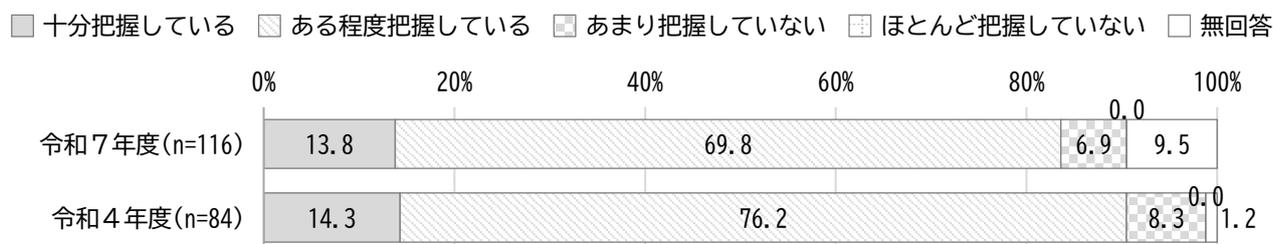
問 18-1 そのように考える理由は何ですか。(複数回答)

「お互いに多忙で連絡がとれない」が 56.3%で最も高く、次いで、「誰と連絡をとればいいのかかわからない」が 43.8%、「医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している」が 37.5%となっている。



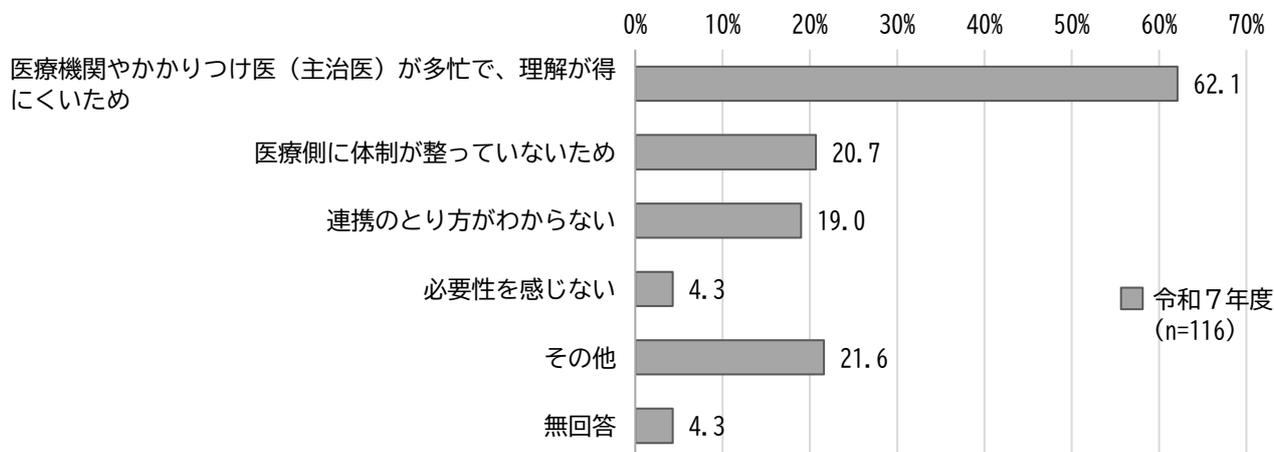
問 19 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。(単数回答)

「ある程度把握している」が 69.8%で最も高く、次いで、「十分把握している」が 13.8%、「あまり把握していない」が 6.9%となっている。



問 20 一般に医療機関やかかりつけ医（主治医）などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。（複数回答）

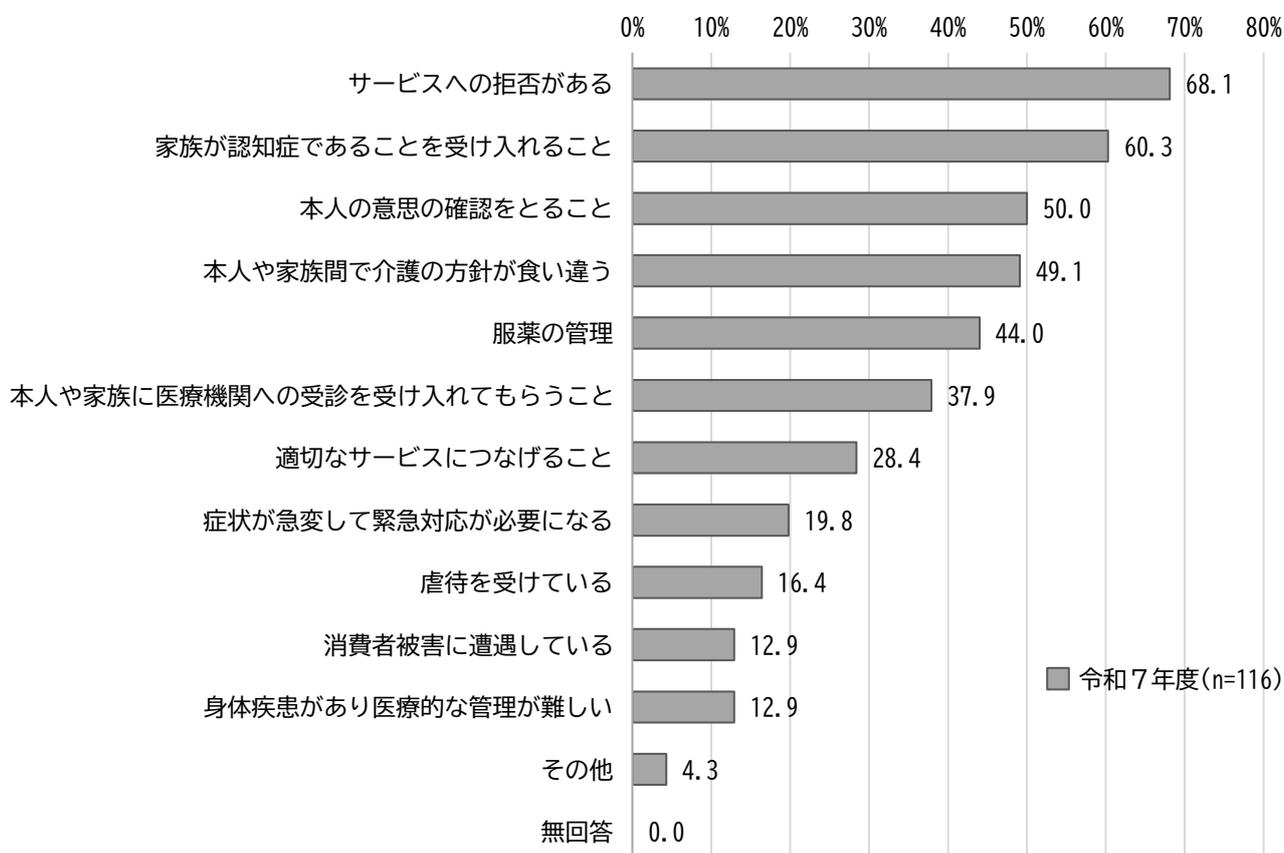
「医療機関やかかりつけ医（主治医）が多忙で、理解が得にくいいため」が62.1%で最も高く、次いで、「その他」が21.6%、「医療側に体制が整っていないため」が20.7%となっている。



6. 認知症の介護支援について

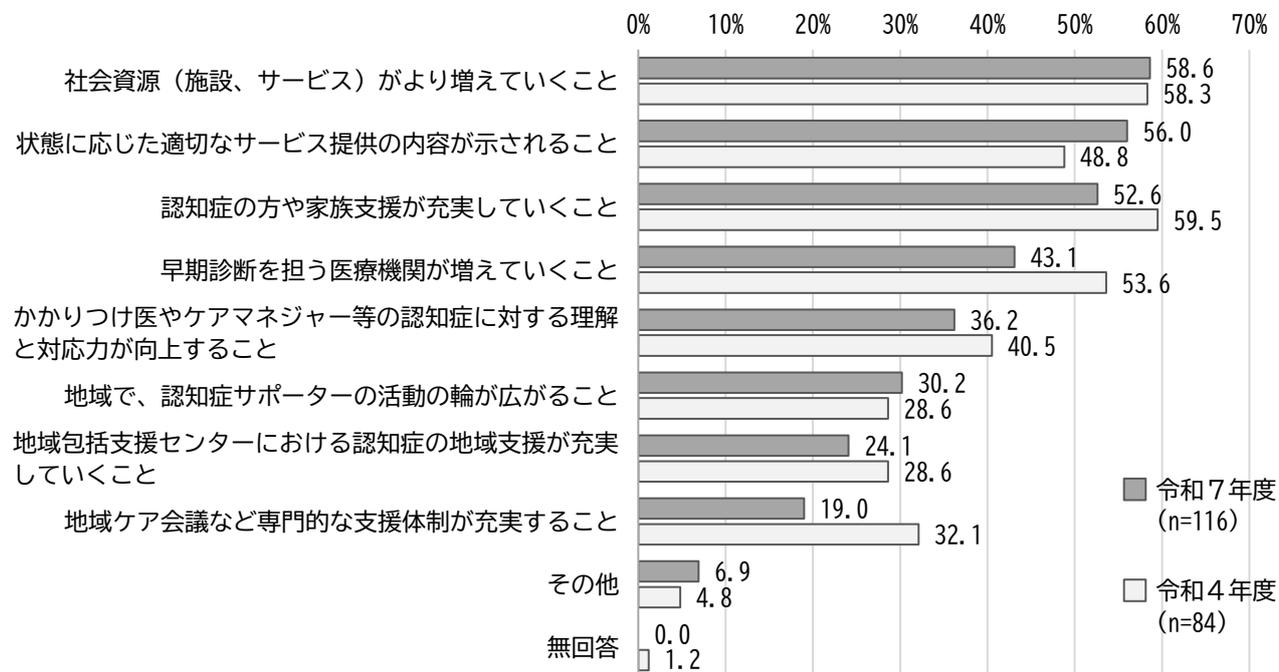
問 21 認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。（複数回答）

「サービスへの拒否がある」が68.1%で最も高く、次いで、「家族が認知症であることを受け入れること」が60.3%、「本人の意思の確認をとること」が50.0%となっている。



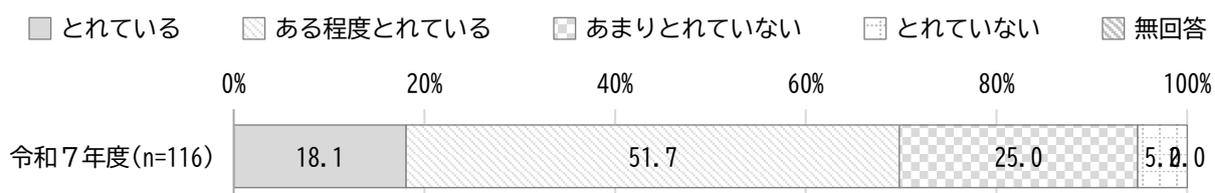
問 22 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。(複数回答)

「社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」が 58.6%で最も高く、次いで、「状態に応じた適切なサービス提供の内容が示されること」が 56.0%、「認知症の方や家族支援が充実していくこと」が 52.6%となっている。



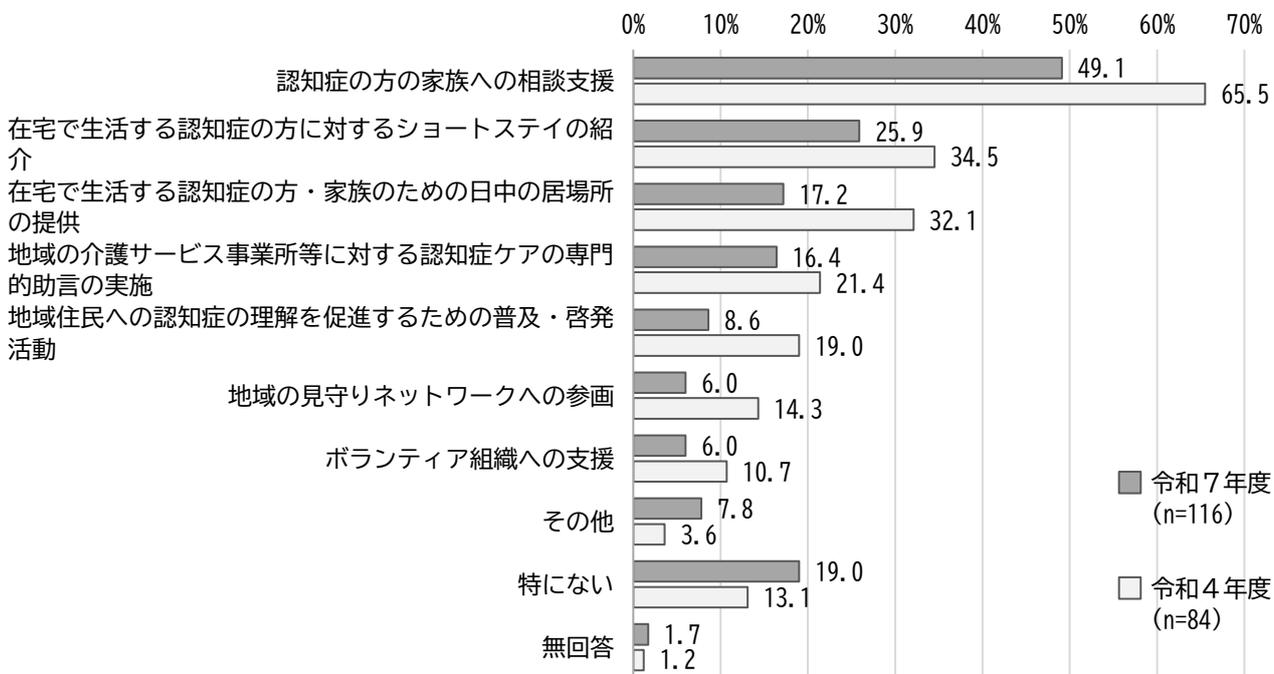
問 23 貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(単数回答)

「ある程度とれている」が 51.7%で最も高く、次いで、「あまりとれていない」が 25.0%、「とれている」が 18.1%となっている。



問 24 貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。(複数回答)

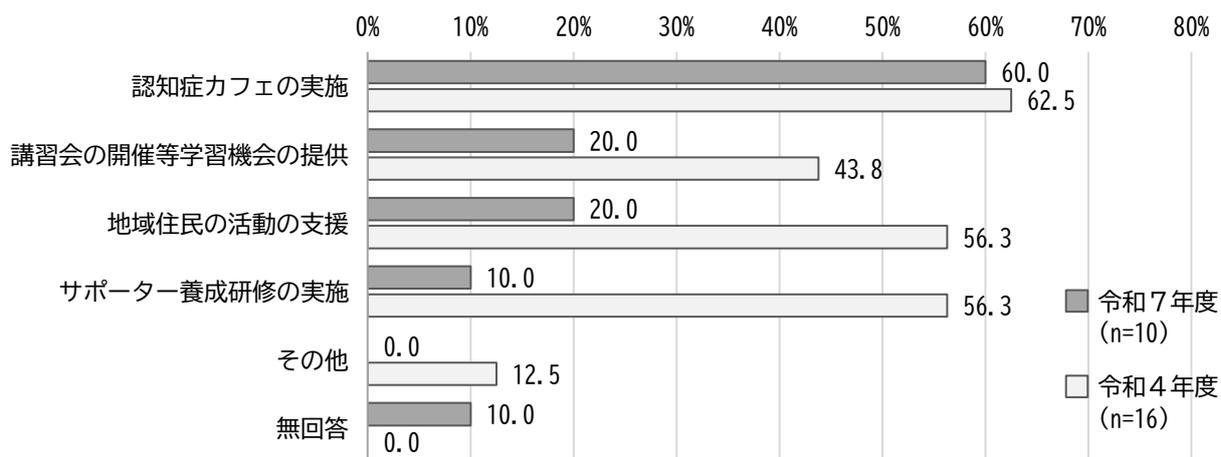
「認知症の方の家族への相談支援」が49.1%で最も高く、次いで、「在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介」が25.9%、「特にない」が19.0%となっている。



【問 24 で「地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動」と回答した事業所】

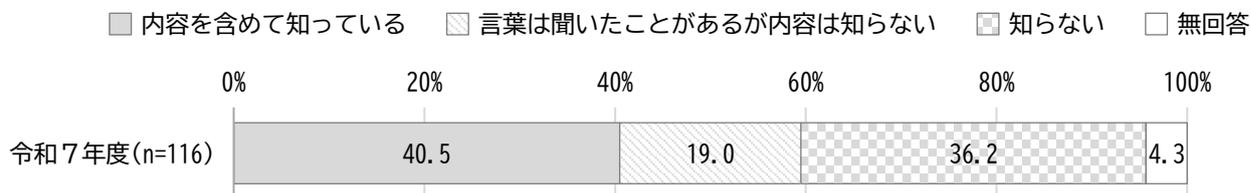
問 24-1 具体的にどのような活動を行っていますか。(複数回答)

「認知症カフェの実施」が60.0%で最も高く、次いで、「講習会の開催等学習機会の提供」が20.0%、「地域住民の活動の支援」が20.0%となっている。



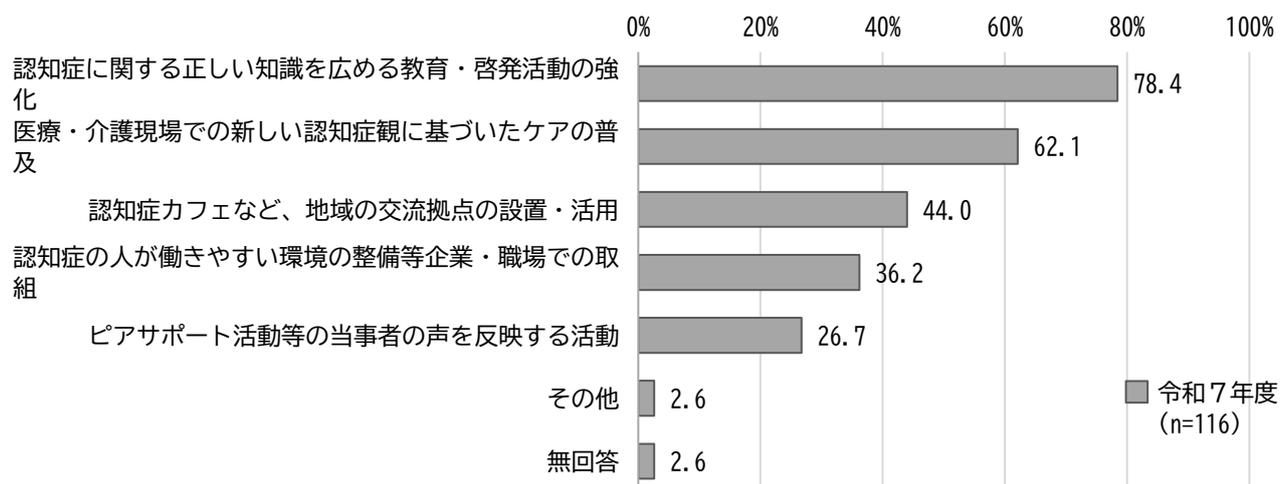
問 25 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(単数回答)

「内容を含めて知っている」が40.5%で最も高く、次いで、「知らない」が36.2%、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が19.0%となっている。



問 26 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)

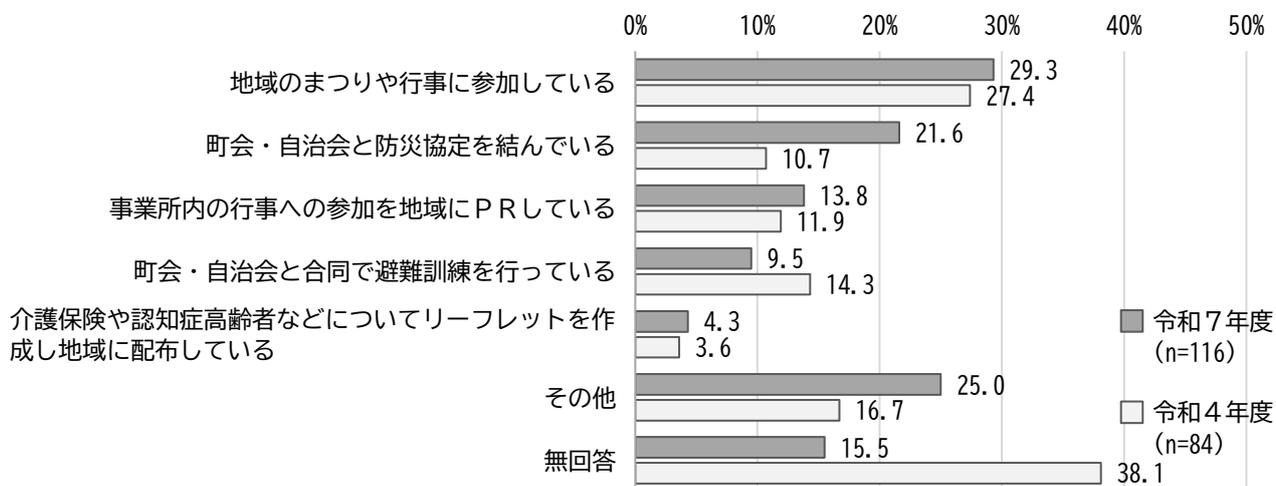
「認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化」が78.4%で最も高く、次いで、「医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及」が62.1%、「認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用」が44.0%となっている。



7. 災害時の対応について

問 27 貴事業所では災害時に備えてどの程度、地域と連携していますか。(複数回答)

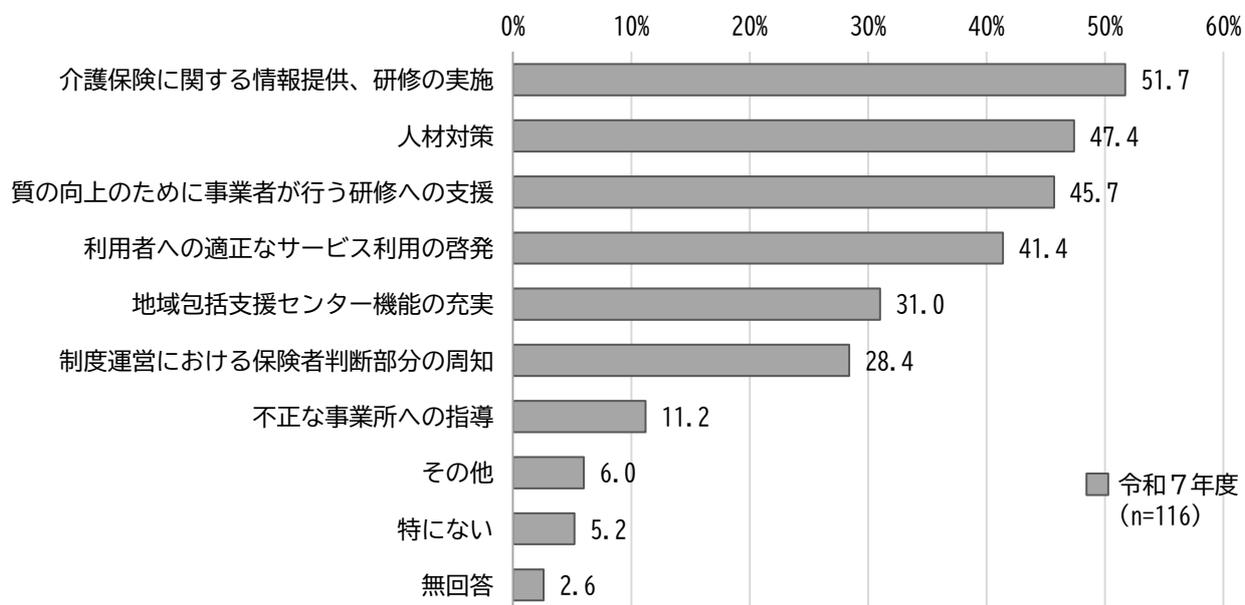
「地域のまつりや行事に参加している」が29.3%で最も高く、次いで、「その他」が25.0%、「町会・自治会と防災協定を結んでいる」が21.6%となっている。



8. その他・市への要望について

問 28 今後、保険者としての小金井市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(複数回答)

「介護保険に関する情報提供、研修の実施」が51.7%で最も高く、次いで、「人材対策」が47.4%、「質の向上のために事業者が行う研修への支援」が45.7%となっている。



問 29 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

※自由回答について内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

◆介護保険制度・サービス (14 件)

■訪問介護事業の運営・質 (6 件)

- ・訪問介護事業を潰したいようにしか見えないやり方に憤りを感じています。
- ・訪問介護事業において、介護保険内・外で実施出来る範囲が分からず、判断に困る事が多い。以前は介護保険で行えなかった内容が行えるようになっていたりするので、市として訪問介護事業所向けに過去の事例も用いた上での保険適用内サービスの一覧を示して頂き、一体的な支援が市内事業所で提供出来る様にして欲しい。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。以前も何かに記入したことがありますが、介護事業所で事故が起きた際、具体的な内容を普及してほしいです。他の事業所の事故から自事業所での事故回避につながるヒントをもらえることがきつとあると思っています。
- ・昨年度訪問介護の単位数が引き下げられ、閉鎖する事業所が出ています。また、そもそも総合事業の単位数が低いために、株式会社の大手の訪問介護事業所は、収支が見合わず、受入れ控えをしている傾向にあります。社会福祉法人は地域貢献の一環として、困窮している方を受入れる一方で、人件費が年々上昇し、経営が逼迫している状況です。安定的なサービス提供が継続できる報酬設定にしていきたいと思えます。
- ・ヘルパー報酬が低すぎる。総合事業の報酬アップ
- ・訪問介護事務所への支援をお願いします。ヘルパーが不足していると感じます。訪問看護事務所ばかりが増えていくように感じますが訪問介護事務所が減ってきているのでは？市民向けのヘルパー養成講座や研修費補助、就職支援などで改善できるのかどうかわかりませんが・・・。

■ケアマネ事業所の運営・質 (4 件)

- ・介護保険の利用している人は、ケアマネと通じて小金井市などの施策などお伝えする機会があるが、そうではない人たちが情報探す手立てが少ないように感じる。
- ・良いケアをおこなっていても、選ばれなければ淘汰される時代であり、認知症対応型通所介護施設にとっては非常に苦しい運営状況である。また、認知症対応型は利用単価も高く、利用できる方や家族も含めて限られているのも、利用が促進されない理由の一つであると感じる。コロナ禍以降、在宅で生活できるレベルのご利用者は入所が進んでいると感じており、軽度認知症（一般デイレベル）か重度（介護量が非常に多い）認知症の二極化されてしまっている。
- ・小金井市で自身で事業を展開して 10 数年。前に事業所を持っていた所には医療機関やリハビリ専門の医療機関まであった。当市にはほぼない。これによってケアマネはほぼ全て地域包括支援センターからの依頼によりケースが振り分けられている。自然にケアマネも利用者も何処か地域包括支援センターの言いなりになっている様子が伺える。認定調査を受託している中で、ミスマッチと思えるケースが散見されている。何と基準として地域包括支援センターはケアマネを紹介しているのか…？疑問に思う事がある。保険者として地域包括支援センターをどの様な位置づけで考えているのか？地域包括支援センターは公明正大にその方々に合うケアマネを紹介しようとしているのか？利用者保護の観点から地域包括支援センターへの指導を願いたい。
- ・給付係の方にはいつも優しく丁寧に利用者やケアマネに寄り添った対応して頂き大変感謝しております。細かいことですが、負担割合証や更新申請書など介護保険関係や高齢福祉サービスの利用継続手続きなど早めにメールでお知らせ頂けると助かります。担当者が変わるといつもうまく行かなくなるので引き継ぎをお願い致します。コロナ以前には、毎年、介護福祉課、自立生活支援課、地域福祉課の分担表もメール配信されており、大変助かりましたが、今は難しいのでしょうか？民生委員さんやケアマネが、参加していた地域ケア会議がなくなったのか声が掛からず、地域の方との顔の見える交流の機会が少なくなり、大変残念に思います。是非再開してほしいです。

■居宅系サービスの充実・質の向上 (1 件)

- ・デイサービスのみで運営する事業所は極めて、運営がひっ迫している。小中規模の事業所は特に、人材不足から始まり設備・車両の老朽化を補うだけの収支を保つことが困難である。また、認知症対応型対象の利用者は利用も不安定であり、影響を受けやすい。

■介護保険制度・認定 (1 件)

- ・市役所内の横の繋がり連携を円滑にかつ臨機応変な対応に改善してもらいたい（例：介護保険係と認定係と包括支援係の連絡、地域福祉課と認定係の連絡等）。

■地域ケア会議・多職種連携 (1 件)

- ・地域ケア会議をもっと開催し、地域をまきこんだ施策を考えて欲しい。介護事業者だけでは無理ですし、住民の活動と介護事業者がいっしょに考え、とり組む場を作って欲しい。

<p>■生活支援（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社では、買い物代行、電球交換、庭の草取り等々、出来ることであれば、有料にはなりますが高齢者支援をさせていただきます。
<p>◆行政への意見・提案（4件）</p>
<p>■情報提供・周知の工夫（2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1事業所としての知識・技術については、ほどほど理解できてきたのかと主観的には認識しているが、私自身、小金井市として地域としての高齢者施策についての理解は非常に乏しいと言わざるを得ず、小介連での活動含め、今後ともご教示いただけますようお願い申し上げます。 ・市民向けの啓発、情報提供について期待しています。
<p>■行政体制・支援強化（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障がい者、育児などの在宅支援を行っていますが、制度、担当課の枠を超えた横断的な支援体制構築の必要性を感じています。現状では個人の支援（夫婦のいずれか、親子のいずれか等）にとどまっていますが、現場感覚的には個人の支援はもとより、世帯の支援という視点をもっていけないと、限りある人的資源を効率的に活用できないように思っています。（例えば「在宅支援事業」のような）それはともかく、いつも事業者に助け舟を出していただいております。
<p>■介護人材の育成・処遇改善（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括と市と一緒に研修なども実施して、方向性や意向の共有等をもう少しして活発な意見交換がほしい。
<p>◆地域・社会参加・生きがい（2件）</p>
<p>■就労・働く機会（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者が活躍できる場を設ける。登下校時の子供の見守り、清掃作業など。
<p>■生きがい・役割づくり（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私（主宰者）とボランティアさんと利用者さんと、4、5、6人位のグループは、とてもよく、コミュニケーションがとれます。同世代なので、昔の”茶のみ友達”ができています。体操の方も大切ですが、歌、ゲーム、”なんでもありのしりとりゲーム”で認知症予防になっています。社会情勢、昔の話で言葉や、時代が急速に変わっていることも、同世代なので、気持ちがわかり合えて、楽しみになり、これが日常生活の意欲につながっていると実感しています。ご家族の為に食事、入浴で高齢者をあずかる通所も大切ですが、総合事業（趣味の）も応援していただけることを願っています。
<p>◆生活課題・困りごと（2件）</p>
<p>■身元保証・独居・孤立（2件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に限らず、身寄りのない方の身元保証で苦心する事が増えております。施設入所を検討しても、身寄りがない場合は断られてしまう場合が多いです。後見人申し立てをする程でない判断力を有している場合は、完全に手詰まりとなってしまいます。身元保証に関する対策等あれば、ご教授頂きたいです。 ・緊急時など様々な場面で保証人や医療的な判断を求められるケースも多く、特に身寄りのない高齢者への支援拡充が急がれていると思います。
<p>◆その他（1件）</p>
<p>■その他（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。

第6章 ケアマネジャー調査

1. 調査の回答者について

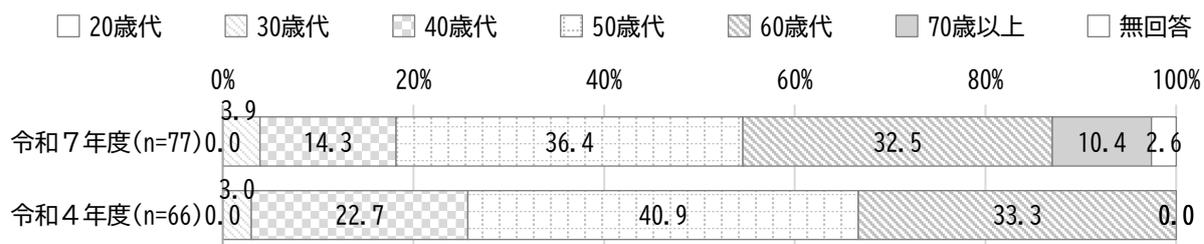
問1 あなたの性別はどちらですか。(単数回答)

「男性」が19.5%、「女性」が77.9%であった。



問2 現在のあなたの年齢は次のどれですか。(単数回答)

「50歳代」が36.4%で最も高く、次いで、「60歳代」が32.5%、「40歳代」が14.3%となっている。



※「60歳代」「70歳以上」について令和4年度では「60歳以上」であった。

2. 勤務形態について

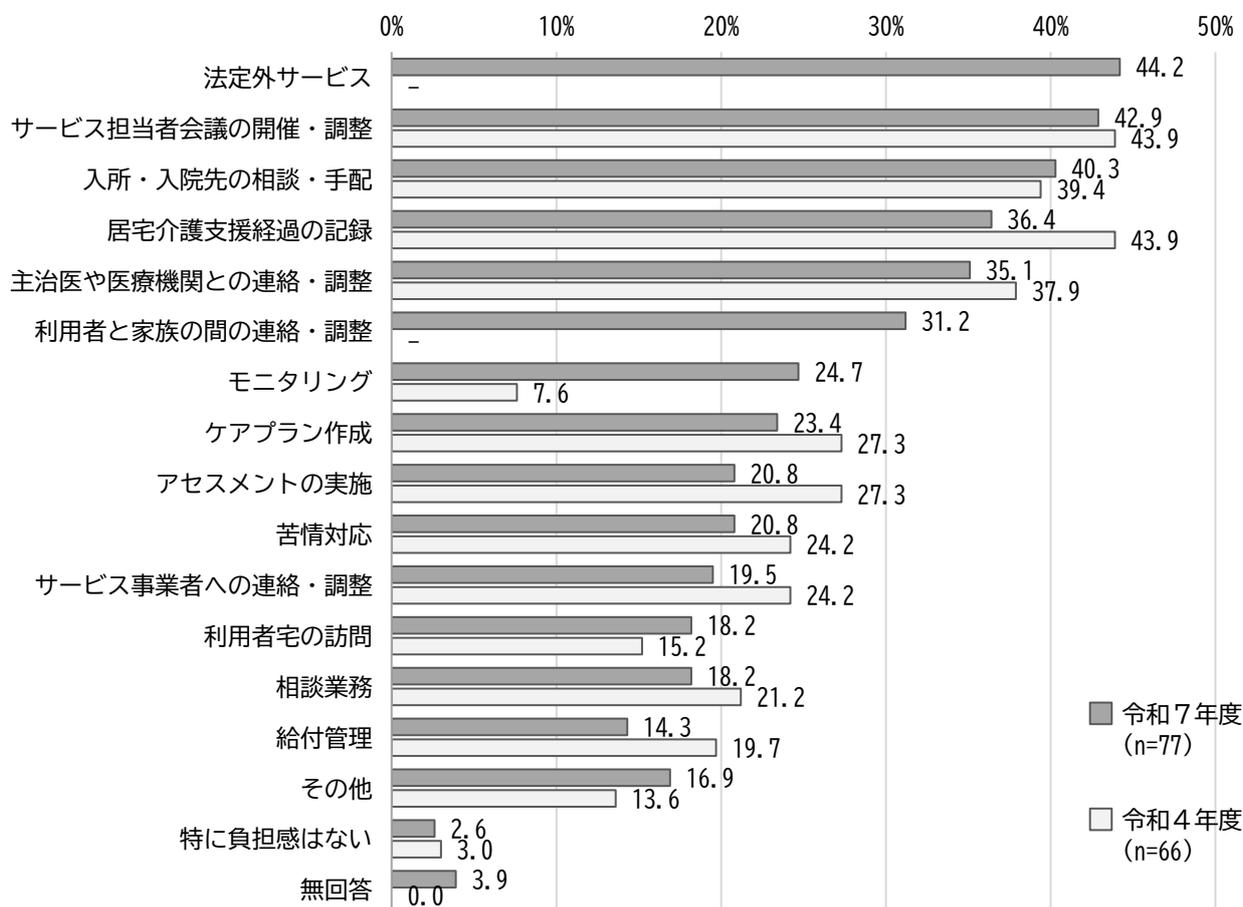
問3 1か月の超過勤務時間はどのくらいですか。(単数回答)

「10時間未満」が49.4%で最も高く、次いで、「10～20時間未満」が20.8%、「40時間以上」が14.3%となっている。



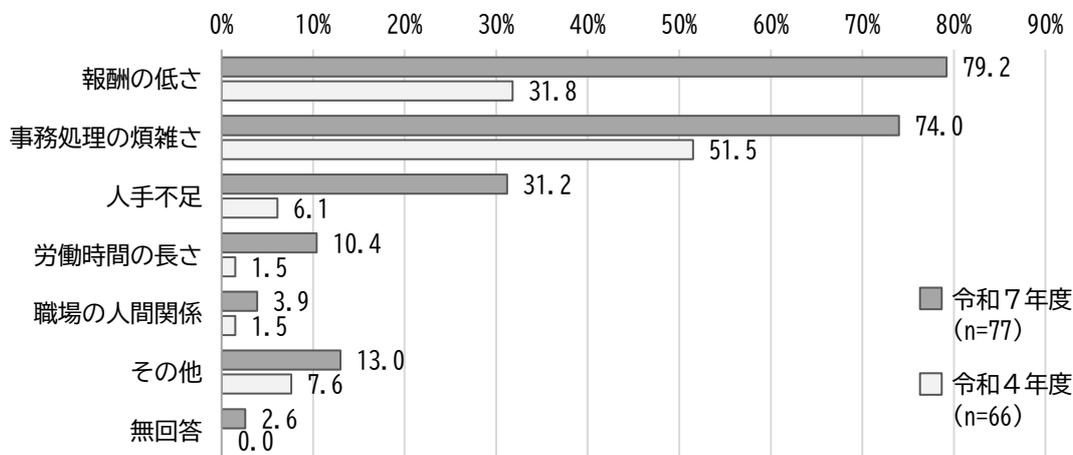
問4 どのような業務に負担感がありますか。(複数回答)

「法定外サービス」が44.2%で最も高く、次いで、「サービス担当者会議の開催・調整」が42.9%、「入所・入院先の相談・手配」が40.3%となっている。



問5 今後ケアマネジャーの仕事が続けていくに当たり、どのような改善が必要だと思いますか。(複数回答)

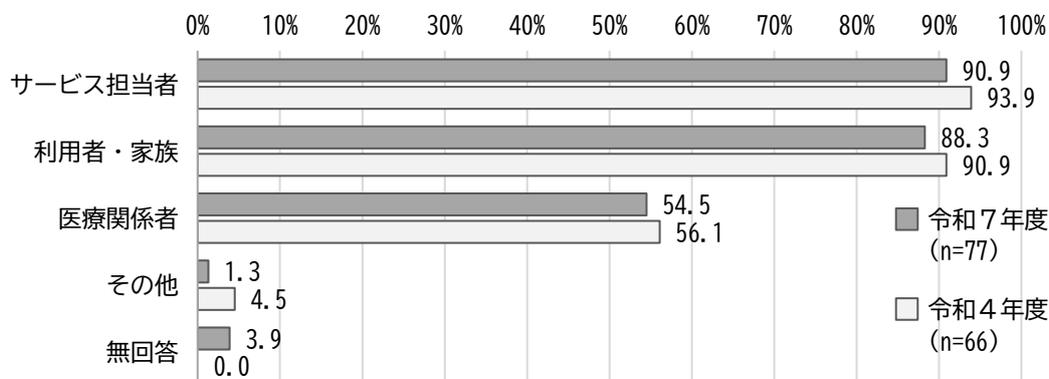
「報酬の低さ」が79.2%で最も高く、次いで、「事務処理の煩雑さ」が74.0%、「人手不足」が31.2%となっている。



3. ケアマネジメントについて

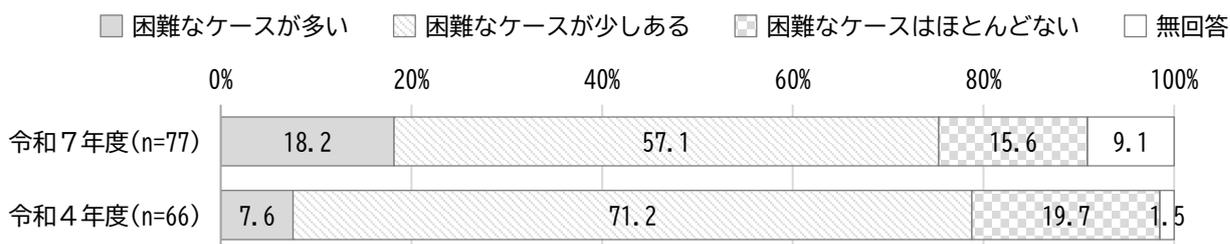
問6 ケアプランの作成にかかわる人はどなたですか。(複数回答)

「サービス担当者」が90.9%で最も高く、次いで、「利用者・家族」が88.3%、「医療関係者」が54.5%となっている。



問7 ケアプランの作成が困難だったケースはどの程度ありますか。(単数回答)

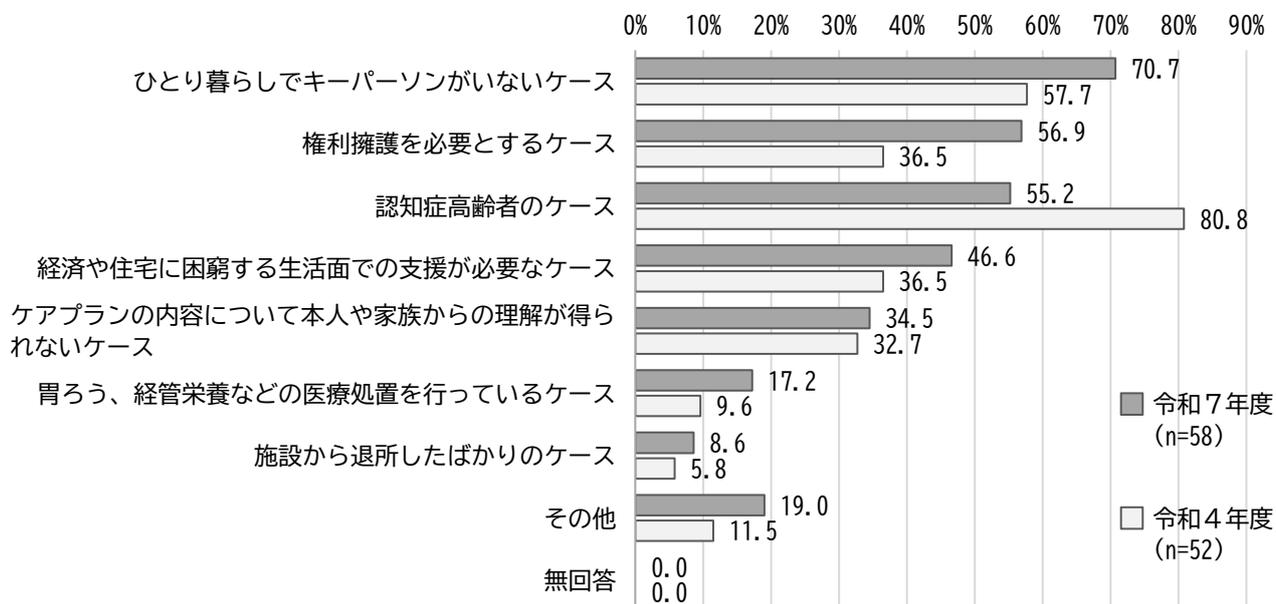
「困難なケースが少しある」が57.1%で最も高く、次いで、「困難なケースが多い」が18.2%、「困難なケースはほとんどない」が15.6%となっている。



【問7で「困難なケースが多い/少しある」と回答した方】

問7-1 困難だったのは、どのようなケースですか。(複数回答)

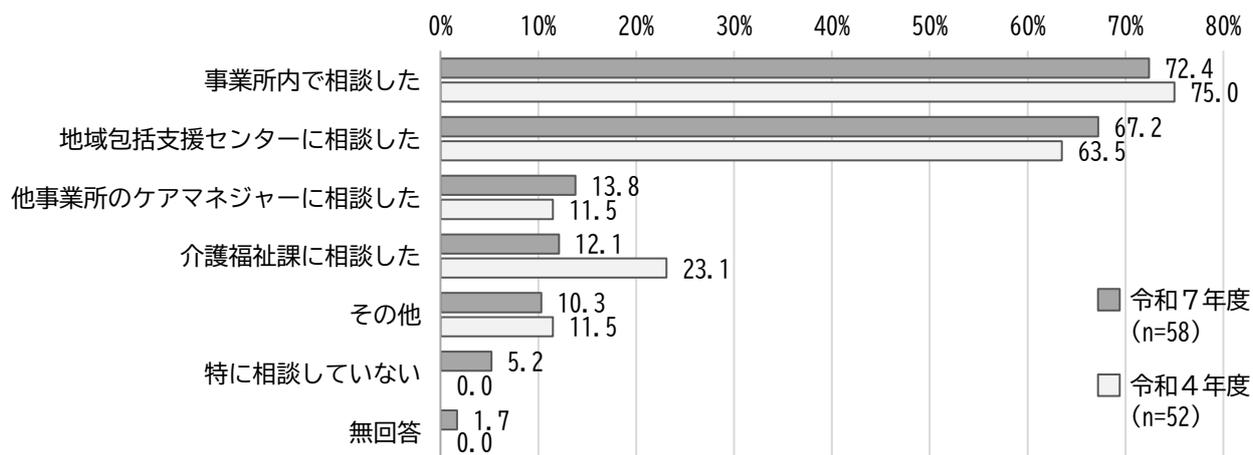
「ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース」が70.7%で最も高く、次いで、「権利擁護を必要とするケース」が56.9%、「認知症高齢者のケース」が55.2%となっている。



【問7で「困難なケースが多い/少しある」と回答した方】

問7-2 困難だったケースについて、どこかに相談しましたか。(複数回答)

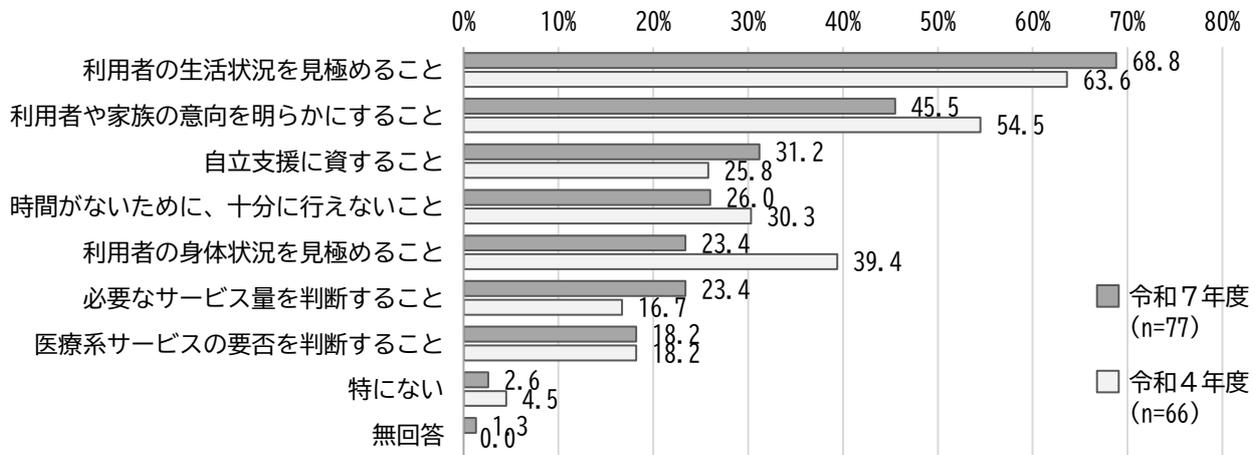
「事業所内で相談した」が72.4%で最も高く、次いで、「地域包括支援センターに相談した」が67.2%、「他事業所のケアマネジャーに相談した」が13.8%となっている。



4. ケアアセスメントの実施状況について

問8 アセスメントを実施する際に難しいと感じることは何ですか。(複数回答)

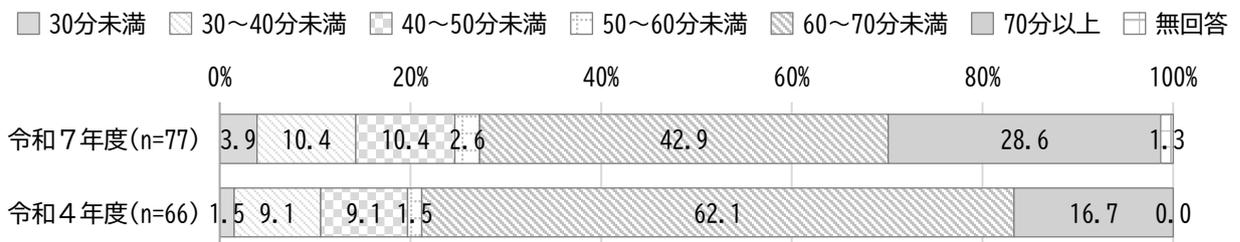
「利用者の生活状況を見極めること」が68.8%で最も高く、次いで、「利用者や家族の意向を明らかにすること」が45.5%、「自立支援に資すること」が31.2%となっている。



問9 1回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間はどのくらいですか。(単数回答)

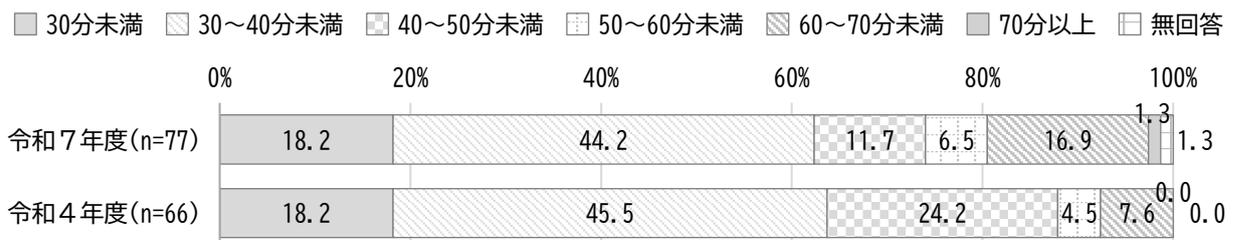
① 初回

「60～70分未満」が42.9%で最も高く、次いで、「70分以上」が28.6%、「30～40分未満」が10.4%となっている。



② 2回目以降の平均時間

「30～40分未満」が44.2%で最も高く、次いで、「30分未満」が18.2%、「60～70分未満」が16.9%となっている。

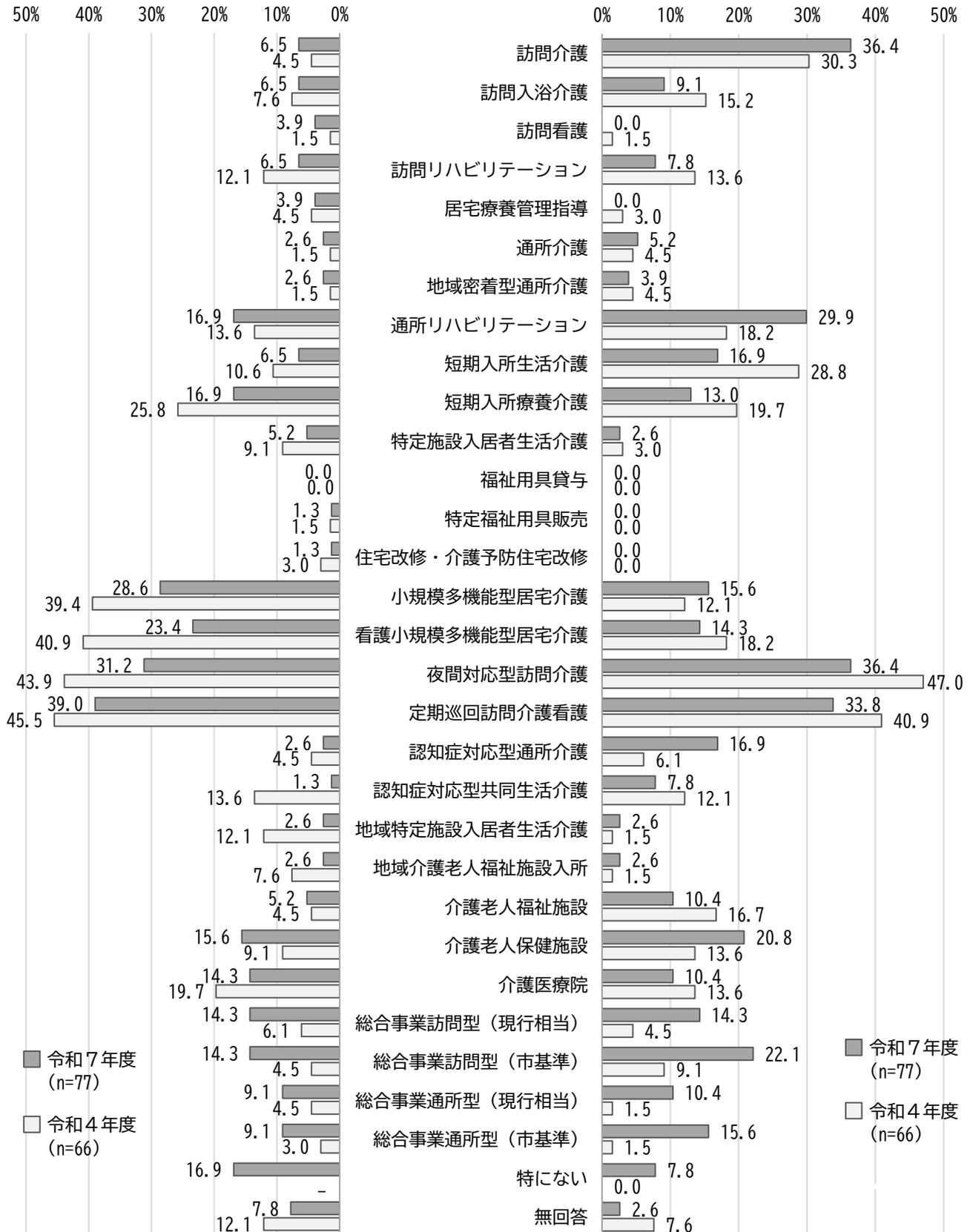


5. 市内のサービス提供体制について

問10 ケアプランを作成するにあたって、利用しにくいと感じているサービス、また、量的に不足していると感じるサービスは何ですか。(複数回答)

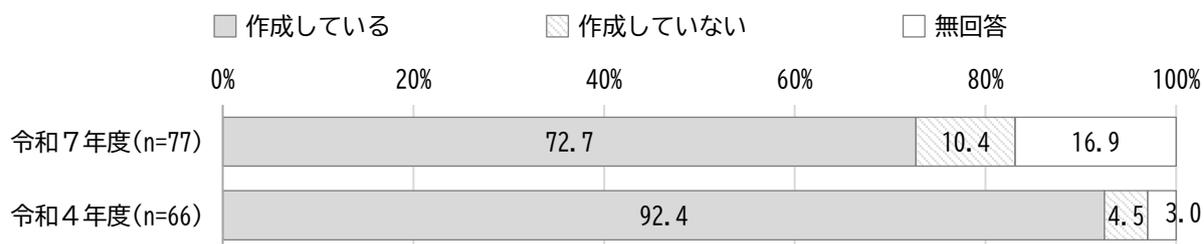
①利用しにくいと感じるサービス

②量的に不足していると感じるサービス



問 11 介護保険以外のサービス等を組み入れてケアプランを作成していますか。(単数回答)

「作成している」が72.7%で最も高く、次いで、「作成していない」が10.4%となっている。

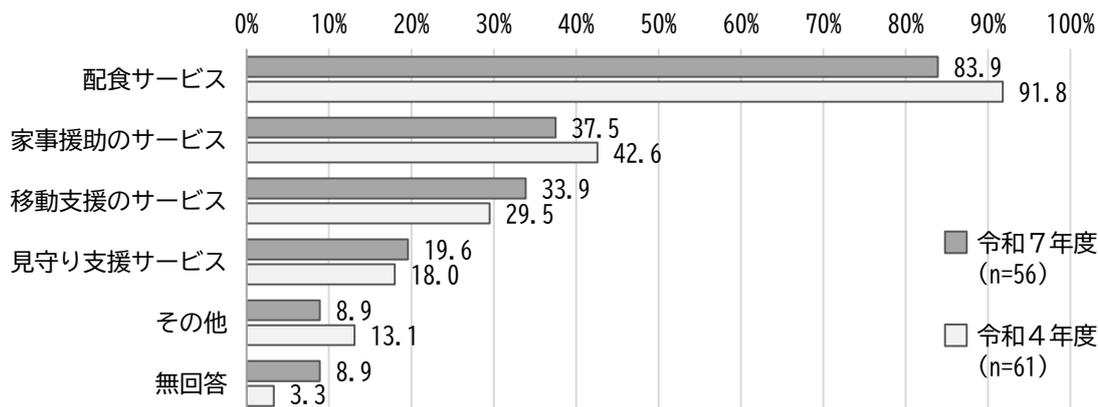


【問 11 で「作成している」と回答した方】

問 11-1 ケアプランを作成する際に検討したことがあるのはどのようなサービスですか。(複数回答)

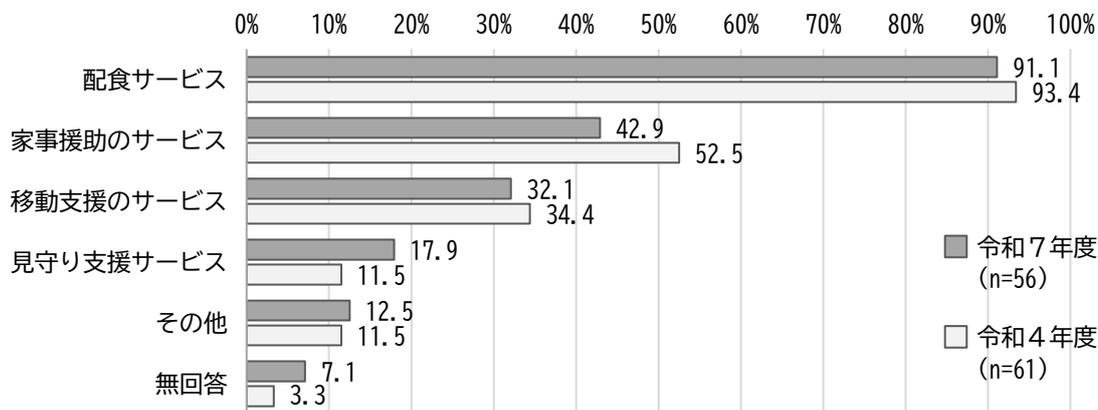
① フォーマルサービス・行政等が制度に基づいて支援するサービス

「配食サービス」が83.9%で最も高く、次いで、「家事援助のサービス」が37.5%、「移動支援のサービス」が33.9%となっている。



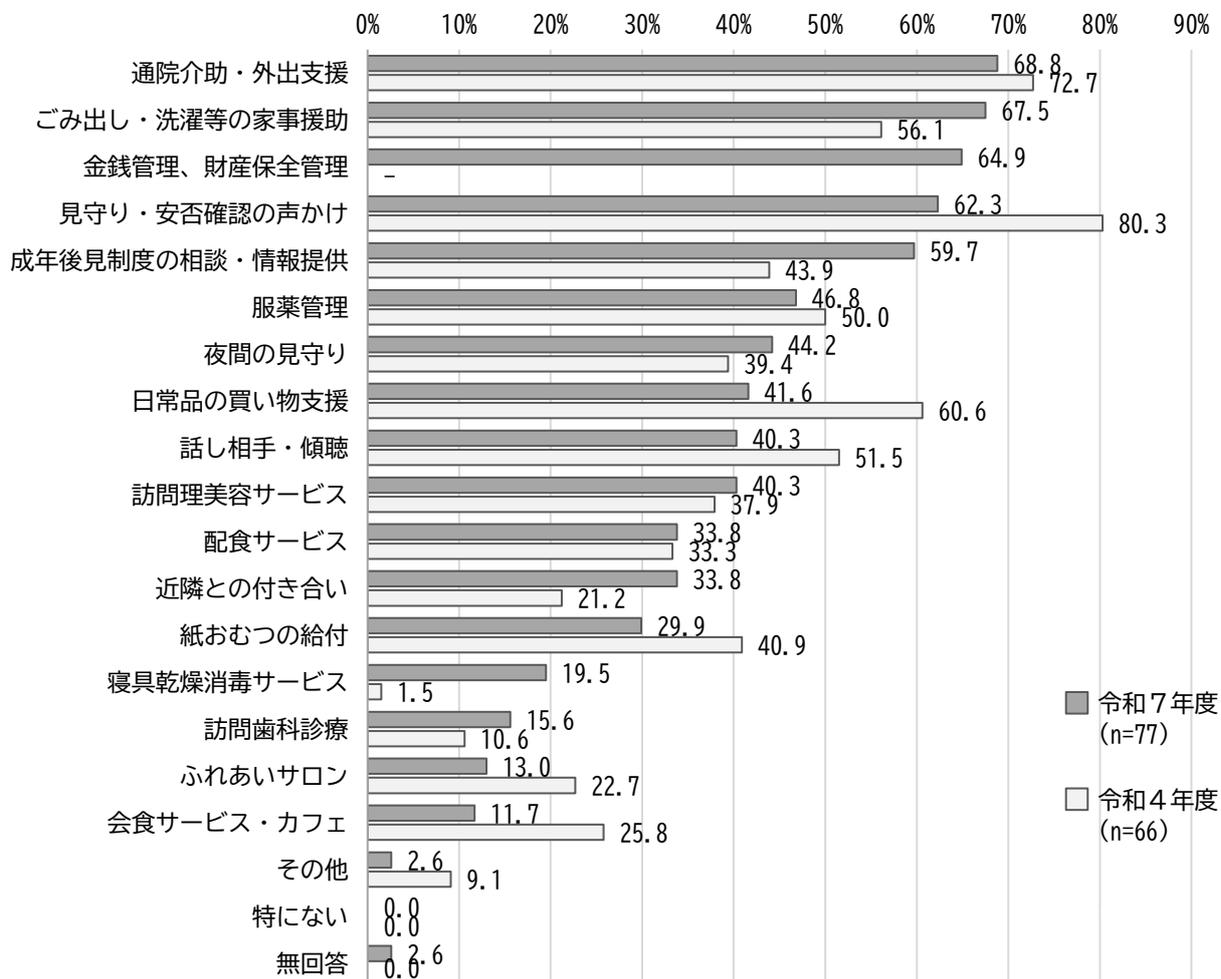
② インフォーマルなサービス・制度外で支援しているサービス

「配食サービス」が80.5%で最も高く、次いで、「家事援助のサービス」が37.7%、「移動支援のサービス」が31.2%となっている。



問 12 高齢者の在宅生活を支えるために、これから充実が必要だと思う「活動」や「生活支援」は次のどれだと思いますか。(複数回答)

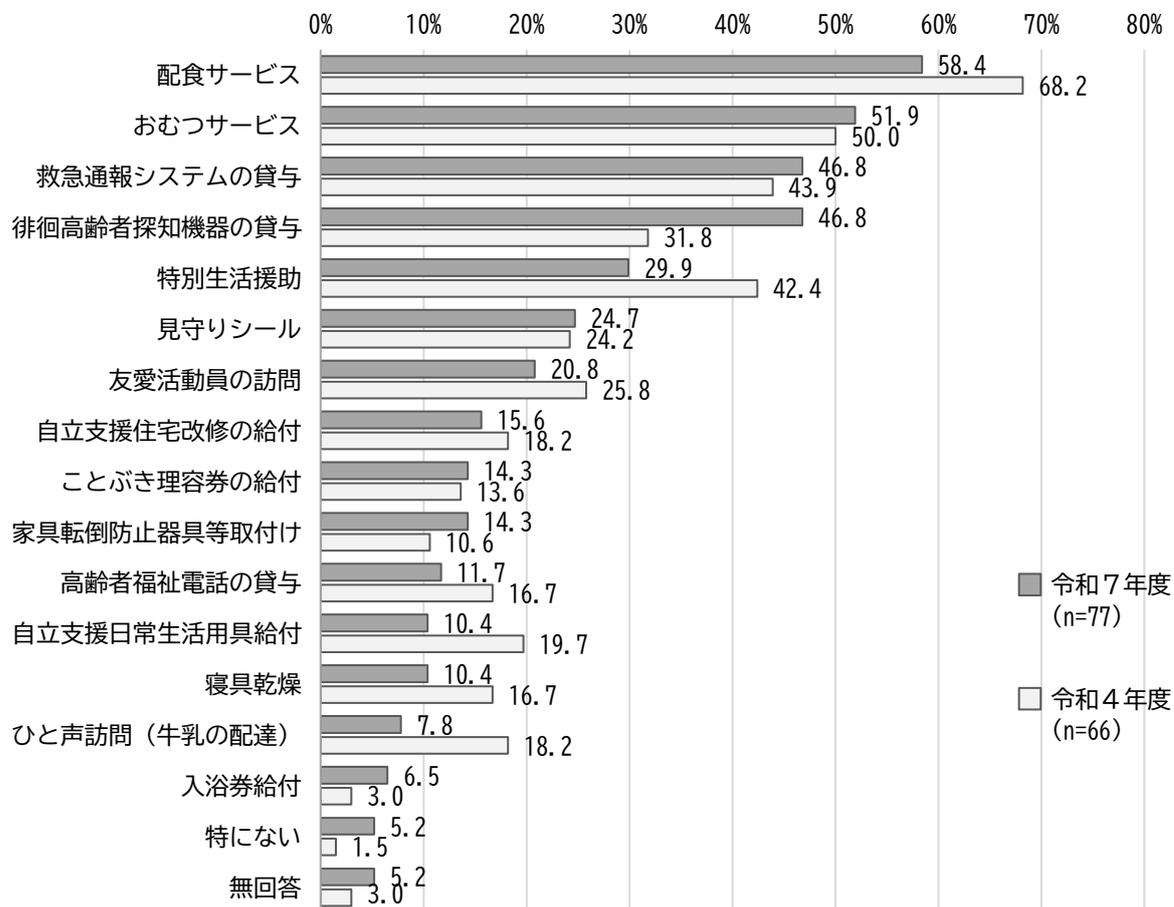
「通院介助・外出支援」が 68.8%で最も高く、次いで、「ごみ出し・洗濯等の家事援助」が 67.5%、「金銭管理、財産保全管理」が 64.9%となっている。



※「夜間の見守り」について令和4年度は「夜間の泊まり込み」であった。

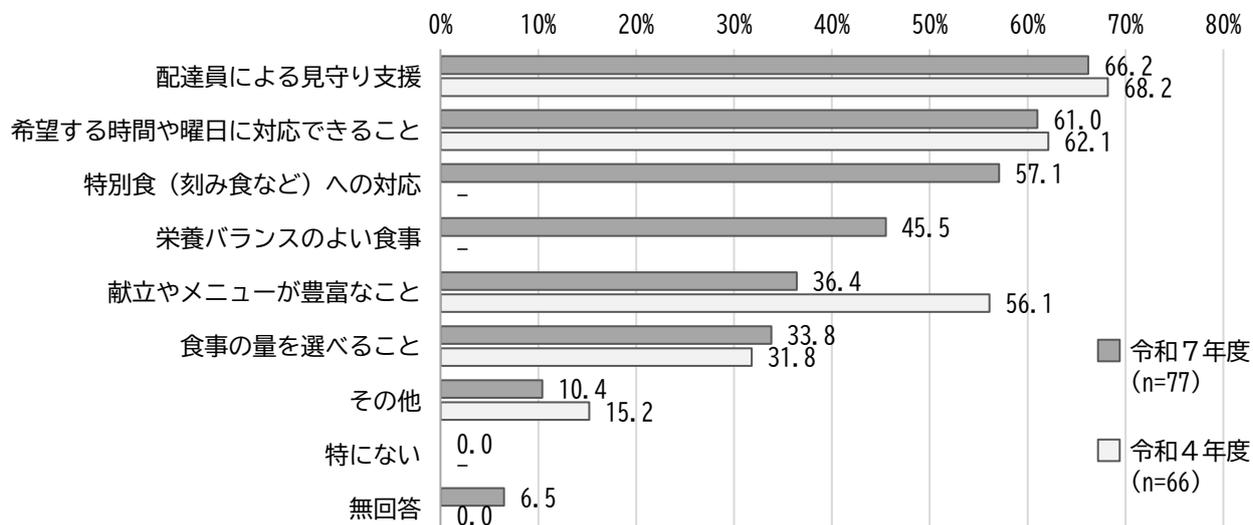
問 13 現在、小金井市では以下のような高齢者保健福祉サービスを実施していますが、今後一層の充実が必要と思うサービスは次のどれですか。(複数回答)

「配食サービス」が 58.4%で最も高く、次いで、「おむつサービス」が 51.9%、「救急通報システムの貸与」が 46.8%となっている。



問 14 配食サービスに望むものは何ですか。

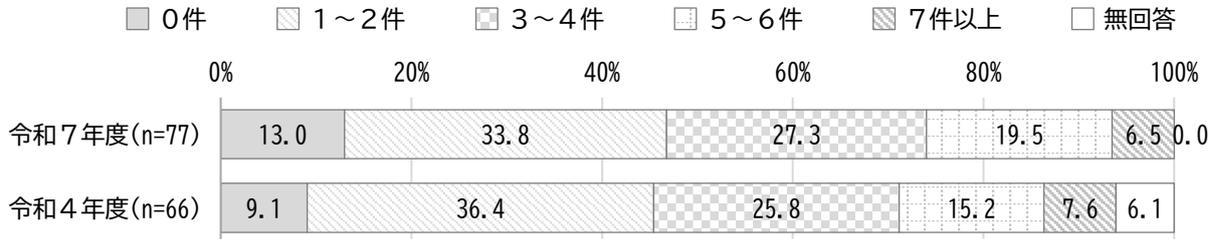
「配達員による見守り支援」が 66.2%で最も高く、次いで、「希望する時間や曜日に対応できること」が 61.0%、「特別食 (刻み食など) への対応」が 57.1%となっている。



6. 施設入所について

問 15 あなたが、この1年間で、施設入所を勧めた件数をお書きください。(単数回答)

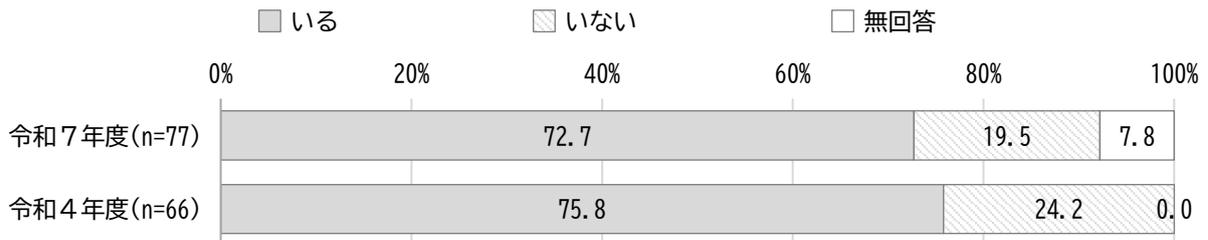
「1～2件」が33.8%で最も高く、次いで、「3～4件」が27.3%、「5～6件」が19.5%となっている。



7. 在宅医療について

問 16 あなたがサービスを提供している利用者の中に、往診が必要と思われる方はいますか。(単数回答) (※患者さんの求めに応じて急変時に行う診療)

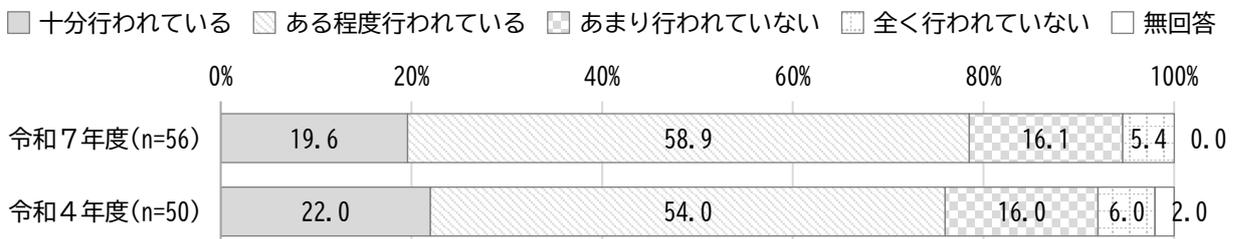
「いる」が72.7%、「いない」が19.5%であった。



【問 16 で「いる」と回答した方】

問 16-1 あなたは、必要な方に往診が十分行われていると思いますか。(単数回答)

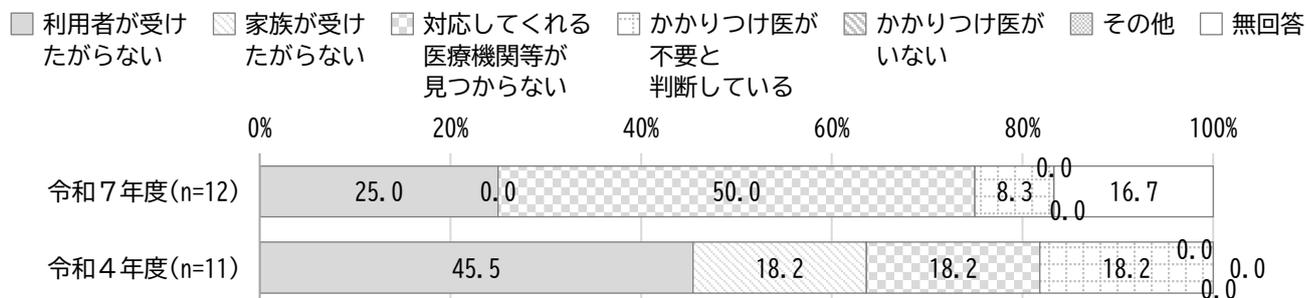
「ある程度行われている」が58.9%で最も高く、次いで、「十分行われている」が19.6%、「あまり行われていない」が16.1%となっている。



【問 16-1 で「あまり/全く行われていない」と回答した方】

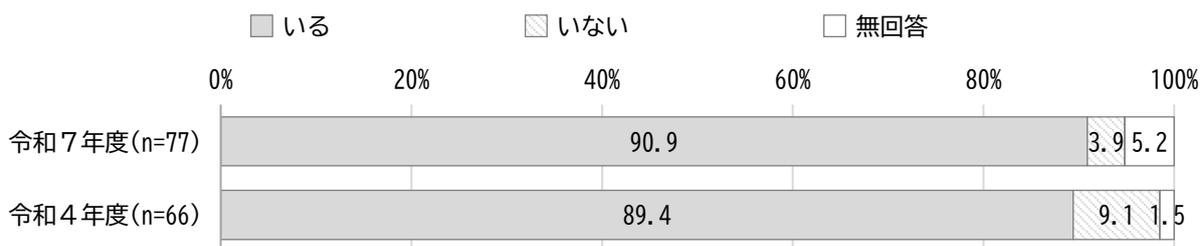
問 16-2 必要なのに実施していないのはなぜですか。(単数回答)

「対応してくれる医療機関等が見つからない」が 50.0%で最も高く、次いで、「利用者が受けたがらない」が 25.0%、「かかりつけ医が不要と判断している」が 8.3%となっている。



問 17 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療が必要と思われる方はいますか。(単数回答) (※通院の困難な患者さん宅に訪問して行う診療)

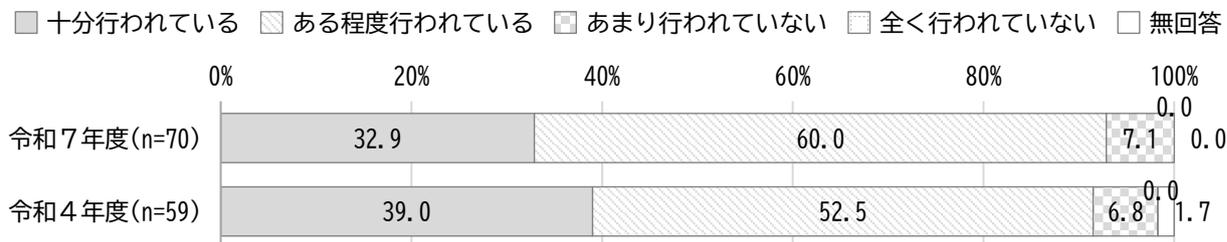
「いる」が 90.9%、「いない」が 3.9%であった。



【問 17 で「いる」と回答した方】

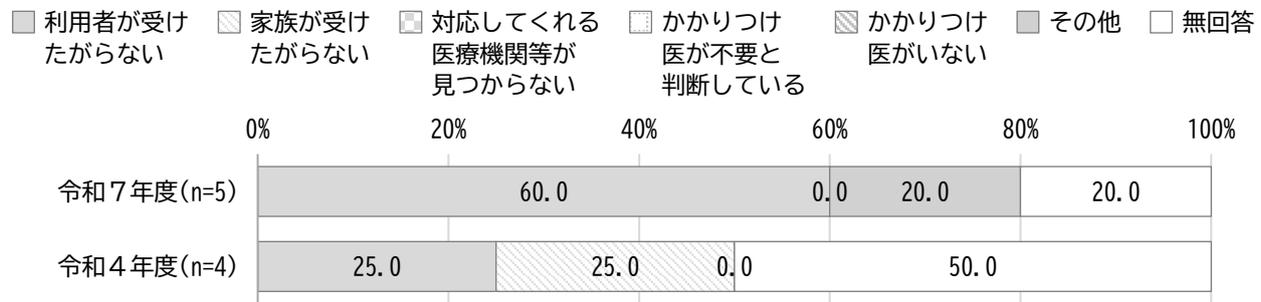
問 17-1 あなたは、必要な方に訪問診療が十分行われていると思いますか。(単数回答)

「ある程度行われている」が 60.0%で最も高く、次いで、「十分行われている」が 32.9%、「あまり行われていない」が 7.1%となっている。



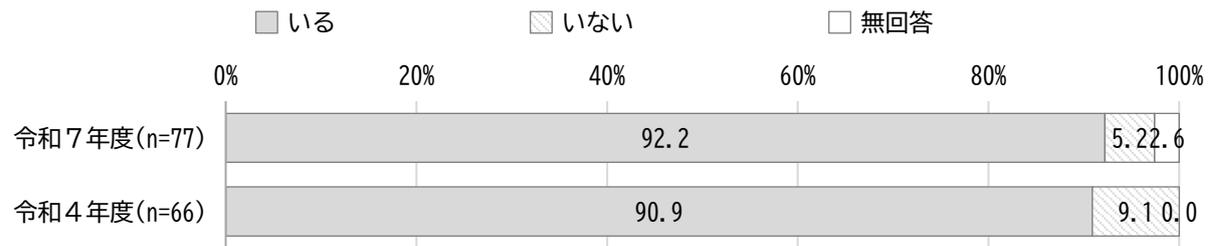
【問 17-1 で「あまり/全く行われていない」と回答した方】
 問 17-2 必要なのに実施していないのはなぜですか。(単数回答)

「利用者が受けがらない」が 60.0%で最も高く、次いで、「その他」が 20.0%となっている。

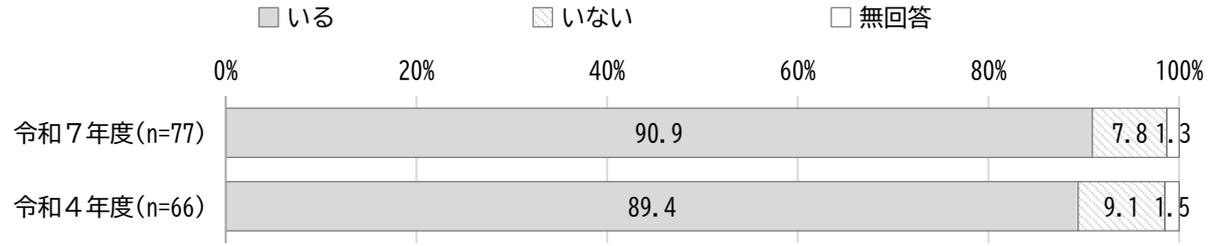


問 18 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。(単数回答)

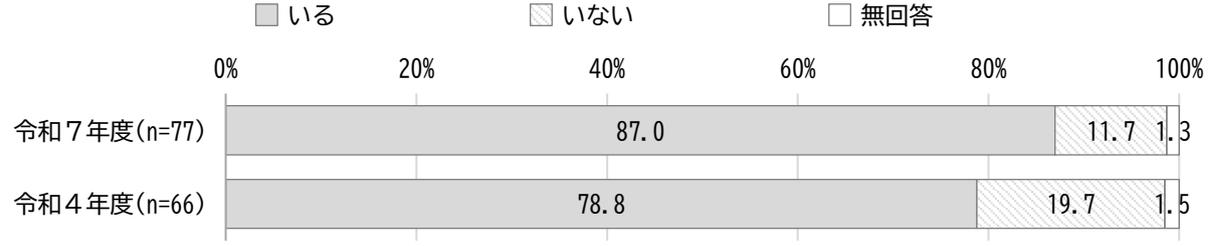
①訪問看護が必要と思われる方は、「いる」が 92.2%、「いない」が 5.2%であった。



②訪問歯科診療が必要と思われる方は、「いる」が 90.9%、「いない」が 7.8%であった。

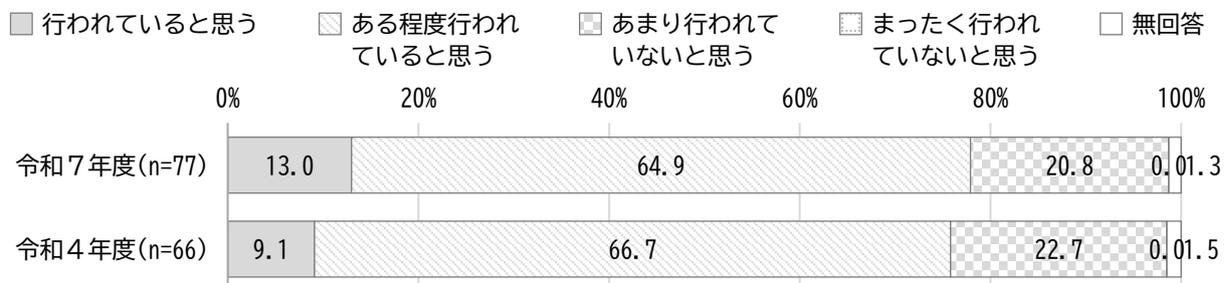


③訪問服薬管理指導が必要と思われる方は、「いる」が 87.0%、「いない」が 11.7%であった。



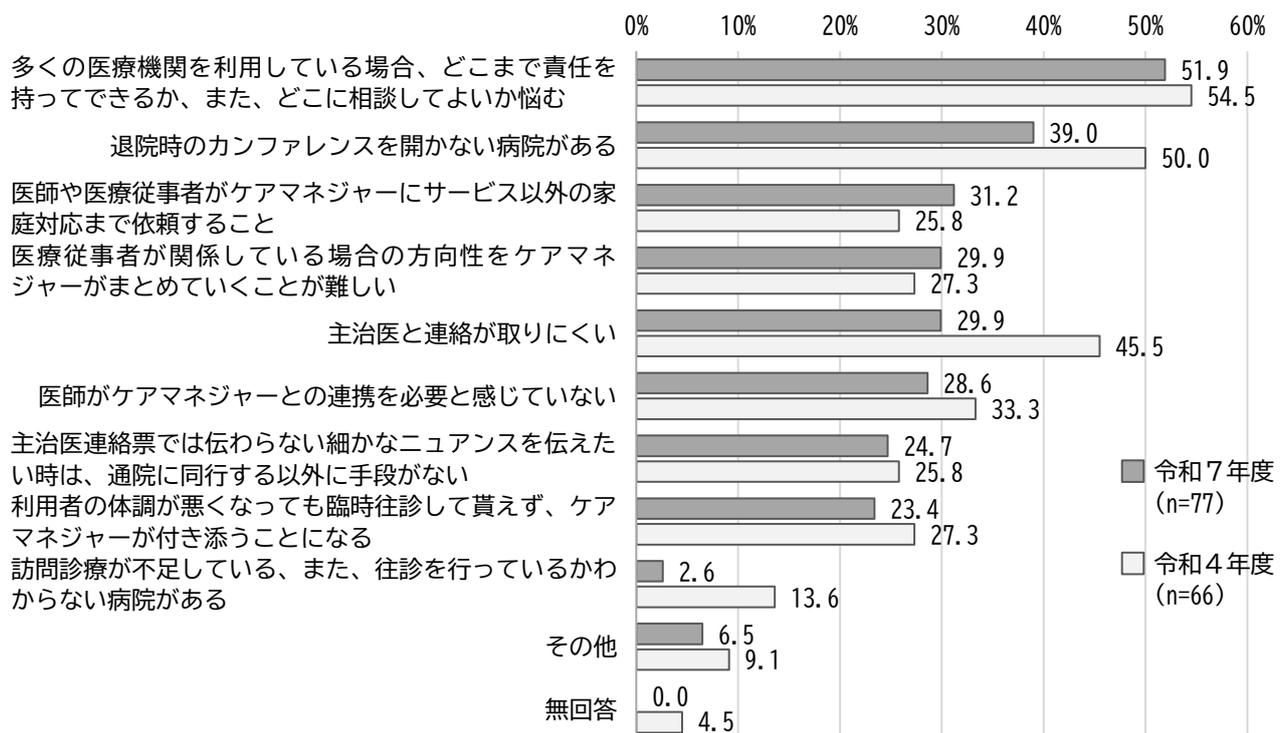
問 19 専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。(単数回答)

「ある程度行われていると思う」が64.9%で最も高く、次いで、「あまり行われていないと思う」が20.8%、「行われていると思う」が13.0%となっている。



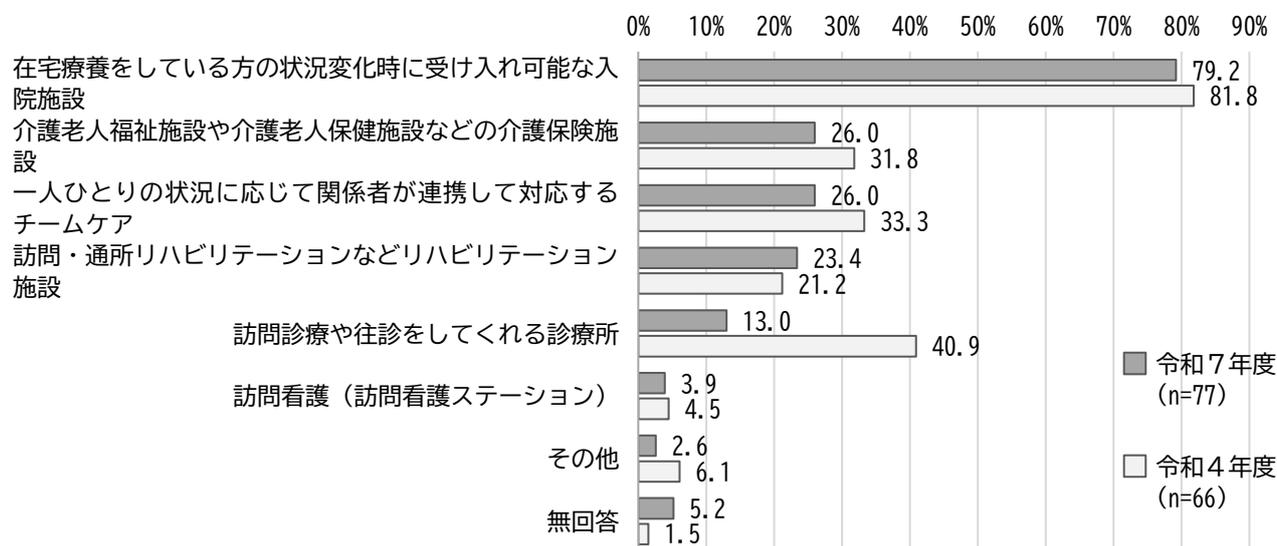
問 20 医療と在宅ケアの関係で苦労していることは何ですか。(複数回答)

「多くの医療機関を利用している場合、総合的な体調管理などをどこまで責任を持ってできるか、また、どこに相談してよいか悩む」が51.9%で最も高く、次いで、「退院時のカンファレンスを開かない病院がある」が39.0%、「医師や医療従事者がケアマネジャーにサービス以外の家庭対応まで依頼すること」が31.2%となっている。



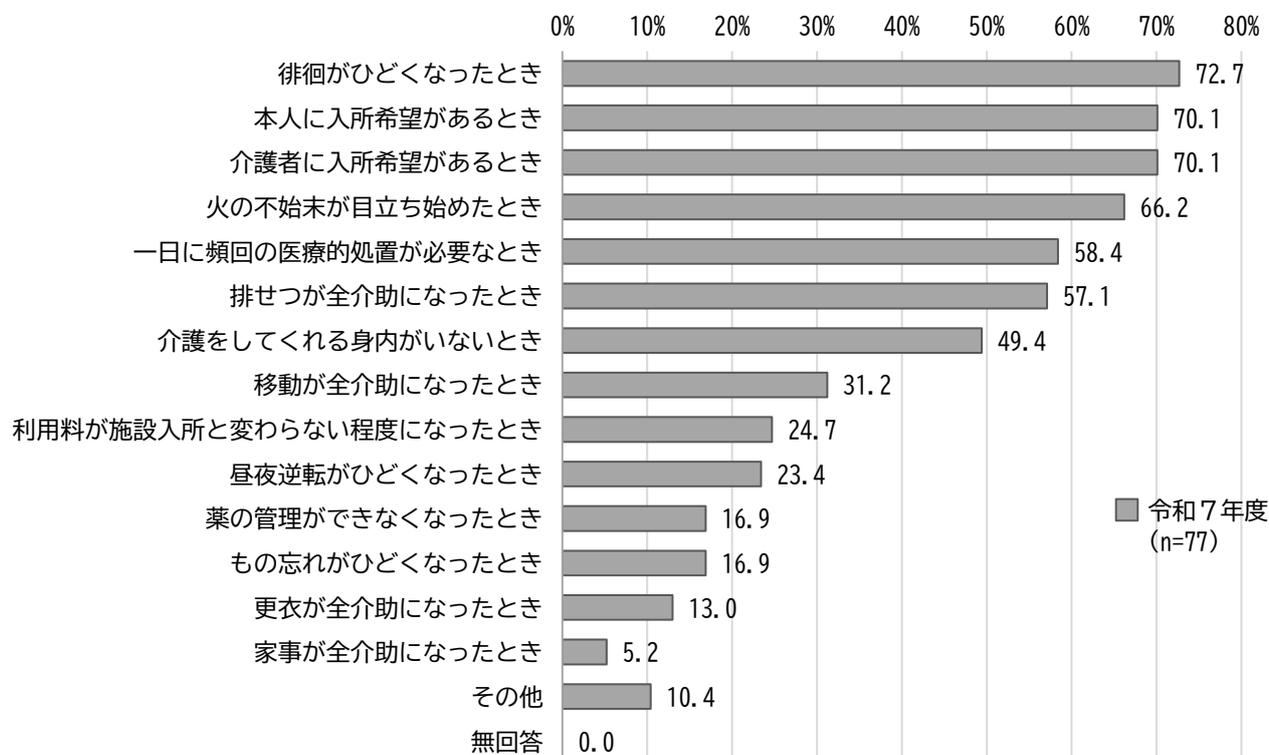
問 21 高齢者の在宅医療を進めていくうえで不足している機能はどのようなことだとお考えですか。(複数回答)

「在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設」が79.2%で最も高く、次いで、「介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設」「一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア」が26.0%となっている。



問 22 在宅介護の限界、施設入所を意識する要因は何だとお考えですか。(複数回答)

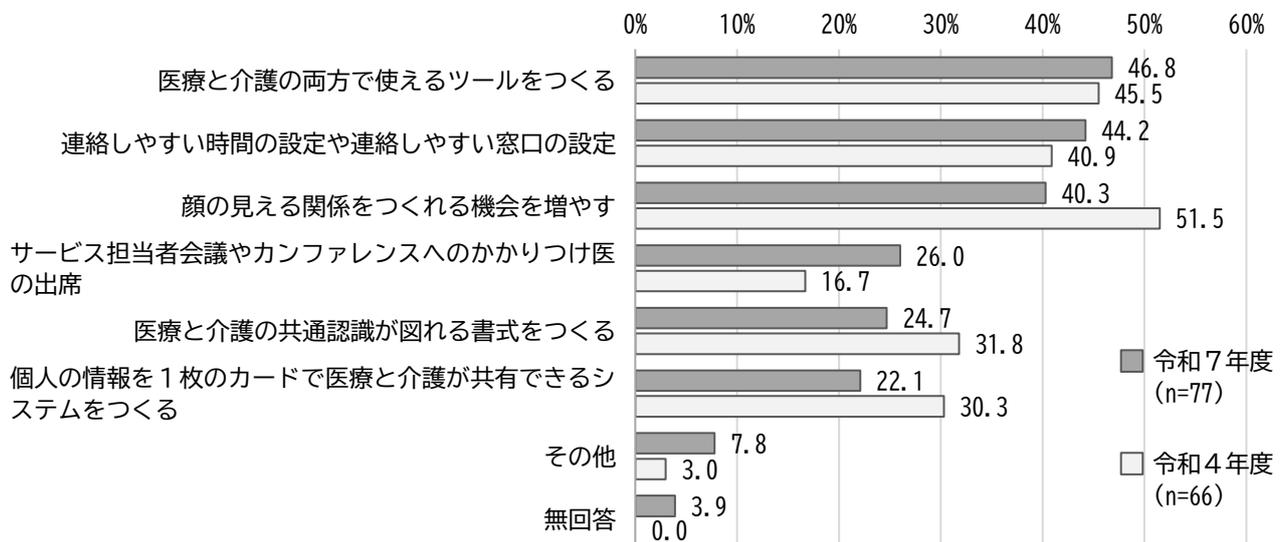
「徘徊がひどくなったとき」が72.7%で最も高く、次いで、「本人に入所希望があるとき」「介護者に入所希望があるとき」が70.1%となっている。



8. 医療・介護連携について

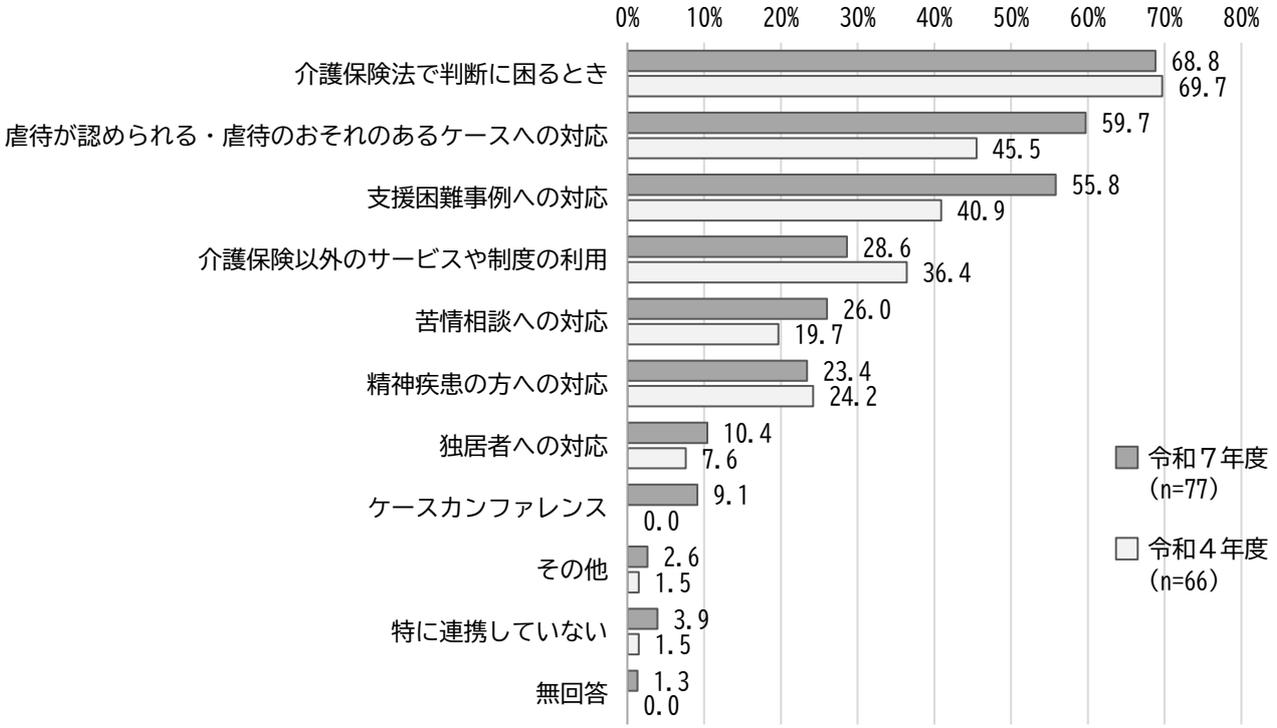
問 23 医療と介護の連携を図るうえでの情報の共有化をどのように進めればよいと思いますか。(複数回答)

「医療と介護の両方で使えるツールをつくる」が46.8%で最も高く、次いで、「連絡しやすい時間の設定や連絡しやすい窓口の設定」が44.2%、「顔の見える関係をつくれる機会を増やす」が40.3%となっている。



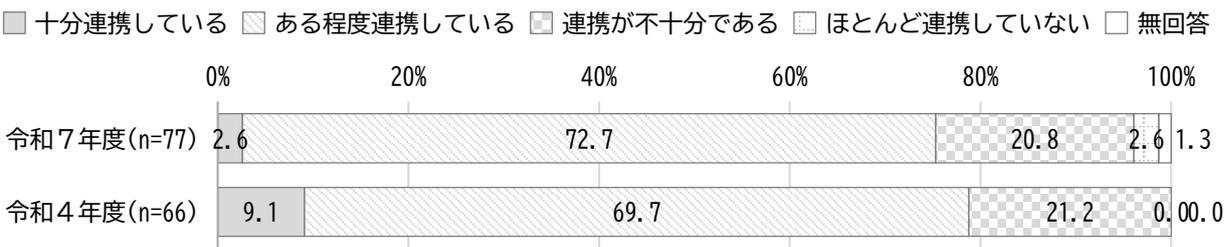
問 24 市の担当者と連携するときはどのような場合ですか。(複数回答)

「介護保険法で判断に困るとき」が 68.8%で最も高く、次いで、「虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応」が 59.7%、「支援困難事例への対応」が 55.8%となっている。



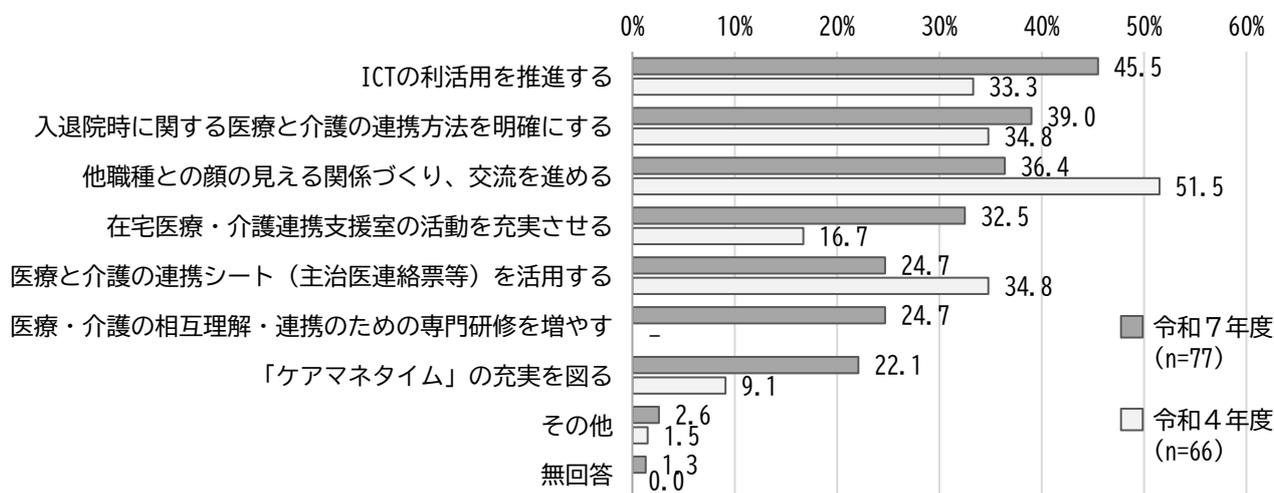
問 25 在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(単数回答)

「ある程度連携している」が 72.7%で最も高く、次いで、「連携が不十分である」が 20.8%、「十分連携している」が 2.6%となっている。



問 26 在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくりのために、どのようなことが必要だとお考えですか。(複数回答)

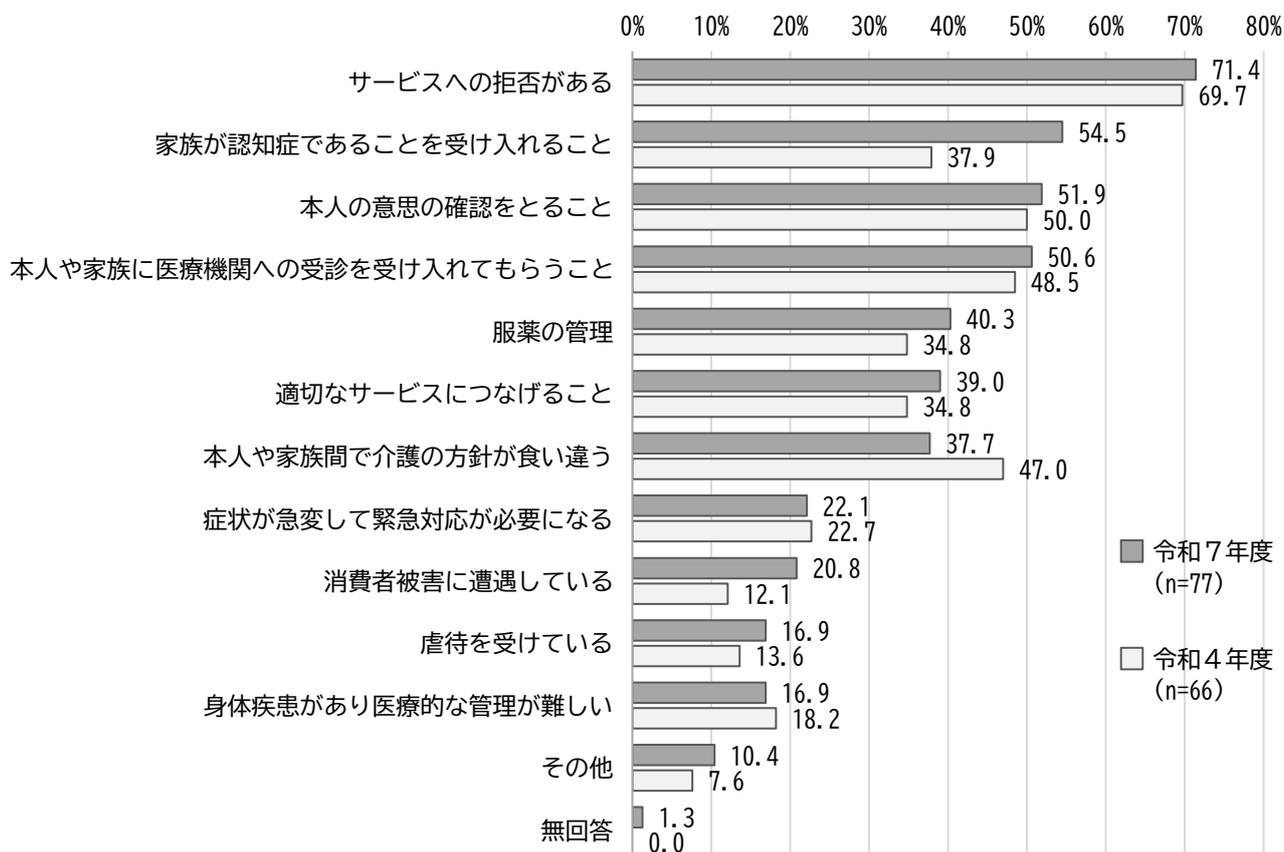
「ICTの利活用を推進する」が45.5%で最も高く、次いで、「入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする」が39.0%、「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」が36.4%となっている。



9. 認知症の介護について

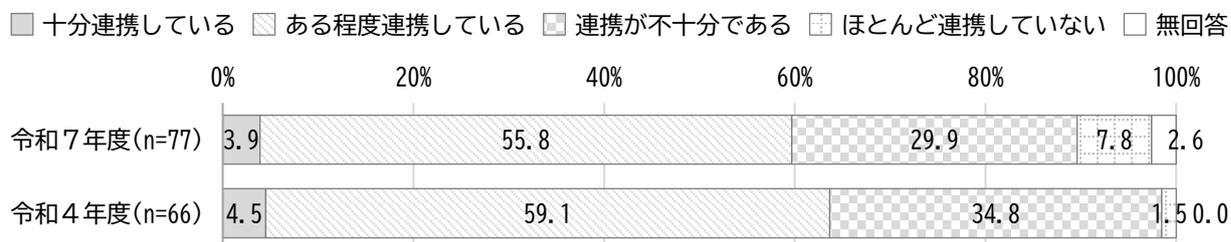
問 27 担当する認知症の方の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。(複数回答)

「サービスへの拒否がある」が71.4%で最も高く、次いで、「家族が認知症であることを受け入れること」が54.5%、「本人の意思の確認をとること」が51.9%となっている。



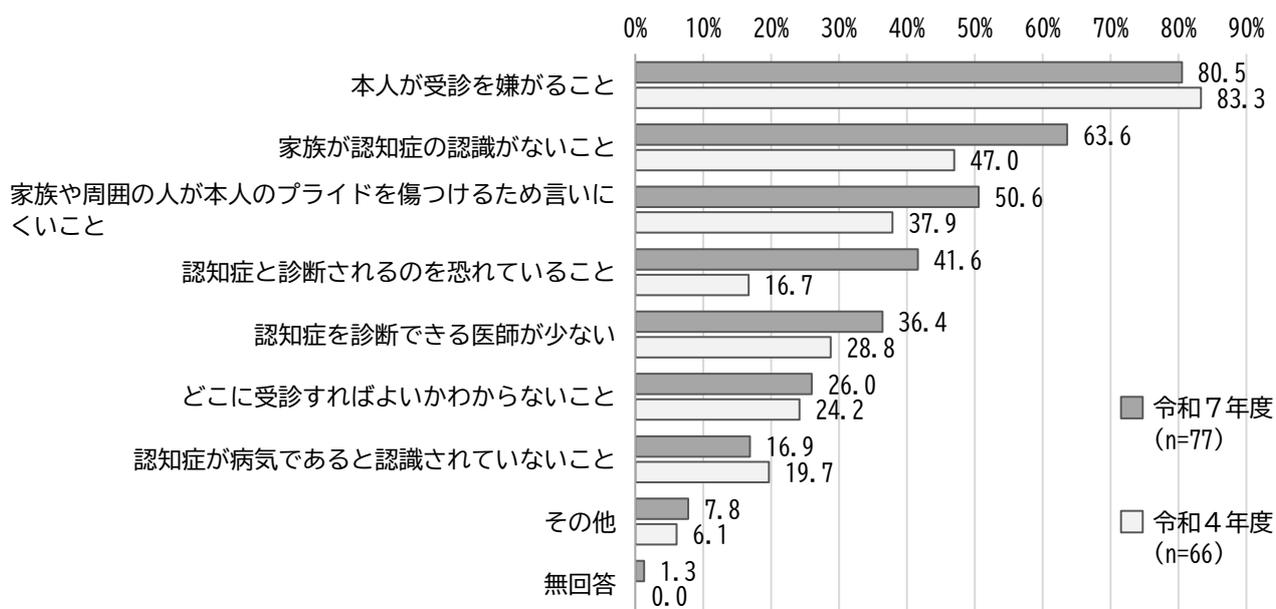
問 28 認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医と十分連携していると思いますか。(単数回答)

「ある程度連携している」が 55.8%で最も高く、次いで、「連携が不十分である」が 29.9%、「ほとんど連携していない」が 7.8%となっている。



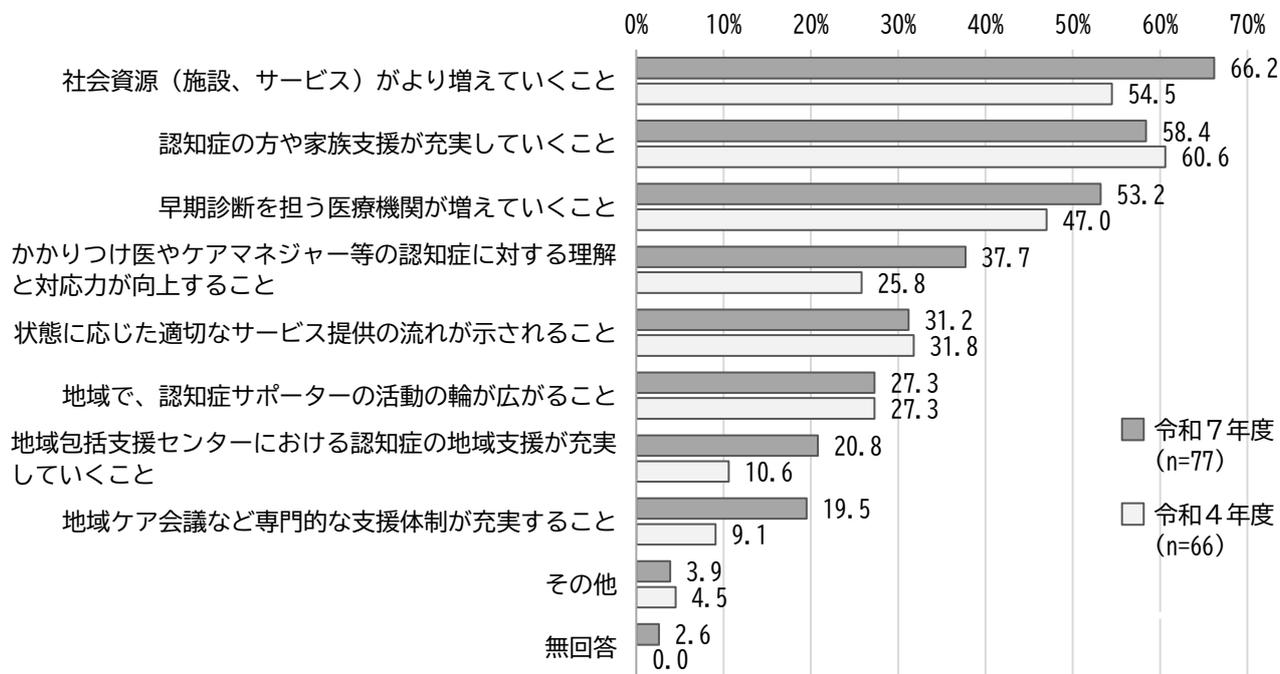
問 29 認知症の早期受診が進まない原因は、次のどれだと思いますか。(複数回答)

「本人が受診を嫌がること」が 80.5%で最も高く、次いで、「家族が認知症の認識がないこと」が 63.6%、「家族や周囲の人が本人のプライドを傷つけるため言いにくいこと」が 50.6%となっている。



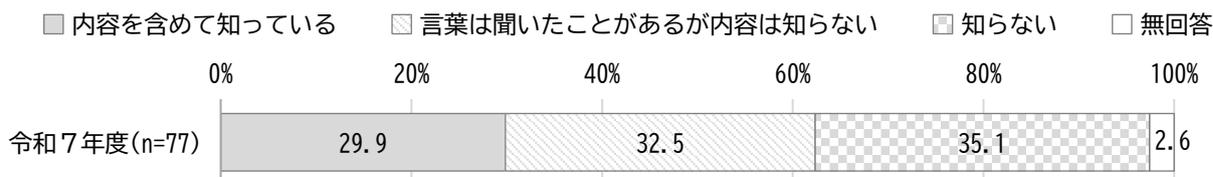
問 30 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。(複数回答)

「社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」が 66.2%で最も高く、次いで、「認知症の方や家族支援が充実していくこと」が 58.4%、「早期診断を担う医療機関が増えていくこと」が 53.2%となっている。



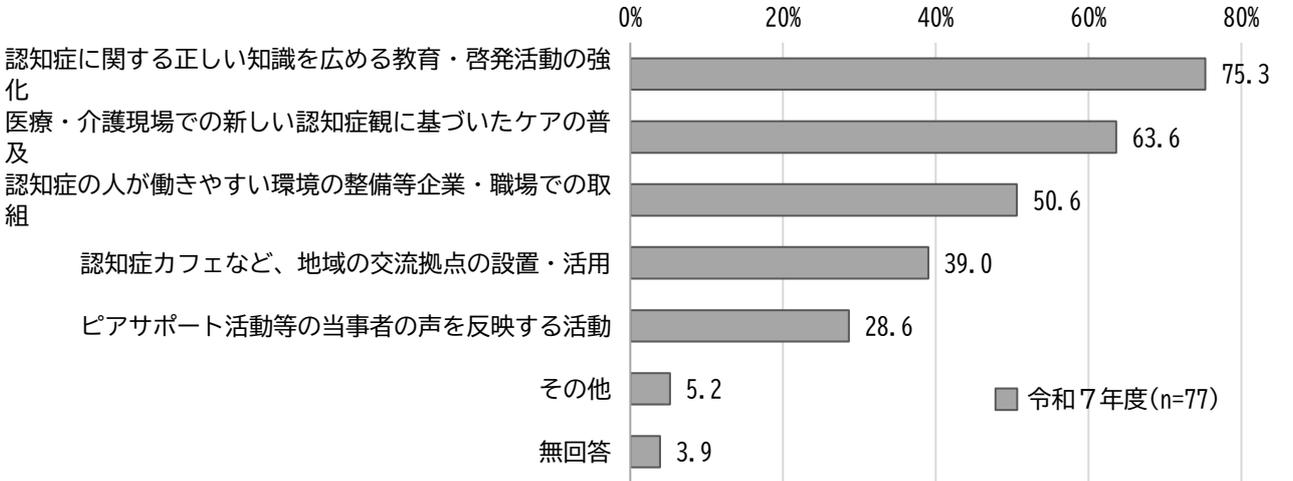
問 31 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(単数回答)

「知らない」が 35.1%で最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が 32.5%、「内容を含めて知っている」が 29.9%となっている。



問 32 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)

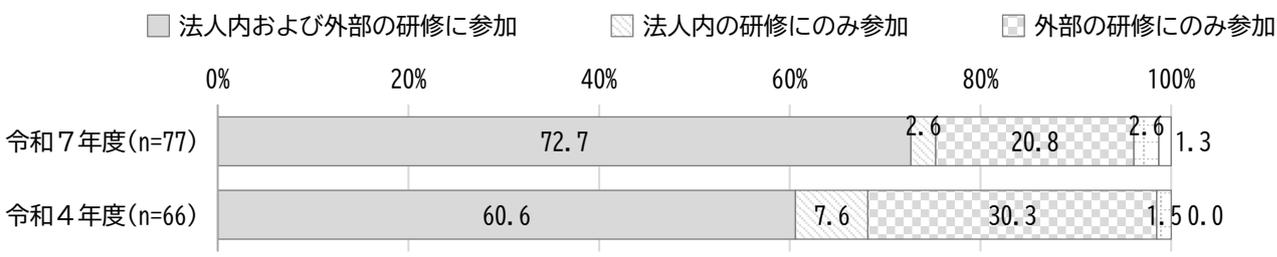
「認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化」が75.3%で最も高く、次いで、「医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及」が63.6%、「認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組」が50.6%となっている。



10. ケアマネジメントの質の向上について

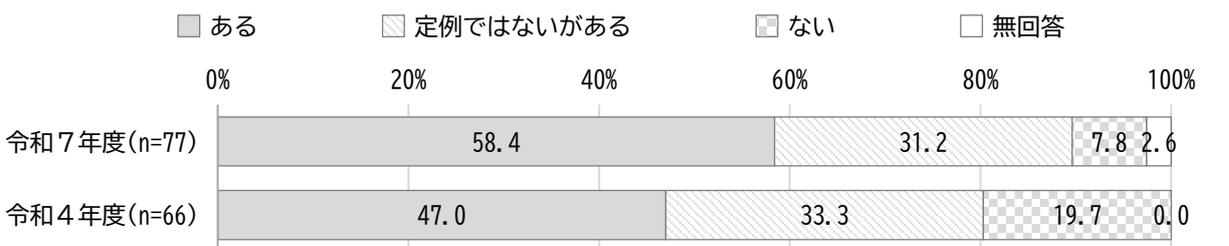
問 33 サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。(単数回答)

「法人内および外部の研修に参加」が72.7%で最も高く、次いで、「外部の研修にのみ参加」が20.8%、「法人内の研修にのみ参加」が2.6%となっている。



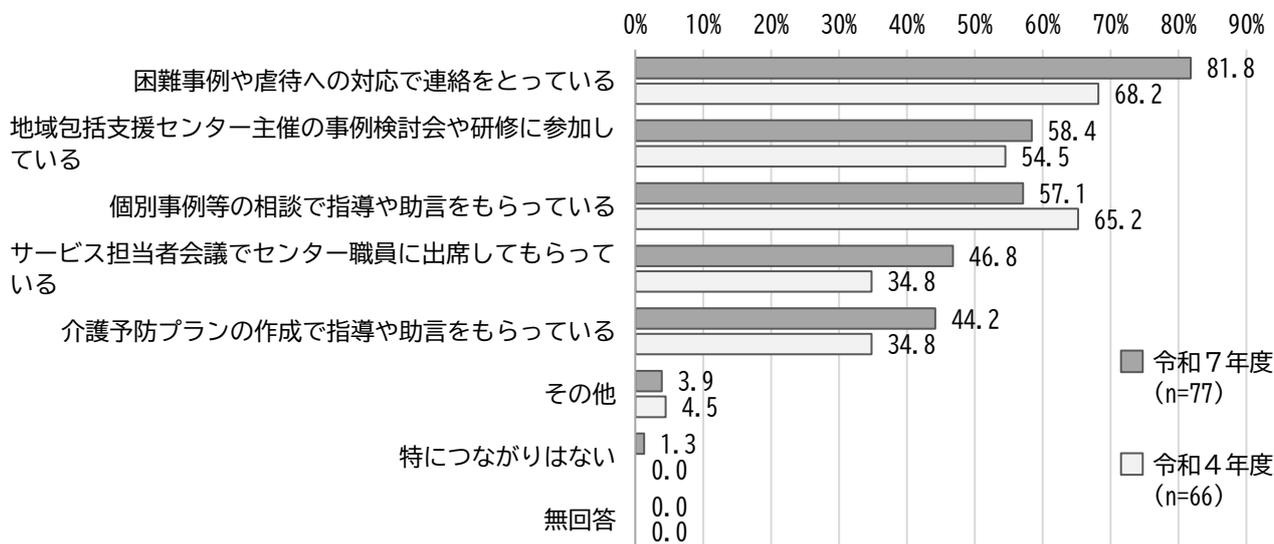
問 34 事業所内では、定例的な研修や勉強会はありますか。(単数回答)

「ある」が58.4%で最も高く、次いで、「定例ではないがある」が31.2%、「ない」が7.8%となっている。



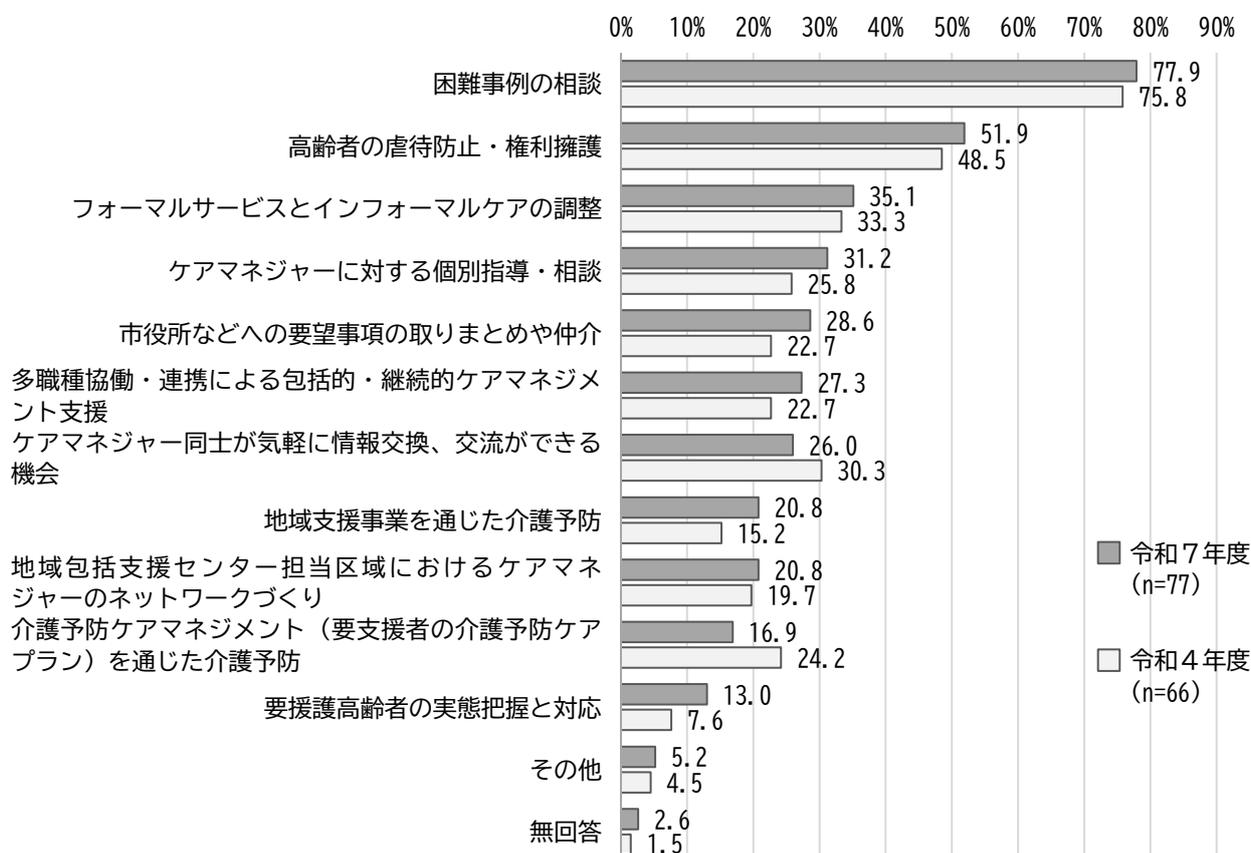
問 35 地域包括支援センターとのつながりはありますか。(複数回答)

「困難事例や虐待への対応で連絡をとっている」が81.8%で最も高く、次いで、「地域包括支援センター主催の事例検討会や研修に参加している」が58.4%、「個別事例等の相談で指導や助言をもらっている」が57.1%となっている。



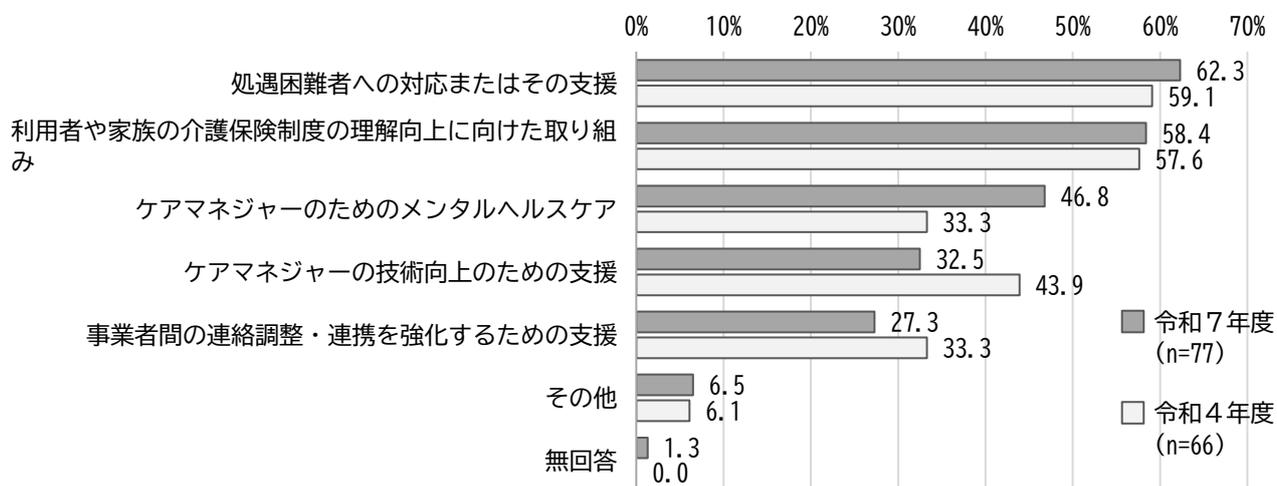
問 36 今後、地域包括支援センターへ期待することは何ですか。(複数回答)

「困難事例の相談」が77.9%で最も高く、次いで、「高齢者の虐待防止・権利擁護」が51.9%、「フォーマルサービスとインフォーマルケアの調整」が35.1%となっている。



問 37 ケアマネジャーに求められる中立性・独立性を確保するために、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)

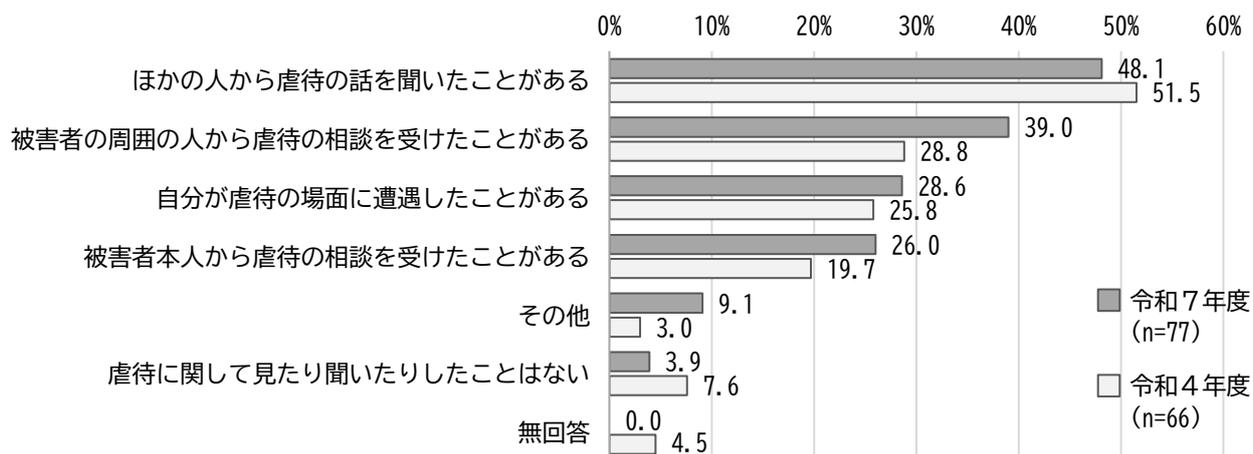
「処遇困難者への対応またはその支援」が 62.3%で最も高く、次いで、「利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み」が 58.4%、「ケアマネジャーのためのメンタルヘルスケア」が 46.8%となっている。



11. 高齢者の虐待について

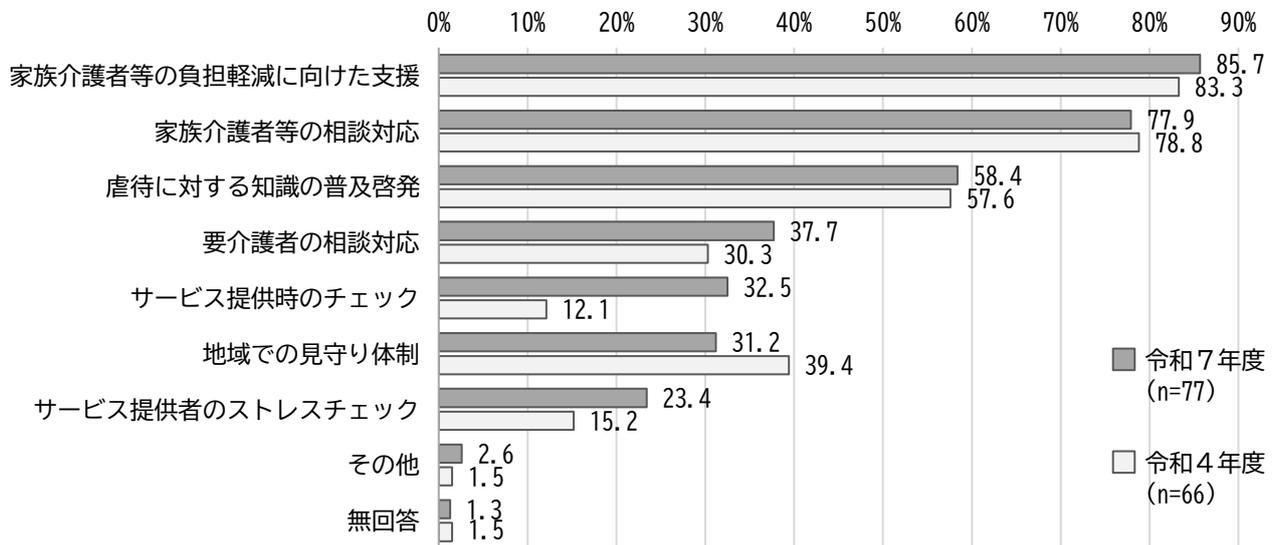
問 38 これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。(複数回答)

「ほかの人から虐待の話を聞いたことがある」が 48.1%で最も高く、次いで、「被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある」が 39.0%、「自分が虐待の場面に遭遇したことがある」が 28.6%となっている。



問 39 専門職の立場からみて、高齢者虐待を未然に防ぐために必要なことは何だとお考えですか。(複数回答)

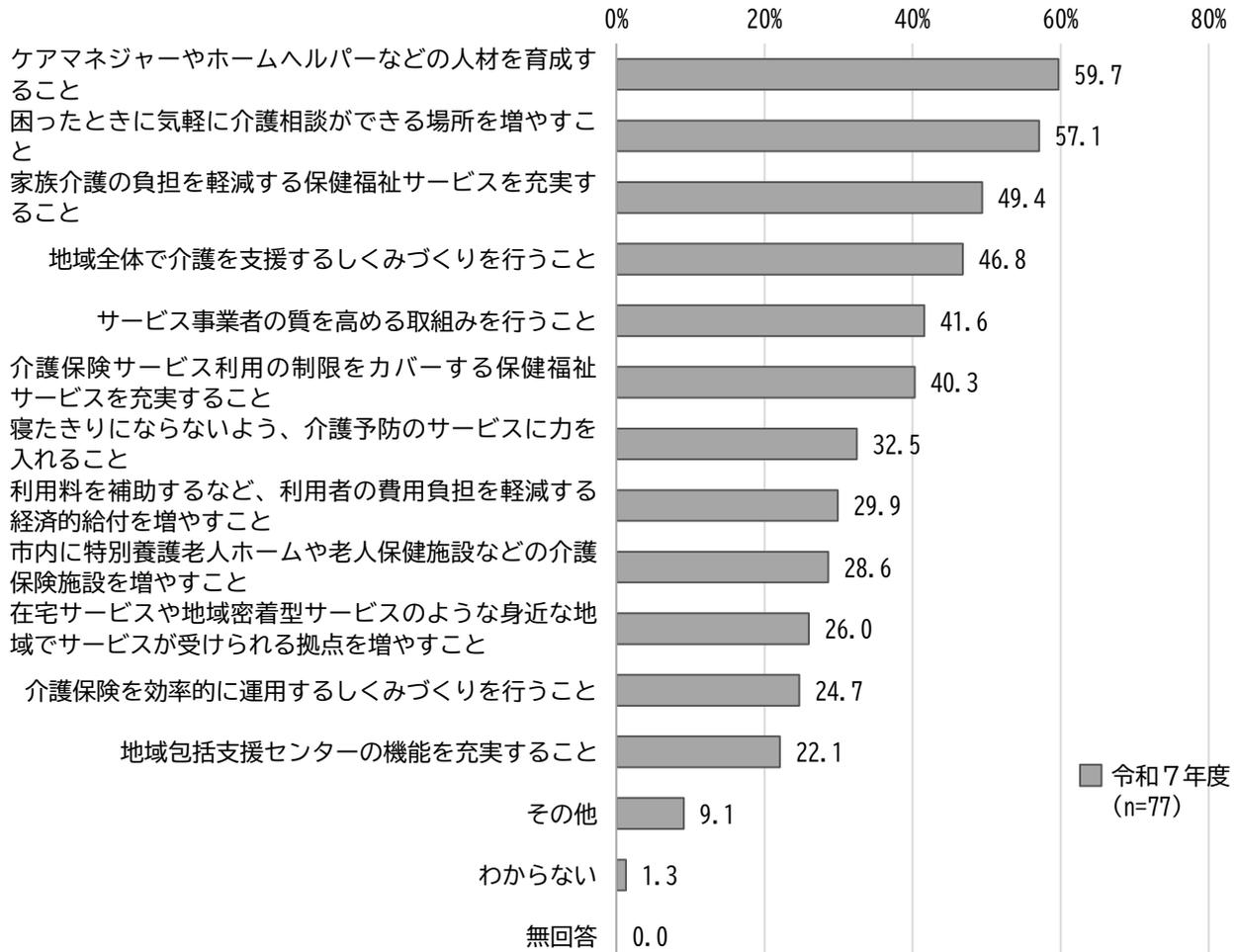
「家族介護者等の負担軽減に向けた支援」が 85.7%で最も高く、次いで、「家族介護者等の相談対応」が 77.9%、「虐待に対する知識の普及啓発」が 58.4%となっている。



12. 今後の介護サービス、高齢者福祉について

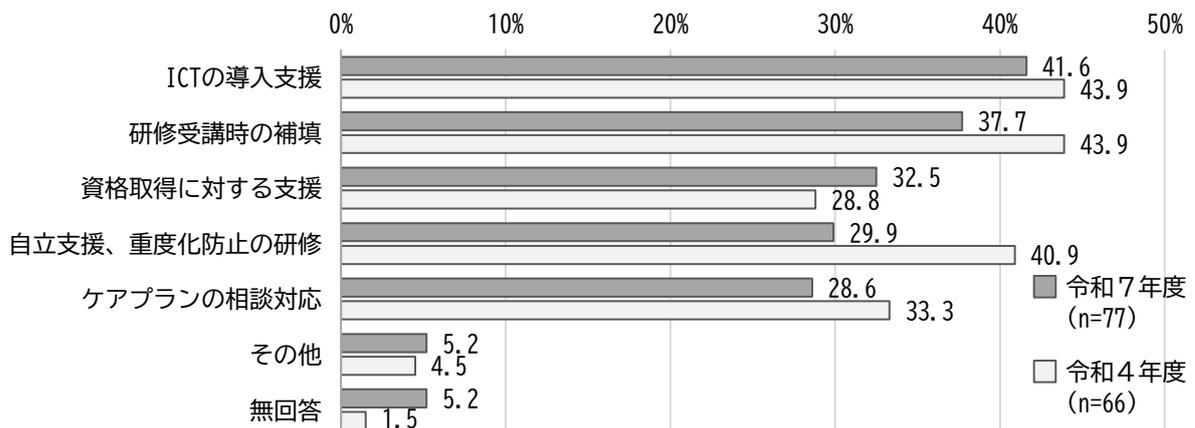
問 40 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。（複数回答）

「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」が 59.7%で最も高く、次いで、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと」が 57.1%、「家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること」が 49.4%となっている。



問 41 今後、ケアマネジャーの人材育成等について、市に支援をしてほしいことはなんですか。（複数回答）

「ICTの導入支援」が 41.6%で最も高く、次いで、「研修受講時の補填」が 37.7%、「資格取得に対する支援」が 32.5%となっている。



問 42 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

※自由回答について内容ごとに分類・整理を行った。主な意見は以下のとおりである。

◆介護保険制度・サービス (8 件)
<p>■ケアマネ事業所の運営・質 (6 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恥ずかしい話ですが、ケアマネ自身が首を絞めていると感じる事はある。また、包括も何でも引き受けるケアマネに集中すると感じてしまう。ケアマネ業務は何かを明確にし、それ以外はどうしたらいいか、などをロールプレイするなどの具体的研修などでケアマネを育て、質を上げる必要を感じている。つまりは、ノーが言えるケアマネになる必要があると思う。 ・ 国の施策としては、介護者への処遇改善は盛んにおこなわれているが、ケアマネの報酬体系に変化あるとは思えず。特定事業所加算を取らない限り、ケアマネ事業所は生き残る事が出来なくなっている。何事にも隙間産業と言うものがあり、これがひとつの砦としての機能を発揮している面が社会にはあると考えている。ここに目が全く向いていない。これらの事は現場に最も近いところで見ている保険者全体が国に働き掛ける等の行動を行っているかどうか？聞きたい。特定事業所加算を取っているのは、所謂大手企業とすれば、当然管理業務専任者がいる筈で、これら企業に何の利益をもたらさない者がせっせと汗水たらして働いているケアマネが稼ぎ、ケアマネ自体の報酬向上につながっているのではあるか…？疑問を持っている。 ・ 生活福祉課の一部の方の利用者や、ケアマネへの対応が、あまりにも理不尽であり、無責任であると感じることがある。自立支援課の対応が、優しくない。専門性を活かし丁寧に説明して下さると有難い。 ・ ケアマネは本当に必要なのかとよく考える。年齢もあり、もう更新はしない(私は)事業所も閉鎖になるかもしれない。小さい事業所では待遇も低く、募集をかけても誰も応募などしてこない。若い人たちがケアマネになりたいと思うだろうか限界がある。 ・ ケアマネの質の向上に資する研修やとりくみ・虐待ケースへの対応強化(保護) ・ 新規依頼の段階で、女性ケアマネを希望されるケースが多い気がします。どうしようもないことですが、男性ケアマネでも可の方が多いと有難いです。 <p>■訪問介護事業の運営・質 (1 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低所得者への支援として、訪問介護利用時の負担を助成するというのもよいのですが、小平市のように通所サービス利用時の食費を助成するというのも、利用者が外に出る機会を増やせそうで、介護予防に資するのではないかと思います。また非課税で負担助成を受けている人の中には資産家の方もいるので、助成の費用がもっと困っている人に有効に使われるとよいと思うことがあります。 <p>■介護保険制度・認定 (1 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険を使用せず、自立して生活している高齢者(後期)に対して介護保険料の還付制度があればいいと思います。
◆行政への意見・提案 (6 件)
<p>■相談窓口の周知・充実 (3 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人生活、キーパーソン、がないのが大変です、生活保護みたいに相談できるような部署が欲しい。 ・ 地域包括の機能をしっかりと果たすように指導してほしい。 ・ ケアマネが制度上の質問をする時に、対応してくれた方によって返答が異なることがあります。利用者の方々へ、公平なサービスを提供できないのは問題かと思うので、CMの相談窓口一本化とかはできないのでしょうか？ <p>■介護人材の育成・処遇改善 (1 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な研修実施 <p>■行政体制・支援強化 (1 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民主体で体操や声掛けなど介護予防への取り組みは今後も必要になるため、自治体のサポートは欠かせません。また独自、自費サービスの需要が高まって来ている中で、包括や事業所任せにしてしまうと進まないため、市としての協力体制や、一部補助等具体的な計画があると良いと思います。 <p>■情報提供・周知の工夫 (1 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度の説明を一般市民を対象に定期的に行って欲しい。
◆生活課題・困りごと (4 件)

■移動に関する支援（2件）

- ・小金井は独特のはけという地形がある為、坂道が多く、移動がとても困難です。シルバーパスを使って動ける人は良いですが、どこへ行くにもタクシーで移動する以外にない方も多いです。自宅から病院まで利用できるタクシー券の補助や以前あった、移動サポート事業が復活してほしいです。
- ・認知症当事者や家族が認知症カフェなどに参加する際の移動手段の検討を行ってほしい。利用料金の補助をしてほしい。お元気サミットなども興味があるが、行くのが大変。との声を聞いたため。他の市町村でも認知症カフェなどの開催に際して、運営費もそうだが、本人たちの移動手段が悩ましいところがあると聞いたため。スタンプラリーのボランティアなども行いたいとおもうが、募集などがされているかがわからない。

■認知症への対応・支援（2件）

- ・認知症で1人暮らしの方で金銭管理ができないことが一番介護サービスの提供にあたり困ります。成年後見制度や家計相談など支援サービスの公的な窓口をなんとか人数を増やして手厚い対応をお願いしたいです。
- ・認知症の方の見守り支援、家族が帰宅するまでの短時間を介護保険以外で手軽に利用できるとよい。

◆在宅生活支援（2件）

■生活支援（2件）

- ・保険者によって取り組みは様々ですが、やはり経済的な面ではオムツの支給対象の幅を拡げてほしい。配食サービスも今回変わりましたが、同居家族が居ると対象にはなれないが、ここも幅を拡げて欲しい。常食が取れない人は多少対象になるなどあると良い。ゴミ出しなども含め、普通の生活を送ることは結構細々として大変な事が多い。移動販売や買い物に行けずに困る場合の日用品以外の大きめの物の購入などネットの出来ない世代は探すだけでも大変。ネット購入できる環境や支援など出来ると良い。
- ・子ども世代の介護者がいないか、介護力がないか、離れて暮らし、独居や高齢者世帯が増えている現状に沿った、高齢福祉サービス制度の見直しを強く希望します。特におむつサービス、徘徊高齢者探索サービス。

◆その他（2件）

■その他（2件）

- ・いつもありがとうございます。
- ・いつも丁寧な窓口対応ありがとうございます。

資料編 アンケート調査票

I. 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

高齢の方のためのアンケート調査にご協力を願いました



市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができることを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。皆さまのご意見やご要望をお伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。

対象者 一般高齢者、支援認定者、総合事業対象者の中から無作為に選ばれた方

回答期間 令和7年11月1日（土）～令和7年11月21日（金）まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

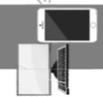
回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。

スマートフォンで右記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

小金井市ホームページからトップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>アンケート（介護予防・日常生活圏域二一ス調査）にご協力ください
<https://www14.webcas.net/form/pub/kmci/koko>

WEB



最初に確認番号 を入力してください。

- ① 調査票に記入し、同封の封筒に入れ、同封の封筒に入れてください。
- ② 切手を貼らずに、ポストに投函してください。

郵送



封筒のあて名ご本人についてご回答ください

調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。



あて名の方が回答できる場合
ご本人が回答してください。



あて名の方の回答が難しい場合
ご家族や周りの方がお手伝いください。
それでも難しい場合は、ご本人の意見を聞いたうえで、代わりにご回答ください。

郵送でご回答の方：回答の記入方法

- この調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。
- あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた方は、()内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないかなることもございません。

個人情報保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。
- 計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。
 (名前や住所など個人が識別される情報の登録は一切いたしません。)



お問い合わせ先
 小金井市 福祉保健部 介護福祉課
 電話：042-387-9822 (直通) FAX：042-384-2524

はじめに、調査の回答者についておたずねします

◆あなた（あて名ご本人）は現在どちらにいらっしゃいますか。（1つに○）

- 1. 自宅
- 3. 病院等に入院している
- 2. 市外に転出
- 4. その他（具体的に：）

「2. 市外に転出」に回答された方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

◆この調査票はどなたにご記入されますか。（1つに○）

- 1. あなた（あて名ご本人）
- 3. 家族や親族
- 2. 地域の協力者
- 4. その他（具体的に：）

あなた（あて名ご本人）のことをおたずねします

F1 あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. そのほか

F2 あなたの年齢は次のどれですか。（1つに○）

※ 令和7年11月1日現在の年齢でお答えください。

- 1. 65～69 歳
- 2. 70～74 歳
- 3. 75～79 歳
- 4. 80～84 歳
- 5. 85～89 歳
- 6. 90～94 歳
- 7. 95 歳以上

F3 お住まいの地区はどこですか。（町名・丁目、それぞれ1つに○）

- 1. 東町
- 3. 関野町
- 5. 中町
- 7. 本町
- 9. 貫井北町
- 2. 梶野町
- 4. 緑町
- 6. 前原町
- 8. 桜町
- 10. 貫井南町

- 1. 1丁目
- 2. 2丁目
- 3. 3丁目
- 4. 4丁目
- 5. 5丁目
- 6. 6丁目

問1 あなたの家族や生活状況について

(1) あなたの家族構成をお教えてください。（1つに○）

- 1. 一人暮らし
- 4. 息子・娘との二世帯
- 2. 夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）
- 5. その他（具体的に：）
- 3. 夫婦二人暮らし（配偶者64歳以下）

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つに○）

- 1. 介護・介助は必要ない
- 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つに○）

- 1. 大変苦しい
- 4. ややゆとりがある
- 2. やや苦しい
- 5. 大変ゆとりがある
- 3. ふつう

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（1つに○）

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つに○）

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていきますか。（1つに○）

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つに○）

- 1. 何度もある
- 2. 1度ある
- 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。（1つに○）

- 1. とても不安である
- 3. あまり不安でない
- 2. やや不安である
- 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。（1つに○）

- 1. ほとんど外出しない
- 3. 週2～4回
- 2. 週1回
- 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つに○）

- 1. とても減っている
- 3. あまり減っていない
- 2. 減っている
- 4. 減っていない

問3 食べることにについて

(1) 身長・体重

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(1つに○)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(4) どなたかと食事をともにする機会はありますか。(1つに○)

1. 毎日ある 4. 年に何度かある
2. 週に何度かある 5. ほとんどない
3. 月に何度かある

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(8) 家族や友人の相談のつていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(9) 趣味はありますか。(1つに○)

1. 趣味あり(具体的には:) 2. 思いつかない

(10) 生きがいはありますか。(1つに○)

1. 生きがいがあり(具体的には:) 2. 思いつかない

(11) スマートフォン(スマホ)、タブレット、パソコンを用いてインターネットを利用していますか。(1つに○)

1. 自分一人である程度利用している 3. 利用していないが興味や必要性を感じている
2. 利用しているが誰かの手助けが必要 4. 利用していないし、不要である

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にとの頻度で参加していますか。(①から⑧についてそれぞれ1つに○)

	週4回以上	週2回~3回	週1回	月1回~3回	年に1回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ さくら体操やサロン等の通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて (あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします)

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)
1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2. 同居の子ども 5. 近隣 (具体的に:)
3. 別居の子ども 6. 友人 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2. 同居の子ども 5. 近隣 (具体的に:)
3. 別居の子ども 6. 友人 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2. 同居の子ども 5. 近隣 (具体的に:)
3. 別居の子ども 6. 友人 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. 配偶者 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 7. その他
2. 同居の子ども 5. 近隣 (具体的に:)
3. 別居の子ども 6. 友人 8. そのような人はいない

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とてもよい 3. あまりよくない
2. まあよい 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(当てはまる点数1つに○)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1点	9点
2点	8点
3点	7点
4点	6点
5点	5点
6点	4点
7点	3点
8点	2点
9点	1点
10点	0点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日吸っている 3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている 4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

1. ない
2. 高血圧 11. 外傷(転倒・骨折等)
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 12. がん(悪性新生物)
4. 心臓病 13. 血液・免疫の病気
5. 糖尿病 14. うつ病
6. 高脂血症(脂質異常) 15. 認知症(アルツハイマー病等)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 16. パーキンソン病
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 17. 目の病気
9. 腎臓・前立腺の病気 18. 耳の病気
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) (具体的に:)

(7) 生活をしていく上で、孤独を感じることがありますか。(1つに○)

1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. ない

(8) あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科」、「かかりつけ薬局」はありますか。(①から③についてそれぞれ1つに○)

	いる	いない
① かかりつけ医	1	2
② かかりつけ歯科医	1	2
③ かかりつけ薬局	1	2

問8 認知症について

(1) あなたは、「認知症」にどの程度関心がありますか。(1つに○)

1. とても関心がある 4. まったく関心がない
2. まあまあ関心がある 5. 初めて聞いた
3. あまり関心がない

(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

1. はい
 2. いいえ
- (3) あなたの身近に認知症の症状がある人がいた場合、実際に困ったことはありますか。(いくつでも○)
1. もの忘れ、物の紛失が増えた
 2. 感情の起伏が激しくなった
 3. 同じ質問を繰り返すようになった
 4. 言葉がでにくくなった
 5. 金銭の管理が困難になった
 6. 整理整頓ができな生活習慣の乱れがみられるようになった
 7. 家族や近隣とのコミュニケーションが取りづらくなった
 8. 外出先から自宅までスムーズに帰宅できなくなった
 9. 介護者の負担が大きくなった
 10. その他()
 11. 特にない

(4) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

※ 認知症に関するご相談は、地域包括支援センターにご相談ください(次ページご参照)。

(5) もし、自分や家族が認知症になったときに、もしくは心配な症状が見られるようになったときに、認知症の対策として必要だと思うことはなんですか。(いくつでも○)

1. 認知症に関する知識を得る機会
2. 地域住民の理解・サポート
3. 認知症のことを相談できる窓口
4. 認知症の方同士での交流の場
5. 家族介護者同士の情報交換や交流の場
6. 自宅でも安心して生活できる訪問支援
7. 認知症の方が安心して入所できる施設や住まい
8. 早期に検診を受診または、医療機関への受診
9. その他(具体的に:)
10. 特にない

(6) 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

1. 内容を含めて知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 知らない

※ 新しい認知症観：認知症になつたら何もできなくなるのではなく、認知症になつてからも、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などをつなかりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考えです。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を目指す「認知症基本法」の基本計画の中で示されました。

(7) 認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて、以下のことが地域において実現できていると思いますか。(いくつでも○)

1. 「新しい認知症観」について理解している
2. 認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること
3. 認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること
4. 認知症の人が地域で役割を果たしていること
5. 認知症の人が自分らしく暮らせること
6. その他()
7. わからない

問9 住まいについて

(1) 今後、介護が必要となった場合に、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。(1つに○)

1. 介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい
 2. 介護サービスを利用しながら、家族(息子娘夫婦など)の家に住みたい
 3. 特別養護老人ホーム(※)に住みたい
 4. グループホーム(※)に住みたい
 5. サービス付き高齢者向け住宅(※)に住みたい
 6. 有料老人ホーム(※)に住みたい
 7. すぐに入居できる施設等に移りたい
- ※ 特別養護老人ホーム：常時介護が必要な高齢者が生活するための施設
 グループホーム：認知症高齢者の方を対象に少人数で共同生活を営む施設
 サービス付き高齢者向け住宅：単身高齢者の方や夫婦世帯の方が状況把握・生活相談サービスを受けながら居住できる賃貸等の住宅
 有料老人ホーム：主に要介護者の方が介護、家事、日常生活支援、機能訓練等のサービスを受けながら居住する施設。介護付や住宅型と呼ばれるタイプがある。

(2) 在宅生活を続けるための高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(1つに○)

1. とても充実している
2. まあまあ充実している
3. あまり充実していない
4. 充実していない
5. わからない

(3) 在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。(いくつでも○)

1. 介護に適した住宅に改修できること
2. 見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること
3. 食事の用意など調理や配食などのサービスがあること
4. 24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること
5. 自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること
6. 自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊できるサービスがあること
7. 介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること
8. その他(具体的に:)

問10 地域包括支援センターについて

(1) あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

※ 地域包括支援センターは、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点です。住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から、高齢者やその家族を支えています。高齢者本人や家族、地域住民、ケアマネジャーなどから受けた悩みや相談を、適切な機関と連携して解決に努めています。

センター名	電話	担当地域
小金井きた	042-388-2440	横野町、開野町、緑町、本町2～3丁目、桜町1・3丁目
小金井ひがし	042-386-6514	東町、中町、本町1丁目
小金井みなみ	042-388-8400	前原町、本町6丁目、真井南町
小金井にし	042-386-7373	本町4～5丁目、桜町2丁目、真井北町

問11 高齢者保健福祉サービス（介護保険外）等について

(1) 市では、介護保険以外にも、様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いませんか。(いくつでも○)

※ サービスの利用に関しては、介護保険の要介護度や、市民税非課税世帯などの利用条件があるものもあります。また、一部利用者負担がある場合があります。

選択肢	サービス名	内容
1.	自立支援日常生活用具給付	虚弱な高齢者の方に、入浴補助用具・手すり等の日常生活用具を給付する
2.	自立支援住宅改修の給付	身体的理由により住宅設備改修が必要と認められる虚弱な方に、浴槽や洗面台の交換、便器の洋式化など改修に要する費用を給付する
3.	寝具乾燥	寝具類等の衛生管理が困難な方の寝具類を月1回、車で回収し、乾燥する
4.	配食サービス	調理が困難な方、食事の自己管理が困難な方等に、夕食を配達する
5.	おむつサービス	在宅でおむつが必要な方を介護している家族の方に、紙おむつ、尿取りパット等を配達する
6.	入浴券給付	ひとり暮らし等の人で自宅に風呂設備のない方に入浴券を配布する
7.	ことがき理容券の給付	市内の協力店で調髪、洗髪等に利用できる割引券を配布する
8.	高齢者福祉電話の貸与	ひとり暮らし等の方に、安否確認、孤独感解消のため電話を貸与する
9.	救急通報システムの貸与	慢性疾患などにより、常時注意を要するひとり暮らし等の高齢者が徘徊してもすぐに見つけられるよう、発信器を貸与する
10.	徘徊高齢者探知機器の貸与	徘徊等の可能性のある高齢者を対象に、個人情報をおさずに家族等へ連絡がとれるIDが記載されたシールを提供する
11.	見守りシール	高齢者が徘徊により、ひとり暮らしの方等の安否確認を行う
12.	ひと声訪問（牛乳の配達）	牛乳等の配達により、ひとり暮らしの方等の安否確認を促す
13.	友愛活動員の訪問	友愛活動員がひとり暮らしの方や日中独居の方を訪問、電話による話し相手になる
14.	特別生活援助	ひとり暮らしの虚弱な方等に、大掃除等のサービスを提供する
15.	家具転倒防止器具等取付け	65歳以上の世帯の方等に、災害から生命及び財産を守るため、家具の転倒防止器具等を取り付ける
16.	利用したいものは特になし	

(2) 配食サービスに望むものは何ですか。(いくつでも○)

1. 栄養バランスのよい食事	5. 食事の量を選べること
2. 配達員による見守り支援	6. 特別食(刻み食など)への対応
3. 希望する時間や曜日に対応できること	7. その他(具体的に:)
4. 献立やメニューが豊富なこと	8. 特になし

介護予防・日常生活圏域二一ス調査 -9-

(3) 小金井市が実施していく理美容サービス事業は次のうちどれが良いと思いますか。(1つに○)

1. 一人暮らし高齢者の方などに理容助成券を市役所でお渡しすることで、市内理美容店や市との間わりを通した見守りを兼ねた理美容サービス
2. 暮たきりなどの状態により外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス
3. その他()
4. 特に必要ない

問12 地域生活について

(1) あなたは、隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(1つに○)

1. 多くの人と親しく付き合っている	3. たまに挨拶や立ち話をする程度
2. 特定のひととは親しくしている	4. ほとんど付き合いはない

(2) あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所(定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所)はありますか。(1つに○)

1. ある	2. ない	3. 居場所は必要としていない
-------	-------	-----------------

(3) 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いませんか。(いくつでも○)

1. 町会・自治会単位で集まれる居場所	5. 健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある居場所
2. 住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる居場所	6. 本、パソコンや将棋用具等の娯楽用具が置いてある居場所
3. 決まった曜日や時間に集まれる居場所	7. 世代間の交流ができる居場所
4. 日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる居場所	8. その他(具体的に:)
	9. 居場所は特に必要ない

(4) もし、あなたがひとり暮らしになった場合(現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として)、どのような「見守り支援」を利用したいと思いませんか。(いくつでも○)

1. 民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる	6. 定期的に配達サービスを提供することで、配達業者が安否確認してくれる
2. 定期的に電話をし、安否確認してくれる	7. 定期的に理容助成券の給付を受けるために、市役所に出向くことで、市職員が安否確認をする
3. 定期的に携帯電話かパソコンにメールが送信され、返信をする	8. 日常的に使う家電等に見守りの装置を器等の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる
4. 救急通報システム(ペンダント型発信器)の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる	9. その他(具体的に:)
5. 定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認してくれる	10. 特になし

介護予防・日常生活圏域二一ス調査 -10-

(5) ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、費用が発生する場合、利用と負担の関係はどうかあるべきだと考えますか。(1つに○)

1. 大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき
2. 利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき
3. 利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき
4. その他 (具体的に：)
5. わからない

(6) ご自身が病氣・老衰などで最期を迎えたとしたらどこで迎えたいですか。(1つに○)

1. 自宅
2. 病院などの医療施設 (具体的に：)
3. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設
4. その他
5. 特に希望はない

(7) ACP(アドバンス・ケア・プランニング) ※という言葉を ご存じですか。(1つに○)

1. 知っていて話し合ったことがある
2. 知っていて話しかけたことはない
3. 聞いたことがあるが内容は知らない
4. 知らない

※ACPとは、病氣や介護が必要になったときに、自分が望む医療や介護について、家族や医療・介護関係者と事前に話し合い、意思を共有しておくプロセスで「人生会議」とも呼ばれています。

(8) どのような終活サポートを受けたいですか。(いくつでも○)

1. 見守りサービス
2. 入退院や施設入所時の身元保証
3. 延命治療・終末期医療の意思の共有
4. 終末期における親戚・知人等連絡先の共有
5. 任意成年後見契約書の保管
6. 葬儀・お墓の準備
7. 遺言書の作成・保管
8. 財産や持ち物の整理
9. 死後の手続き
10. その他 ()
11. 特になし

(9) あなたは成年後見制度※をご存じですか。(1つに○)

1. 内容までよく知っている
2. 内容を少し知っている
3. 聞いたことがあるが内容は知らない
4. 知らない

※成年後見制度とは、認知症や障害のある方が地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用手続きや生活費の管理及び財産管理等を行う制度です。

(10) あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(いくつでも○)

1. 介護の負担
2. 子育ての負担
3. 障がいのある家族のケアの負担
4. 病気の治療
5. 生活の困窮
6. 認知症のある家族の介護や財産管理
7. 医療費や介護費用など経済的なこと
8. 就職困難・就労継続困難
9. 引きこもり・孤立
10. 虐待・家庭内暴力 (DV)
11. その他 (具体的に：)
12. 特になし

(11) あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに (誰に) 相談しますか。(いくつでも○)

1. 家族や親族
2. 友人・知人、近隣の人
3. 市の相談窓口
4. 地域包括支援センター
5. 民生委員・児童委員
6. ケアマネジャー
7. 介護サービス関係者
8. 福祉総合相談窓口
9. 社会福祉協議会 (権利擁護センター)
10. 病院・診療所の医師・看護師など
11. その他 (具体的に：)
12. 相談できる人がいない

問13 就労意向について

(1) あなたは現在、収入のある仕事についていますか。(1つに○)

1. シルバー人材センターの仕事をしている
2. シルバー人材センター以外の仕事についている
3. 仕事をしたいが、からだの具合が悪いので働いていない
4. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない
5. 仕事をすることを意図がないので、働いていない
6. その他 (具体的に：)

(2) 「1. シルバー人材センターの仕事をしている」～「4. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない」と答えた方におたずねします。

(2) あなたは今後、どのようなかたちで働きたいと考えていますか。(1つに○)

1. 自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい
2. 自分の知識や技能をいかした仕事ができれば、収入は少なくてもよい
3. 地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい
4. 自分の知識や技能をいかした活動ができれば、収入は少なくてもよい
5. 地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい
6. その他 (具体的に：)

問14 仕事をすることを理由は何ですか。(1つに○)

1. 生活費を補うため
2. 心身の健康・充実感
3. 地域や社会に貢献したい
4. 人との出会いや会話を楽しみたい
5. 能力の活用・自己表現
6. その他()

(4) 就労につながるためにどのようなサポートを受けたいですか。(いくつでも○)

1. 高齢者向け求人情報の提供
2. 能力向上・学び直し支援
3. 就労相談・キャリア支援
4. 自宅や近所でできる仕事の紹介
5. その他()
6. 特になし

問15 災害対応について

(1) あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。

(いくつでも○)

1. お住まい(家屋)の耐震性のこと
2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと
3. 食料や日用品の備蓄が不十分なこと
4. 避難するか否かの判断が難しいこと
5. 災害時の集合場所や避難所の場所がはっきりわからないこと
6. 避難所での日常生活の困難さのこと
7. 自分が一人で避難することが困難なこと
8. 一人で避難することが困難な同居の家族(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)がいること
9. 自分や家族の健康のこと
10. 医療やお薬のこと
11. 家族の所在や安否確認のこと
12. 飼っているペット(犬、猫等)の避難のこと
13. 災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと
14. その他(具体的に:)
15. 特に心配なことはない

問15 その他・市への要望について

(1) 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを充実すべきだとお考えですか。(いくつでも○)

1. 高齢者の社会参加を推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)
2. 高齢者の就労支援
3. 健康づくり・介護予防事業等の充実
4. 見守りによる地域支援の強化
5. 介護保険サービスを充実すること
6. 配食サービス等の介護保険外の福祉サービスを充実すること
7. 高齢者向け住宅を整備したり、住宅改修を支援すること
8. 特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設の整備
9. 認知症施策の推進
10. 高齢者の尊厳や権利を守る支援
11. 家族介護者への支援
12. 介護人材育成の強化
13. その他(具体的に:)
14. 特になし

(2) 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

(3) あなたは、今後小金井市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

(4) 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたいたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

2 在宅介護実態調査

高齢の方のためのアンケート調査にご協力を願っています



市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。生活に介護が必要な方やその方を主に介護している方の状況を調査し、計画策定にあたって参考にあたいいたします。

対象者 要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請者の中から無作為に選ばれた方

回答期間 令和7年11月1日(土)～令和7年11月21日(金)まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつを選びください。



スマートフォンで右記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

小金井市ホームページからトップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>アンケート(在宅介護実態調査)にご協力ください
<https://www14.webcas.net/form/pub/kmci/koni>

WEB

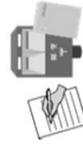


最初に確認番号を入力してください。

① 調査票に記入し、同封の封筒に入れてください。

② 切手を貼らずに、ポストに投入してください。

郵送



お問い合わせ先 小金井市 福祉保健部 介護福祉課
 電話：042-387-9822 (直通) FAX：042-384-2524



II. 在宅介護実態調査

封筒のあて名ご本人についてご回答ください

調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。



あて名の方が回答できる場合

ご本人が回答してください。

※一部、主な介護者についての設問があります。



あて名の方の回答が難しい場合

ご家族や周りの方がお手伝いください。

それでも難しい場合は、ご本人の意見を聞いたうえで、代わりにご回答ください。

郵送でご回答の方：回答の記入方法

○ この調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。

○ あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。

○ 「その他」に○をつけた方は、()内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。

個人情報保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。
- 計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、表紙の確認番号をもとに、あなたのサービス利用の情報等と合わせ、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

(名前や住所など個人が識別される情報の登録は一切いたしません。)

はじめに、調査の回答者についておたずねします

◆あなた（あて名ご本人）は現在どちらにいらっしゃいますか。（1つに○）

1. (2, 3以外の) 自宅
2. サービス付き高齢者向け住宅
(特定施設入居者生活介護ではない)
3. 住宅型有料老人ホーム
4. その他（具体的に：)
5. 病院等に入院している
6. 市外に転出

「5. 病院等に入院している」と「6. 市外に転出」に回答された方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございます。

◆この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

1. あて名ご本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. あて名ご本人のケアマネジャー
5. その他（具体的に：)

F1 あなた（あて名ご本人）の性別はどちらですか。（1つに○）

1. 男性
2. 女性
3. そのほか

F2 あなた（あて名ご本人）の年齢は次のどれですか。（1つに○）

※ 令和7年11月1日現在の年齢でお答えください。

1. 40代
2. 50代
3. 60代
4. 70代
5. 80歳以上
6. わからない

本人の介護の概況についておたずねします

問1 あなたの世帯類型は次のうちどれですか。（1つに○）

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。同居していない子どもや親族等からの介護も入れてお答えください。（1つに○）

1. ない
 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
 3. 週に1～2日ある
 4. 週に3～4日ある
 5. ほぼ毎日ある
- 問8へ

問3 主な介護者の方はどなたですか。（1つに○）

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他（具体的に：)

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。（1つに○）

1. 男性
2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢は次のどれですか。（1つに○）

※ 令和7年11月1日現在の年齢でお答えください。

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等は次のどれですか。（いくつでも○）

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他（具体的に：)
16. わからない

問7 ご家族やご親族の中で、あて名ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや現在の勤務形態は問いません。（いくつでも○）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

ここからは全員の方がお答えください

問8 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか。(いくつでも○)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ(ひと声訪問(牛乳の配達)、緊急通報システム、徘徊探知機の貸与を含む)
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他(具体的に:)
11. 利用していない

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)はどれですか。(いくつでも○)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ(ひと声訪問(牛乳の配達)、緊急通報システム、徘徊探知機の貸与を含む)
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他(具体的に:)
11. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスにも含みます。

問10 現時点での、施設等(※)への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つに○)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※ 施設等とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 あて名ご本人が現在抱えている傷病は次のどれですか。(いくつでも○)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(肩粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他(具体的に:)
15. なし
16. わからない

問12 あて名ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

1. 利用している
2. 利用していない

問14 問13で「2. 利用していない」と答えた方におかがいします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他(具体的に:)

問15 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

1. 内容を含めて知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 知らない

※ 新しい認知症観：認知症になつたら何もできなくなるのではなく、認知症になつてからも、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などどつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を目指す「認知症基本法」の基本計画の中で示されました。

問16 認知症の人と共に生きる地域づくりに向けて、以下のことが地域において実現できていると認めますか。(いくつでも○)

1. 「新しい認知症観」について理解していること
2. 認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていること
3. 認知症の人が自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいること
4. 認知症の人が地域で役割を果たしていること
5. 認知症の人が自分らしく暮らせること
6. その他()
7. わからない

問2で「1.」を選択した(家族・親族の介護がない)方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

(問2で「2.」～「5.」を選択した(家族・親族の介護がある)方)
主な介護者の状況についておたずねします

※ 主な介護者様にごからのご回答をお願いします。
 ※ 主な介護者様のご回答が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答をお願いします。(ご本人様のご回答が難しい場合は、無回答で結構です)。

問17 主な介護者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。(1つに○)
 1. フルタイムで働いている } 問18～問19へ
 2. パートタイム(※)で働いている }
 3. 働いていない } 問20へ
 4. 主な介護者に確認しないとわからない }
 ※パートタイムとは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問17で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と答え
 方におたずねします。
 問18 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等
 をしていますか。(いくつでも○)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、退社・早帰・中抜け等)」しながら働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている
6. 主な介護者に確認しないとわからない

問19 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)
 1. 問題なく、続けていける
 2. 問題はあるが、何とか続けていける
 3. 続けていくのは、やや難しい
 4. 続けていくのは、かなり難しい
 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問20 主な介護者の方に、どのような支援があればよいと思いますか。
 (いくつでも○)

1. 医療関係者の定期的な家庭訪問
2. 家族介護の知識・技術の支援
3. 認知症の知識や介護技術の支援
4. 食事の指導や歯科・口腔ケアの支援
5. 家族介護者のための相談事業・精神的サポート
6. 家族介護者の交流会・レクリエーション
7. 介護事業者やケアマネジャーの紹介
8. 介護保険以外の福祉サービスの紹介
9. その他(具体的に：)

問21 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等
 についてご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。
 (3つまで○)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動(具体的に：)
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. その他
16. 不安に感じていることは特にない
17. 主な介護者に確認しないとわからない

問22 主な介護者の方は、介護に関する相談先はありますか。(1つに○)
 1. ある
 2. ない

※介護についてご相談されたい方は、お近くの地域包括支援センター又は小金井市介護福祉課包括支援係へご連絡ください。

センター名	電話	担当地域
小金井きた	042-388-2440	梶野町、関野町、緑町、本町2～3丁目、桜町1・3丁目
小金井ひがし	042-386-6514	東町、中町、本町1丁目
小金井みなみ	042-388-8400	前原町、本町6丁目、貫井南町
小金井にし	042-386-7373	本町4～5丁目、桜町2丁目、貫井北町
介護福祉課包括支援係	042-387-9845	市全域

——ご協力ありがとうございました——

3 介護保険サービス利用意向調査

高齢の方のためのアンケート調査にご協力をお願いいたします



市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。介護保険サービスの利用状況や利用意向を調べるとともに、皆さまのご意見やご要望をお伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。

対象者 要介護認定を受けている方の中から無作為に選ばれた方

回答期間 令和7年11月1日(土)～令和7年11月21日(金)まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。

WEB

郵送

スマートフォンで右記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

小金井市ホームページからトップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>アンケート(介護保険サービス利用意向調査)にご協力ください

<https://www14.webcas.net/form/pub/kmci/koza>

最初に確認番号を入力してください。

お問い合わせ先

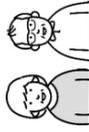
小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822(直通) FAX：042-384-2524



封筒のあて名ご本人についてご回答ください

調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。



あて名の方が回答できる場合
ご本人が回答してください。



あて名の方の回答が難しい場合

ご家族や周りの方がお手伝いください。
それでも難しい場合は、ご本人の意見を聞いたうえで、代わりにご回答ください。

郵送でご回答の方：回答の記入方法

- この調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。
- あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた方は、() 内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。

個人情報保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。
(名前や住所など個人が識別される情報の登録は一切いたしません。)

はじめに、調査の回答者についておたずねします

◆ あなた（あて名ご本人）は現在どちらにいらっしゃいますか。（1つに○）

- 1. 自宅
- 2. 市外に転出
- 3. 病院等に入院している
- 4. その他（具体的に：）

「2. 市外に転出」に回答された方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

◆ この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

- 1. あなた（あて名ご本人）
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. あて名ご本人のケアマネジャー
- 5. その他（具体的に：）

あなた（あて名ご本人）のことをおたずねします

F1 あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. そのほか

F2 あなたの年齢は次のどれですか。（1つに○）

※ 令和7年11月1日現在の年齢でお答えください。

- 1. 65～69 歳
- 2. 70～74 歳
- 3. 75～79 歳
- 4. 80～84 歳
- 5. 85～89 歳
- 6. 90～94 歳
- 7. 95 歳以上

F3 あなたの家族構成をお教えください。（1つに○）

- 1. 一人暮らし
- 2. 夫婦二人暮らし（配偶者64歳以下）
- 3. 夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）
- 4. 息子・娘との二世帯
- 5. その他（具体的に：）

F4 ご家族やご親族の中で、主な介護者の方はどなたですか。（1つに○）

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他（具体的に：）

介護保険サービス利用意向調査-1-

健康の状況等についておたずねします

問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気がありますか。（いくつでも○）

- 1. ない
- 2. 高血圧
- 3. 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）
- 4. 心臓病
- 5. 糖尿病
- 6. 高脂血症（脂質異常）
- 7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
- 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9. 腎臓・前立腺の病気
- 10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）（具体的に：）
- 11. 外傷（転倒・骨折等）
- 12. がん（悪性新生物）
- 13. 血液・免疫の病気
- 14. うつ病
- 15. 認知症（アルツハイマー病等）
- 16. パーキンソン病
- 17. 目の病気
- 18. 耳の病気
- 19. その他

問2 あなたは、現在の程度幸せですか。（当てはまる点数1つに○）
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

- とても不幸
- 0点
- 1点
- 2点
- 3点
- 4点
- 5点
- 6点
- 7点
- 8点
- 9点
- 10点
- とても幸せ

問3 生活をいく上で、孤独を感じることがありますか。（1つに○）

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ない

介護保険サービスの利用についておたずねします

問4 あなたの要介護度は次のうちどれですか。（1つに○）

※ 現在の要介護度でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、わかっている介護度でお答えください。

- 1. 要介護 1
- 2. 要介護 2
- 3. 要介護 3
- 4. 要介護 4
- 5. 要介護 5

問5 最初の要介護の認定を受けてから、どの程度の期間が経過していますか。（1つに○）

- 1. 6か月未満
- 2. 6か月～1年未満
- 3. 1年～2年未満
- 4. 2年～3年未満
- 5. 3年～5年未満
- 6. 5年以上

介護保険サービス利用意向調査-2-

問6 あなたは、現在（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用されていますか。（1つに○）

1. 利用している 2. 利用していない

問6-1 問6で「2. 利用していない」と答えた方におたずねします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（具体的に： ）

介護保険についておたずねします

問7 あなたは、次のサービスについて入所申請はしていますか。（いくつでも○）

選択肢	施設等名	内容
1.	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	常時介護が必要な高齢者が生活するための施設
2.	介護老人保健施設（老人保健施設）	在宅復帰を目的としたリハビリを行う施設
3.	介護医療院	要介護の高齢者に、医療と介護の両方を提供する施設
4.	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	認知症高齢者の方を対象に少人数で共同生活を営む施設
5.	特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）	主に要介護者の方が介護、家事、日常生活支援、機能訓練等のサービスを受けながら居住する施設

問8 次のような地域密着型サービス（※）を知っていますか、また、利用したいと思えますか。（いくつでも○）

※ 地域密着型サービスは、出来る限り住み慣れた地域での生活が継続できるように創設されたサービス体系です。

知っている	利用したい	サービス名	内容
1.	1.	地域密着型通所介護	利用定員18人以下の小規模な事業所で、施設に通い入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練等の日帰りサービスを提供する
2.	2.	夜間対応型訪問介護	夜間の定期巡回と利用者からの通報により随時対応する訪問介護を組み合わせ24時間サービスを提供する
3.	3.	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、定期巡回と利用者からの通報により随時対応する訪問介護と訪問看護を組み合わせ24時間サービスを提供する
4.	4.	認知症対応型通所介護	認知症の居宅要介護者を対象とした通所介護サービスを提供する
5.	5.	小規模多機能型居宅介護	「通い」を中心として、要介護者の状態から、随時「訪問」や「泊り」を組み合わせサービスを提供する
6.	6.	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域のなかで中程度の認知症高齢者が少数の家庭的な環境の中で暮らす介護を提供する
7.	7.	看護小規模多機能型居宅介護	「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせたサービス。要介護度が高く医療的ケアが必要な方が自宅で暮らせるようにする

地域生活についておたずねします

問9 あなたは隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。（1つに○）

1. 多くの人と親しく付き合っている
2. 特定の人は親しくしている
3. たまに挨拶や立ち話をする程度である
4. ほとんど付き合いはない

問10 あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。（1つに○）

1. ある
2. ない
3. 居場所は必要としていない

問11 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思えますか。（いくつでも○）

1. 町内会・自治会単位で集まれる
2. 住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる
3. 決まった曜日や時間に集まれる
4. 日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる
5. 健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある
6. 本、パソコンや将棋用具等の娯楽用具が置いてある
7. 世代間の交流ができる
8. その他（具体的に： ）
9. 特に必要ない

問17 あなたの世帯において、介護や子育てによる負担、生活困窮といった困りごとはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 介護の負担 | 7. 医療費や介護費用など経済的なこと |
| 2. 子育ての負担 | 8. 就職困難・就労継続困難 |
| 3. 障がいのある家族のケアの負担 | 9. 引きこもり・孤立 |
| 4. 病気の治療 | 10. 虐待・家庭内暴力 (DV) |
| 5. 生活の困窮 | 11. その他 (具体的に:) |
| 6. 認知症のある家族の介護や財産管理 | 12. 特になし |

問18 あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに (誰に) 相談しますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 家族や親族 | 7. 介護サービス関係者 |
| 2. 友人・知人、近隣の人 | 8. 福祉総合相談窓口 |
| 3. 市の相談窓口 | 9. 社会福祉協議会 (権利擁護センター) |
| 4. 地域包括支援センター | 10. 病院・診療所の医師・看護師など |
| 5. 民生委員・児童委員 | 11. その他 (具体的に:) |
| 6. ケアマネジャー | 12. 相談できる人がいない |

住まいについておたずねします

問19 今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。(1つに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 介護サービスを利用しながら、現在の自宅に住みたい |
| 2. 介護サービスを利用しながら、家族 (息子娘夫婦など) の家に住みたい |
| 3. 特別養護老人ホームに住みたい |
| 4. グループホームに住みたい |
| 5. サービス付き高齢者向け住宅に住みたい |
| 6. 有料老人ホームに住みたい |
| 7. すぐに入居できる施設等に移りたい |

問20 在宅生活を続けるにあたり高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. とても充実している | 4. 充実していない |
| 2. まあまあ充実している | 5. わからない |
| 3. あまり充実していない | |

問12 ACP(アドバンス・ケア・プランニング) ※という言葉を ご存じですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 知っていて話し合ったことがある | 3. 聞いたことがあるが内容は知らない |
| 2. 知っているが話し合ったことはない | 4. 知らない |

※ACPとは、病气や介護が必要になったときに、自分が望む医療や介護について、家族や医療・介護関係者と事前に話し合い、意思を共有しておくプロセスで「人生会議」とも呼ばれています。

問13 どのような終活サポートを受けたいですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 見守りサービス | 6. 葬儀・お墓の準備 |
| 2. 入退院や施設入所時の身元保証 | 7. 遺言書の作成・保管 |
| 3. 延命治療・終末期医療の意思の共有 | 8. 財産や持ち物の整理 |
| 4. 終末期における親戚・知人等連絡先の共有 | 9. 死後の手続き |
| 5. 任意成年後見契約書の保管 | 10. その他 () |
| | 11. 特になし |

問14 あなたは成年後見制度※をご存じですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 内容までよく知っている | 3. 聞いたことがあるが内容は知らない |
| 2. 内容を少し知っている | 4. 知らない |

※成年後見制度とは、認知症や障害のある方が地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用手続きや生活費の管理及び財産管理等を行う制度です。

問15 もし、あなたがひとり暮らしになった場合 (現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として)、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。(いくつでも○)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 民生委員やボランティア等が定期的 | 6. 定期的に配達サービスを提供すること |
| 2. 定期的に電話をし、安否確認をしてくれる | 7. 定期的に理容助成券の給付を受ける |
| 3. 定期的に携帯電話がパソコンにメールが送信され、返信をする | 8. 日常的に使う家電等に見守りの装置 |
| 4. 救急通報システム(ペンダント型発信器等)の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置して | 9. その他 |
| 5. 定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認をしてくれる | 10. 特になし |

問16 ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、費用が発生する場合は、利用と負担の関係はどうかと考えますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき |
| 2. 利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき |
| 3. 利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき |
| 4. その他 (具体的に:) |
| 5. わからない |

問21 在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。(いくつでも○)

1. 介護に適した住宅に改修できること
2. 見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること
3. 食事の用意など調理や配食などのサービスがあること
4. 24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること
5. 自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること
6. 自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊することができるサービスがあること
7. 介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること
8. その他(具体的に：)

地域包括支援センターについておたずねします

問22 あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

※ 地域包括支援センターは、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点です。住みなれた地域で安心して暮らしていただけるように、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から、高齢者やその家族を支えています。高齢者本人や家族、地域住民、ケアマネジャーなどから受けた悩みや相談を、適切な機関と連携して解決に努めています。

センター名	電話	担当地域
小金井きた	042-388-2440	梶野町、関野町、緑町、本町2～3丁目、桜町1・3丁目
小金井ひがし	042-386-6514	東町、中町、本町1丁目
小金井みなみ	042-388-8400	前原町、本町6丁目、鷹井南町
小金井にし	042-386-7373	本町4～5丁目、桜町2丁目、貫井北町

高齢者保健福祉サービス(介護保険外)についておたずねします

問23 市では介護保険以外にも、さまざまな高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。(いくつでも○)

※ サービスの利用に関しては、介護保険の要介護度や、市民税非課税世帯などの利用条件があるものもあります。また、一部利用者負担がある場合があります。

選択肢	サービス名	内容
1.	自立支援日常生活用具給付	虚弱な高齢者の方に、入浴補助用具・手すり等の日常生活用具を給付する
2.	自立支援住宅改修の給付	身体的理由により住宅設備改修が必要と認められる虚弱な方に、浴槽や洗面台の交換、便器の洋式化など改修に要する費用を給付する
3.	寝具乾燥	寝具類等の衛生管理が困難な方の寝具類を月1回、車で回収し、乾燥する

介護保険サービス利用意向調査-7-

選択肢	サービス名	内容
4.	配食サービス	調理が困難な方、食事の自己管理が困難な方等に、夕食を配食する
5.	おむつサービス	在宅でおむつが必要な方を介護している家族の方に、紙おむつ、尿取りパット等を配達する
6.	入浴券給付	ひとり暮らし等の人で自宅に風呂設備のない方に入浴券を配布する
7.	ことぶき理容券の給付	市内の協力店で調髪、洗髪等に利用できる割引券を配布する
8.	高齢者福祉電話の貸与	ひとり暮らし等の方に、安否確認、孤独感解消のため電話を貸与する
9.	救急通報システムの貸与	慢性疾患などにより、常時注意を要するひとり暮らし等の方に貸与する
10.	徘徊高齢者探知機器の貸与	高齢者が徘徊してもすぐに見つけられるよう、発信器を貸与する
11.	見守りシール	徘徊等の可能性のある高齢者を対象に、個人情報を紹介ごとに家族等へ連絡がとれるIDが記載されたシールを提供する
12.	ひと声訪問(牛乳の配達)	牛乳等の配達により、ひとり暮らしの方等の安否確認を行う
13.	友愛活動員の訪問	友愛活動員がひとり暮らしの方や日中独居の方を訪問、電話による話し相手になる
14.	特別生活援助	ひとり暮らしの虚弱な方等に、大掃除等のサービスを提供する
15.	家具転倒防止器具等取付け	65歳以上の世帯の方等に、災害から生命及び財産を守るため、家具の転倒防止器具等を取り付ける
16.	利用したいものは特になし	

問24 配食サービスに望むものは何ですか。(いくつでも○)

1. 栄養バランスのよい食事
2. 配達員による見守り支援
3. 希望する時間や曜日に対応できること
4. 献立やメニューが豊富なこと
5. 食事の量を運べること
6. 特別食(刻み食など)への対応
7. その他(具体的に：)
8. 特になし

問25 小金井市が実施していく理美容サービス事業は次のうちどれが良いと思いますか。(1つに○)

1. 一人暮らし高齢者の方などに理容助成券を市役所でお渡しすることで、市内理美容店や市との関わりを通じた見守りを兼ねた理美容サービス
2. 寝たきりなどの状態により外出が困難な方のご自宅で調髪、洗髪等を行う理美容サービス
3. その他()
4. 特に必要ない

介護保険サービス利用意向調査-8-

災害時のことについておたずねします

問26 あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ことがありますか。
(いくつでも○)

1. お住まい(家屋)の耐震性のこと
2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと
3. 食料や日用品の備蓄が不十分なこと
4. 避難するか否かの判断が難しいこと
5. 災害時の集合場所や避難所の場所がはつきりわからないこと
6. 避難所での日常生活の困難さのこと
7. 自分が一人で避難することが困難なこと
8. 一人で避難することが困難な同居の家族(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)がいること
9. 自分や家族の健康のこと
10. 医療やお薬のこと
11. 家族の所在や安否確認のこと
12. 飼っているペット(犬、猫等)の避難のこと
13. 災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと
14. その他(具体的に：)
15. 特に心配なことはない

その他・市への要望についておたずねします

問27 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを充実すべきだとお考えですか。(いくつでも○)

1. 高齢者の社会参加を推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)
2. 高齢者の就労支援
3. 健康づくり・介護予防事業等の充実
4. 見守りによる地域支援の強化
5. 介護保険サービスを充実すること
6. 配食サービス等の介護保険外の福祉サービスを充実すること
7. 高齢者向け住宅を整備したり、住宅改修を支援すること
8. 特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設の整備
9. 認知症施策の推進
10. 高齢者の尊厳や権利を守る支援
11. 家族介護者への支援
12. 介護人材育成の強化
13. その他(具体的に：)
14. 特にならない

問28 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(いくつでも○)

1. サービス事業者の質を高める取組みを行うこと
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
6. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
7. 在宅サービスや地域密着型サービスのようないきいきな地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
8. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
9. 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること
10. 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと
11. 地域包括支援センターの機能を充実すること
12. 介護保険サービス利用の制限をカバールする保健福祉サービスを充実すること
13. その他(具体的に：)
14. わからない

問29 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問30 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問31 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

4 介護施設等サービス利用者調査

高齢の方のためのアンケート調査にご協力を願っています



市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができることを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護施設等計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえで重要な調査です。介護施設等の利用状況を調べるとともに、皆さまのご意見やご要望を伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。

対象者 介護保険施設サービス等を利用していらっしゃる要介護認定者の中から無作為に選ばれた方

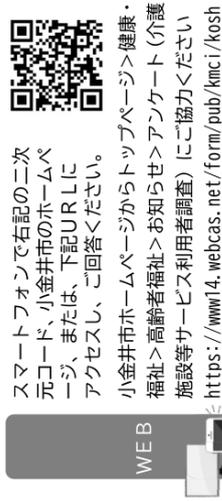
回答期間

令和7年11月1日(土)～令和7年11月21日(金)まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。



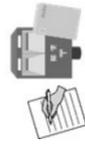
スマートフォンで右記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

小金井市ホームページからトップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>アンケート(介護施設等サービス利用者調査)にご協力ください
<https://www14.webcas.net/form/pub/kmci/kosh>

最初に確認番号 を入力してください。

- ① 調査票に記入し、同封の封筒に入れてください。
- ② 切手を貼らずに、ポストに投函してください。

郵送



お問い合わせ先

小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822 (直通) FAX：042-384-2524



封筒のあて名ご本人についてご回答ください

調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。



あて名の方が回答できる場合
ご本人が回答してください。



あて名の方の回答が難しい場合

ご家族や周りの方がお手伝いください。
それでも難しい場合は、ご本人の意見を聞いたうえで、代わりにご回答ください。

郵送でご回答の方：回答の記入方法

- この調査票には、お名前等を記入しないでください。
- あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた方は、() 内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。

個人情報保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。
(名前など個人が識別される情報の登録は一切いたしません。)

はじめに、調査の回答者についておたずねします

- ◆ 入所（入居）されている施設等の種類について、あてはまる番号に○をつけてください。（1つに○）

1. 特別養護老人ホーム	4. 有料老人ホーム（特定施設）
2. 介護老人保健施設	5. 認知症グループホーム
3. 介護医療院	

- ◆ 何らかの事情により回答できない場合は、その理由にあてはまる番号に○をつけてください。（1つに○）

1. 退所（居）・退院	3. 家族の意向
2. ご本人の意向	4. その他（具体的に：）

↑
上記に○をされた方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございます。

- ◆ この調査票はあなたがご記入されますが、ご本人による記入が難しい場合は、（あて名ご本人の意思の確認はできるが、ご本人による記入が難しい場合は、代筆でも構いません。）

1. あなた（あて名ご本人）	
2. 主な介護者となっている家族・親族	
3. 主な介護者以外の家族・親族	
4. あて名ご本人のケアマネジャー	
5. その他（具体的に：）	

あなた（あて名ご本人）のことをおたずねします

- F1 あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

1. 男性	2. 女性	3. そのほか
-------	-------	---------

- F2 あなたの年齢は次のどれですか。（1つに○）

※ 令和7年11月1日現在の年齢でお答えください。

1. 65～69歳	5. 85～89歳
2. 70～74歳	6. 90～94歳
3. 75～79歳	7. 95歳以上
4. 80～84歳	

- F3 施設等に入所（入居）されてどのくらいですか。（1つに○）

1. 6か月以内	4. 2年以上3年未満
2. 6か月以上1年未満	5. 3年以上5年未満
3. 1年以上2年未満	6. 5年以上

施設サービス利用者調査-1-

- F4 入所（入居）する前に同居（※）していた方はどなたですか。（いくつでも○）

※ 2世帯住宅は同居としてお答えください。

※ 配偶者の親族を含めてお答えください。

1. 一人暮らし	4. 息子・娘との二世帯
2. 夫婦二人暮らし（配偶者64歳以下）	5. その他（具体的に：）
3. 夫婦二人暮らし（配偶者65歳以上）	

医療の状況についておたずねします

- 問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気がありますか。（いくつでも○）

1. ない	11. 外傷（転倒・骨折等）
2. 高血圧	12. がん（悪性新生物）
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症（アルツハイマー病等）
6. 高脂血症（脂質異常）	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	（具体的に：）

現在の施設等に入所（入居）されるまでのことについておたずねします

- 問2 現在入所（入居）している施設等の種類は、希望していたものですか。（1つに○）

1. 希望していたものである
2. 当初希望していたものではないが、入所（入居）している
3. 希望していたものではなく、次の施設等が空くのを待っている

- 問3 あなたが、現在の施設等へ入所（入居）が必要になったら（または希望してから）、現在の施設等に入所（入居）されるまでの期間はどれくらいでしたか。（1つに○）

1. 6か月未満	5. 3年以上5年未満
2. 6か月以上1年未満	6. 5年以上
3. 1年以上2年未満	7. その他（具体的に：）
4. 2年以上3年未満	

施設サービス利用者調査-2-

問4 現在の施設に入所(入居)される直前の住まい・施設はどこでしたか。(1つに○)

1. 病院
2. 自宅
3. 子どもの家
4. 兄弟・姉妹など親族の家
5. 介護老人保健施設
6. 認知症高齢者グループホーム
7. 有料老人ホーム
8. 特別養護老人ホーム
9. サービス付き高齢者向け住宅
10. その他(具体的に:)

施設等での生活やサービスについておたずねします

問5 現在入所(入居)中のあなたの部屋の種類についてお答えください。(1つに○)

1. 個室
2. 相部屋

問6 あなたは今後、どのような部屋で生活したいですか。(1つに○)

1. 経済的負担に関係なく個室がよい
2. 経済的負担が比較的少ない部屋がよい
3. 経済的負担に関係なく相部屋がよい
4. どちらでもよい

問7 施設等で生活するために必要になるサービスなどについて、詳しく説明が行われましたか。(1つに○)

1. 十分説明を受けた
2. 少し説明を受けた
3. あまり説明されなかった
4. 説明されなかった
5. 覚えていない・わからない

問8 施設等から、心身の状態に応じたサービスの提案がありますか。(1つに○)

1. たびたび提案がある
2. 1、2度あった
3. 提案はない
4. わからない

問9 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(当てはまる点数1つに○)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-------|
| とても不幸 | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | とても幸せ |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-------|

介護保険についておたずねします

問10 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)

1. 要介護1
2. 要介護2
3. 要介護3
4. 要介護4
5. 要介護5

※ 現在の要介護度でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、わかっている介護度でお答えください。

問11 施設利用料(介護サービス費・食費・居住費等)について、どのようにお考えですか。(1つに○)

1. 特に負担とは思わない
2. 概ね妥当な額だと思う
3. これくらいの負担はやむをえない
4. 今の負担では苦しい
5. わからない

問12 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(いくつでも○)

1. サービス事業者の質を高める取組みを行うこと
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
6. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
7. 在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
8. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
9. 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること
10. 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと
11. 地域包括支援センターの機能を充実すること
12. 介護保険サービスの利用の制限をカバする保健福祉サービスを充実すること
13. その他(具体的に:)
14. わからない

高齢者の権利についておたずねします

問13 あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 家族や親族 | 7. 介護サービス関係者 |
| 2. 友人・知人、近隣の人 | 8. 福祉総合相談窓口 |
| 3. 市の相談窓口 | 9. 社会福祉協議会（権利擁護センター） |
| 4. 地域包括支援センター | 10. 病院・診療所の医師・看護師など |
| 5. 民生委員・児童委員 | 11. その他（具体的に：) |
| 6. ケアマネジャー | 12. 相談できる人がいない |

問14 あなたは成年後見制度※をご存じですか。（1つに○）

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 内容までよく知っている | 3. 聞いたことがあるが内容は知らない |
| 2. 内容を少し知っている | 4. 知らない |

※成年後見制度とは、認知症や障害のある方が地域で自立した生活を送れるよう福祉サービスの利用手続きや生活費の管理及び財産管理等を行う制度です。

その他・市への要望についておたずねします

問15 小金井市では、「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もがいきいきと暮らすことのできるまち」だと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問16 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない |

問17 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

5 介護保険サービス提供事業者調査

高齢の方のためのアンケート調査にご協力を願います



事業者の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。事業者の皆様さまの状況を調べるとともに、皆さまのご意見やご要望をお伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。原則として、事業所全体の状況を把握している方（管理者等）がご回答ください。

対象者

居宅介護支援事業所、介護予防支援事業所、居宅介護・介護予防事業所、施設サービス事業所の中から無作為に選ばれた事業所

回答期間

令和7年11月1日（土）～令和7年11月21日（金）まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。

WEB

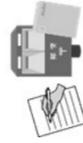
スマートフォンで右記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

小金井市ホームページからトップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>アンケート(介護保険サービス提供事業者調査)にご協力ください

<https://www14.webcas.net/form/pub/kmci/koce>

① 調査票に記入し、同封の封筒に入れてください。

② 切手を貼らずに、ポストに投函してください。



郵送

最初に確認番号

を入力してください。

お問い合わせ先

小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822（直通） FAX：042-384-2524



V. 介護保険サービス提供事業者調査

郵送でご回答の方へ：回答の記入方法

- あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた方は、() 内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。

個人情報保護の目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。

貴事業所についてお教えください。(1つに○)

- 問1 組織形態についてお教えください。(1つに○)
- 1. 社会福祉法人
 - 2. 社会福祉協議会
 - 3. 福祉公社・事業団
 - 4. (公益) 社団法人
 - 5. (公益) 財団法人
 - 6. 医療法人
 - 7. JA・生協
 - 8. 株式会社
 - 9. 有限会社
 - 10. NPO法人
 - 11. その他 (具体的に:)

問2 活動状況についてお教えください。

貴事業所の種類 (1つに○)	併設する事業所の種類 (いくつでも○)
1. 地域包括支援センター	1. 地域包括支援センター
2. 居宅介護支援	2. 居宅介護支援
3. 訪問介護	3. 訪問介護
4. (地域密着型) 通所介護	4. (地域密着型) 通所介護
5. (介護予防)訪問入浴介護	5. (介護予防)訪問入浴介護
6. (介護予防)訪問看護	6. (介護予防)訪問看護
7. (介護予防)訪問リハビリ	7. (介護予防)訪問リハビリ
8. (介護予防)通所リハビリ	8. (介護予防)通所リハビリ
9. (介護予防)居宅療養管理指導	9. (介護予防)居宅療養管理指導
10. (介護予防)住宅改修・福祉用具	10. (介護予防)住宅改修・福祉用具
11. (介護予防)短期入所生活・療養介護	11. (介護予防)短期入所生活・療養介護
12. 介護老人福祉施設	12. 介護老人福祉施設
13. 介護老人保健施設	13. 介護老人保健施設
14. 介護医療院	14. 介護医療院
15. (介護予防)特定施設入居者生活介護	15. (介護予防)特定施設入居者生活介護
16. (介護予防)小規模多機能型居宅介護	16. (介護予防)小規模多機能型居宅介護
17. 看護小規模多機能型居宅介護	17. 看護小規模多機能型居宅介護
18. 夜間対応型訪問介護	18. 夜間対応型訪問介護
19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
20. (介護予防)認知症対応型通所介護	20. (介護予防)認知症対応型通所介護
21. (介護予防)認知症対応型共同生活介護	21. (介護予防)認知症対応型共同生活介護
22. 地域密着型特定施設入居者生活介護	22. 地域密着型特定施設入居者生活介護
23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	23. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
24. 総合事業訪問型サービス (現行相当)	24. 総合事業訪問型サービス (現行相当)
25. 総合事業訪問型サービス (市基準)	25. 総合事業訪問型サービス (市基準)
26. 総合事業通所型サービス (現行相当)	26. 総合事業通所型サービス (現行相当)
27. 総合事業通所型サービス (市基準)	27. 総合事業通所型サービス (市基準)
28. 特になし	28. 特になし

介護保険外サービスについておたずねします

- 問3 貴事業所では、介護保険以外のサービスを提供していますか。(1つに○)
- 1. 提供している
 - 2. 提供していない

- 問3-1 問3で「1. 提供している」と答えた事業所におたずねします。具体的なサービス内容を記入してください。(いくつでも○)
- 1. 買い物代行/同行
 - 2. 居住環境の整理整頓 (片付け支援)
 - 3. 外出・通院付き添い
 - 4. 買い物・役所などの付き添い
 - 5. 見守り (訪問・電話)
 - 6. 趣味活動支援 (音楽・園芸等)
 - 7. 住宅の軽微な修繕や改修
 - 8. 家族への介護相談支援
 - 9. 理美容
 - 10. その他 (具体的に:)

- 問4 今後は介護保険外サービスの実施、またはその事業について拡充の予定がありますか。(1つに○)
- 1. 予定がある
 - 2. 検討中
 - 3. ない
 - 4. まだわからない

- 問4-1 問4で「1. 予定がある」「2. 検討中」と答えた事業所におたずねします。具体的なサービス内容を記入してください。(いくつでも○)
- 1. 買い物代行/同行
 - 2. 居住環境の整理整頓 (片付け支援)
 - 3. 外出・通院付き添い
 - 4. 買い物・役所などの付き添い
 - 5. 見守り (訪問・電話)
 - 6. 趣味活動支援 (音楽・園芸等)
 - 7. 住宅の軽微な修繕や改修
 - 8. 家族への介護相談支援
 - 9. 理美容
 - 10. その他 (具体的に:)

サービスの向上に向けた取り組みをおたずねします

問5 現在、貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。

(いくつでもO)

1. 第三者評価の実施
2. 専門家、コンサルタントの活用
3. ISO等品質管理に関する認証取得
4. 苦情事例等の活用・蓄積
5. 事業所内での検討会
6. 手引書の作成と見直し
7. 外部研修会への出席
8. 人材の確保
9. スタッフの資格取得への支援
10. 事業者間の交流
11. 事業者連絡会への出席
12. 利用者調査の実施
13. 介護情報の公表
14. 職員の処遇改善
15. その他(具体的に:)

問5-1 問5で「1. 第三者評価の実施」を選択しなかった事業所におたずねします。今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つにO)

1. 実施の予定がある
2. 実施の予定はない

問5-2 問5-1で「2. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。

その主な理由は次のうちどれですか。(1つにO)

1. 費用がかかりすぎるから
2. メリットがわからないから
3. 評価機関の選び方がわからないから
4. サービスの改善に結びつかかわからないから
5. その他(具体的に:)

事業運営についておたずねします

問6 直前の決算年度の事業の採算はいかがでしたか。差し支えなければお答えください。(1つにO)

1. 黒字
2. 赤字
3. 損益なし

問7 貴事業所では、今後3年のうちに介護保険サービスの事業規模についてどのように考えますか。(1つにO)

1. 拡大予定
2. 現状維持
3. 縮小予定
4. 検討中・わからない(予測がつかない)

問8 労働環境整備のためにどのような取組みが必要だと思いますか。(いくつでもO)

1. 福利厚生の充実
2. 柔軟な働き方の促進(子育て支援、ワークシェアリング等)
3. 定期的な健康診断など(具体的に:)
4. 精神面の健康管理(相談窓口等)
5. 労働条件の改善・賃金
6. 労働条件の改善・労働時間
7. その他

問9 事務作業の負担感ほどの程度ですか。(1つにO)

1. とても重い
2. 重い
3. どちらでもない
4. 軽い
5. とても軽い

問10 生産性向上(労働時間短縮)のためどのように取り組まれていますか。(いくつでもO)

1. 業務効率化
2. 人材育成
3. 適切な人員配置
4. ITツールの活用
5. 介護ロボットの導入
6. 働き方改革
7. 何もしていない
8. その他()

問11 運営上に必要な人材の確保ができていますか。(1つにO)

1. 十分できている
2. できている
3. できていない

問12 人材策で力を入れる必要があるものは何かありますか。(1つにO)

1. 人材の確保
2. 人材の育成
3. 人材の定着

問13 人材確保のため今後どのような取組みが必要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 新規採用枠の拡大
2. 中途採用枠の拡大
3. 外国人の雇用 (具体的に:)
4. 就業時間の見直し
5. 福利厚生充実
6. 資金面の充実
7. 研修会への参加支援
8. 資格取得の支援
9. 新人育成の制度 (具体的に:)
10. 苦情・相談体制の充実
11. 職員間の助け合い制度 (具体的に:)
12. OJTの仕組み
13. 同業所内での人員確保
14. 社外の協力体制の整備
15. 求人広告掲載
16. その他 (具体的に:)

問14 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに○)

1. 十分実施できている
2. 十分ではないが実施できている
3. ほとんど実施できていない (理由:)
4. その他 (具体的に:)

問15 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに○)

1. 支援している
2. 十分でないが支援している
3. ほとんど支援していない (理由:)
4. 支援したいができない (理由:)
5. その他 (具体的に:)

問16 貴事業所の運営上の課題は何ですか。(いくつでも○)

1. 介護従事者に十分な賃金を払えない
2. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
3. 介護従事者の意欲や待遇に問題がある
4. 管理者の指導・管理能力が不足している
5. 教育・研修の時間が十分に取れない
6. 職員間のコミュニケーションが不足している
7. 利用者や利用者家族の介護サービスに対する理解が不足している
8. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
9. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる
10. 収支や経営に関する知識が不足している
11. その他 (具体的に:)

医療と介護の連携についておたずねします

問17 在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくりのために、どのようなことが必要だと考えますか。(いくつでも○)

1. 他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
2. 「ケアマネタイム」の充実を図る
3. 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる
4. 医療と介護の連携シート(主治医連絡票等)を活用する
5. 入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする
6. ICTの活用を推進する
7. 医療・介護の相互理解・連携のための専門研修を増やす
8. その他 (具体的に:)

問18 小井市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)

1. 十分連携している
2. ある程度連携している
3. 連携が不十分である
4. ほとんど連携していない

問18-1 問18で「3. 連携が不十分である」または「4. ほとんど連携していない」と答えた事業所におたずねします。

そのように考える理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 医学知識や医療制度がわからない
2. お互いに多忙で連絡がとれない
3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない
4. 交流の場がない
5. 誰と連絡をとればいいのかわからない
6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している
7. その他 (具体的に:)

問19 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。(1つに○)

1. 十分把握している
2. ある程度把握している
3. あまり把握していない
4. ほとんど把握していない

問20 一般に医療機関やかかりつけ医(主治医)などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。(いくつでも○)

1. 医療機関やかかりつけ医(主治医)が多忙で、理解が得にくい
2. 医療側に体制が整っていないため
3. 連携のとり方がわからない
4. 必要性を感じない
5. その他 (具体的に:)

認知症の介護支援についておたずねします

問21 認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。(いくつでも○)

1. 本人や家族に医療機関への受診を受け入れてもらうこと
2. 本人の意思の確認をとること
3. 家族が認知症であることを受け入れること
4. 服薬の管理
5. サービスへの拒否がある
6. 症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 適切なサービスにつなげること
8. 消費者被害に遭遇している
9. 虐待を受けている
10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う
11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい
12. その他（具体的に：)

問22 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。(いくつでも○)

1. 状態に応じた適切なサービス提供の内容が示されること
2. 社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと
3. 早期診断を担う医療機関が増えていくこと
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと
7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること
8. 認知症の方や家族支援が充実していくこと
9. その他（具体的に：)

問23 貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はどれくらいあると思いますか。(1つに○)

1. とれている
2. ある程度とれている
3. あまりとれていない
4. とれていない

問24 貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。(いくつでも○)

1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施
2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動
3. 地域の見守りネットワークへの参画
4. 認知症の方の家族への相談支援
5. ボランティア組織への支援
6. 在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介
7. 在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供
8. その他（具体的に：)
9. 特になし

問 24-1 問 24 で「2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動」と答えた事業所におたずねします。

具体的にどのような活動を行っていますか。(いくつでも○)

1. サポーター養成研修の実施
2. 認知症カフェの実施
3. 講習会の開催等学習機会の提供
4. 地域住民の活動の支援
5. その他（具体的に：)

問25 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

1. 内容を含めて知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 知らない

※ 新しい認知症観：認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできることややりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などつなかりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らせる社会の実現を目指す「認知症基本法」の基本計画の中で示されました。

問26 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化
2. 医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及
3. 認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用
4. 認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組
5. ビデオサポーター活動等の当事者の声を反映する活動
6. その他（)

災害時の体制についておたずねします

問27 貴事業所では災害時に備えてどの程度、地域と連携していますか。

(いくつでも○)

1. 町会・自治会と防災協定を結んでいる
2. 町会・自治会と合同で避難訓練を行っている
3. 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している
4. 地域のまつりや行事に参加している
5. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている
6. その他（具体的に：)

その他・市への要望についておたずねします

問28 今後、保険者としての小金井市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(いくつでも○)

1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施
2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援
3. 不正な事業所への指導
4. 利用者への適正なサービス利用の啓発
5. 地域包括支援センター機能の充実
6. 制度運営における保険者判断部分の周知
7. 人材対策
8. その他（具体的に：)
9. 特にない

問29 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

6 ケアマネジャー調査

高齢の方のためのアンケート調査にご協力を願います



ケアマネジャーの皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市は、高齢の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができることを目指して、「小金井市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画」の策定を予定しています。この度、計画策定のためのアンケート調査を実施することとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和7年11月 小金井市

調査について

この調査は、これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査です。皆さまのご意見やご要望をお伺いし、計画策定にあたって、できる限り反映いたします。

対象者 居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所に在籍するケアマネジャーの中から無作為に選ばれた方

回答期間 令和7年11月1日(土)～令和7年11月21日(金)まで

※ 調査結果は、令和8年4月以降に市のホームページにて掲載予定です。
※ 回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。

回答方法

WEBで回答する方法と、調査票に直接記入し郵送する方法のどちらかひとつをお選びください。



スマートフォンで下記の二次元コード、小金井市のホームページ、または、下記URLにアクセスし、ご回答ください。

小金井市ホームページからトップページ>健康・福祉>高齢者福祉>お知らせ>アンケート(ケアマネジャー調査)にご協力ください
<https://www14.webcas.net/form/pub/kmci/koma>

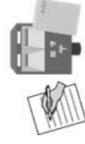
WEB



最初に確認番号を入力してください。

① 調査票に記入し、同封の封筒に入れてください。

② 切手を貼らずに、ポストに投函してください。



郵送

お問い合わせ先

小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822 (直通) FAX：042-384-2524



VI. ケアマネジャー調査

郵送でご回答の方へ：回答の記入方法

- あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた方は、() 内に具体的にその内容をお書きください。

プライバシーの保護に万全を期しています

回答は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。

個人情報保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査へのご回答をもって、下記について同意いただいたものとさせていただきます。

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。

あなたについておたずねします

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. そのほか

問2 現在のあなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

※ 令和7年11月1日現在の年齢でお答えください。

1. 20歳代 4. 50歳代
2. 30歳代 5. 60歳代
3. 40歳代 6. 70歳以上

勤務形態についておたずねします

問3 1か月の超過勤務時間ほどのくらいですか。(1つに○)

1. 10時間未満 4. 30～40時間未満
2. 10～20時間未満 5. 40時間以上
3. 20～30時間未満

問4 どのような業務に負担感がありますか。(いくつでも○)

1. ケアプラン作成 9. 主治医や医療機関との連絡・調整
2. アセスメントの実施 10. 利用者や家族の間の連絡・調整
3. モニタリング 11. サービス事業者への連絡・調整
4. 利用者宅の訪問 12. 相談業務
5. 居宅介護支援経過の記録 13. 苦情対応
6. 給付管理 14. 法定外サービス
7. 入所・入院先の相談・手配 15. その他(具体的に:)
8. サービス担当者会議の開催・調整 16. 特に負担感はない

問5 今後ケアマネジャーの仕事が続けていくに当たり、どのような改善が必要だと思えますか。(いくつでも○)

1. 報酬の低さ 4. 人手不足
2. 労働時間の長さ 5. 事務処理の煩雑さ
3. 職場の人間関係 6. その他(具体的に:)

ケアマネジメントの状況についておたずねします

問6 ケアプランの作成にかかわる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. サービス担当者 3. 医療関係者
2. 利用者・家族 4. その他(具体的に:)

問7 ケアプランの作成が困難だったケースはどの程度ありますか。(1つに○)

1. 困難なケースが多い 3. 困難なケースはほとんどない
2. 困難なケースが少しある

問7-1 問7で「1. 困難なケースが多い」、「2. 困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。

困難だったのは、どのようなケースですか。(いくつでも○)

1. 権利擁護を必要とするケース
2. 認知症高齢者のケース
3. 胃ろう、経管栄養などの医療処置を行っているケース
4. ひどい暮らしでキーパーソンがいないケース
5. ケアプランの内容について本人や家族からの理解が得られないケース
6. 経済や住宅に困窮する生活面での支援が必要なケース
7. 施設から退所したばかりのケース
8. その他(具体的に:)

問7-2 問7で「1. 困難なケースが多い」、「2. 困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。

困難だったケースについて、どこかに相談しましたか。(いくつでも○)

1. 事業所内で相談した 4. 介護福祉課に相談した
2. 他事業所のケアマネジャーに相談した 5. その他(具体的に:)
3. 地域包括支援センターに相談した 6. 特に相談していない

アセスメントの実施状況についておたずねします

問8 アセスメントを実施する際に難しいと感じることは何ですか。(いくつでも○)

1. 利用者の身体状況を見極めること 5. 必要なサービス量を判断すること
2. 利用者の生活状況を見極めること 6. 時間がないために、十分に行えないこと
3. 利用者や家族の意向を明らかにすること 7. 自立支援に資すること
4. 医療系サービスの要否を判断すること 8. 特にない

問9 1回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間はどのくらいですか。

初回	平均()分
2回目以降	平均()分

市内のサービス提供体制についておたずねします

問10 ケアプランを作成するにあたって、利用しにくいと感じているサービス、また、量的に不足していると感じるサービスは何ですか。(いくつでも○)

利用しにくいと感じるサービス	量的に不足していると感じるサービス
1. 訪問介護	1. 訪問介護
2. 訪問入浴介護	2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護	3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション	4. 訪問リハビリテーション
5. 居宅療養管理指導	5. 居宅療養管理指導
6. 通所介護	6. 通所介護
7. 地域密着型通所介護	7. 地域密着型通所介護
8. 通所リハビリテーション	8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護	9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護	10. 短期入所療養介護
11. 特定施設入居者生活介護	11. 特定施設入居者生活介護
12. 福祉用具貸与	12. 福祉用具貸与
13. 特定福祉用具販売	13. 特定福祉用具販売
14. 住宅改修・介護予防住宅改修	14. 住宅改修・介護予防住宅改修
15. 小規模多機能型居宅介護	15. 小規模多機能型居宅介護
16. 看護小規模多機能型居宅介護	16. 看護小規模多機能型居宅介護
17. 夜間対応型訪問介護	17. 夜間対応型訪問介護
18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
19. 認知症対応型通所介護	19. 認知症対応型通所介護
20. 認知症対応型共同生活介護	20. 認知症対応型共同生活介護
21. 地域密着型特定施設入居者生活介護	21. 地域密着型特定施設入居者生活介護
22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
23. 介護老人福祉施設	23. 介護老人福祉施設
24. 介護老人保健施設	24. 介護老人保健施設
25. 介護医療院	25. 介護医療院
26. 総合事業訪問型サービス(現行相当)	26. 総合事業訪問型サービス(現行相当)
27. 総合事業訪問型サービス(市基準)	27. 総合事業訪問型サービス(市基準)
28. 総合事業通所型サービス(現行相当)	28. 総合事業通所型サービス(現行相当)
29. 総合事業通所型サービス(市基準)	29. 総合事業通所型サービス(市基準)
30. 特になし	30. 特になし

問11 介護保険以外のサービス等を組み入れてケアプランを作成していますか。(1つに○)

1. 作成している 2. 作成していない

問11-1 問11で「1.作成している」と答えた方におたずねします。

ケアプランを作成する際に検討したことがあるのはどのようなサービスですか。(いくつでも○)

フォーマルサービス	インフォーマルなサービス
行政等が制度に基づいて支援するサービス	制度外で支援しているサービス
1. 配食サービス	1. 配食サービス
2. 家事援助のサービス	2. 家事援助のサービス
3. 移動支援のサービス	3. 移動支援のサービス
4. 見守り支援サービス	4. 見守り支援サービス
5. その他	5. その他
(具体的に:)	(具体的に:)

問12 高齢者の在宅生活を支えるために、これから充実が必要だと思う「活動」や「生活支援」は次のどれだと思いますか。(いくつでも○)

- 見守り・安否確認の声かけ
- こみ出し・洗濯等の家事援助
- 話し相手・傾聴
- 通院介助・外出支援
- 配食サービス
- 会食サービス・カフェ
- ふれあいサロン
- 日用品の買い物支援
- 紙おむつの給付
- 訪問美容サービス
- 訪問歯科診療
- 寝具乾燥消毒サービス
- 服薬管理
- 夜間の見守り
- 金銭管理、財産安全管理
- 成年後見制度の相談・情報提供
- 近隣の付き合い
- その他(具体的に:)
- 特になし

問17 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療が必要と思われる方はいますか。(1つに○)(※通院の困難な患者さん宅に訪問して行う診療)

1. いる
2. いない

問17-1 問17で「1. いる」とお答えの方におたずねします。あなたは、必要な方に訪問診療が十分行われていると思いますか。(1つに○)

1. 十分行われている
2. ある程度行われている
3. あまり行われていない
4. 全く行われていない

問17-2 問17-1で「3. あまり行われていない」または「4. 全く行われていない」とお答えの方におたずねします。

- 必要なのに実施していないのはなぜですか。(1つに○)
1. 利用者が受けたがらない
2. 家族が受けたがらない
3. 対応してくれる医療機関等が見つかからない
4. かかりつけ医が不要と判断している
5. かかりつけ医がいない
6. その他
(具体的に：)

問18 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。

- (①から③についてそれぞれ1つに○)
- ①訪問看護が必要と思われる方
1. いる 2. いない
- ②訪問歯科診療が必要と思われる方
1. いる 2. いない
- ③訪問服薬管理指導が必要と思われる方
1. いる 2. いない

問19 専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。(1つに○)

1. 行われていると思う
2. ある程度行われていると思う
3. あまり行われていないと思う
4. まったく行われていないと思う

問20 医療と在宅ケアの関係で苦勞していることは何ですか。(いくつでも○)

1. 医師がケアマネジャーとの連携を必要と感じていない
2. 医師や医療従事者がケアマネジャーにサービス以外の家庭対応まで依頼すること
3. 医療従事者が関係している場合の方向性をケアマネジャーがまとめていくことが難しい
4. 利用者の体調が悪くなっても臨時往診して貰えず、ケアマネジャーが付き添うことになり、業務外の負担が大きい
5. 主治医と連絡が取りにくい
6. 退院時のカンファレンスを開かない病院がある
7. 多くの医療機関を利用している場合、総合的な体調管理などをどこまで責任を持ってできるか、また、どこに相談してよいか悩む
8. 訪問診療が不足している、また、往診を行っているかわからない病院がある
9. 主治医連絡票では伝わらない細かいコミュニケーションを伝えたい時は、通院に同行する以外に手段がない
10. その他(具体的に：)

問21 高齢者の在宅医療を進めていくうえで不足している機能はどのようなことだとお考えですか。(いくつでも○)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所
2. 訪問看護(訪問看護ステーション)
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア
6. 在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設
7. その他(具体的に：)

問22 在宅介護の限界、施設入所を意欲する要因は何だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 家事が全介助になったとき
2. 移動が全介助になったとき
3. 更衣が全介助になったとき
4. 排せつが全介助になったとき
5. 一日に頻回の医療的処置が必要とき
6. 薬の管理ができなくなったとき
7. もの忘れがひどくなったとき
8. 徘徊がひどくなったとき
9. 昼夜逆転がひどくなったとき
10. 火の不始末が目立ち始めたとき
11. 本人に入所希望があるとき
12. 介護者に入所希望があるとき
13. 介護をしてくれる身内がいなくて
14. サービス利用料が施設入所と変わらない程度になったとき
15. その他
(具体的に：)

医療・介護の連携についておたずねします

問23 医療と介護の連携を図るうえで情報の共有化をどのように進めればいいと思いますか。(いくつでも○)

1. 顔の見える関係をつくれる機会を増やす
2. 医療と介護の両方で使えるツールをつくる
3. 医療と介護の共通認識を図れる書式をつくる
4. 個人の情報を1枚のカードで医療と介護が共有できるシステムをつくる
5. サービス担当者会議やカンファレンスへのかかりつけ医の出席
6. 連絡しやすい時間の設定や連絡しやすい窓口の設定
7. その他(具体的に:)

問24 市の担当者や連携するときはどのような場合ですか。(いくつでも○)

1. 支援困難事例への対応
2. ケースカンファレンス
3. 苦情相談への対応
4. 介護保険以外のサービスや制度の利用
5. 介護保険法で判断に困るとき
6. 同居者への対応
7. 虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応
8. 精神疾患の方への対応
9. その他(具体的に:)
10. 特に連携していない

問25 在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)

1. 十分連携している
2. ある程度連携している
3. 連携が不十分である
4. ほとんど連携していない

問26 在宅医療と介護の連携を円滑にするための仕組みづくりのために、どのようなことが必要だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
2. 「ケアマネタイム」の充実を図る
3. 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる
4. 医療と介護の連携シート(主治医連絡票等)を活用する
5. 入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする
6. ICTの利活用を推進する
7. 医療・介護の相互理解・連携のための専門研修を増やす
8. その他(具体的に:)

認知症の介護支援についておたずねします

問27 担当する認知症の方の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。(いくつでも○)

1. 本人や家族に医療機関への受診を受け入れてもらうこと
2. 本人の意思の確認をとること
3. 家族が認知症であることを受け入れること
4. 服薬の管理
5. サービスへの拒否がある
6. 症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 適切なサービスにつなげること
8. 消費者被害に遭遇している
9. 虐待を受けている
10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う
11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい
12. その他(具体的に:)

問28 認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医と十分連携していると思いますか。(1つに○)

1. 十分連携している
2. ある程度連携している
3. 連携が不十分である
4. ほとんど連携していない

問29 認知症の早期受診が進まない原因は、次のどれだと思いますか。(いくつでも○)

1. 認知症を診断できる医師が少ない
2. 認知症が病気であると認識されていないこと
3. 本人が受診を嫌がること
4. 認知症と診断されるのを恐れていること
5. 家族や周囲の人が本人のプライドを傷つけるため言いにくいこと
6. 家族が認知症の認識がないこと
7. どこに受診すればよいかわからないこと
8. その他(具体的に:)

問30 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。
(いくつでも○)

1. 状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること
2. 社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと
3. 早期診断を担う医療機関が増えていくこと
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと
7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること
8. 認知症の方や家族支援が充実していくこと
9. その他（具体的に：）

問31 「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容についてご存じですか。(1つに○)

1. 内容を含めて知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
3. 知らない

※ 新しい認知症観：認知症になつたら何事もできなくなるのではなく、認知症になつてからも、一人ひとりが個人として生きていくことができることややりたいことができ、住み慣れた地域で仲間などをつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができるとい考え方です。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持つて暮らせる社会の実現を目指す「認知症基本法」の基本計画の中で示されました。

問32 「新しい認知症観」を広めるためにどのような取組が必要だと思いますか。
(いくつでも○)

1. 認知症に関する正しい知識を広める教育・啓発活動の強化
2. 医療・介護現場での新しい認知症観に基づいたケアの普及
3. 認知症カフェなど、地域の交流拠点の設置・活用
4. 認知症の人が働きやすい環境の整備等企業・職場での取組
5. ピアサポート活動等の当事者の声を反映する活動
6. その他（）

ケアマネジメントの質の向上についておたずねします

問33 サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。(1つに○)

1. 法人内および外部の研修に参加
2. 法人内の研修にのみ参加
3. 外部の研修にのみ参加
4. 研修には参加していない

問34 事業所内では、定期的な研修や勉強会はありますか。(1つに○)

1. ある
2. 定例ではないがある
3. ない

問35 地域包括支援センターとのつながりがありますか。(いくつでも○)

1. 介護予防プランの作成で指導や助言をもらっている
2. 地域包括支援センター主催の事例検討会や研修に参加している
3. サービス担当者会議でセンター職員に出席してもらっている
4. 個別事例等の相談で指導や助言をもらっている
5. 困難事例や虐待への対応で連絡をとっている
6. その他（具体的に：）
7. 特にながりはしない

問36 今後、地域包括支援センターへ期待することは何ですか。(いくつでも○)

1. 介護予防ケアマネジメント（要支援者の介護予防ケアプラン）を通じた介護予防
2. 地域支援事業を通じた介護予防
3. 市役所などへの要望事項の取りまとめや仲介
4. ケアマネジャーに対する個別指導・相談
5. ケアマネジャー同士が気軽に情報交換、交流ができる機会
6. 困難事例の相談
7. 地域包括支援センター担当区域におけるケアマネジャーのネットワークづくり
8. 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援
9. フォーマルサービスとインフォーマルケアの調整
10. 要援護高齢者の実態把握と対応
11. 高齢者の虐待防止・権利擁護
12. その他（具体的に：）

問37 ケアマネジャーに求められる中立性・独立性を確保するために、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 事業者間の連絡調整・連携を強化するための支援
2. ケアマネジャーの技術向上のための支援
3. ケアマネジャーのためのメンタルヘルスケア
4. 処遇困難者への対応またはその支援
5. 利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み
6. その他（具体的に：）

高齢者の虐待について

問38 これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありませんか。(いくつでも○)

1. 自分が虐待の場面に遭遇したことがある
2. ほかの年から虐待の話聞いたことがある
3. 被害者本人から虐待の相談を受けたことがある
4. 被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある
5. その他(具体的に：)
6. 虐待に関して見ていたり聞いたりはしない

問39 専門職の立場からみて、高齢者虐待を未然に防ぐために必要なことは何だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 虐待に対する知識の普及啓発
2. 家族介護者等の負担軽減に向けた支援
3. 家族介護者等の相談対応
4. 要介護者の相談対応
5. サービス提供者のストレスチェック
6. サービス提供時のチェック
7. 地域での見守り体制
8. その他(具体的に：)

今後の介護サービス、高齢者福祉について

問40 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思えますか。(いくつでも○)

1. サービス事業者の質を高める取組みを行うこと
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養老ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
6. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
7. 在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
8. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
9. 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること
10. 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと
11. 地域包括支援センターの機能を充実すること
12. 介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること
13. その他(具体的に：)
14. わからない

その他・市への要望についておうかがいします

問41 今後、ケアマネジャーの人材育成等について、市に支援をしてほしいことばありますか。(いくつでも○)

1. 自立支援、重症化防止の研修
2. 研修受講時の補填
3. 資格取得に対する支援
4. ICTの導入支援
5. ケアプランの相談対応
6. その他(具体的に：)

問42 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

第10期小金井市
介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画／
認知症施策推進計画策定に関する調査報告書

発行年月：令和8年3月

発行：小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822

FAX：042-384-2524